

生活状況に関する調査  
報告書

令和2年3月

株式会社ジェック経営コンサルタント

## 目次

I 調査の概要	
1 調査の概要	4
2 主な調査結果	4
II 定義	
1 広義のひきこもり群（本人票）	9
2 過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（本人票）	11
III 調査の結果	
1 当事者数推計調査	
(1) 本人票 性別	13
(2) 本人票 年齢	15
(3) 本人票 所在地	16
(4) 本人票 同居者	18
(5) 本人票 これまでの経験	20
(6) 本人票 現在の就労・就学等の状況	22
(7) 本人票 働いた経験	25
(8) 本人票 ふだんの外出頻度	27
(9) 本人票 ひきこもりの状態になってからの期間	31
(10) 本人票 初めてひきこもりの状態になった年齢	33
(11) 本人票 家族以外との会話の状況	35
(12) 本人票 ひきこもりの状態になったきっかけ	37
(13) 本人票 自殺に対する考え	41
(14) 本人票 自殺を考えた時の乗り越え方	43
(15) 本人票 過去の外出頻度	45
(16) 本人票 過去にひきこもりの状態だった期間	47
(17) 本人票 過去に初めてひきこもりの状態になった年齢	49
(18) 本人票 過去にひきこもりの状態になったきっかけ	51
(19) 本人票 悩みを相談する相手	55
(20) 本人票 ひきこもりの方々に対する支援策	59
2 当事者等支援ニーズ調査	
(1) 本人票 性別	70
(2) 本人票 年齢	71
(3) 本人票 所在地	72
(4) 本人票 同居者	74
(5) 本人票 これまでの経験	76
(6) 本人票 現在の就労・就学等の状況	78
(7) 本人票 働いた経験	80

(8)	本人票	ふだんの外出頻度	82
(9)	本人票	ひきこもりの状態になってからの期間	84
(10)	本人票	初めてひきこもりの状態になった年齢	86
(11)	本人票	家族以外との会話の状況	88
(12)	本人票	ひきこもりの状態になったきっかけ	89
(13)	本人票	ひきこもりの状態について、関係機関に相談したいか	92
(14)	本人票	ひきこもりの状態をどのような機関なら相談したいか	93
(15)	本人票	相談したくない理由	96
(16)	本人票	関係機関に相談した経験	98
(17)	本人票	相談した機関	99
(18)	本人票	相談した結果	102
(19)	本人票	今後の支援策	103
(20)	本人票	自殺に対する考え	106
(21)	本人票	自殺を考えたときの乗り越え方	108
(22)	本人票	過去の外出頻度	111
(23)	本人票	過去にひきこもりの状態だった期間	113
(24)	本人票	過去に初めてひきこもりの状態になった年齢	114
(25)	本人票	過去にひきこもりの状態になったきっかけ	115
(26)	本人票	現在の状態になったきっかけや役立ったこと	116
(27)	本人票	悩みを相談する相手	117
(28)	本人票	障害者手帳の有無	119
(29)	本人票	支援のあり方	121
(30)	本人票	現在抱えている不安や危機感	123
(31)	本人票	ひきこもりの方々に対する支援策	125
(32)	本人票	自殺対策支援の認知度	128
(33)	本人票	今後必要な自殺対策（支援）	131
3		支援団体ニーズ調査	134
IV		集計表	137
V		調査票	179
VI		参考資料	188

# I 調査の概要

# I 調査の概要

## 1 調査の概要

県内のひきこもり当事者の状況や必要なニーズを把握するため、次の調査を実施。

- (1) 当事者数推計調査
- (2) 当事者等支援ニーズ調査
- (3) 支援団体ニーズ調査

## 2 主な調査結果

### (1) 当事者数推計調査

#### ①調査の概要

ひきこもり当事者の状況を客観的に把握し、内閣府調査<sup>※1</sup>などと比較するため、内閣府調査に準じた「当事者数推計調査」を実施した。

調査対象 母集団：富山県内の市町村に居住する15歳から64歳までの男女

標本数：一般県民10,000人と同居する成人

調査期間 令和元年12月9日～令和2年1月31日

調査方法 郵送による配布、回収<sup>※2</sup>

標本抽出方法 調査地域：富山県全域

抽出方法：層化副次無作為抽出法

回収結果 有効回答数（率）：本人2,672人（26.72%） 同居者人：2,514人

※1 平成27年度調査：15～39歳を対象に実施した「若者の生活に関する調査」、  
平成30年度調査：40～64歳を対象に実施した「生活状況に関する調査」

※2 内閣府調査は、共に「調査員による訪問留置・訪問回収」による

#### ②本調査における「ひきこもり」の定義

平成30年度内閣府調査と同様に、「ふだんどのくらい外出しますか。」という質問に対し、次の5～8のいずれかと回答し、かつ、その状態となって6か月以上経つと回答した「広義のひきこもり群」とした。

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにときどき外出する
- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

ただし、次の者を除く

- ① 身体的な病気がきっかけで現在の状態になったと回答した者
- ② 現在の状況を「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」と回答したか、現在の状態になったきっかけを「妊娠」、「介護・看護」、「出産・育児」と回答した者のうち、最近6か月間に家族以外の人と「よく会話した」、「ときどき会話した」と回答した者
- ③ 自営業・自由業を含め、現在、何らかの仕事をしていると回答した者

### ③調査の結果

「広義のひきこもり群」の出現率及び推計人数

年 齢 層	該当者数	出現率	推計人数※ <sup>3</sup>	内閣府調査における出現率	
				年度	出現率
15～39 歳	12 人	1.19%	3 千人	H27 年度	1.57%
40～59 歳	14 人	1.24%	4 千人	H30 年度	1.37%※ <sup>4</sup>
60～64 歳	18 人※ <sup>5</sup>	3.40%	2 千人		1.75%※ <sup>4</sup>

※3 「県内の推計人数」は、百の位を四捨五入した数値である。

※4 「40歳～59歳」及び「60歳～64歳」の出現率は、平成30年度内閣府調査をもとに県で独自に算出したもの。

※5 60歳以降の退職をきっかけとした該当者9人を含む。

内閣府の調査は、平成27年度に若年層（15～39歳）を、平成30年度に中高年層（40～64歳）を対象に実施しているが、本県の調査結果について、60～64歳の「広義のひきこもり群」に該当した方18人を分析したところ、その半数の9人は、60歳以降に退職をきっかけとした方で、概ね定年退職者と考えられる。このため、本調査結果では、中高年層（40～64歳）について、多くの企業等で定年退職となる60歳の前後に分けることとした。

若年層（15～39歳）では、「広義のひきこもり群」に該当した方は12人で、その出現率は1.19%で、平成27年度内閣府調査の1.57%を下回る状況にあり、推計人数は3千人となった。

40～59歳では、「広義のひきこもり群」に該当した方は14人で、その出現率は1.24%で、平成30年度内閣府調査の1.37%※<sup>4</sup>を下回る状況にあり、推計人数は4千人となった。

60～64歳では、「広義のひきこもり群」に該当した方は18人で、その出現率は3.40%で、平成30年度内閣府調査の1.75%※<sup>4</sup>を大きく上回る状況にあり、推計人数は2千人となった。ただし、そのうちの半数は60歳以降に定年退職した方であると推測される。

## (2) 当事者等支援ニーズ調査

### ①調査の概要

ひきこもり当事者などのニーズを幅広く把握するため、県内のひきこもり支援団体<sup>※6</sup>や関係機関等を通じて、「当事者支援ニーズ調査」を実施した。

調査対象： ひきこもり当事者及びその同居者等

調査期間： 令和元年11月27日～令和2年1月31日

調査方法： ひきこもり支援団体(県内12団体)、市町村、厚生センター等を通じ、ひきこもりに関して相談等のあった本人及び同居者に調査票を配布、郵送により回収

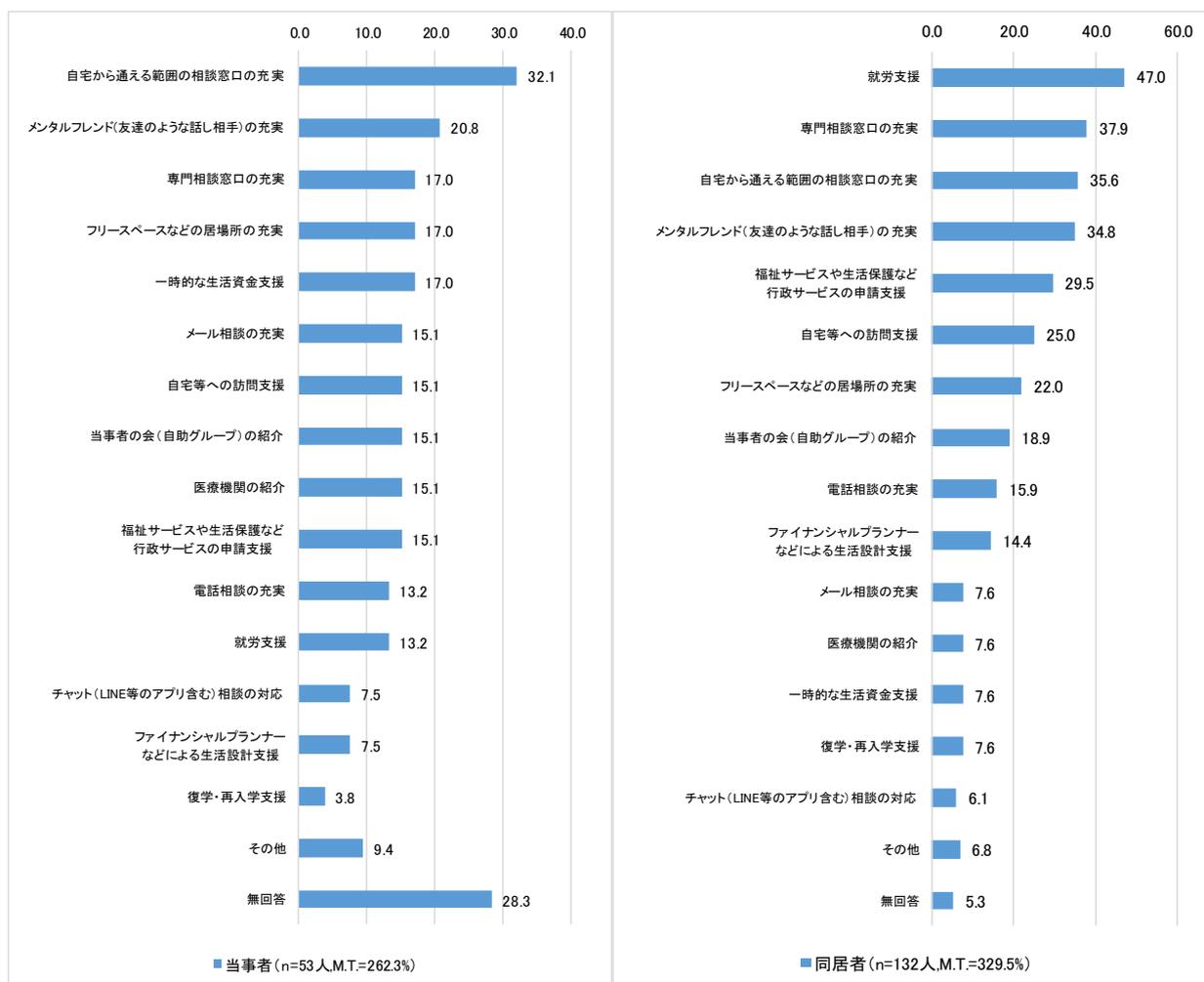
回収状況： 本人票 回収数のべ 86人

同居者票 回収数のべ 132人

### ②調査の結果

(M.T.：Multiple total の略で、回答数の合計を回答者数(n)で割った比率であり、通常その値は100%を超える。小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。回答率を合算する場合、実数から改めて割合を算出するため、グラフ中に表記された数値の合計に一致しないものもある。)

(注) 回答の選択肢が長い場合、その一部を省略して表章して集計してあるものがある。



当事者からは、身近な相談窓口や話し相手、居場所などの現状に対する支援ニーズが高い一方、同居者からは、就労支援や専門窓口などひきこもり脱却のための支援ニーズが高かった。

※6 ひきこもり支援団体(県内 12 団体)

	団 体 名	所在地
1	宇奈月自立塾 (NPO法人 教育研究所)	黒部市
2	ひきこもり家族自助会 とやま大地の会	上市町
3	公益財団法人・社会福祉法人 富山YMCA	富山市
4	NPO法人 富山カウンセリングセンター	富山市
5	Peaceful House はぐれ雲 (NPO法人 北陸青少年自立援助センター)	富山市
6	射水市子どもの権利支援センター「ほっとスマイル」	射水市
7	NPO法人 はあとぴあ21	射水市
8	NPO法人 学校外教育支援協会	高岡市
9	コミュニティハウスひとのま	高岡市
10	ひきこもり家族自助会 つくしの会	高岡市
11	ふくし相談サポートセンター	氷見市
12	みやの森カフェ (一般社団法人 Ponte とやま)	砺波市

(3) 支援団体ニーズ調査

①調査の概要

県内のひきこもり支援団体※6のニーズを広く把握するため、県内のひきこもり支援団体を対象に「支援団体ニーズ調査」を実施した。

調査対象： 県内のひきこもり支援団体 (県内 12 団体)

調査期間： 令和元年 11 月 11 日～11 月 27 日

調査方法： ヒアリング調査

②調査の結果

区 分	主なニーズ
居場所づくり	○就労前に居場所が必要 ○多様な居場所が必要 ○社会と緩やかにつながる場があるとよい
普及、広報活動	○社会的偏見をなくす環境づくり ○専門機関の敷居を低くすることが必要
支援団体の活動の助成	○就労支援の助成 ○居場所の運営資金の助成
支援機関の連携強化	○民間団体・相談機関・就労機関の連携が必要 ○居住市町村には相談しづらいため、広域連携が必要

県内のひきこもり支援団体の活動内容は、それぞれ多様であるため、各団体のニーズは多岐にわたっていた。

## II 定義

## II 定義

### 1 広義のひきこもり群（本人票）

今回の調査では、社会的自立に至っているかどうかに着目して、以下のように定義する。

- 「Q4 ふだんのくらい外出しますか。」について、下記の5～8に当てはまる者
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
  6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
  7. 自室からは出るが、家からは出ない
  8. 自室からほとんど出ない

かつ

「Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6ヶ月以上と回答した者

であって、次の3類型のいずれにも該当しない者。

①

「Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「病気（病名：）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者（注1）

②

「Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

- ①「妊娠した」を選択した者
- ②「介護・看護を担うことになった」を選択した者
- ③「その他（）」を選択し、（）に出産・育児をしている旨を記入した者

「Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「専業主婦・主夫」又は「家事手伝い」と回答した者

のいずれかで、かつ、

「Q7 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。」で、「よく会話した」又は「ときどき会話した」と回答した者

③

「Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（）」を選択し、（）に自宅で仕事をしている旨を記入した者

「Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「勤めている」又は「自営業・自由業」と回答した者

該当者の人数は 44 人（有効回収数に占める割合 1.67%）。

このうち、Q4で6、7又は8に該当する者を「狭義のひきこもり」と、Q4で5に該当する者を「準ひきこもり」とし、「狭義のひきこもり」と「準ひきこもり」の合計を「広義のひきこもり」とする。

（注1）「Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（）」を選択し、外出が困難となる身体的理由を記入した者等についても、「病気（病名：）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者と同様に判断した。

## 2 過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（本人票）

今回の調査では、以下のように定義する。

本人票「Q11 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」について、下記の1～4に当てはまる者

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

であって、

本人票「Q12 その状態になったきっかけは何でしたか。」で、「病気（病名：）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者及び「その他（）」を選択し、（）に自宅で仕事をしている旨を記入した者（注2）

又は、

本人票「Q11 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」について、下記の1に当てはまる者であって、

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する  
かつ

同居者票「Q7 対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」について、下記の5に当てはまる者

5. 1～4のような状態（注3）に6か月以上連続してなったことはない

を除いたもの。

該当者の人数は 81 人。

（注2）「Q14 その状態になったきっかけは何でしたか。」で、「その他（）」を選択し、外出が困難となる身体的理由を記入した者等についても、「病気（病名：）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者と同様に判断した。

（注3）「1～4のような状態」は以下のとおり。

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

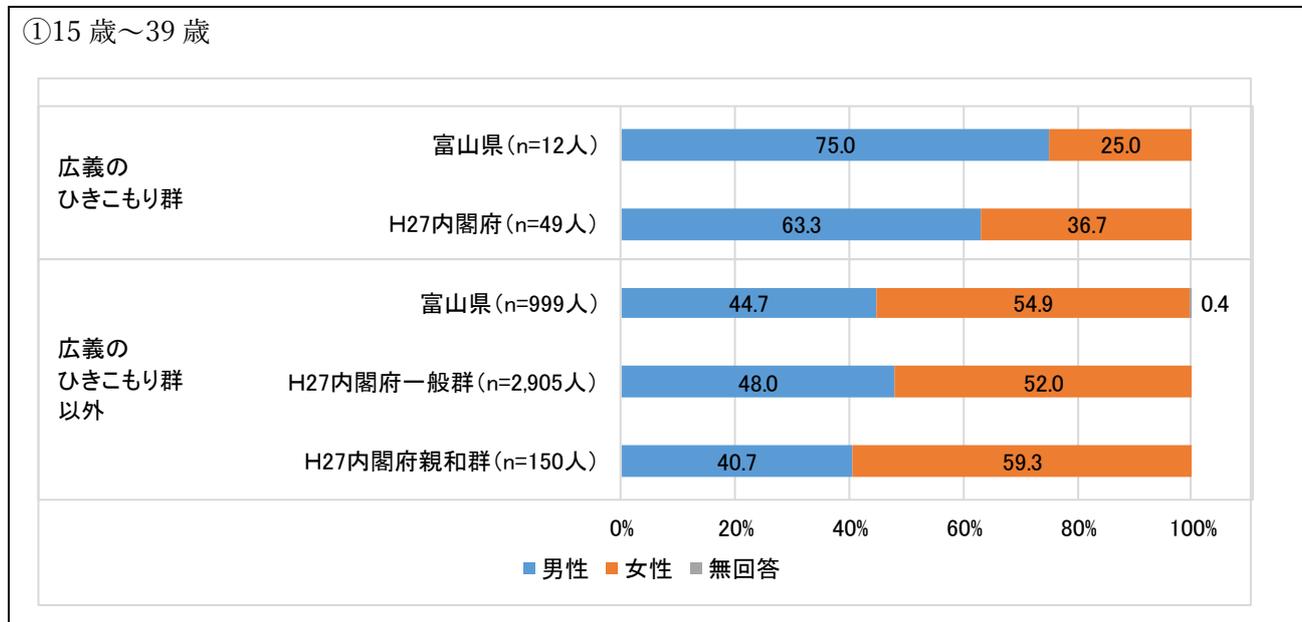
### III 調査の結果

### Ⅲ 調査の結果

#### 1 当事者数推計調査

##### (1) 本人票 性別

あなたの性別

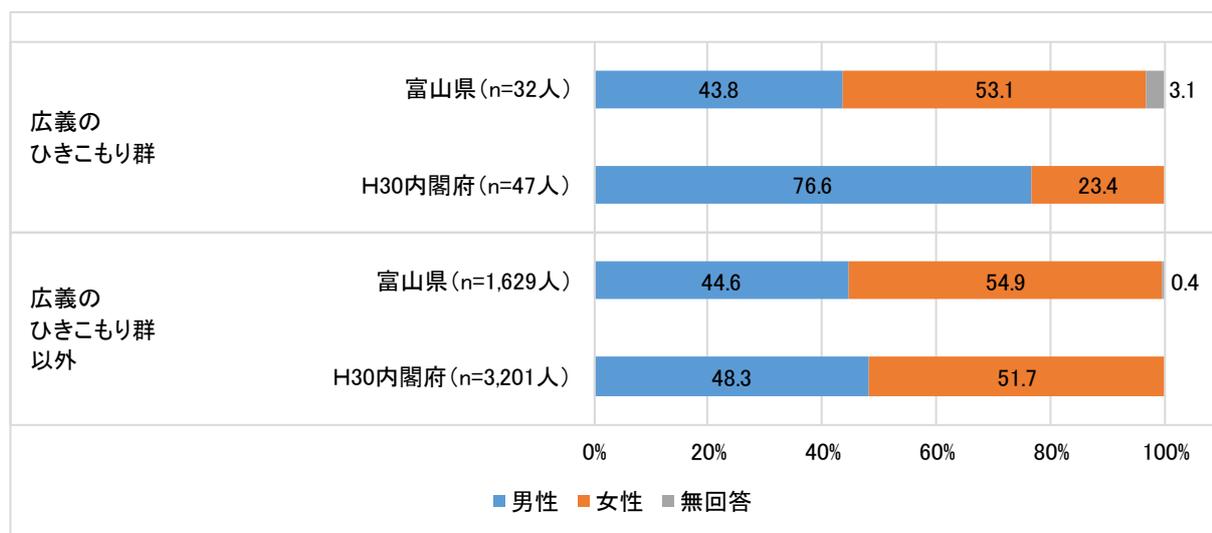


回答者の性別は、15歳～39歳をみると、広義のひきこもり群では、「男性」75.0%、「女性」25.0%、広義のひきこもり群以外では、「男性」44.7%、「女性」54.9%、「無回答」0.4%となっている。H27内閣府調査と比べると、広義のひきこもり群では男性の比率が11.7ポイント高くなり、広義のひきこもり群以外では同程度の割合となっている。

※平成27年度内閣府調査では、「ひきこもりを共感・理解し、ともすると閉じこもりたいと思うことがある人たち」を抽出し、「親和群」としている。以下同。

※平成27年度内閣府調査の対象者は、満15歳から満39歳までの方である。以下同。

②40歳～64歳



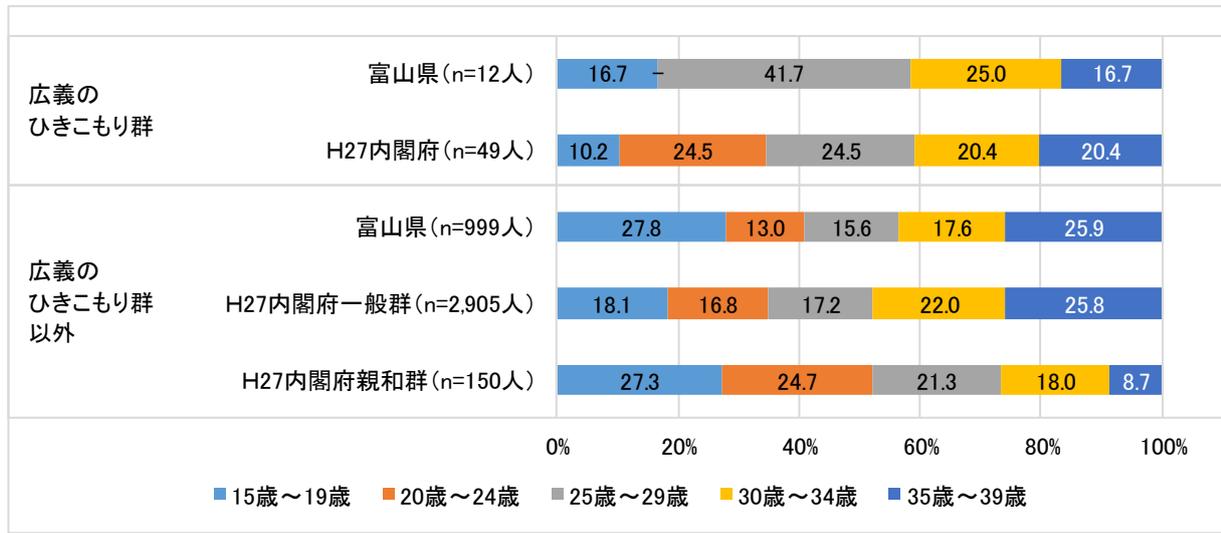
40歳～64歳をみると、広義のひきこもり群では、「男性」43.8%、「女性」53.1%、「無回答」3.1%、広義のひきこもり群以外では、「男性」44.6%、「女性」54.9%、「無回答」0.4%となっている。H30内閣府調査と比べると、広義のひきこもり群では女性の比率が29.7ポイント高くなり、広義のひきこもり群以外では同程度の割合となっている。

※平成30年度内閣府調査の対象者は、満40歳から満64歳までの方である。以下同。

(2) 本人票 年齢

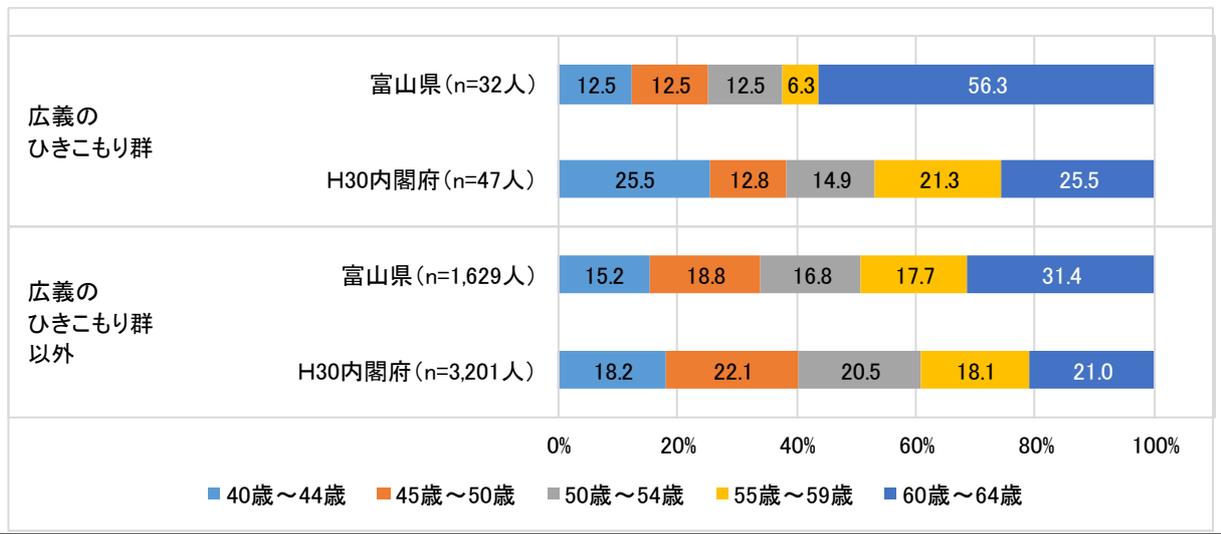
あなたの年齢

①15歳～39歳



回答者の年齢は、15歳～39歳をみると、H27内閣府調査と比べて、広義のひきこもり群では「20歳～24歳」と答えた者はおらず、「25歳～30歳」は17.2ポイント高くなっている。広義のひきこもり群以外では「15歳～19歳」を除いて「一般群」と同程度の割合となっている。「15歳～19歳」は「親和群」と同程度の割合となっている。

②40歳～64歳

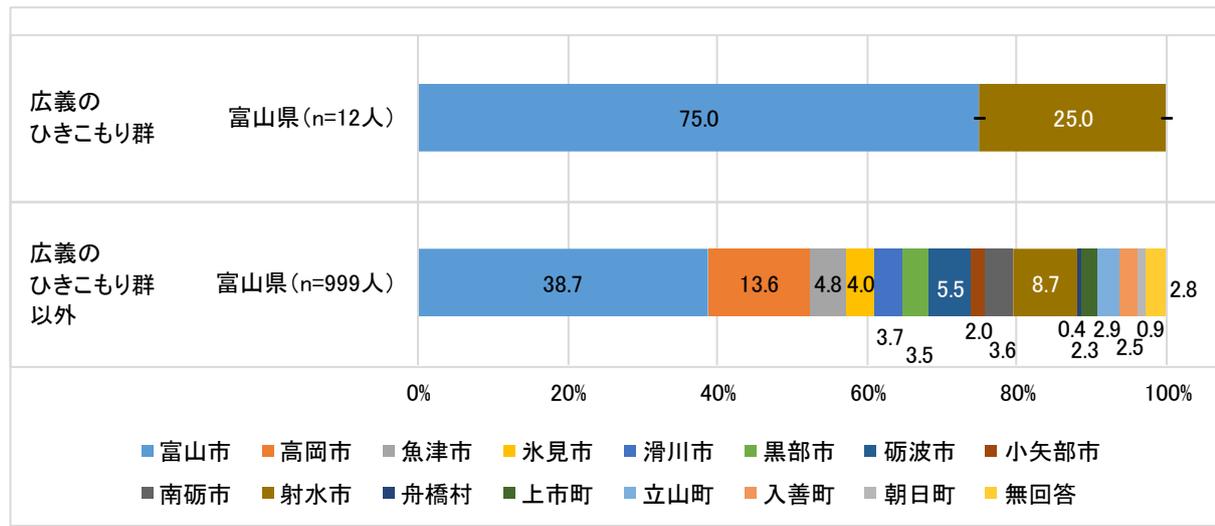


40歳～64歳をみると、H30内閣府調査と比べて、広義のひきこもり群では40歳から59歳までの比率が低く、「60歳～64歳」の比率が30.8ポイント高くなっている。広義のひきこもり群以外では「60歳～64歳」は10.4ポイント高くなり、その他は同程度の割合となっている。

(3) 本人票 所在地

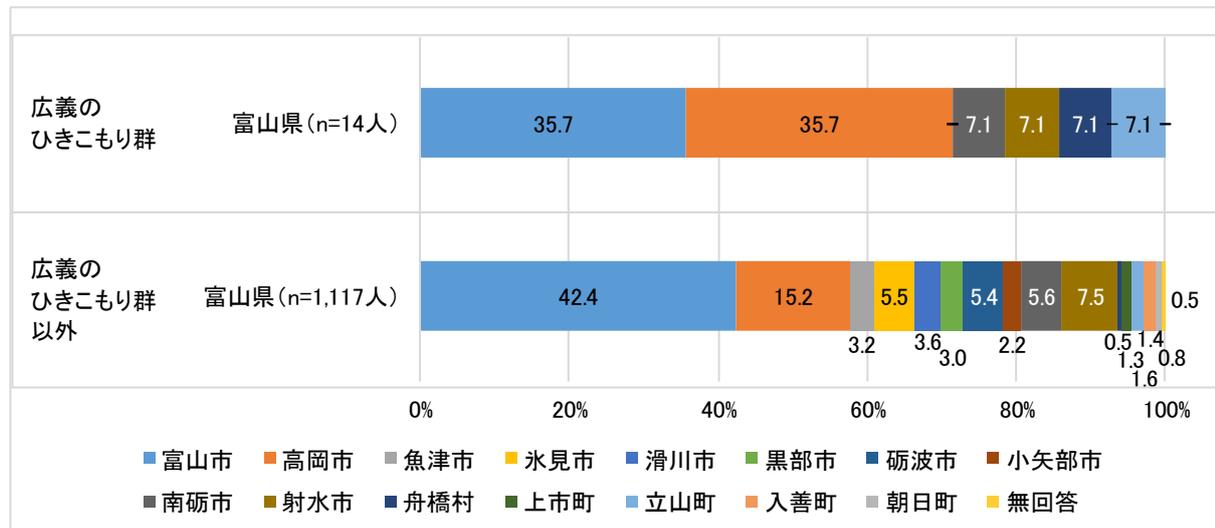
あなたのお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



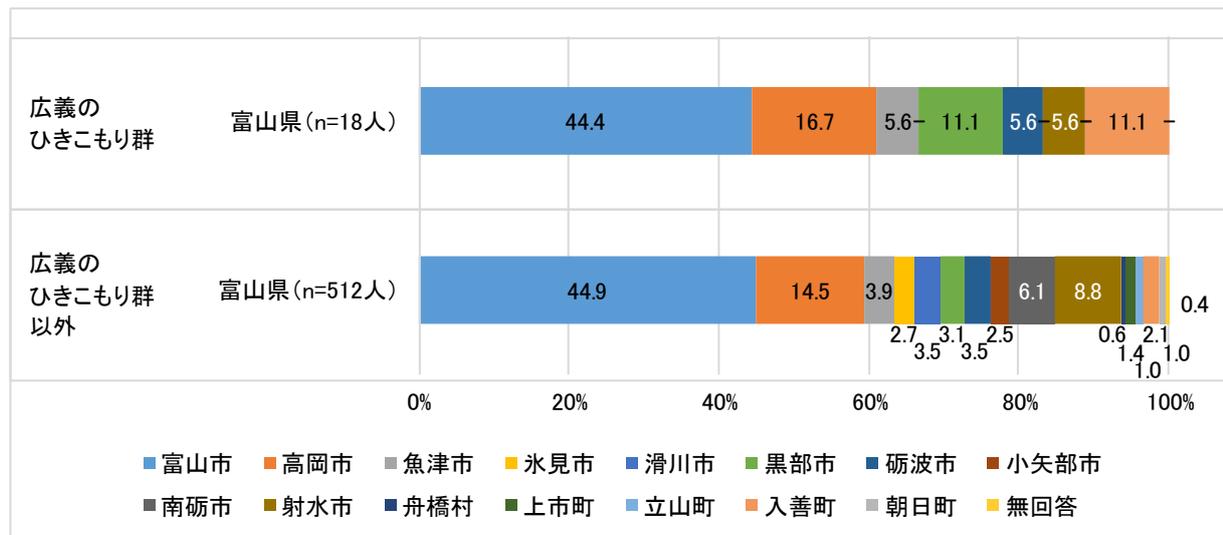
回答者の居住地は、15歳～39歳をみると、広義のひきこもり群では「富山市」75.0%、「射水市」25.0%となっている。広義のひきこもり群以外では「富山市」が38.7%と最も多く、次いで「高岡市」が13.6%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、広義のひきこもり群では「富山市」35.7%、「高岡市」35.7%、「南砺市」「射水市」「舟橋村」「立山町」が7.1%となっている。広義のひきこもり群以外では「富山市」が42.4%と最も多く、次いで「高岡市」が15.2%となっている。

③60歳～64歳

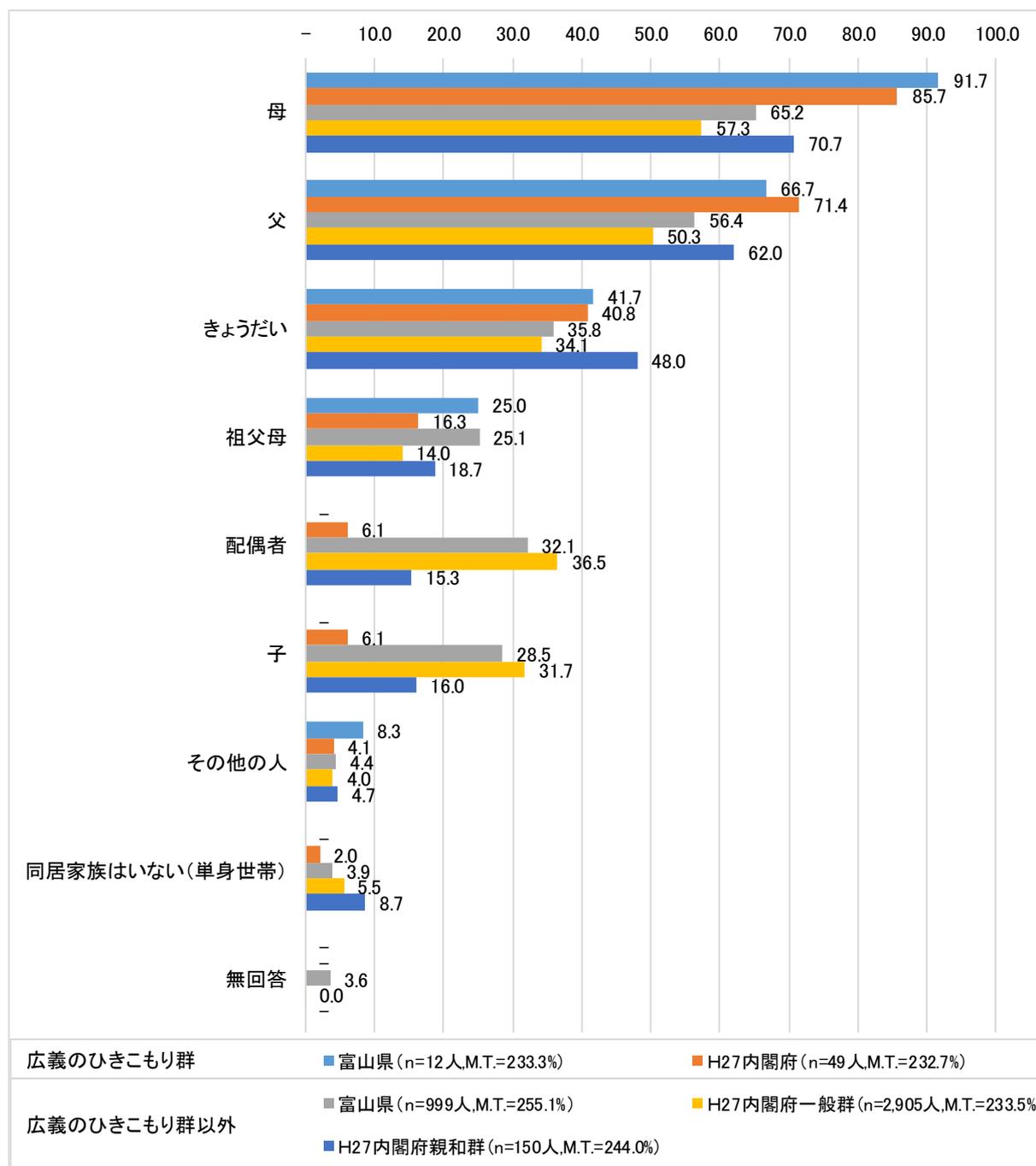


60歳～64歳をみると、広義のひきこもり群では「富山市」44.4%、「高岡市」16.7%、「黒部市」「入善町」が11.1%、「魚津市」「砺波市」「射水市」が5.6%となっている。広義のひきこもり群以外では「富山市」が44.9%と最も多く、次いで「高岡市」が14.5%となっている。

(4) 本人票 同居者

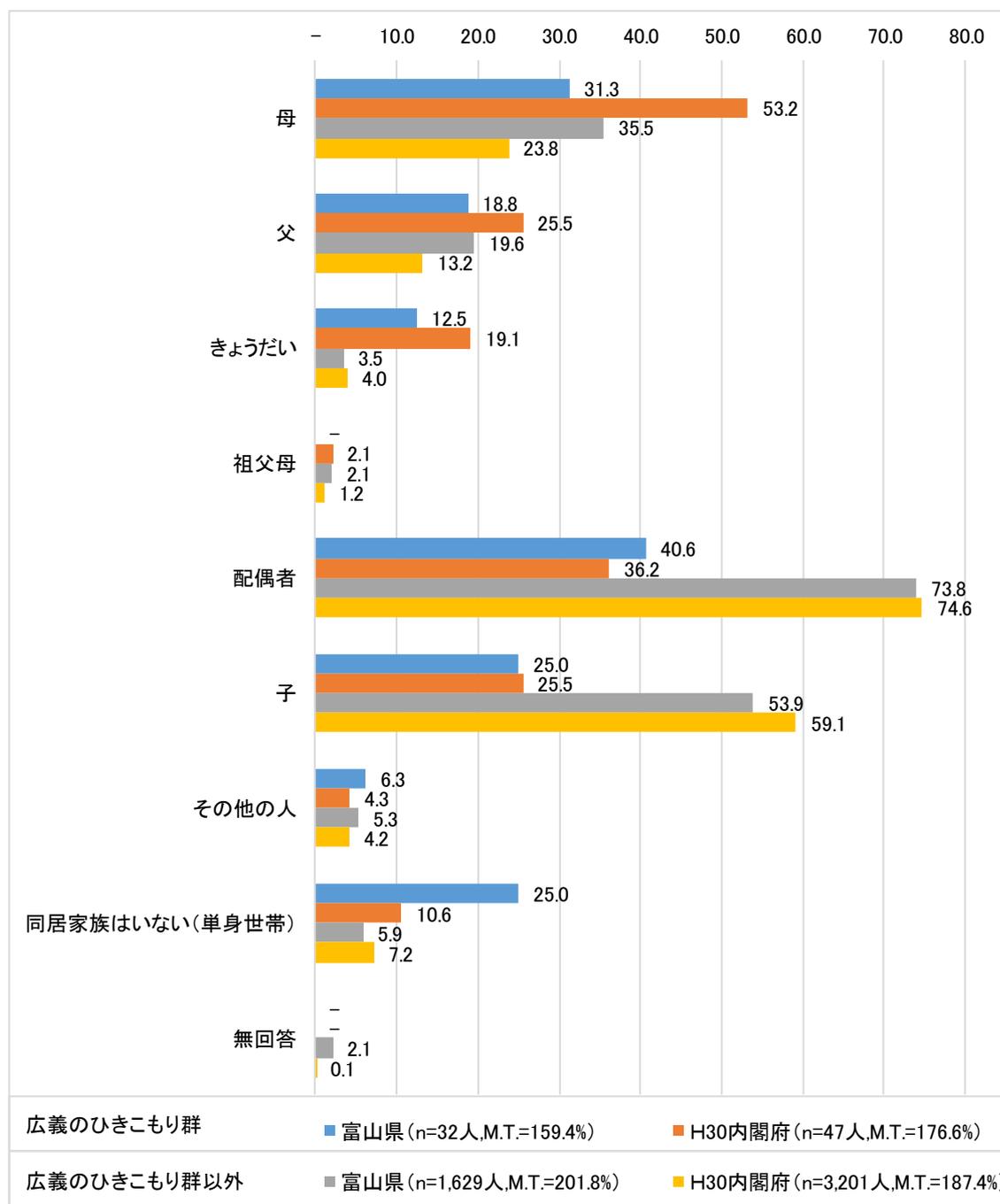
あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



回答者の同居者について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「母」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で91.7%、広義のひきこもり群以外で65.2%、「父」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で66.7%、広義のひきこもり群以外で56.4%、「きょうだい」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で41.7%、広義のひきこもり群以外で35.8%、「祖父母」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で25.0%、広義のひきこもり群以外で25.1%などとなっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「配偶者」「子」と答えた者はおらず、その他は同程度の割合となっている。

②40歳～64歳



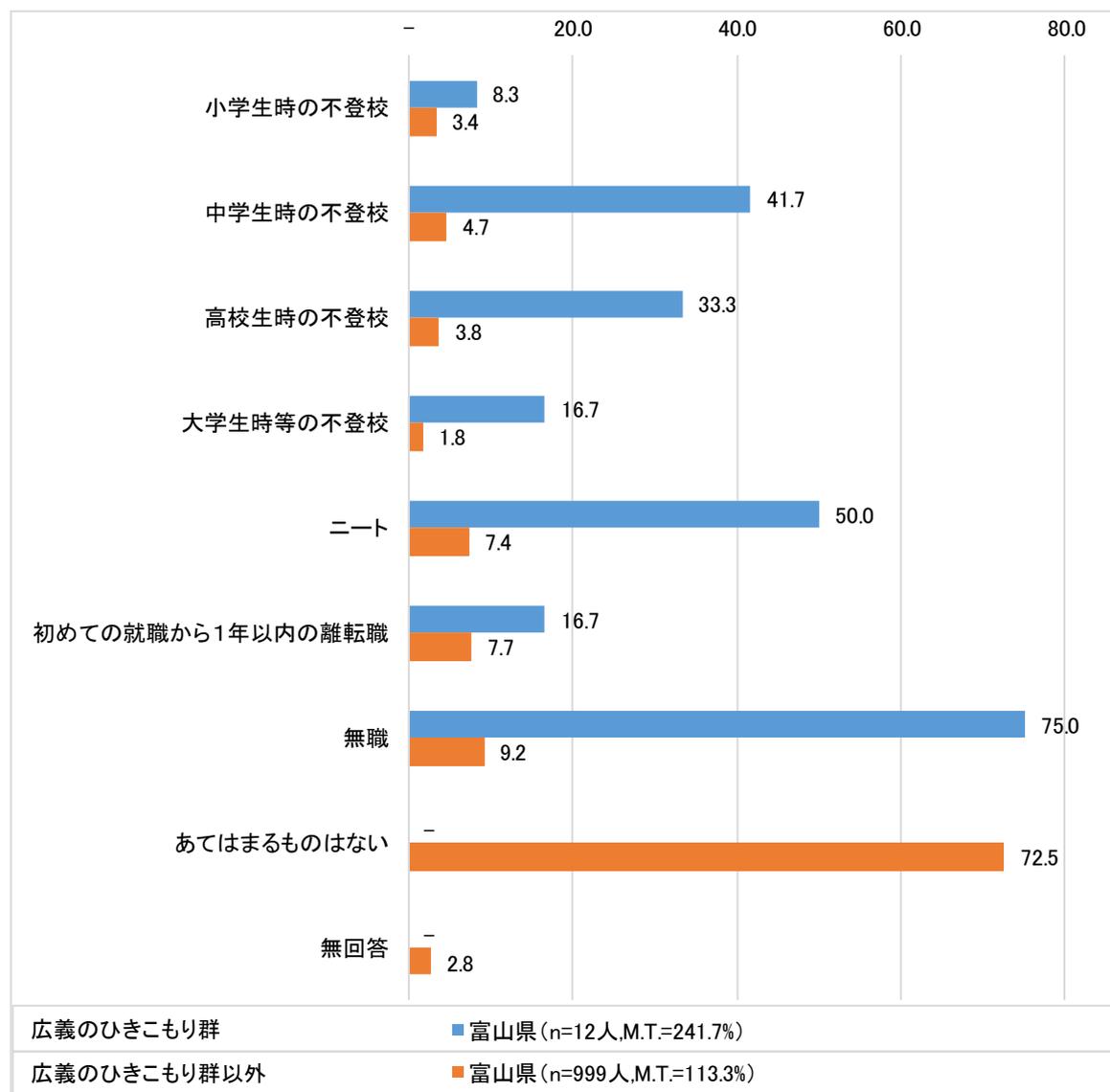
40歳～64歳をみると、「母」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で31.3%、広義のひきこもり群以外で35.5%、「父」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で18.8%、広義のひきこもり群以外で19.6%、「きょうだい」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で12.5%、広義のひきこもり群以外で3.5%、「配偶者」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で40.6%、広義のひきこもり群以外で73.8%などとなっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「同居家族はいない」の割合が高くなっている。

(5) 本人票 これまでの経験

【Q1～Q2 はすべての方がお答えください。】

Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。(〇はいくつでも)

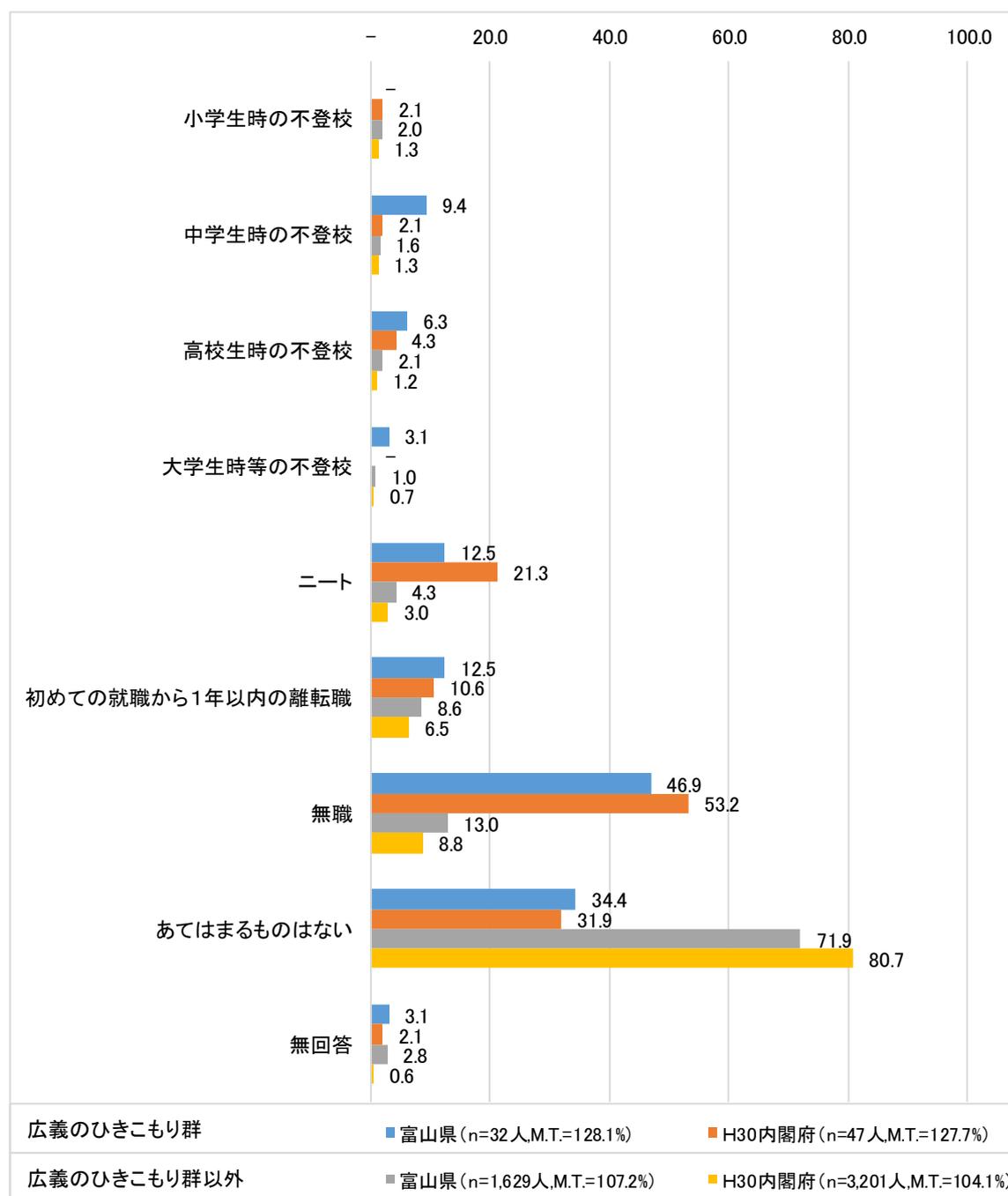
①15歳～39歳



これまでの経験について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で75.0%、広義のひきこもり群以外で9.2%、「ニート（就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で50.0%、広義のひきこもり群以外で7.4%となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者の割合は、広義のひきこもり群では回答がなく、広義のひきこもり群以外で72.5%となっている。

※平成27年度内閣府調査では、同設問がないため比較不可。

②40 歳～64 歳

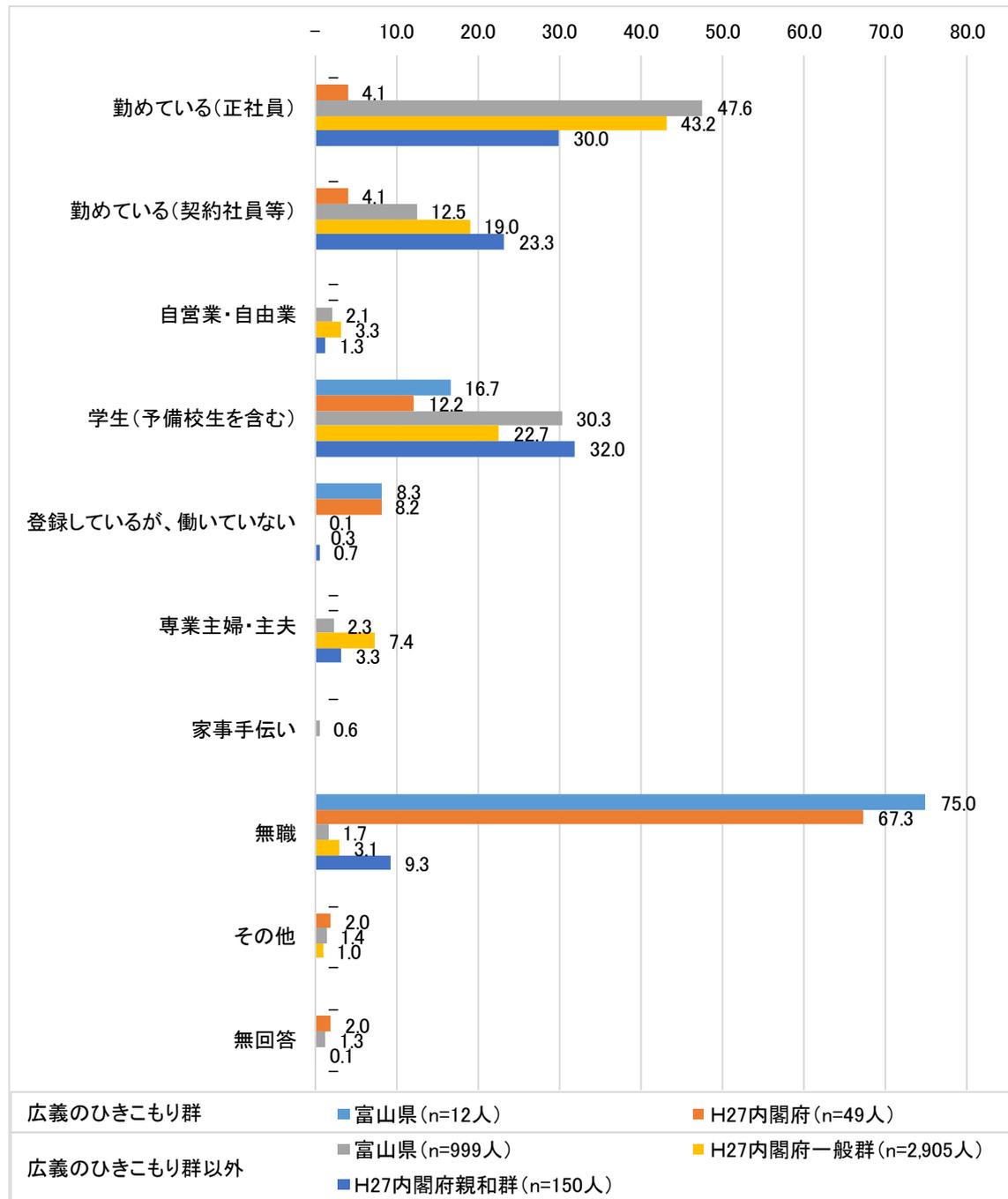


40 歳～64 歳をみると、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で 46.9%、広義のひきこもり群以外で 13.0%、「ニート（就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で 12.5%、広義のひきこもり群以外で 4.3%となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者の割合は、広義のひきこもり群で 34.4%、広義のひきこもり群以外で 71.9%となっている。H30 内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「中学生時の不登校」「高校生時の不登校」「大学生時等の不登校」の割合が高くなっている。

(6) 本人票 現在の就労・就学等の状況

Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



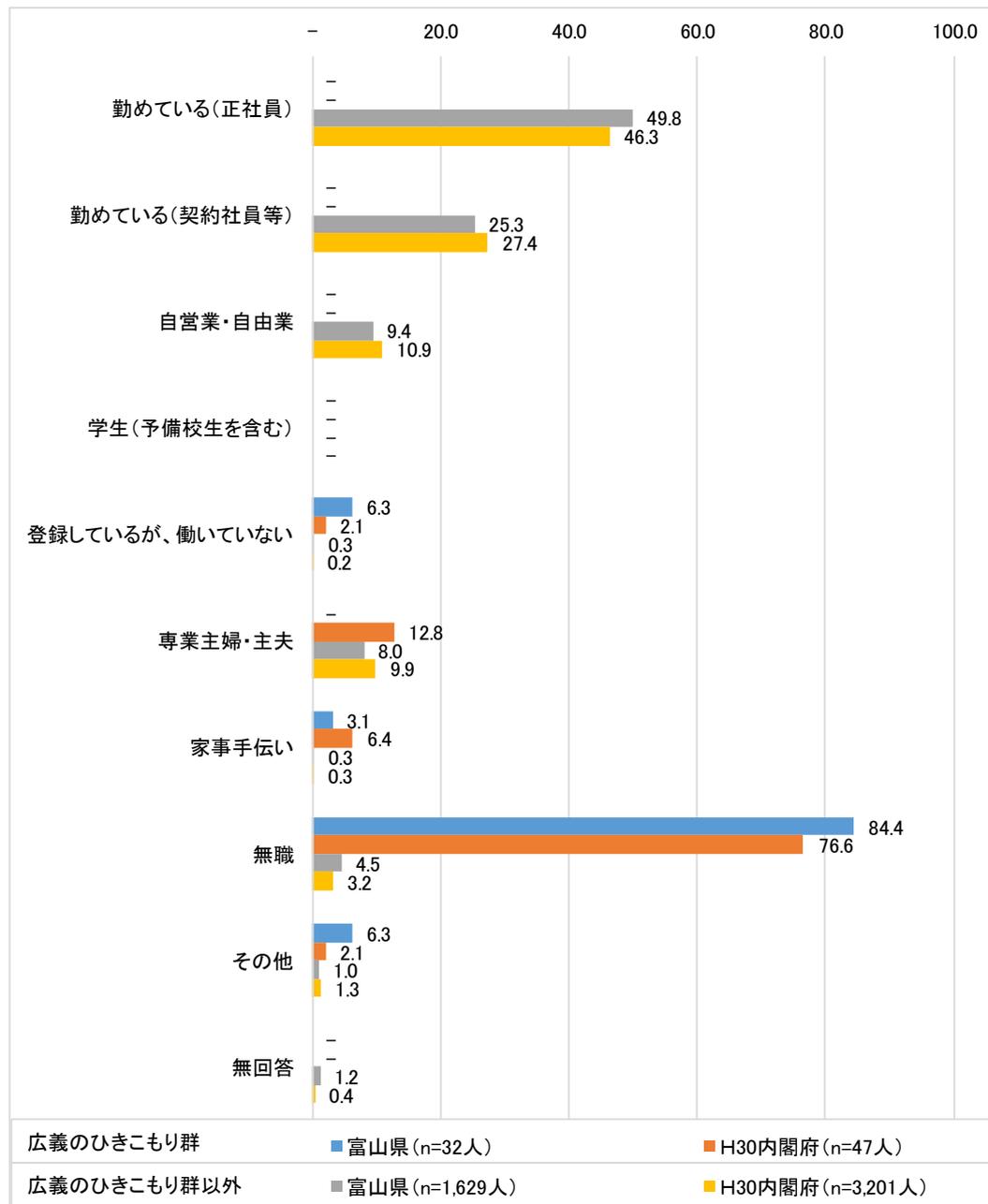
現在の就労・就学等の状況について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「勤めている（正社員）」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では47.6%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では12.5%、「自営業・自由業」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では2.1%、「学生」と答えた者は広義のひきこもり群で16.7%、広義のひきこもり群以外で30.3%、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」と答えた者の割合は広義のひ

きこもり群で8.3%、広義のひきこもり群以外で0.1%、「家事手伝い」と答えた者の割合は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外で0.6%、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で75.0%、広義のひきこもり群以外で1.7%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「無職」の割合が7.7ポイント高くなっている。

※平成27年度調査の回答選択肢について、表中では以下のようにした。

- ・ H27内閣府調査回答選択肢「専業主婦・主夫又は家事手伝い」  
→本調査回答選択肢「専業主婦・主夫」にまとめて記載

②40歳～64歳



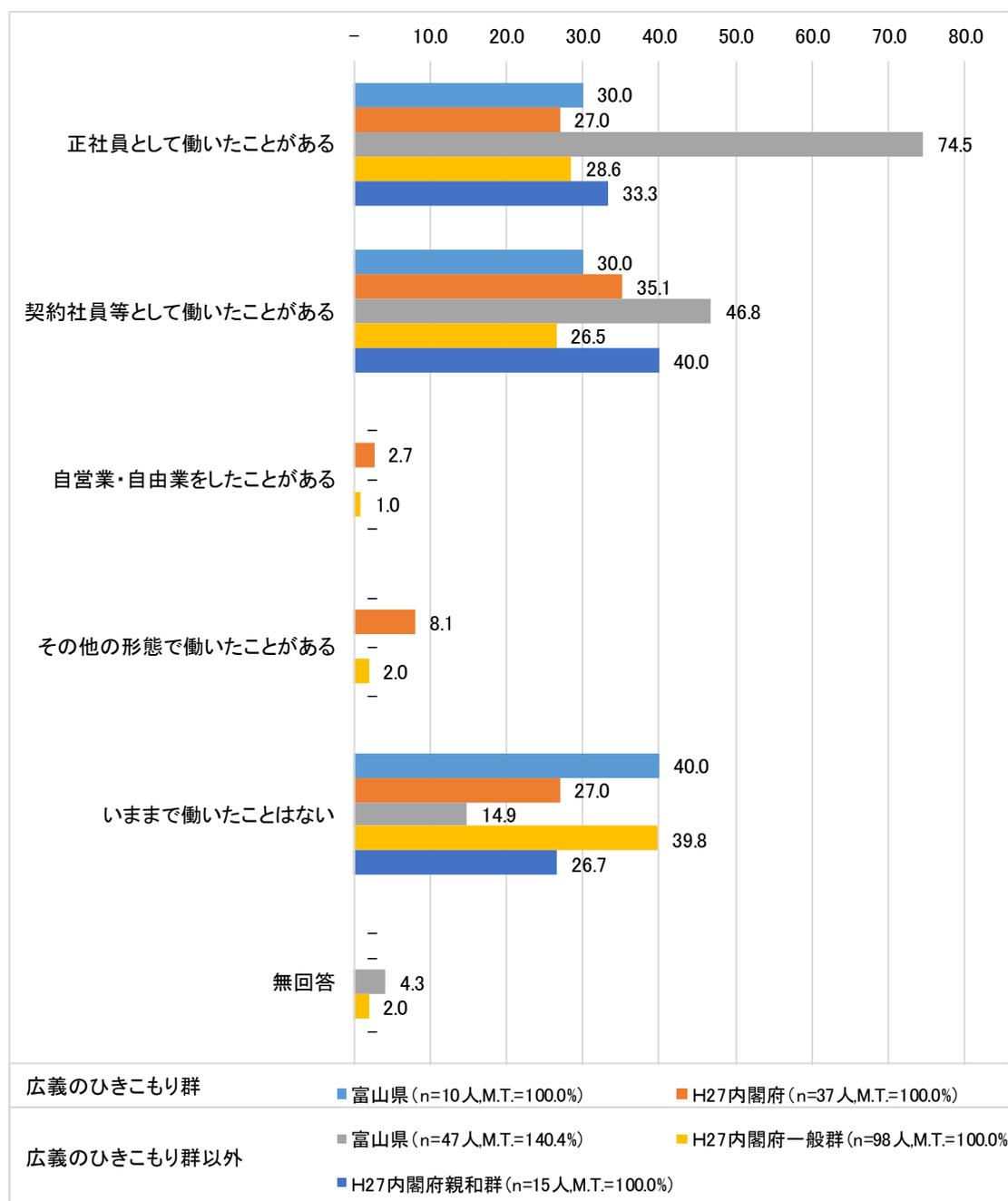
40歳～64歳をみると、「勤めている（正社員）」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では49.8%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では25.3%、「自営業・自由業」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では9.4%、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で6.3%、広義のひきこもり群以外で0.3%、「家事手伝い」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で3.1%、広義のひきこもり群以外で0.3%、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で84.4%、広義のひきこもり群以外で4.5%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「無職」の割合が7.8ポイント高くなっている。

(7) 本人票 働いた経験

【Q2で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

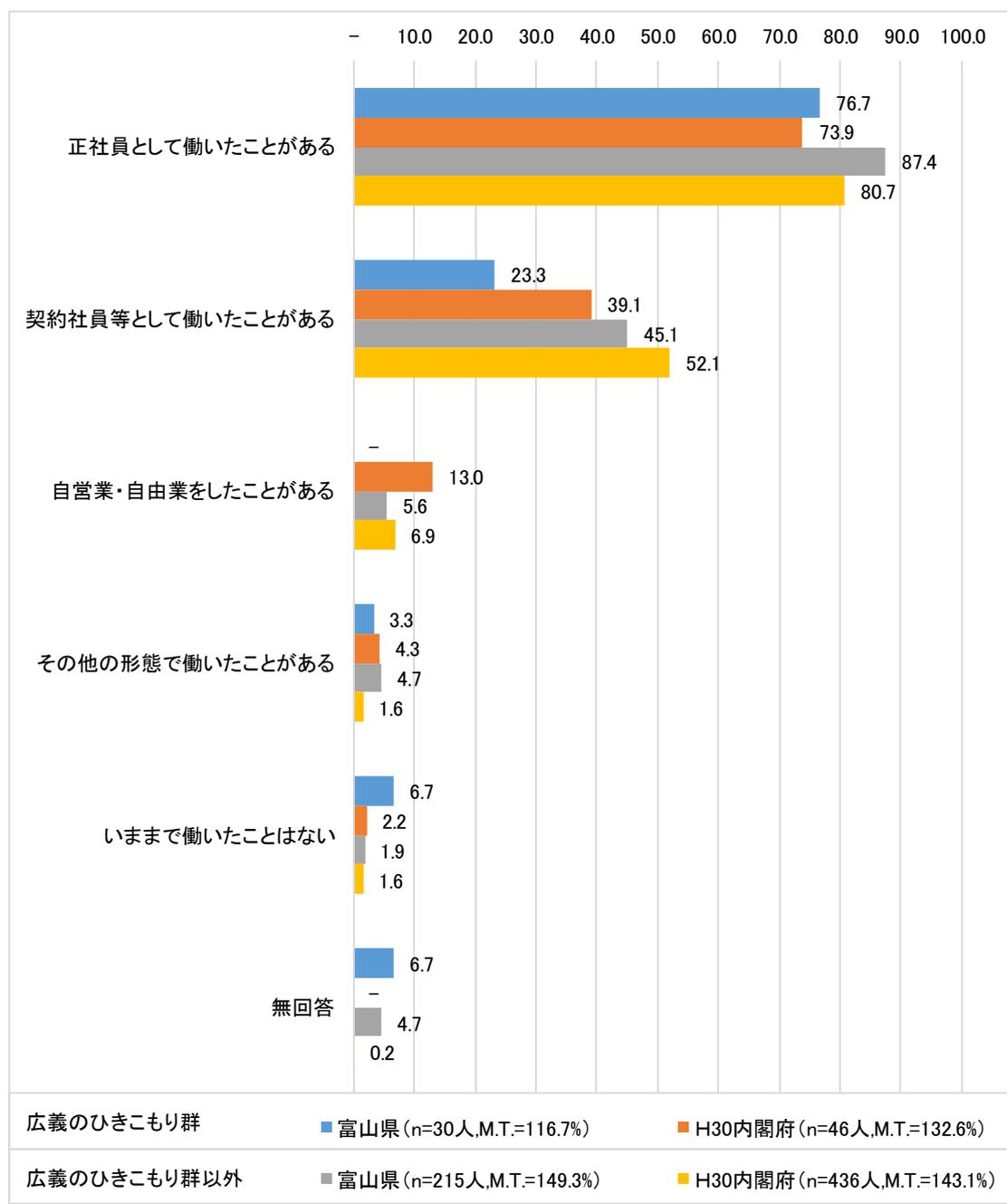
Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



これまでの就労・就学等の経験について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「正社員として働いたことがある」と答えた者は広義のひきこもり群で30.0%、広義のひきこもり群以外では74.5%、「契約社員等として働いたことがある」と答えた者は広義のひきこもり群で30.0%、広義のひきこもり群以外では46.8%、「いままで働いたことはない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で40.0%、広義のひきこもり群以外で14.9%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「いままで働いたことはない」の割合が13.0ポイント高くなっている。

②40歳～64歳



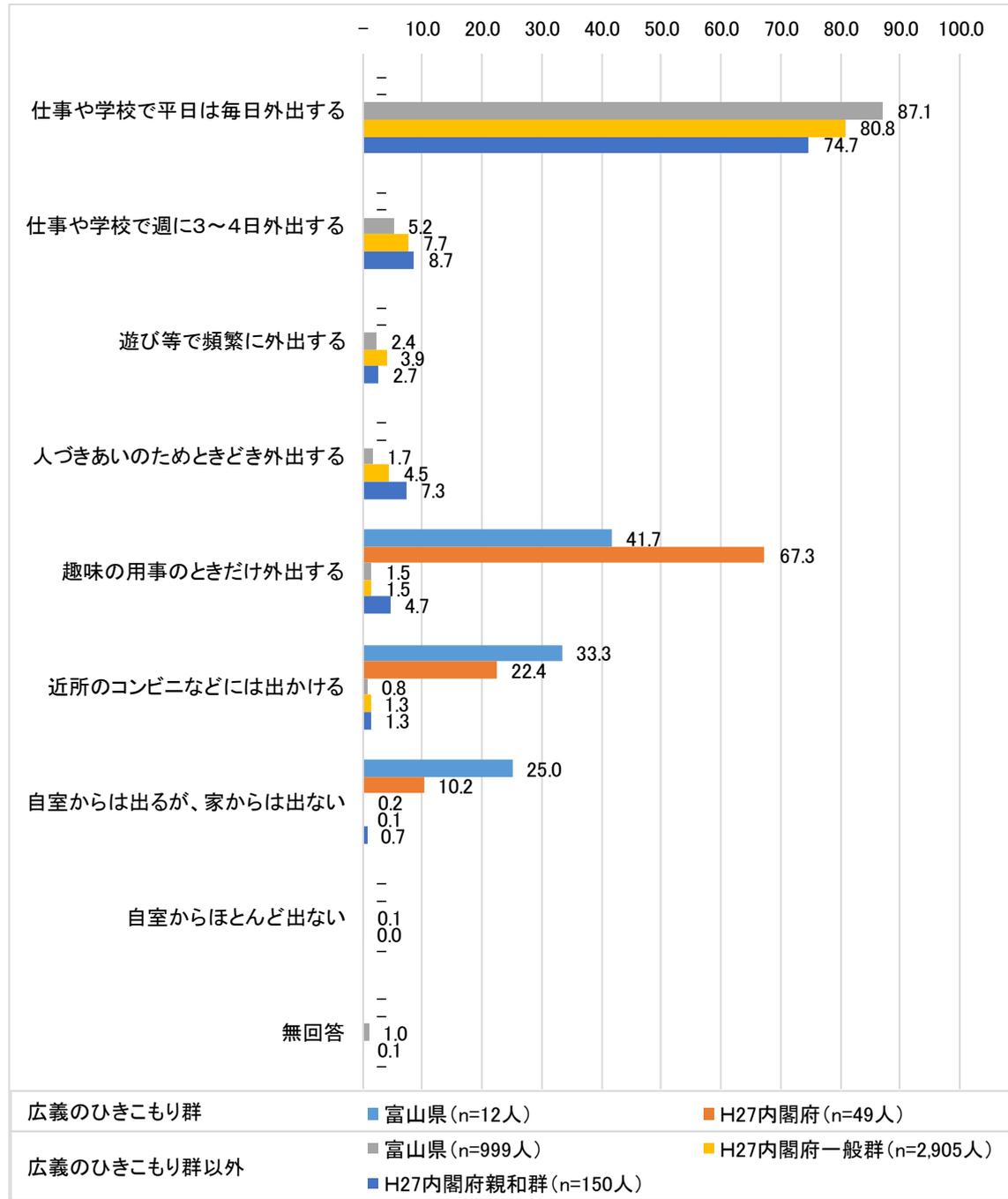
40歳～64歳をみると、「正社員として働いたことがある」と答えた者は広義のひきこもり群で76.7%、広義のひきこもり群以外では87.4%、「契約社員等として働いたことがある」と答えた者は広義のひきこもり群で23.3%、広義のひきこもり群以外では45.1%、「いままで働いたことはない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で6.7%、広義のひきこもり群以外で1.9%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「いままで働いたことはない」の割合が4.5ポイント高くなっている。

(8) 本人票 ふだんの外出頻度

【Q4はすべての方がお答えください。】

Q4 ふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

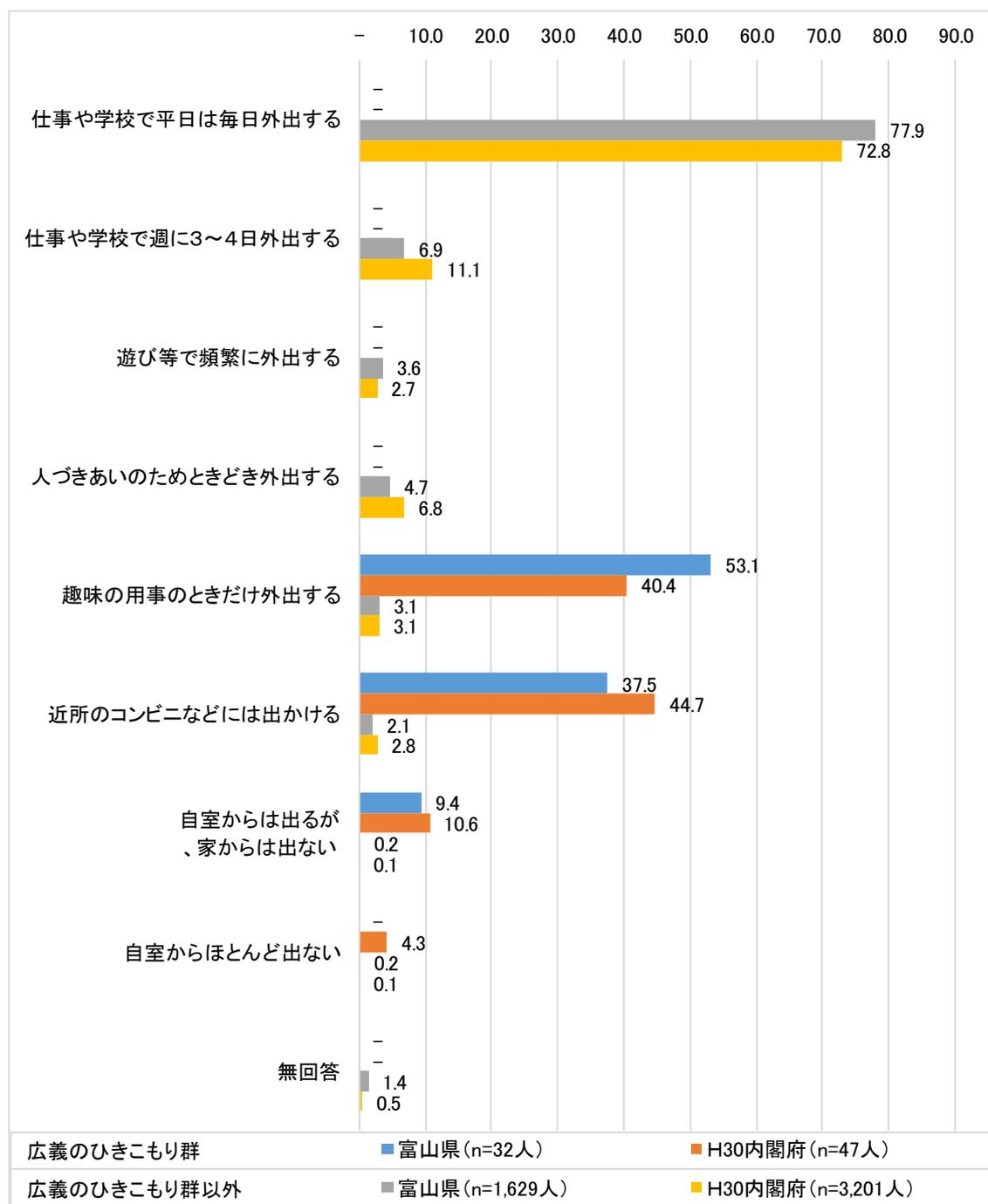
①15歳～39歳



ふだんの外出頻度について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では87.1%、「仕事や学校で週に3～4日外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では5.2%、「遊び等で頻繁に外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では2.4%、「人づきあいのためときどき外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、

広義のひきこもり群以外では1.7%、「趣味の用事の時だけ外出する」と答えた者は広義のひきこもり群で41.7%、広義のひきこもり群以外では1.5%、「近所のコンビニなどには出かける」と答えた者は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外では0.8%、「自室からは出るが家からはでない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で25.0%、広義のひきこもり群以外で0.2%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「自室からは出るが家からはでない」の割合が14.8ポイント高くなっている。

②40歳～64歳



40歳～64歳をみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では77.9%、「仕事や学校で週に3～4日外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では6.9%、「遊び等で頻繁に外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では3.6%、「人づきあいのためときどき外出する」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では4.7%、「趣味の用事のみときだけ外出する」と答えた者は広義のひきこもり群で53.1%、広義のひきこもり群以外では3.1%、「近所のコンビニなどには出かける」と答えた者は広義のひきこもり群で37.5%、広義のひきこもり群以外では2.1%、「自室からは出るが家からはでない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で

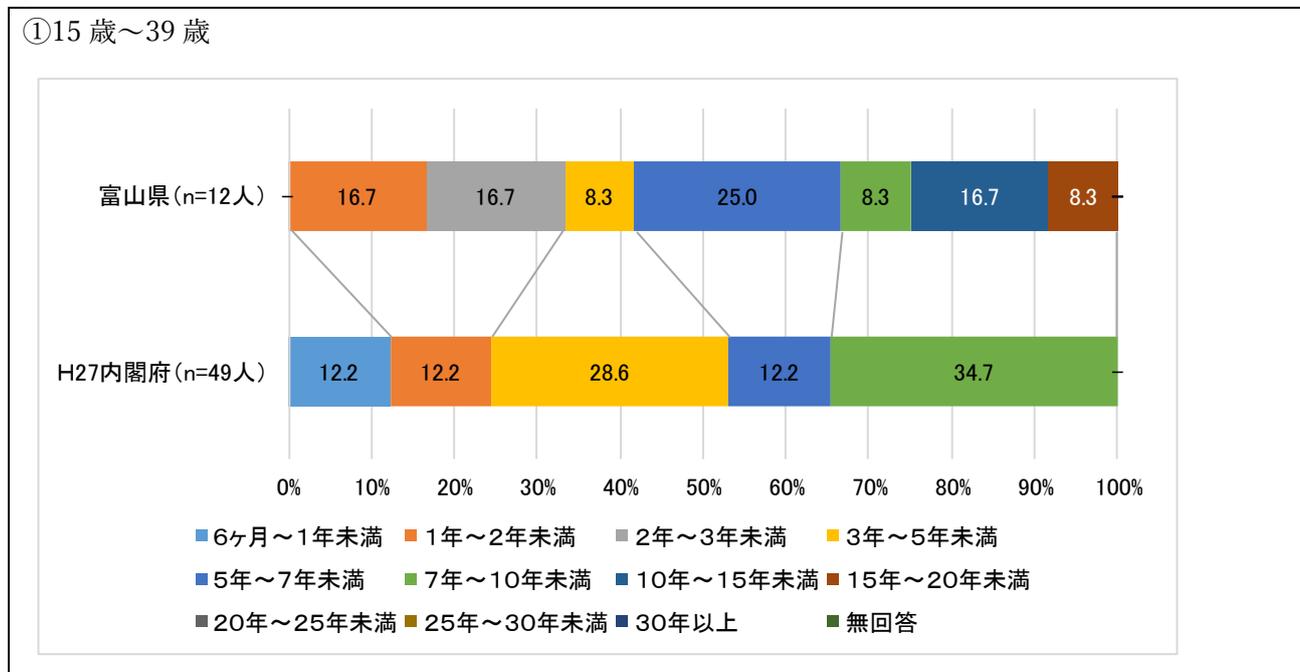
9.4%、広義のひきこもり群以外で0.2%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「趣味の用事の時だけ外出する」の割合が12.7ポイント高くなっている。

※本人票Q5～Q10は、本人票Q4において外出頻度が低かった者（本人票Q4において5～8を選択した者）のみが回答する項目となっている。

本報告書では、その中でも広義のひきこもり群に該当する者の結果について記載する。

(9) 本人票 ひきこもりの状態になってからの期間

Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

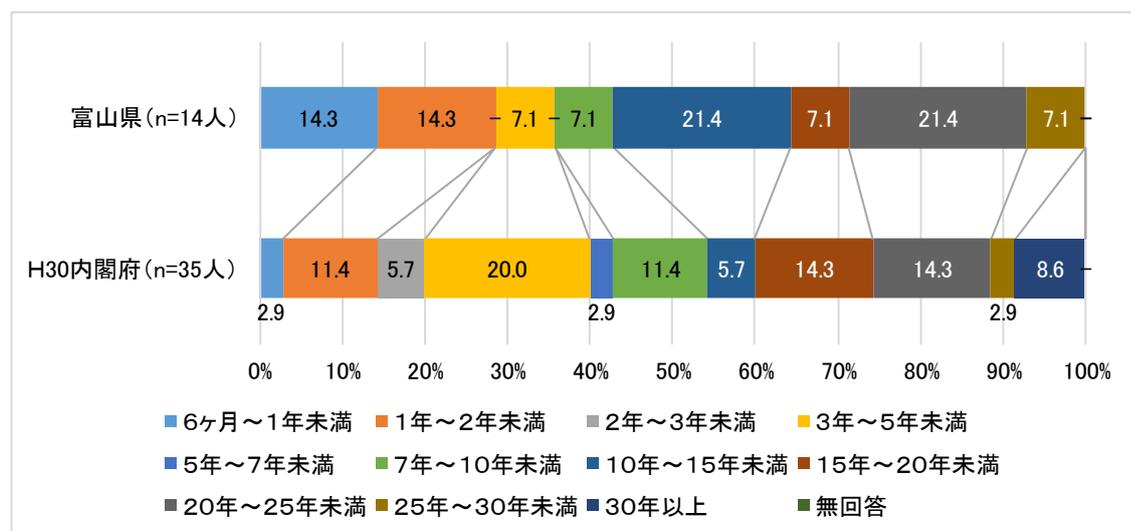


ひきこもりの状態になってからの期間について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「5年～7年未満」は25.0%、「1年～2年未満」「2年～3年未満」「10年～15年未満」は16.7%、「3年～5年未満」「7年～10年未満」「15年～20年未満」は8.3%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では5年以上ひきこもっていると答えた者の割合が11.4ポイント高くなっている。

※平成27年度調査の回答選択肢について、表中では以下のようにした。

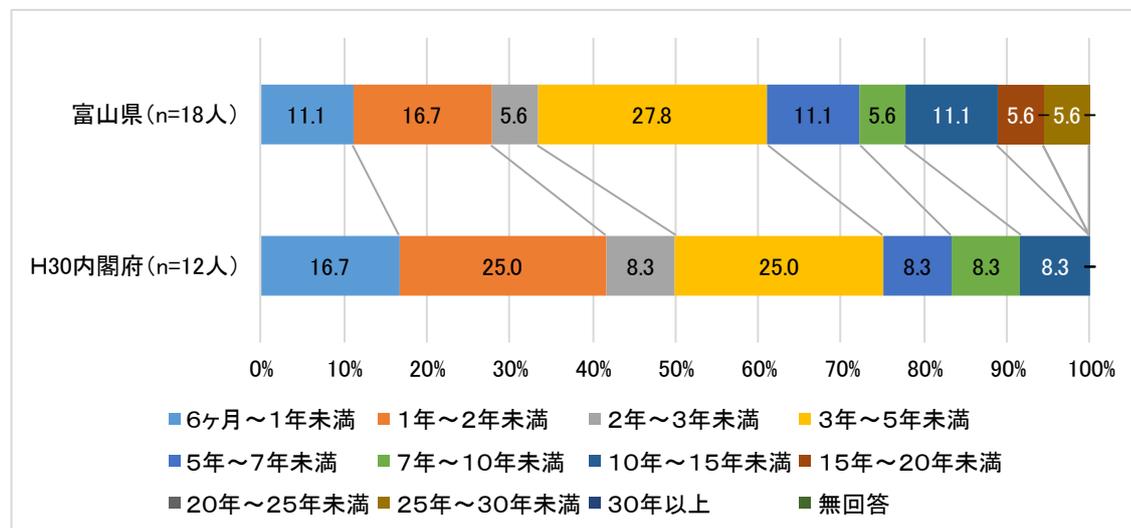
- ・ H27内閣府調査回答選択肢「1年～3年」  
→本調査回答選択肢「1年～2年未満」の凡例にまとめて記載
- ・ H27内閣府調査回答選択肢「7年以上」  
→本調査回答選択肢「7年～10年未満」の凡例にまとめて記載

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「10年～15年未満」「20年～25年未満」は21.4%、「6ヶ月～1年未満」「1年～2年未満」は14.3%、「3年～5年未満」「7年～10年未満」「15年～20年未満」「25年～30年未満」は7.1%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では7年以上ひきこもっていると答えた者の割合が6.9ポイント高くなっている。

③60歳～64歳

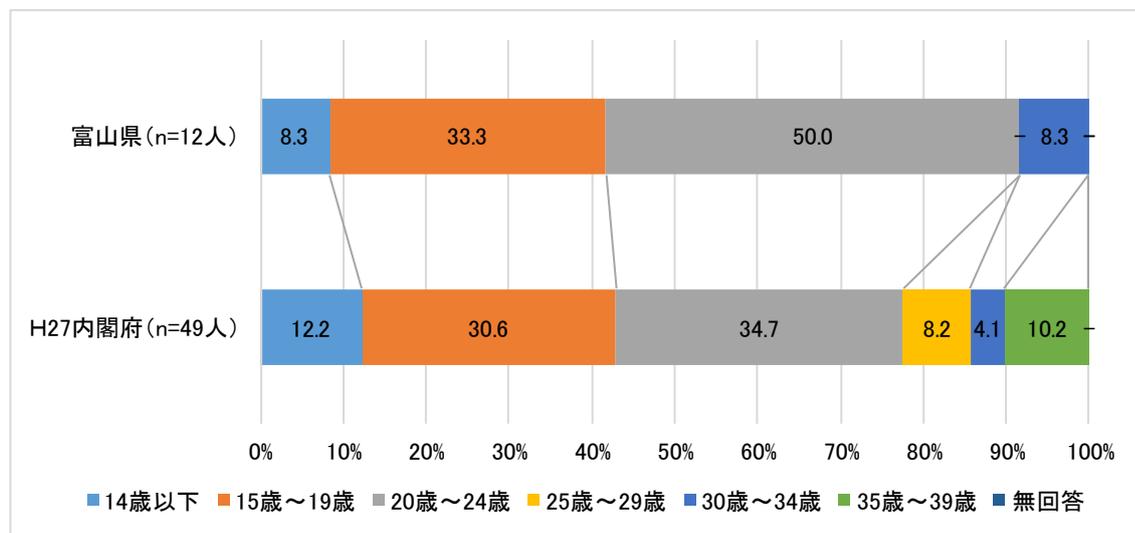


60歳～64歳をみると、「3年～5年未満」は27.8%、「1年～2年未満」は16.7%、「6ヶ月～1年未満」「5年～7年未満」「10年～15年未満」は11.1%、「2年～3年未満」「7年～10年未満」「15年～20年未満」「20年～25年未満」は5.6%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では3年以上ひきこもっていると答えた者の割合が16.7ポイント高くなっている。

(10) 本人票 初めてひきこもりの状態になった年齢

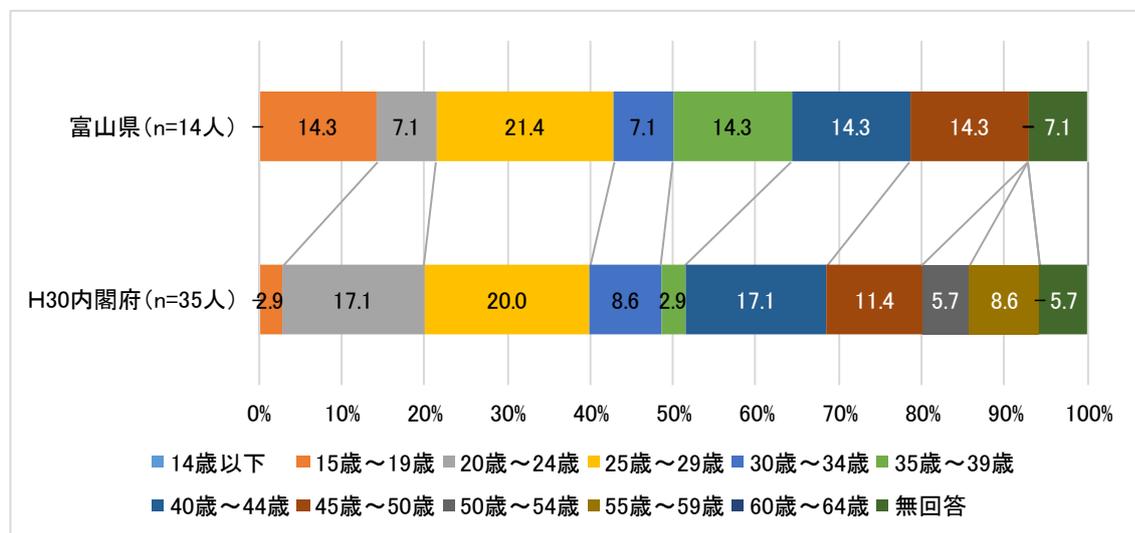
Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

①15歳～39歳



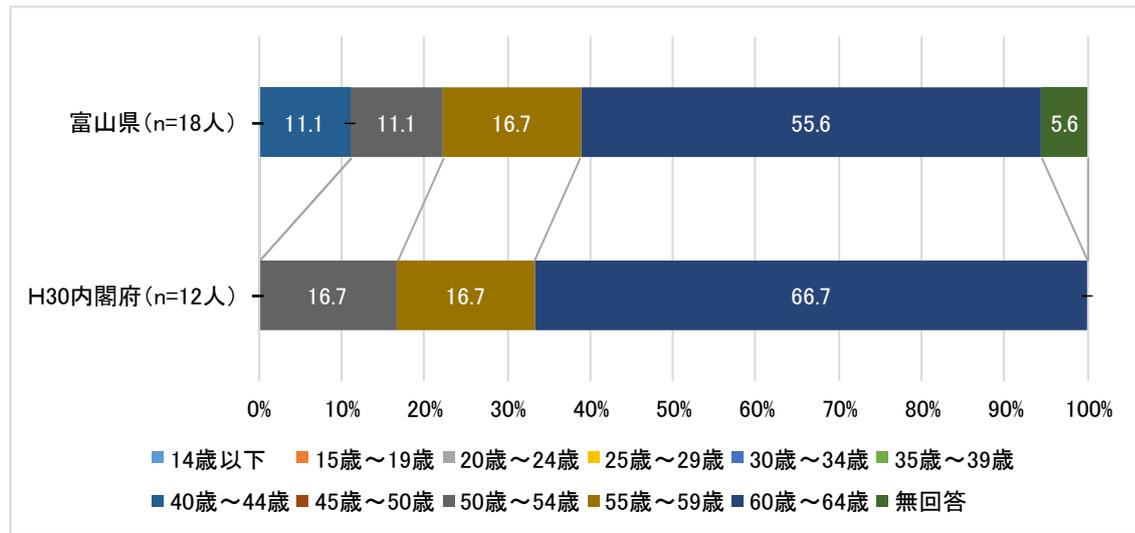
初めて現在の状態になったのは何歳の頃か聞いたところ、15歳～39歳をみると、「14歳以下」と答えた者の割合が8.3%、「15歳～19歳」が33.3%、「20歳～24歳」が50.0%、「30歳～34歳」が8.3%となっている。H27内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「20歳～24歳」の割合が15.3ポイント高くなっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「14歳以下」と答えた者はおらず、「15歳～19歳」が14.3%、「20歳～24歳」が7.1%、「25歳～29歳」が21.4%、「30歳～34歳」が7.1%、「35歳～39歳」が14.3%、「40歳～44歳」が14.3%、「45歳～50歳」が14.3%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「15歳～19歳」「35歳～39歳」の割合が11.4ポイント高くなっている。

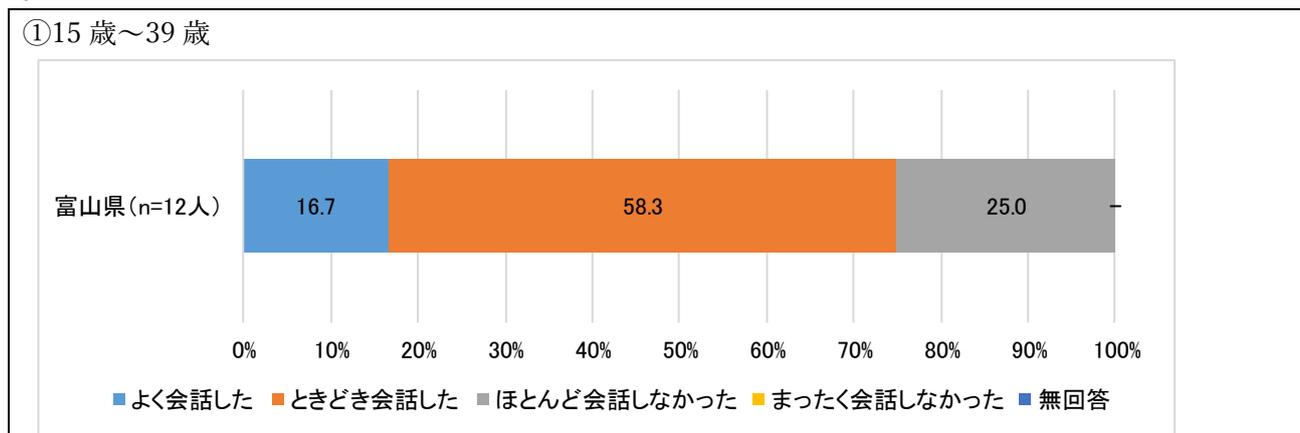
③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「40歳～44歳」が11.1%、「50歳～54歳」が11.1%、「55歳～59歳」が16.7%、「60歳～64歳」が55.6%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「60歳～64歳」の割合が11.1ポイント低くなっている。

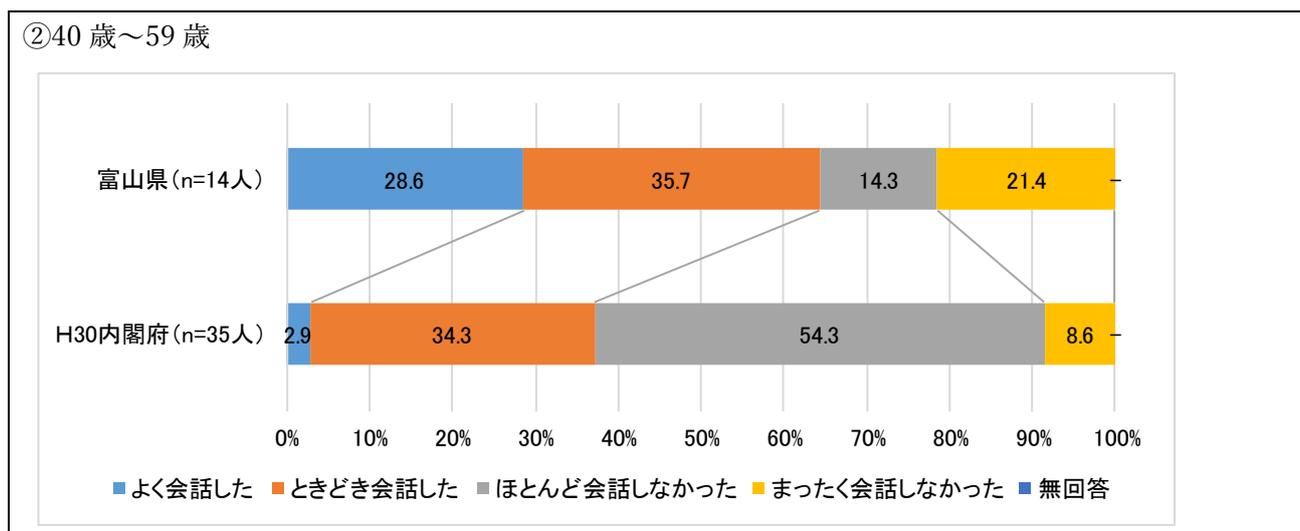
(11) 本人票 家族以外との会話の状況

Q7 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)



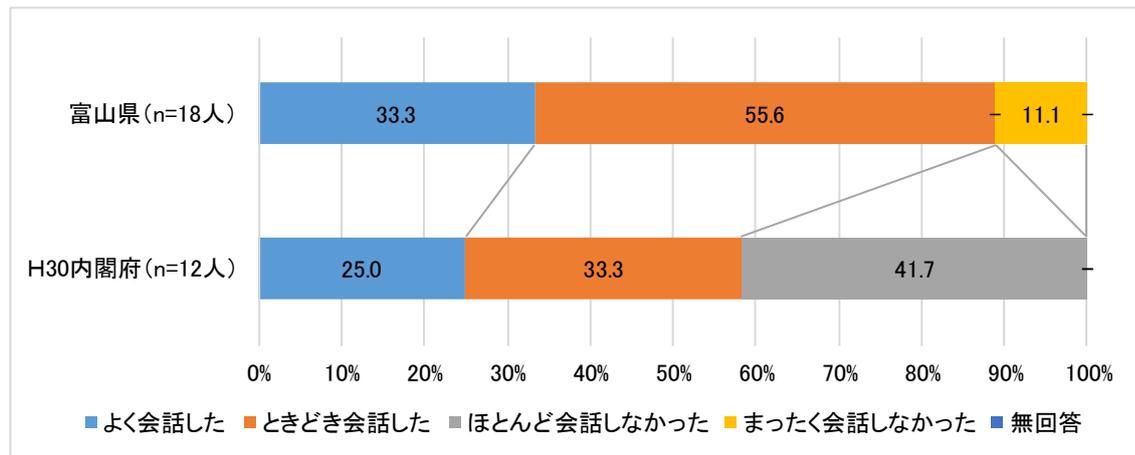
最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「よく会話した」と答えた者の割合は16.7%、「ときどき会話した」は58.3%、「ほとんど会話しなかった」は25.0%となっている。

※平成27年度内閣府調査では、同設問がないため比較不可。



40歳～59歳をみると、「よく会話した」と答えた者の割合は28.6%、「ときどき会話した」は35.7%、「ほとんど会話しなかった」は14.3%、「まったく会話しなかった」は21.4%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「よく会話した」の割合が25.7ポイント高くなっている。

③60歳～64歳

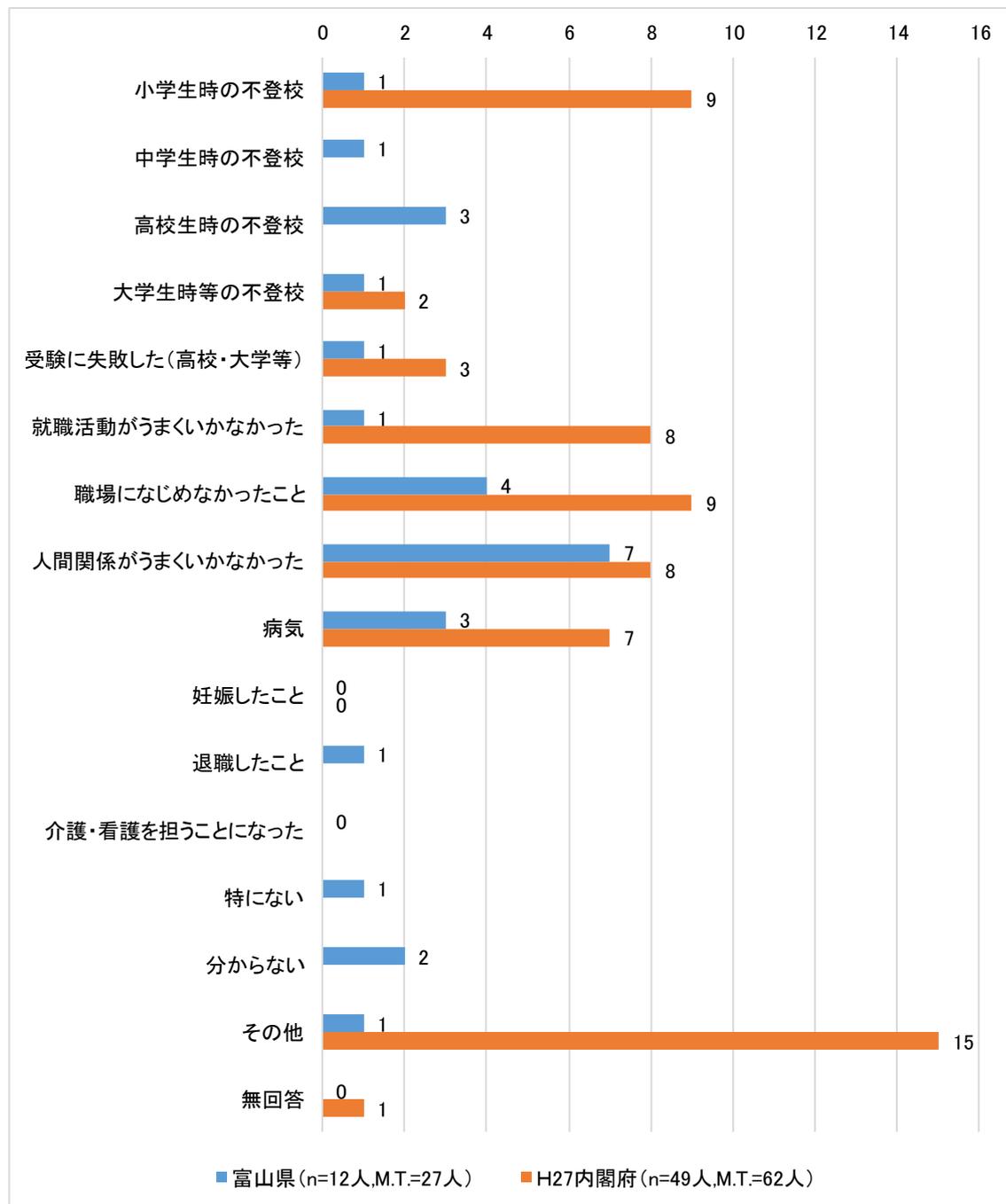


60歳～64歳をみると、「よく会話した」と答えた者の割合は33.3%、「ときどき会話した」は55.6%、「まったく会話しなかった」は11.1%となっている。H30内閣府調査と比べると、富山県の広義のひきこもり群では「よく会話した」の割合は8.3ポイント、「ときどき会話した」の割合は22.3ポイント高くなっている。

(12) 本人票 ひきこもりの状態になったきっかけ

Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



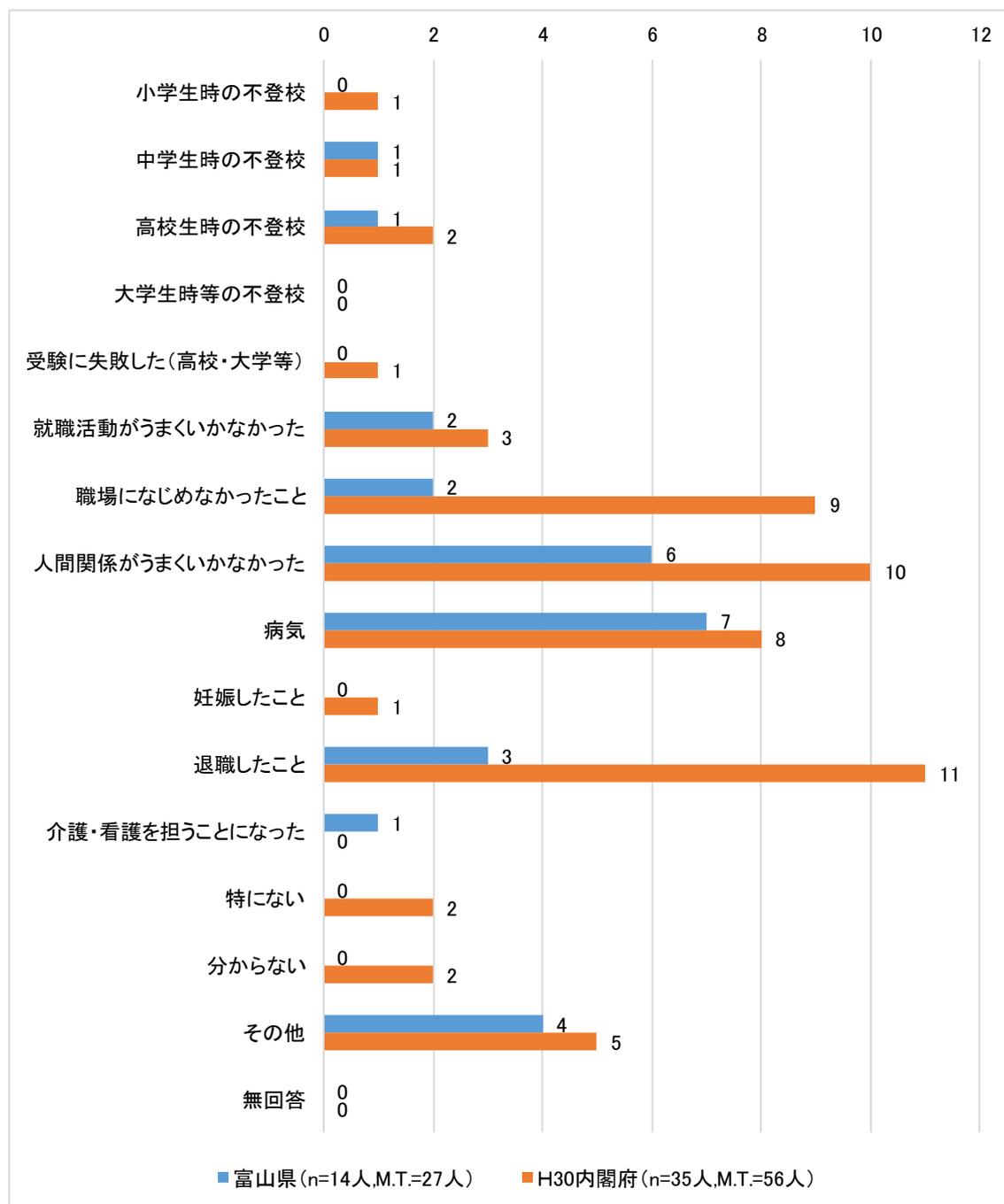
現在の状態になったきっかけを聞いたところ、15歳～39歳をみると、「人間関係がうまくいかなかった」と答えた者が7人と最も多く、次いで「職場になじめなかったこと」4人、「病気」「高校生時の不登校」3人となっている。

※平成27年度調査の回答選択肢について、表中では以下のようにした。

- ・ H27内閣府調査回答選択肢「不登校 (小学校・中学校・高校)」  
→本調査回答選択肢「小学生時の不登校」にまとめて記載

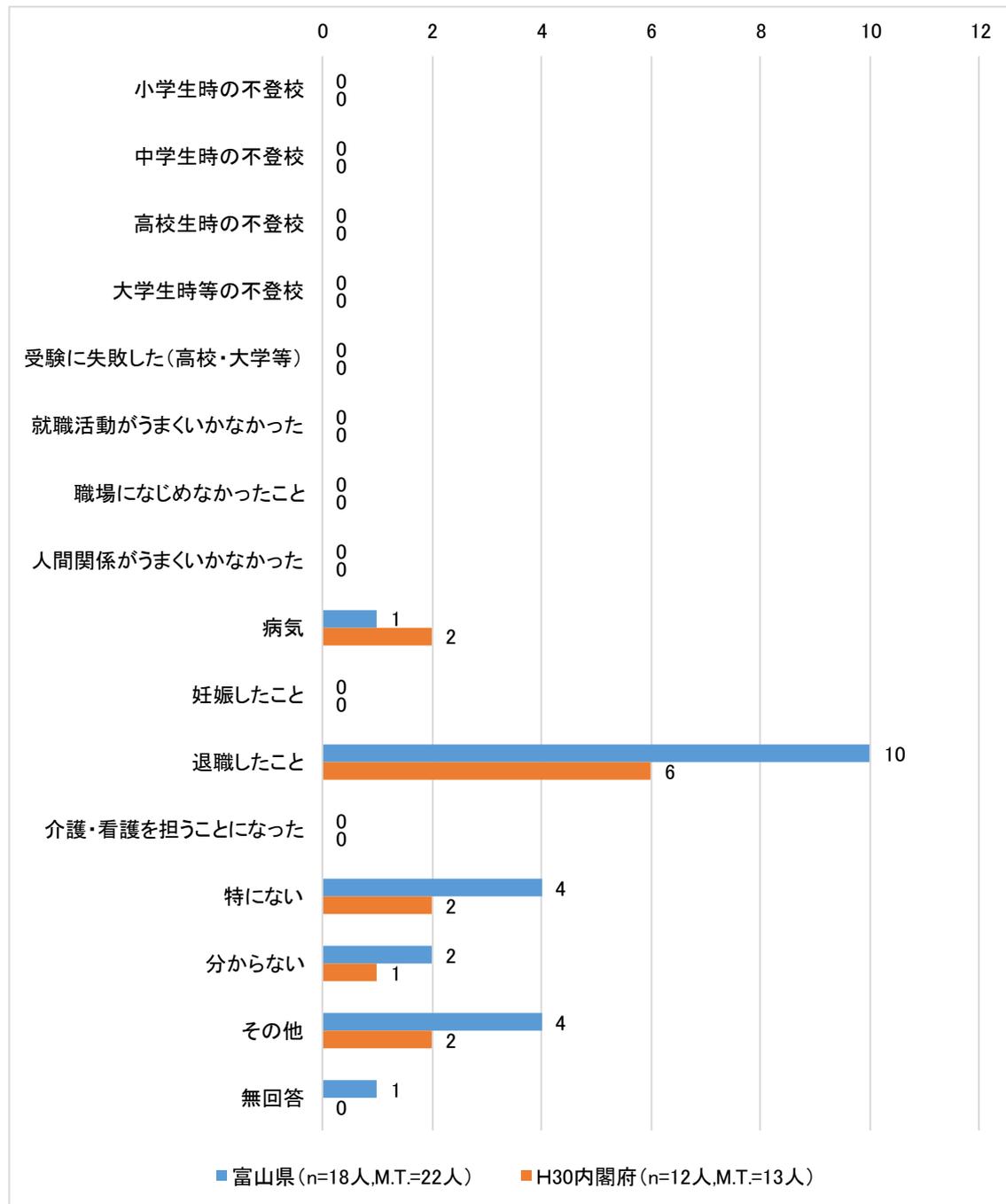
- ・ H27内閣府調査回答選択肢「大学になじめなかった」  
→本調査回答選択肢「大学生時等の不登校」に記載
- ・ H27内閣府調査回答選択肢には、本調査回答選択肢の「退職したこと」、「介護・看護を担うことになった」、「特にない」、「わからない」はない。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「病気」と答えた者が7人と最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかった」6人、「退職したこと」3人となっている。

③60歳～64歳

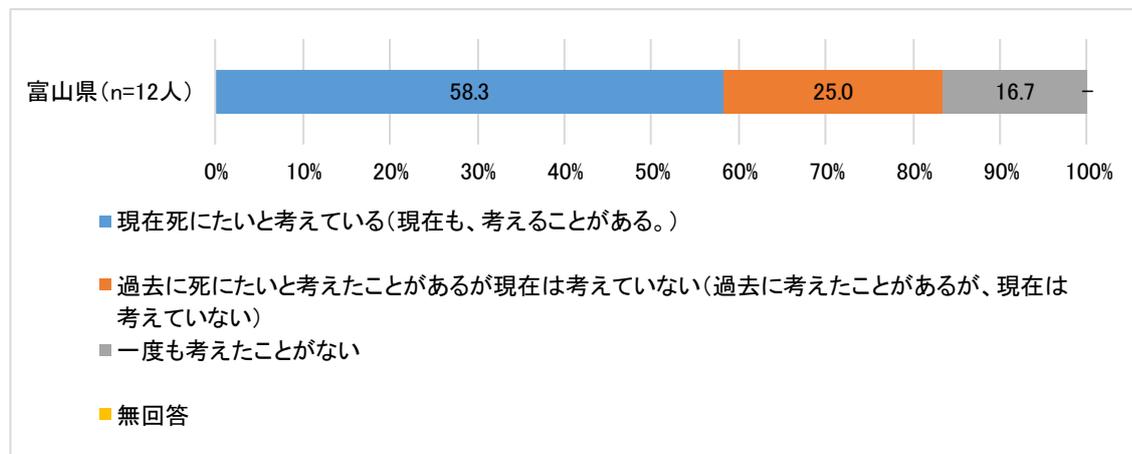


60歳～64歳をみると、「退職したこと」と答えた者が10人と最も多く、次いで「特にない」4人、「病気」1人となっている。

(13) 本人票 自殺に対する考え

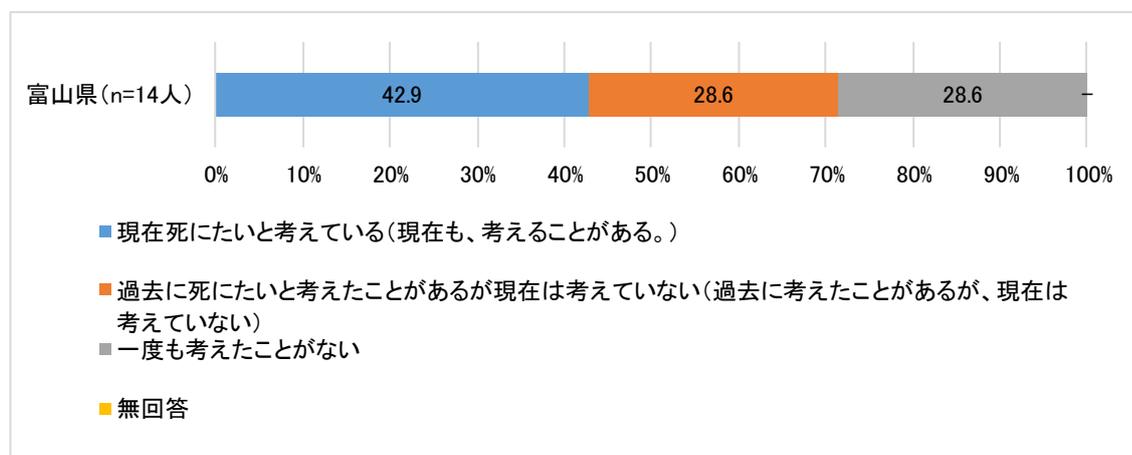
Q9 現在の状態になってから、あなたは死にたい（逃げ出したい）と考えたことがありますか。

①15歳～39歳



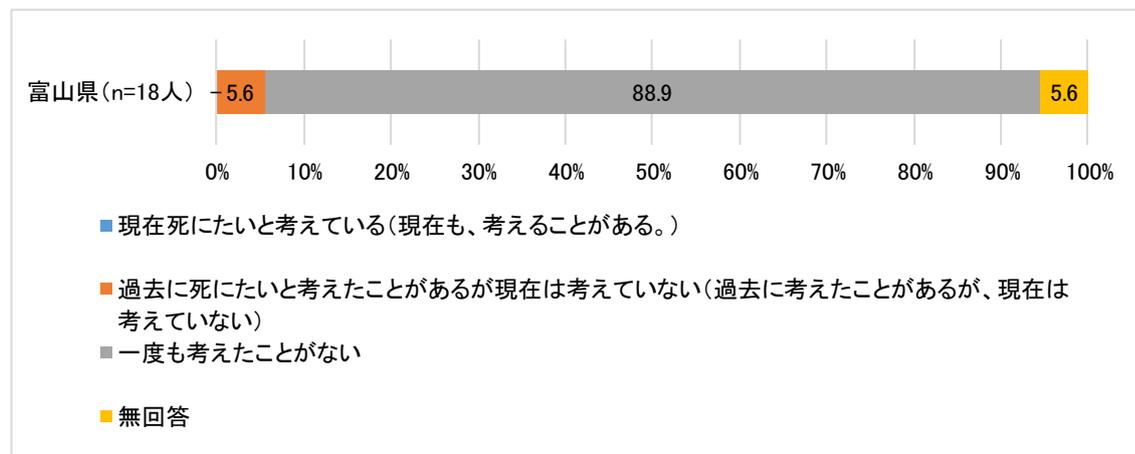
現在の状態になってから、死にたい（逃げ出したい）と考えたことがあるか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「現在死にたいと考えている（現在も、考えることがある。）」と答えた者の割合は58.3%、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない（過去に考えたことがあるが、現在は考えていない）」は25.0%、「一度も考えたことがない」は16.7%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「現在死にたいと考えている（現在も、考えることがある。）」と答えた者の割合は42.9%、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない（過去に考えたことがあるが、現在は考えていない）」は28.6%、「一度も考えたことがない」は28.6%となっている。

③60歳～64歳



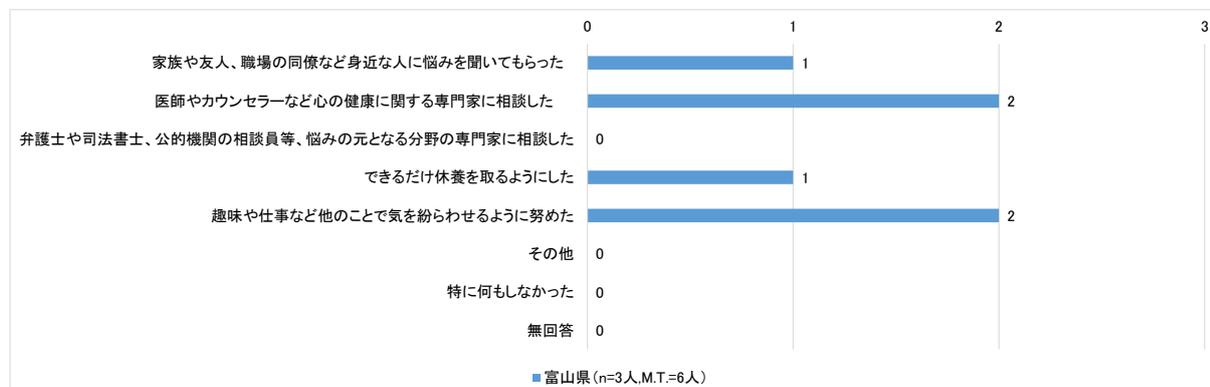
60歳～64歳をみると、「現在死にたいと考えている（現在も、考えることがある。）」と答えた者はおらず、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない（過去に考えたことがあるが、現在は考えていない）」と答えた者の割合は5.6%、「一度も考えたことがない」は88.9%となっている。

(14) 本人票 自殺を考えた時の乗り越え方

【Q9で「1. 3」に○をつけた方は、Q15にお進みください。「2」に○をつけた方は、Q10にお答えください。】

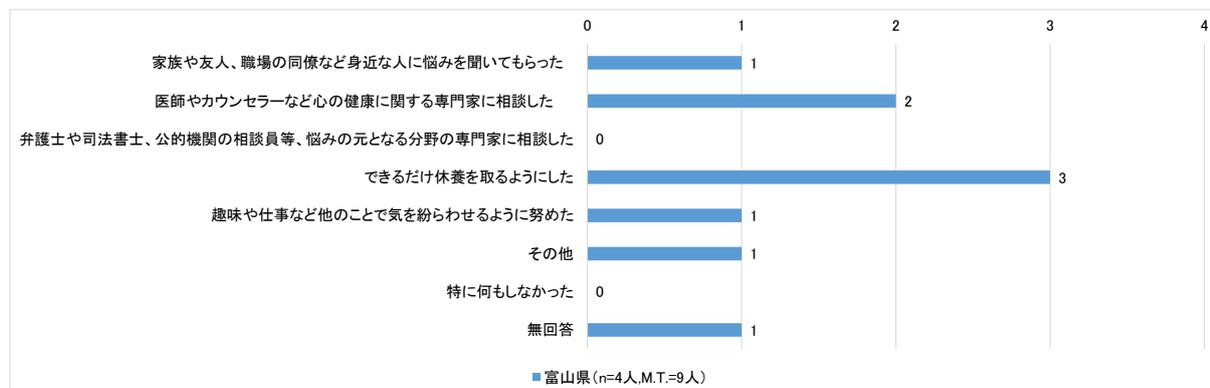
Q10 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



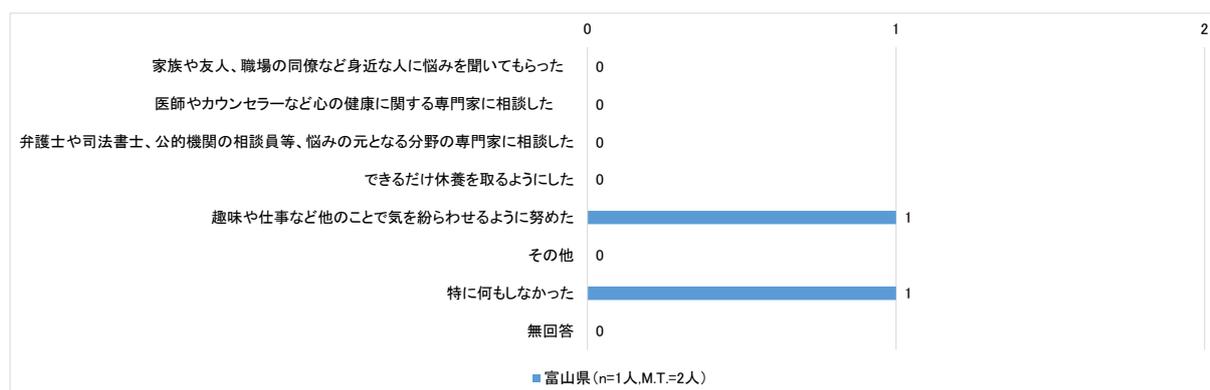
自殺を考えたときにどのように乗り越えたかを聞いたところ、15歳～39歳をみると、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」と答えた者はそれぞれ2人、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」、「できるだけ休養をとるようにした」は1人となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「できるだけ休養を取るようにした」と答えた者は3人、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」は2人、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」はそれぞれ1人となっている。

### ③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」、「特に何もしなかった」と答えた者はそれぞれ1人となっている。

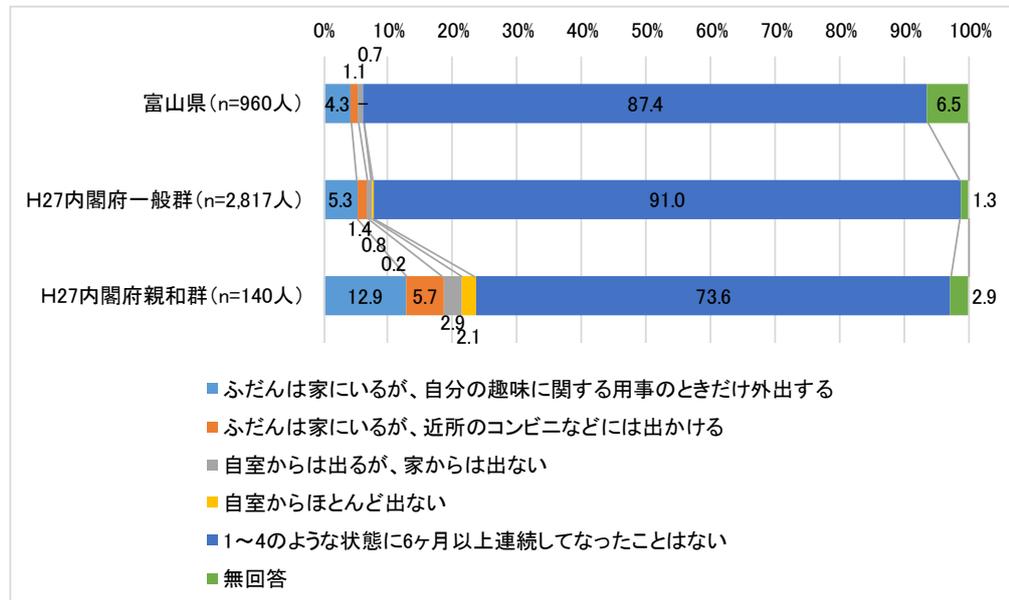
(15) 本人票 過去の外出頻度

【Q4 で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q11 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

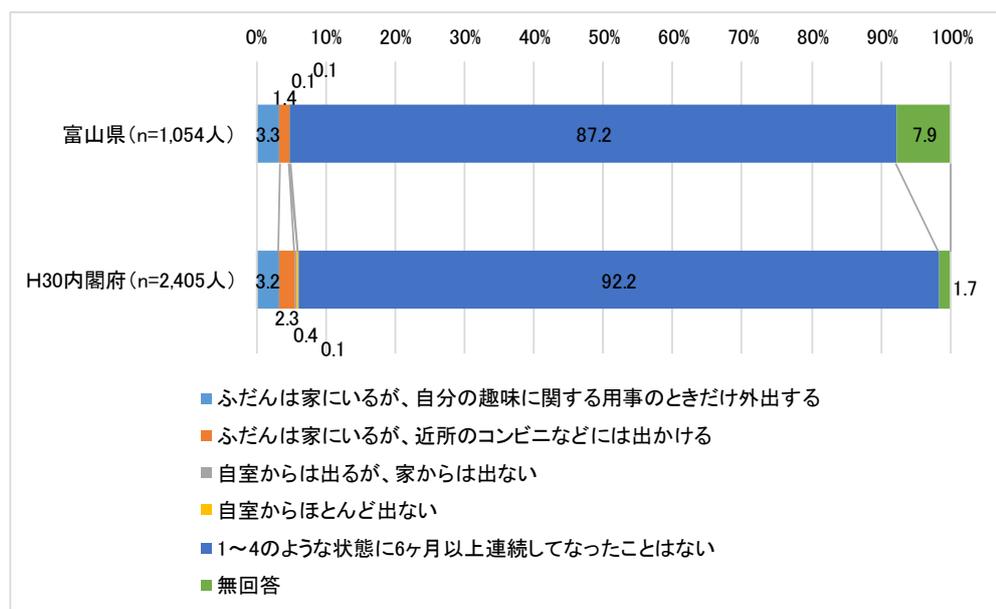
(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



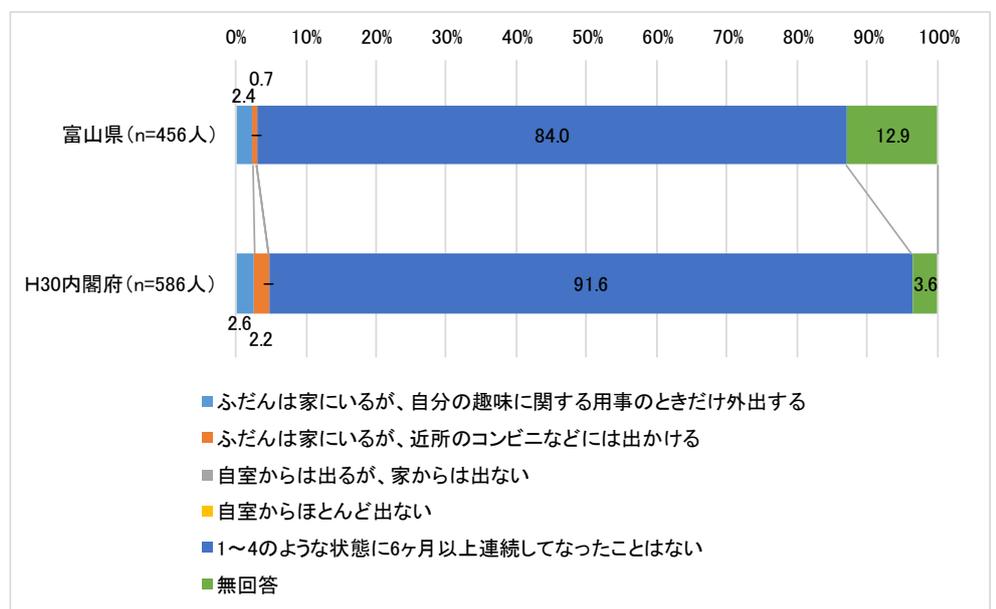
過去の外出頻度について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」と答えた者は4.3%、「近所のコンビニなどには出かける」は1.1%、「自室からは出るが家からはでない」は0.7%となっている。H27内閣府調査と比べると、同程度の割合となっている。

### ②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と答えた者は3.3%、「近所のコンビニなどには出かける」は1.4%、「自室からは出るが家からはでない」、「自室からほとんど出ない」は0.1%となっている。H30内閣府調査と比べると、同程度の割合となっている。

### ③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と答えた者は2.4%、「近所のコンビニなどには出かける」は0.7%となっている。H30内閣府調査と比べると、同程度の割合となっている。

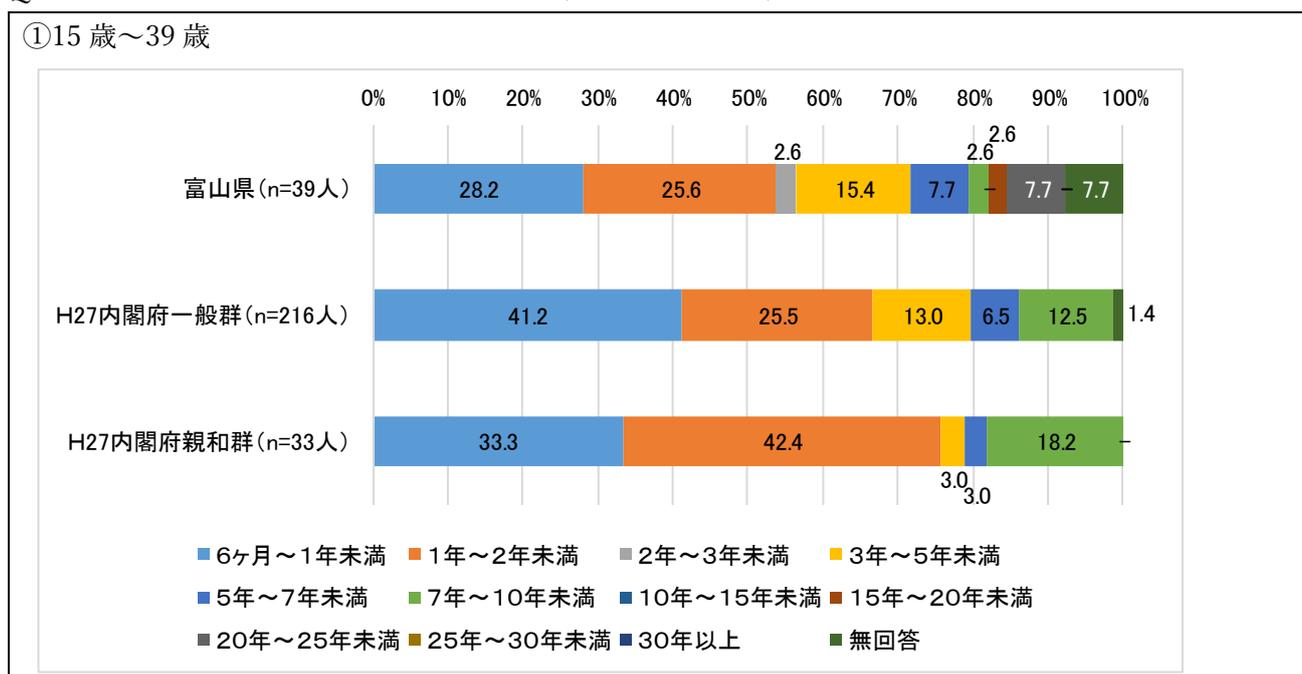
※本人票Q11～Q14は、本人票Q4において外出頻度が高かった者（本人票Q4において1～4を選択した者）のみが回答する項目となっている。

本報告書ではその中でも過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群に該当する者の結果について記載する。

(16) 本人票 過去にひきこもりの状態だった期間

【Q11で「1～4」に○をつけた方は、Q12～Q14にお答えください。「5」に○をつけた方は、Q15にお進みください。】

Q12 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)



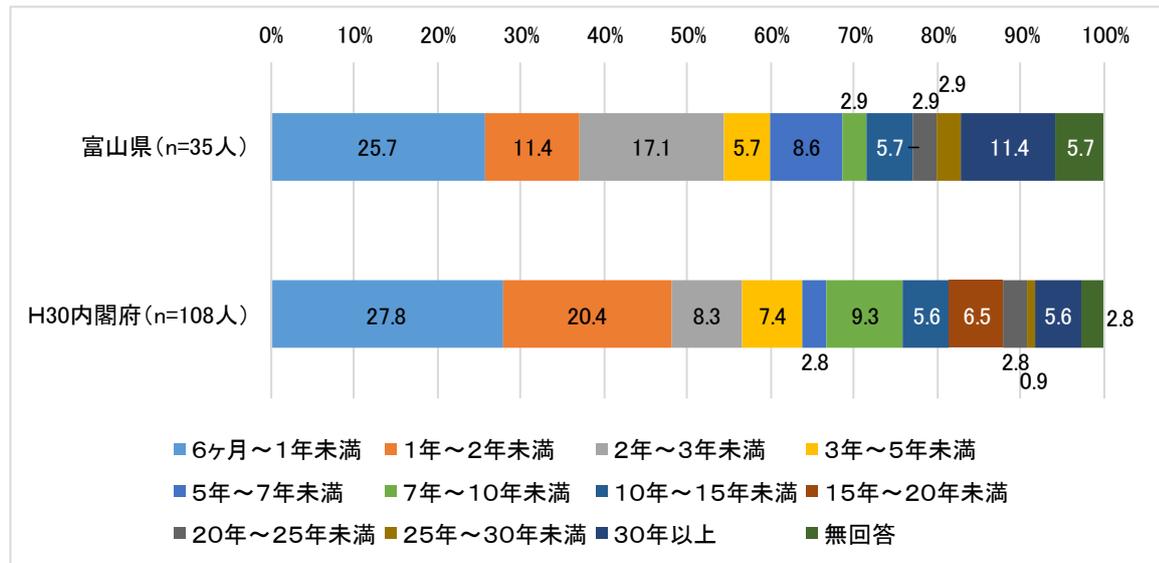
過去のひきこもり状態の継続期間について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「6ヶ月～1年未満」と答えた者の割合は28.2%、「1年～2年未満」は25.6%、「2年～3年未満」は2.6%、「3年～5年未満」は15.4%、「5年～7年未満」は7.7%、「7年～10年未満」が2.6%、「15年～20年未満」は2.6%、「20年～25年未満」は7.7%となっている。

H27内閣府調査と比べると、2年以上ひきこもっていた者の割合が高くなっている。

※平成27年度調査の回答選択肢について、表中では以下のようにした。

- ・ H27内閣府調査回答選択肢「1年～3年」  
→本調査回答選択肢「1年～2年未満」の凡例にまとめて記載
- ・ H27内閣府調査回答選択肢「7年以上」  
→本調査回答選択肢「7年～10年未満」の凡例にまとめて記載

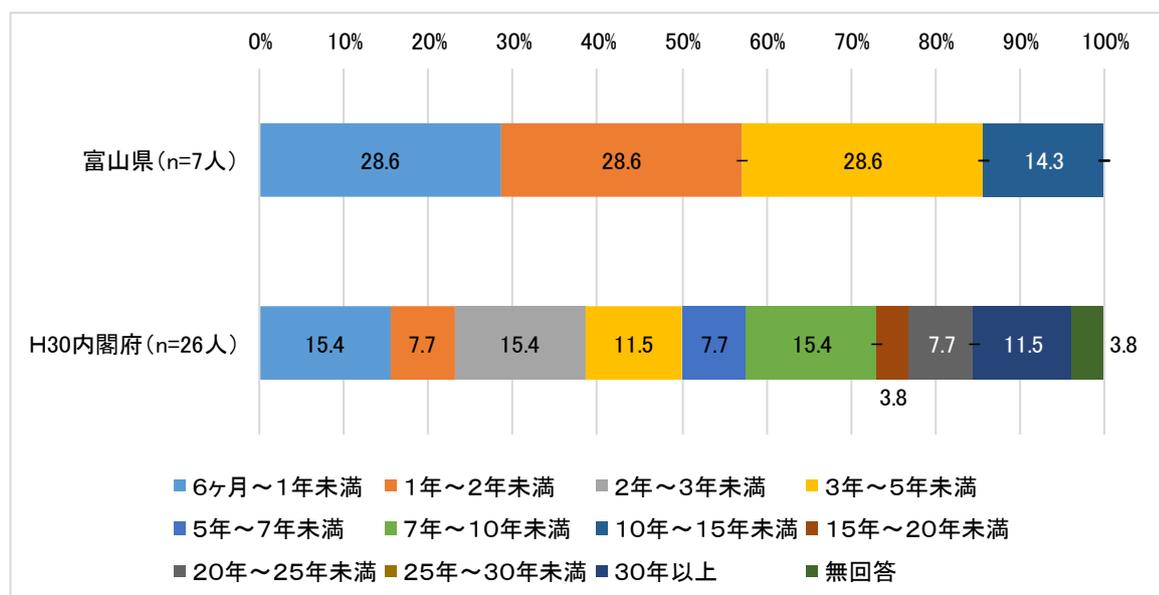
②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「6ヶ月～1年未満」と答えた者の割合は25.7%、「1年～2年未満」は11.4%、「2年～3年未満」は17.1%、「3年～5年未満」は5.7%、「5年～7年未満」は8.6%、「7年～10年未満」が2.9%、「10年～15年未満」は5.7%、「20年～25年未満」、「25年～30年未満」は2.9%、「30年以上」は11.4%となっている。

H30内閣府調査と比べると、2年以上ひきこもっていた者の割合が高く、「30年以上」では5.8ポイント高くなっている。

③60歳～64歳

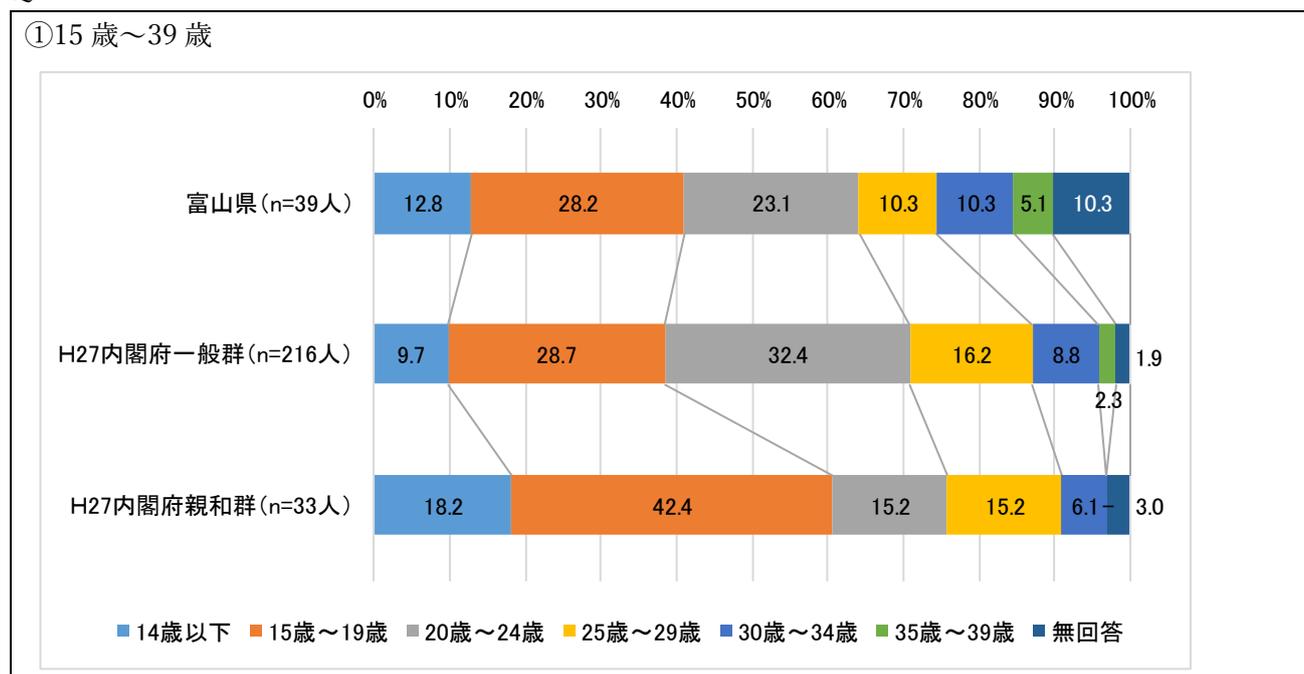


60歳～64歳をみると、「6ヶ月～1年未満」、「1年～2年未満」、「3年～5年未満」と答えた者の割合は28.6%、「10年～15年未満」は14.3%となっている。

H30内閣府調査と比べると、5年未満の割合が高くなっている。

(17) 本人票 過去に初めてひきこもりの状態になった年齢

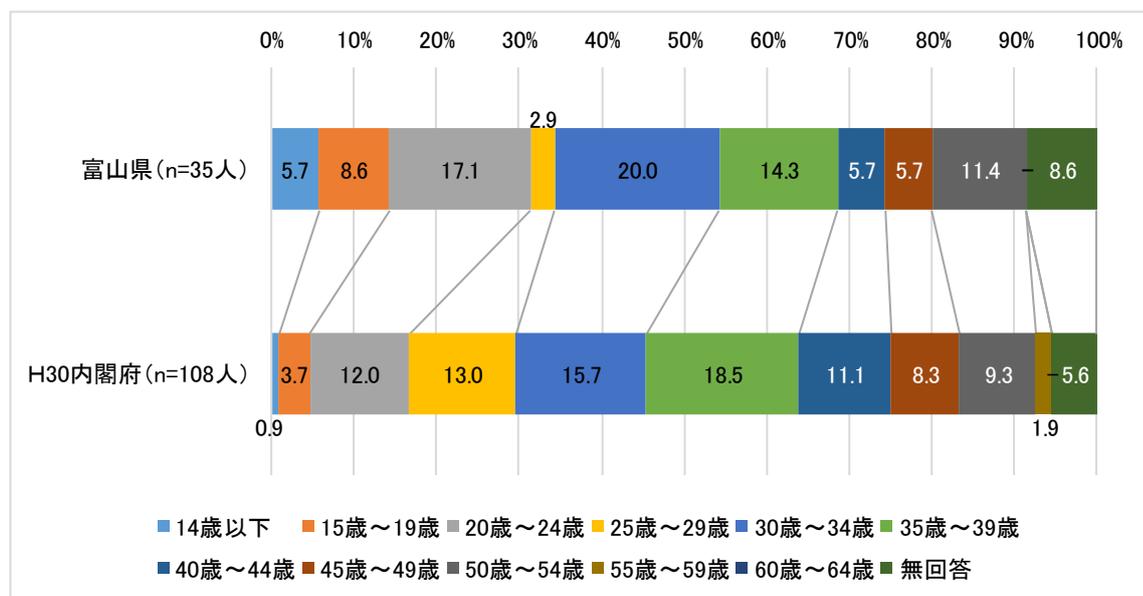
Q13 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)



過去に初めてひきこもりの状態になった年齢について聞いたところ、15歳～39歳では、「14歳以下」と答えた者の割合は12.8%、「15歳～19歳」は28.2%、「20歳～24歳」は23.1%、「25歳～29歳」、「30歳～34歳」は10.3%、「35歳～39歳」は5.1%となっている。

H27内閣府調査と比べると、25歳以上の割合が高くなっている。

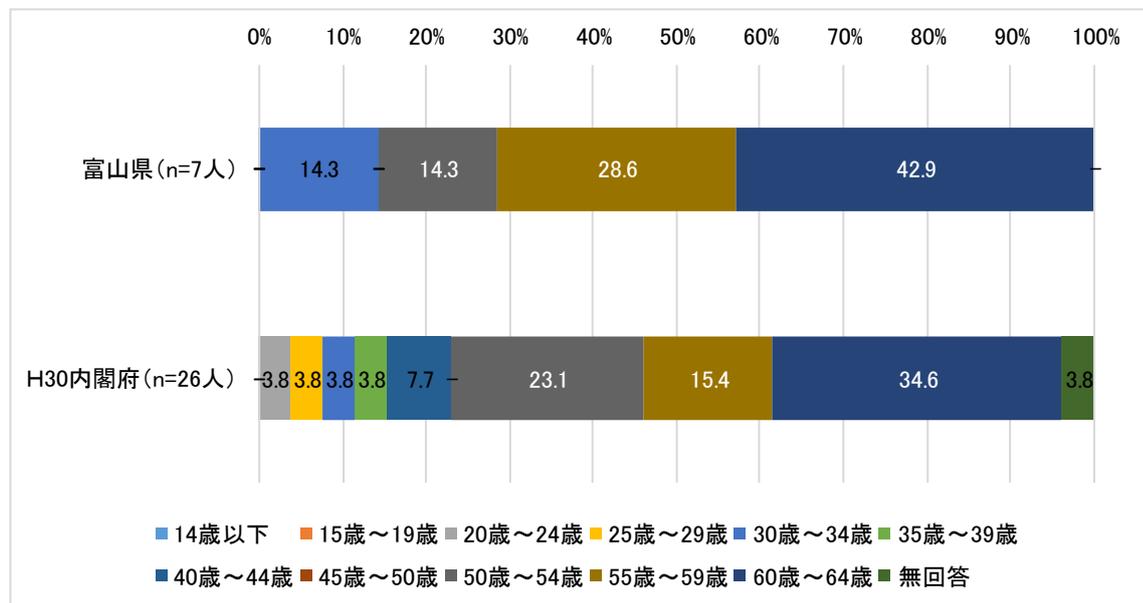
②40歳～59歳



40歳～59歳では、「14歳以下」と答えた者の割合は5.7%、「15歳～19歳」は8.6%、「20歳～24歳」は17.1%、「25歳～29歳」は2.9%、「30歳～34歳」は20.0%、「35歳～39歳」は14.3%、「40歳～44歳」、「45歳～49歳」は5.7%、「50歳～54歳」は11.4%となっている。

H30内閣府調査と比べると、25歳未満の割合が高くなっている。

③60歳～64歳



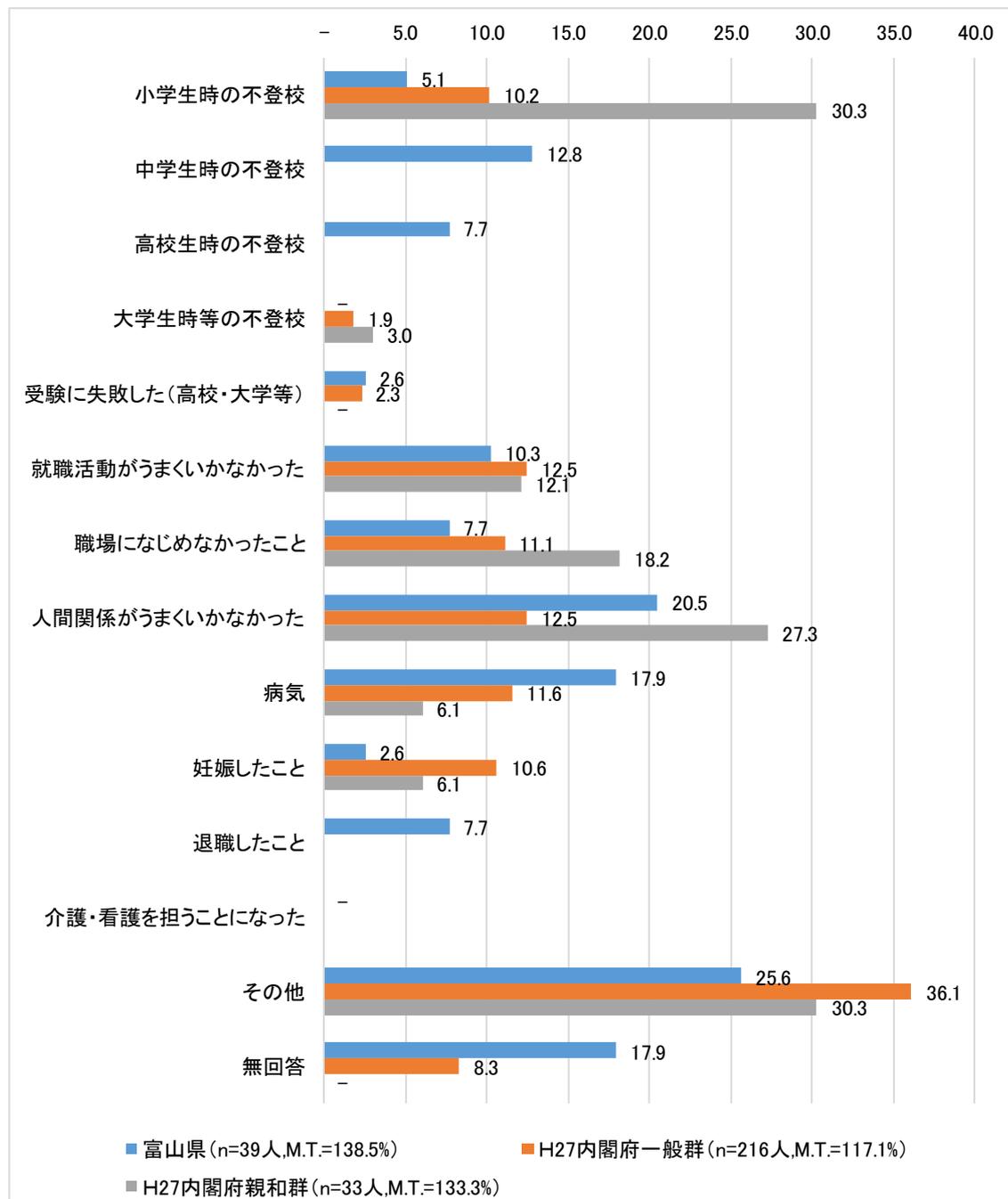
60歳～64歳では、「30歳～34歳」、「50歳～54歳」と答えた者の割合は14.3%、「55歳～59歳」は28.6%、「60歳～64歳」は42.9%となっている。

H30内閣府調査と比べると、55歳以上の割合が高くなっている。

(18) 本人票 過去にひきこもりの状態になったきっかけ

Q14 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



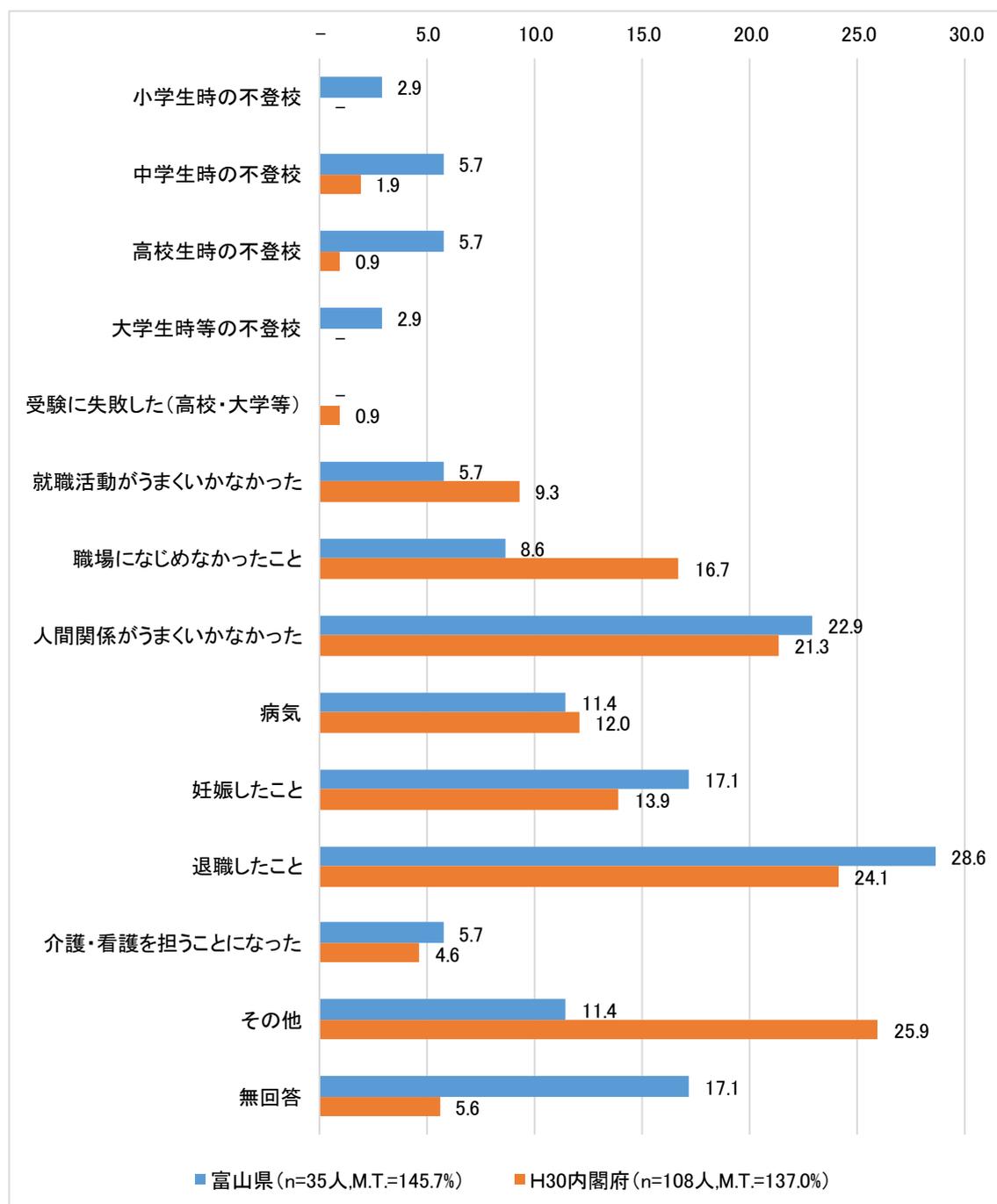
過去にひきこもりの状態になったきっかけについて聞いたところ、15歳～39歳をみると、「人間関係がうまくいかなかったこと」と答えた者の割合は20.5%、「病気」は17.9%、「中学生時の不登校」は12.8%、「就職活動がうまくいかなかった」は10.3%となっている。

H27内閣府調査と比べると、「病気」の割合が高く、「妊娠したこと」の割合が低くなっている。

※平成27年度調査の回答選択肢について、表中では以下のようにした。

- ・ H27内閣府調査回答選択肢「不登校（小学校・中学校・高校）」  
→本調査回答選択肢「小学生時の不登校」にまとめて記載
- ・ H27内閣府調査回答選択肢「大学になじめなかった」  
→本調査回答選択肢「大学生時等の不登校」に記載
- ・ H27内閣府調査回答選択肢には、本調査回答選択肢の「退職したこと」、「介護・看護を担うことになった」はない。

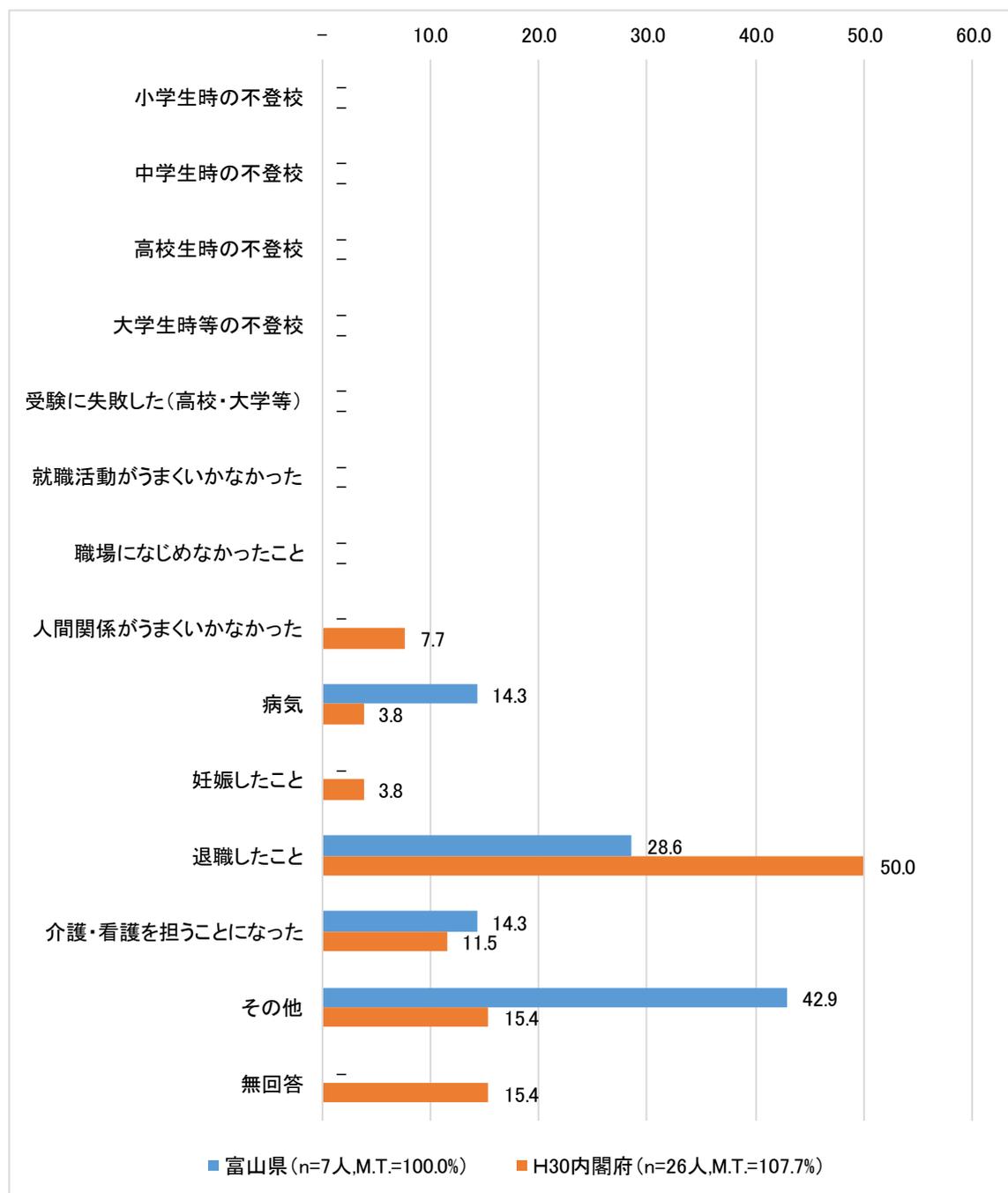
②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「退職したこと」と答えた者の割合は28.6%、「人間関係がうまくいかなかったこと」は22.9%、「妊娠したこと」は17.1%、「病気」は11.4%となっている。

H30内閣府調査と比べると、「退職したこと」の割合が高く、「職場になじめなかったこと」の割合が低くなっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「退職したこと」と答えた者の割合は28.6%、「病気」、「介護・看護を担うことになった」は14.3%となっている。

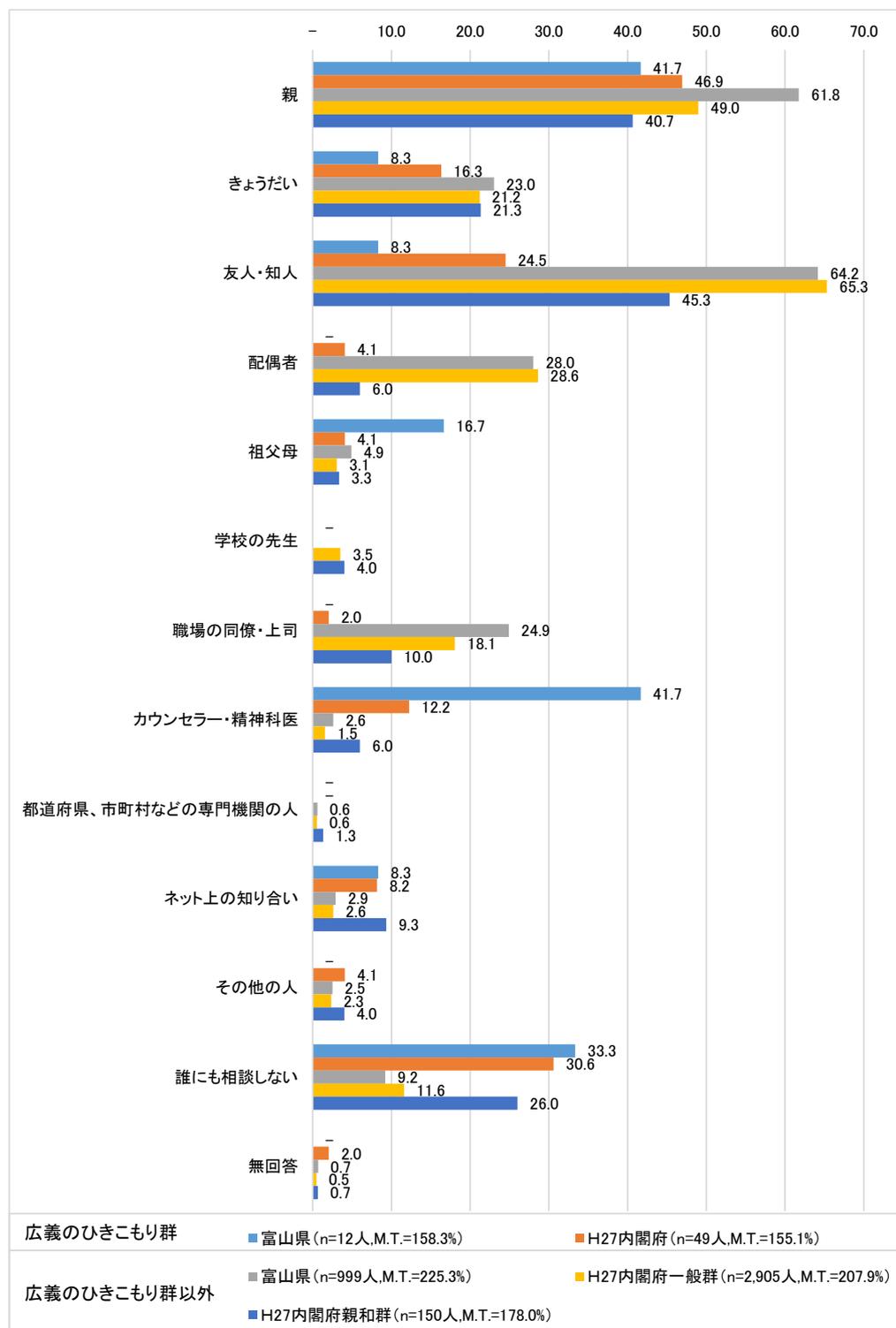
H30内閣府調査と比べると、「病気」の割合が高く、「退職したこと」の割合が低くなっている。

(19) 本人票 悩みを相談する相手

【Q15～Q16 はすべての方がお答えください。】

Q15 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



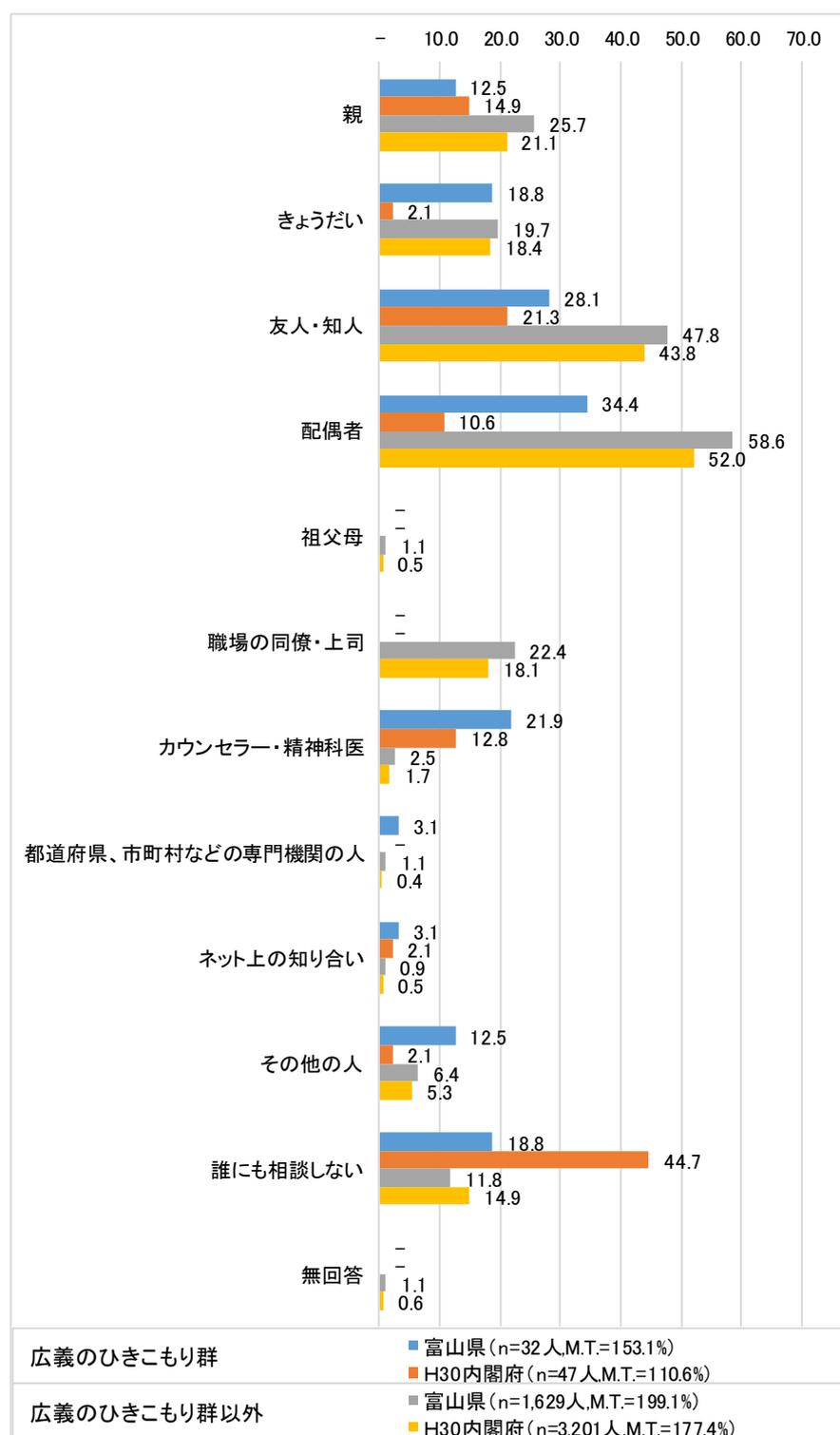
悩みを相談する相手について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「親」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で41.7%、広義のひきこもり群以外で61.8%、「カウンセラー・精神科医」と答えた者の割

合は広義のひきこもり群で41.7%、広義のひきこもり群以外で2.6%、「祖父母」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で16.7%、広義のひきこもり群以外で4.9%となっている。また、「誰にも相談しない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で9.2%となっている。

H27内閣府調査と比べると、広義のひきこもり群では「カウンセラー・精神科医」の割合が高くなっている。

※平成 27 年度内閣府調査回答選択肢「学校の先生」は、本調査回答選択肢にない。

②40歳～64歳



40歳～64歳をみると、「配偶者」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で34.4%、広義のひきこもり群以外で58.6%、「友人・知人」は広義のひきこもり群で28.1%、広義のひきこもり群以外で47.8%、「カウンセラー・精神科医」は広義のひきこもり群で21.9%、広義のひきこもり群以外で2.5%となっている。また、「誰にも相談しない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で18.8%、広義のひきこもり群以外で11.8%となっている。

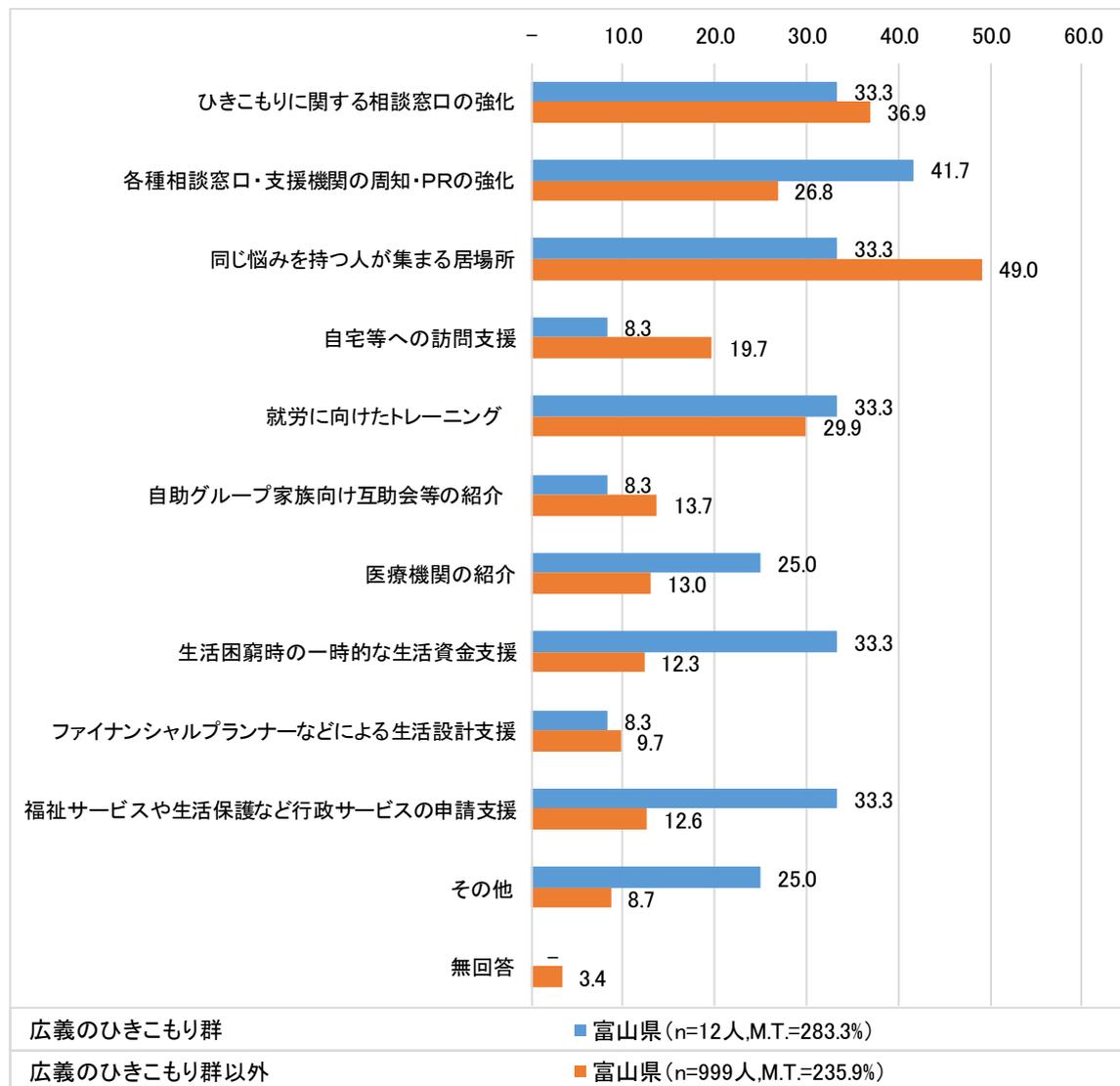
H30内閣府調査と比べると、広義のひきこもり群では「配偶者」、「カウンセラー・精神科医」、「きょうだい」の割合が高くなっている。

(20) 本人票 ひきこもりの方々に対する支援策

Q16 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。

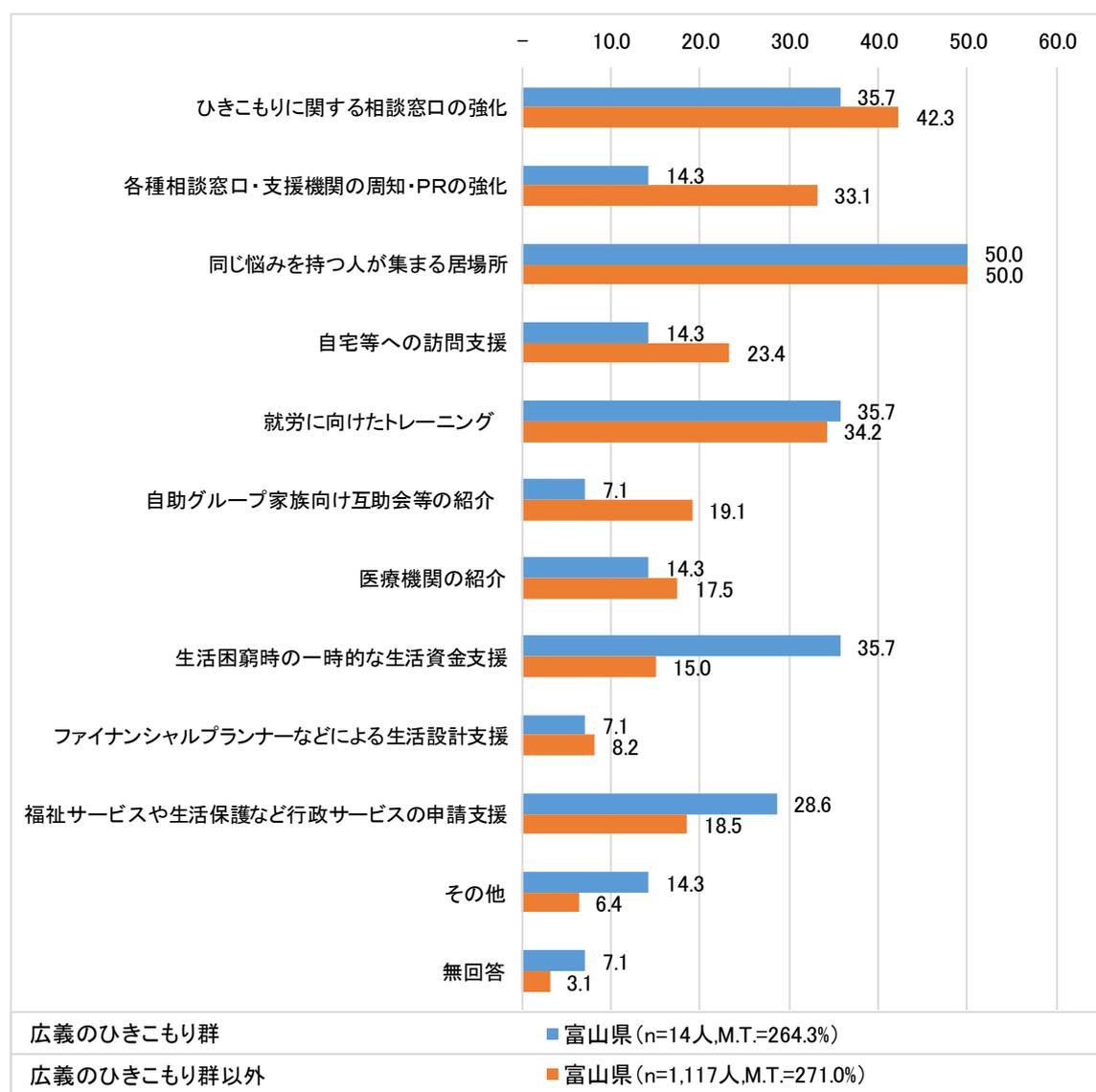
(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



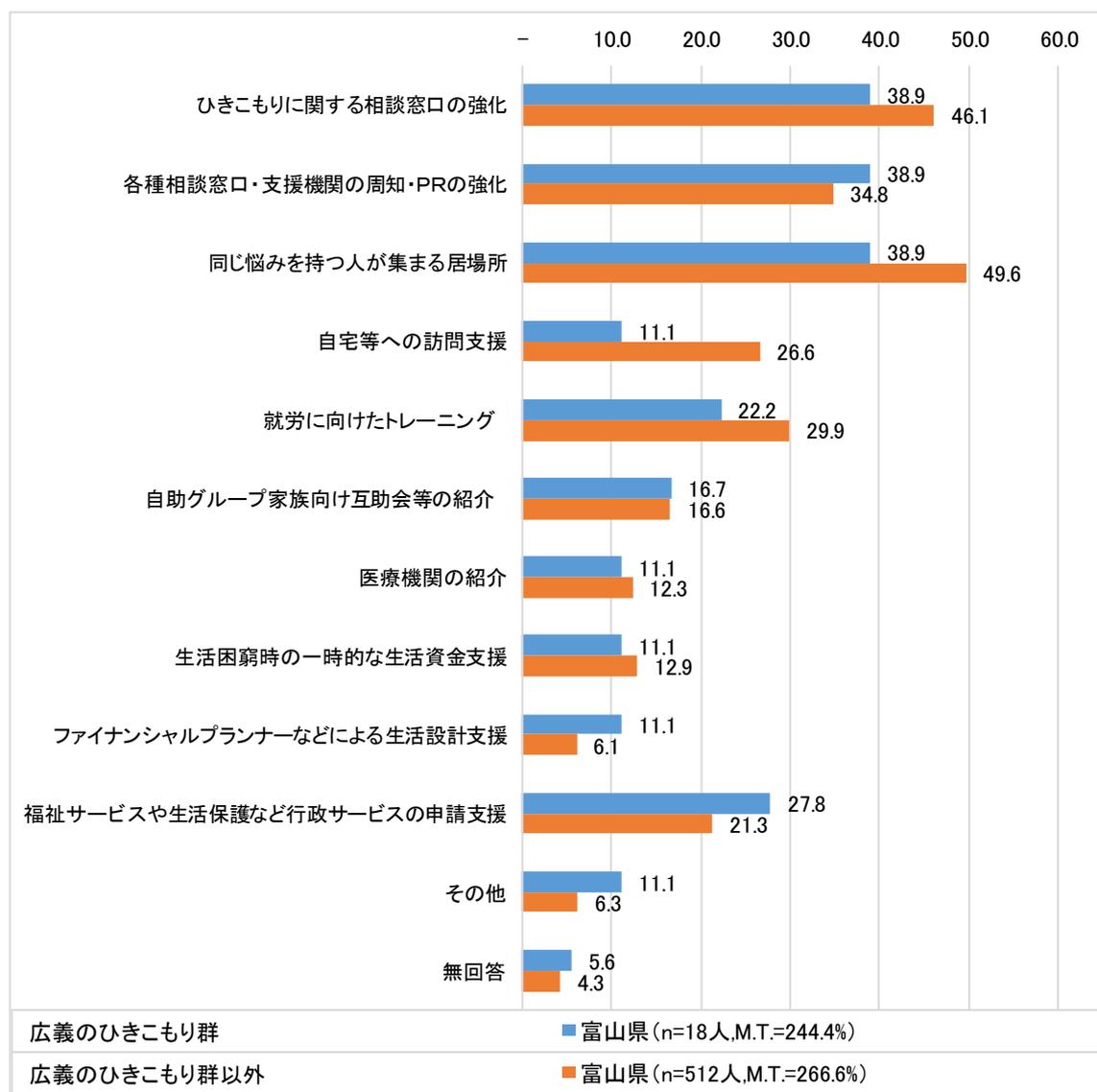
ひきこもりで悩む方々に対する支援策について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で41.7%、広義のひきこもり群以外で26.8%、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で36.9%、「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で49.0%、「就労に向けたトレーニング」は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で29.9%、「生活困窮時の一時的な生活資金支援」は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で12.3%、「福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援」は広義のひきこもり群で33.3%、広義のひきこもり群以外で12.6%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で50.0%、広義のひきこもり群以外で50.0%、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」は広義のひきこもり群で35.7%、広義のひきこもり群以外で42.3%、「就労に向けたトレーニング」は広義のひきこもり群で35.7%、広義のひきこもり群以外で34.2%、「生活困窮時の一時的な生活資金支援」は広義のひきこもり群で35.7%、広義のひきこもり群以外で15.0%となっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で38.9%、広義のひきこもり群以外で46.1%、「各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化」は広義のひきこもり群で38.9%、広義のひきこもり群以外で34.8%、「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」は広義のひきこもり群で38.9%、広義のひきこもり群以外で49.6%、「福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援」は広義のひきこもり群で27.8%、広義のひきこもり群以外で21.3%となっている。

Q16 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。

以下では「その他」の回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

**【手紙、インターネットやSNSを活用した非対面支援】**

WEB 上でのチャット窓口。
SNS での相談サービス。
SNS での支援。
SNS 等利用しやすい方法で、ネット上での集まり。
ネット上で相談できるようにする。
SNS で話し相手になる。
SNS(Twitter など) での相談受付、PR、周知を行う。
「1」をネット。
「2、3」等のサイトを充実させる。
上記支援策をリアル世界だけではなくヴァーチャル世界、自信のアバターを用いた仮想世界に活かしたらどうでしょうか。ひきこもりは表に出ません。外出しません。
SNS を活用した、同じ悩みを持つ人の話が得られる所。
インターネットなどでも気軽に相談できる窓口を作る。
ネットで文字から始まり、後にテレビ電話みたいな感じで顔をみて会話したりする。
SNS での相談窓口の開設。
「3」に追加して、SNS を利用して同じ悩みを持つ人と知り合うなど。
SNS 等で相談できれば良い。
SNS 等を用いて気軽に相談できるようにする。
ネットで、匿名で書ける掲示板。
県のホームページで悩みを相談できるコーナーをつくる。
対面や電話で相談する勇気が出ない人のために、手紙やメール形式で相談しやすい窓口があると思います。
無料で相談できる場を(電話やメール)があれば当時の私も利用したと思います。身内や身近な人には相談できませんでした。
自分の心境などを共有できる匿名の掲示板。文字の方が会話も気軽にできるし、そこでのネットワークが心の支えになることもあると思う。ひきこもりの人は誰より何より支えを必要にしています。

**【ひきこもり当事者の周りの人への支援】**

ひきこもり本人だけではなく、その家族(特に両親)へのカウンセリングなどの支援。
家族に対するカウンセリング。
本人だけでなく、親、兄弟も相談できる窓口もあれば良いと思う。
家族への学習会支援。
本人が悩むより周りが悩んでいるので、周りへの支援が必要だと思います。

親との同居の場合、ひきこもりが長くなればなるほど親への依存が強くなるので、親へのフォローが必要だと思った。
ひきこもりは本人よりも御家族の事を考えると胸が痛みます。税金は高くなってもいいので助けてあげて下さい。
ひきこもりの家族へのサポートか相談。家族同士の集まりの場での集いの場所。
「4」で、本人だけではなく家族と話をすること。
家族向けの支援。
ひきこもりで悩む家族の支援。
ひきこもりの家族に対する支援。
ひきこもりを持つ家族らへの支援も。

### 【就労に関する支援】

就労意欲はあるが、他人と同空間での就労ができない人のために在宅ワークの紹介。
働きやすい職場。
ひきこもりは病気ではない。「甘え」なのでハローワークへ紹介する。
短期雇用など、当人がひきこもりでない状況を「良い」と思えるきっかけ作り。
在宅でできる仕事の紹介。
ひきこもりさん専用のタウンワークを作って、お勧めしてあげる。
ひきこもりで何が悪い。外に出ずとも仕事はできる。在宅仕事を増やす。
自宅でできる仕事の紹介。
自宅、自室でできる仕事、作業の提供。利益追求型でないもの。小さな自信が積み重ねることが必要ではないか。
自宅でできる仕事案内。
本人が社会に参画していると実感できる機会（ボランティアなど）の提供。別に外出しなくても在宅ワーク（バルマークの整理）のようなものでも良いと思います。
下手でも頑張れば給料のもらえる仕事。
職を探す手伝い。
自宅でできる仕事。
ニートやひきこもり状態でも気にしない会社を紹介してほしい。
働く所。
在宅でできる作業から人との関わりに慣れさせる。
ひきこもりでも働けるリモートワークの強化。
ひきこもりの方でもいろんな方がいるので、自宅でもできる仕事や学校をどうにかしてほしい。人間関係が嫌な人もいます。
働く場所の情報提供を頻繁に行う。
仕事に関するマッチング。
まずは自宅でできる仕事の斡旋。

過疎化した地域で高齢者の支援するための斡旋を行う。
仕事ができる会社づくり。
ひきこもりの方々向けの企業セミナー（就労などに関する支援も含めたセミナー）。

**【相談できる人材の育成】**

自分の子がひきこもりでした。その頃は配偶者にも悩みを聞いてもらえず苦しみました。結論を言えば悩みを聞いてくれる場所・人が必要では。
気分を害する事なく、訪問者に会える様に本人の気持ちを本気で聞き、信頼できる人材を育成する事。
原因を見極め、寄り添い、社会に戻してあげられるよう聞き役になり、信頼関係を築き、一人ではない事に気づいてもらい、外の世界に恐れを感じないように長い時間をかけて社会に引っ張ってあげられる人材の育成。
相談できる人の育成。
各人の長所を引き出し、社会に適応させる事のできる人の派遣。

**【生活環境・生活サイクルを変える支援】**

生活環境を変える。または、生活サイクルを変える。
親と別居出来る場所は「6」か。
外出に向けた支援が必要だと思います（散歩、買い物など）。
浮浪雲など。
親と離れた生活をさせる。
外に出て運動。各自治体の運動施設の紹介。昼間にランニング、ウォーキングできるコース等。
親が年老いてくると今の生活が成り立たなくなる現実を知らせる必要がある。ひきこもりの人々のアパート、グループホーム等生活の場を実家から離す。

**【相談等できる場所の提供】**

近い世代、少し上の世代の経験者との交流の場。不登校経験者で現在普通に暮らしている人の存在は保護者も安心するし、当事者も将来の希望が持てる。富山県は心理学的フォローの場が他県より少なく、四国や中国地方を見習ってほしい。
ひきこもり同士が気軽に交流できる場。不登校になった人の場合、地域に出ていくのは大変だと思う。
24時間いつでも苦しい時に誰かに話ができる場所及び機関。
病院に行っても事務的な感じで決まった検査をし、ゆっくり話を聞くことなどないので、ひきこもってしまった人が心を開ける場所があるといいと思います。
友人を作る場の提供、同じ趣味のものが集う OFF 会など。
安心して相談できる所、気軽に話せる場。
病気で外に出づらい時ゆっくりできる施設、（見た目などを気にして）または公園などを作る。
ひきこもりの更生施設。

### 【メンタルケア、メンタルトレーニング支援】

自分自身に自信を持たせる様な環境と支援。外の世界はその人にとって「安心できる場所である」と本人が思うこと。
メンター、メンティ制度。学生から社会人になった瞬間にホントに孤独だった。一人で生きていく辛さがあった。実際誰も助けてくれなかった。
メンタルトレーニング。
メンタルケアするセミナー等を学校や人々の身近なところで開く。
自分に自信がつくような支援(スキルアップなど)。生きる気力がでるような支援。
おそらくどこかで心にキズを負っていると思うので、それを活かすものがあればいいのでは。
子供の時は親の行動と一緒にでもよいと思いますが、成人になったら子供も独立した行動ができるように親の子離れが必要だと思います。
社会とのつながりを意識させる。
カウンセリングなど。
カウンセリング(親子で)。

### 【教育機関での支援】

学校教育。
一人一人に合ったきめ細かな支援、学力指導。私自身がひきこもりだった時、どうにかして自分に合った方法で勉強ができていれば、社会に出るときにハンディが少なく、受け入れてくれる場所が多かったかと思ったので。
学校環境でのいじめを発生させない対策、家庭状況等を把握できる対策を先にうたないと意味がないと思う。
ひきこもりになる前の予防策、就学時からの早期発見対応。

### 【周囲や地域の支援】

ひきこもってもネットはしてると思うので、ネットで何かできると思う。ご近所の人達の協力や同級生達にも協力してもらおう。
8050問題のように第三者の介入が難しい。民生委員などの地域のケアをする方の質を向上し、地域での支援が出来ると思います。
町内会の行事に近所や同世代の人が誘う。
周りの人の心。
ひきこもっている人の身近にいる人(親、友だち、同じ職場など何か共通のものがある人)から、ひきこもりになっている人が参加したくなるような(気になっている)話題で、悩む人のストレスを軽減することが、その人たちにとって1つの支援になると思います。
第一に家族の気遣い、言葉かけなど。
友人等の親しい人。
本人や家族に、そういう状態であることを周りに知ってもらうことがスタート。

呼びかけ。

### 【公的機関、支援機関の支援】

市と包括の連携チームまたは、包括と互助会の連携。子どものひきこもりは、親と教師の連携チームを作る（PTA など）。不登校気味などひきこもりの芽の時点で支援が必要だと思う。

ひきこもりだと生活がうまくいかないの、生活支援があればいいと思う。例えば、家の内・外の掃除、銀行などいろいろな所の手続き、家と電化製品など壊れたときの修理依頼など。

警察本部、生活安全課。

市町村職員によるアウトリーチ支援。

コミュニティハウスなどへの金銭的支援。

支援機関の連携、協力体制、相談窓口のやさしさ、共感、明確化。

行政に相談に行くことが、敷居が高いようで行きにくいかも。例えば、風邪をひいたときについて先生に相談できるような。

「3、4」を同時に。心理士(カウンセラー)の訪問(意欲をかきたてる人)。心療内科もしくは医師の訪問。

訪問医療 Dr.が家庭訪問する（病院に連れて行きたくても行けなくて困っているのだから）。

対人ではなく、メールや手紙等で少しずつ人と関わられるような機関。

### 【法律や制度の構築】

法整備。家庭内暴力等家族が追いつめられる前に、本人の承諾がなくても強制入院・施設入居ができるようにする。親の承認がなくても複数の公的機関の承認があれば、子どもを療育機関に関わらせることができる。

ベーシックカムインカムの導入。

国の教育制度、マスメディアの過剰な報道の改善。

公立の小中学校へ行かなくとも勉強できるシステム。ネットや同じような子供が集まれるような小規模な小中学校。

日本社会自体、勤労が長く身体・精神に負荷がかかりやすい。なので「ひきこもり」という表面上の対策ではなく、日本全体の勤労に関して見直し、根本的な改善を図る。

社会の受け入れ態勢の整備。

はやさ、上手さの格付社会じゃなく、特性を認めあえる社会(一番身近な社会は家族だと思えます)。

### 【その他】

お金をあげるとよい。

ひきこもりはいろんなことを試すのがいい。

ひきこもりの中には、学校、職場、周囲の者による不当な扱いで、働く気や生きる気力を奪われたと思われるケースもあると思うので、支援策だけではなく予防策も必要と考えられる。

お金にならなくとも興味のあることや好きなことへの支援。

本を読むことで他の人の考え方を知って、自分自身に対する思いや自信を少しでも取り戻せると思うから本を読む。
人間教育。甘えがある。親の援助等で働かなくてもよい状況でいられることがよくない。
ひきこもりが発達障害の先天的なものか、いじめやストレス等の後天的なものか、貧困等によるものか、それぞれで対応が違うからいろいろな窓口があることをひきこもっていない人も含めてもっと周知できるようにしたらいいと思う。私自身もアンケートをもらわなければ、取り組みを知りませんでした。
一人で悩んでも解決しません。周りの人に打ち明ける等、自発的な行動が必要なことに気づく広報や支援が必要。
安易に書くことはできません。
続けることの難しさがあるように思います。
相談できる所がない。内容をパスされた。
ひきこもりは対人恐怖症と似ているように思います。ただ、そばにそっといてもらえるだけで安心できるのではないのでしょうか。私の場合、主人、息子たちでした。そして今はおかげさまで息子の嫁がいてくれます。感謝です。
あまり税金を使わずに支援してほしい。
身近にひきこもりの人は何人か知っているが、その家族は具体的な助言を求めているわけではなく、それを指摘されるのが怖いのではないかと感じることが多い。
知人に聞いた話ですが、相談窓口や医療機関など精神的なところは予約がほとんどで、すぐに対応してくれないと聞いています。1か月後など日経ちすぎ。
「1、2」に関しては、家族や友人に相談しない人が利用するとは思いません。「3、5、7、9」に関しては、人が集まる場所に行かないからひきこもりなのだと思います。実際、ひきこもりの人生はタイミングだと思っています。例えば、ひきこもりを改善する仕事の人が100人会って話をしても、所詮仕事で来てるんだろと思うようになります。しかし、コンビニで買い物しているときに、たまたまあった人と話をして「えっ？この人自分より大変じゃん」などと思ったほうが頑張ろうと思うのでは。そこがきっかけになり「1、2、3」などの利用につながるのではないのでしょうか。（案として偶然を装い仲良くなるなど）
ひきこもり＝悪という考えを捨てる。すべての人に平等に自分の人生を生きることが与えられており、すべてが悪であり、すべてが善であります。よって認め合う。それも人生である。それでいいと思います。
行動しないと命にかかわる状態にある。
一人なら死んでいた。結婚して夫がいることで救われた。家族（母、父、兄弟）には頼れない。
軽度の方、若い方、年数が少ない方は、支援により日本の社会とのつながりが持てるようになるかもしれないけど、日本の標準からはみ出ると生き辛い。そこから変えないと。問題はもっともっと深いと思う。
「3」は集団自殺などになりそうです。
話を聞く姿勢。

【支援をしない】

そんなことに税金を使うな。ひきこもっている暇はない。
自分で努力して立ち直ることが重要。支援をしすぎるのもどうかと思う。
働かなくても食べていけることがひきこもりの要因ではないのですか。
甘えている人も多いと思うので自力で殻を破ってください。
食事を与えなければ自然とひきこもらなくなる。家族が甘やかしすぎ。
何もない。
支援しなくてよい。
たたき出す。
自分で何とかして下さい。
必要だと思わない。
どれも税金の無駄遣い。ひきこもることがおかしい。
別にいらない。
自分次第。
当人(本人)の考え次第なので。うんざりです。
支援しすぎてしまうとその状態でも生きていけると認識してしまうため、一時支援をさせないということ。
無理に支援しなくていいと思う。
支援の必要ない。ひきこもりはお金があるから可能なため資金源をなくす。
なにもしない(いろいろしたところで本人の気持ちしだい)。なぜひきこもりになったか経緯を聞くのが一番だけど、そこまでいくのが大変。
必要ない。
ない。
生活資金支援などは甘やかすだけなので何の解決にもならないのでやめた方がいい。税金のムダ。
その人の気持ち次第。
自分で解決する必要があるので支援はいらない。
経済的支援をしない。
迷惑をかける行為をしてはだめ。働かざる者食うべからず。人生が甘い。
「8」で支援すれば、ますます楽を覚えると思う。
ないと思う。
生活資金の支援を打ち切って働かざるを得ない状況にする。
その人自身の問題であり、半分は甘えだと思うので放っておく。金銭面などの援助もしない。誰も助けてくれないとわからせることが一番の支援だと思う。
県・市町村として、本人もしくはその親族が支援(具体的な)を求めない限り、支援を行わない。ただし、具体性のある支援、具体性がなくても実現可能なものは即座に行う。ひきこもりの人は他人からの干渉を恐れているイメージがある。それならば外部から積極的に干渉せず、時間をかけてゆっくり待つことも大事だと考えるから。

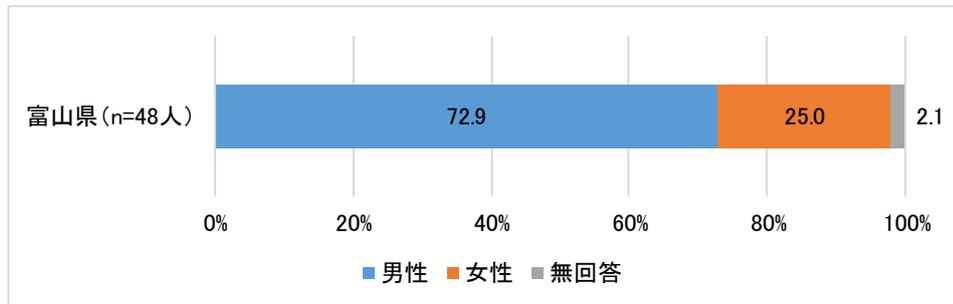
気づいたら今のようなひきこもり状態になってしまうことが多いと思う。生活資金支援等に関しては、賛否あるが安易に支給すればよいというものではないと思う。

## 2 当事者等支援ニーズ調査

### (1) 本人票 性別

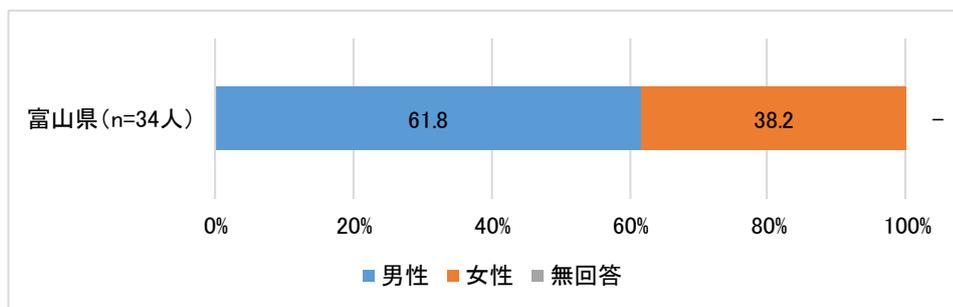
あなたの性別

#### ①15歳～39歳



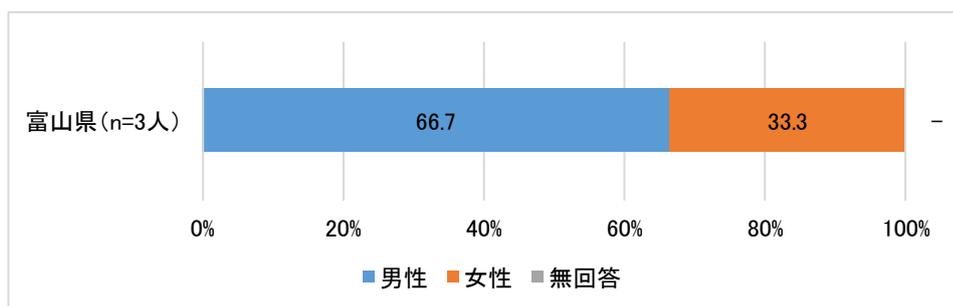
回答者の性別は、15歳～39歳をみると、「男性」72.9%、「女性」25.0%となっている。

#### ②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「男性」61.8%、「女性」38.2%となっている。

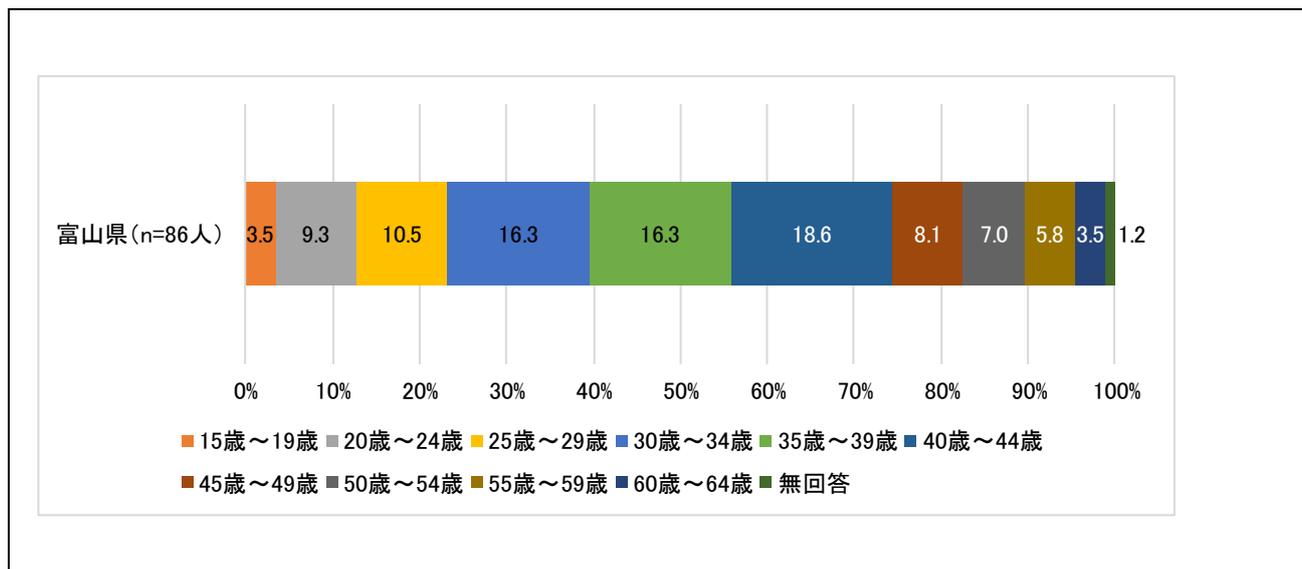
#### ③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「男性」66.7%、「女性」33.3%となっている。

## (2) 本人票 年齢

あなたの年齢

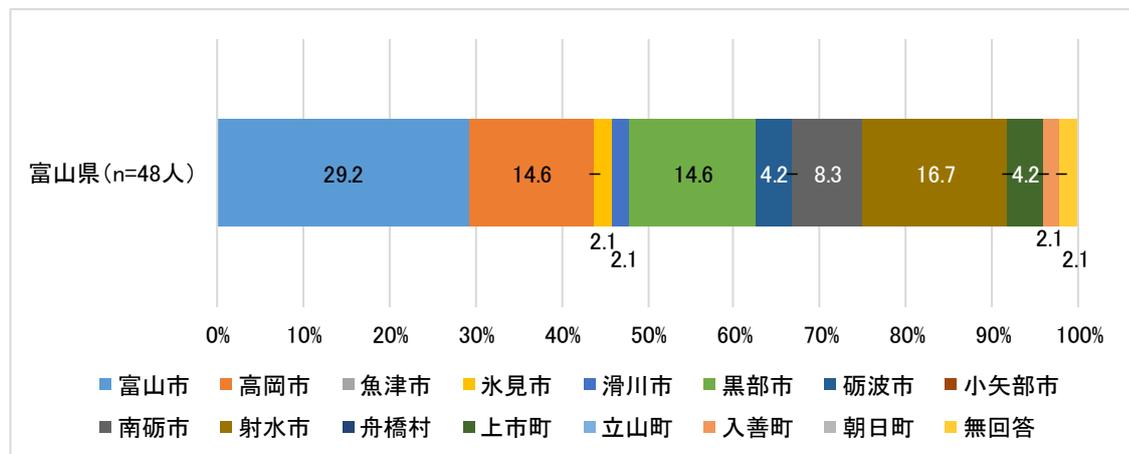


回答者の年齢は、「15歳～19歳」は3.5%、「20歳～24歳」は9.3%、「25歳～29歳」は10.5%、「30歳～34歳」、「35歳～39歳」は16.3%、「40歳～44歳」は18.6%、「45歳～49歳」は8.1%、「50歳～54歳」は7.0%、「55歳～59歳」は5.8%、「60歳～64歳」は3.5%となっている。

(3) 本人票 所在地

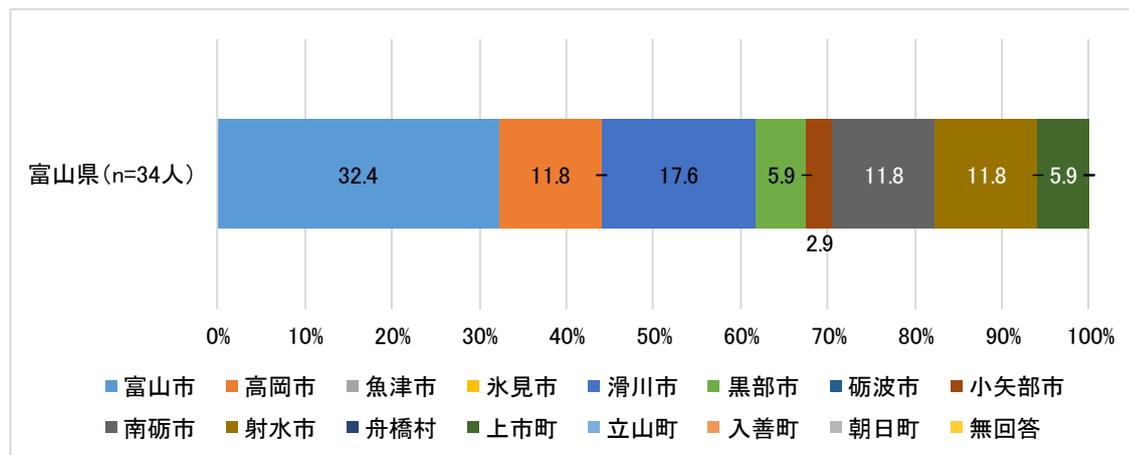
あなたのお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



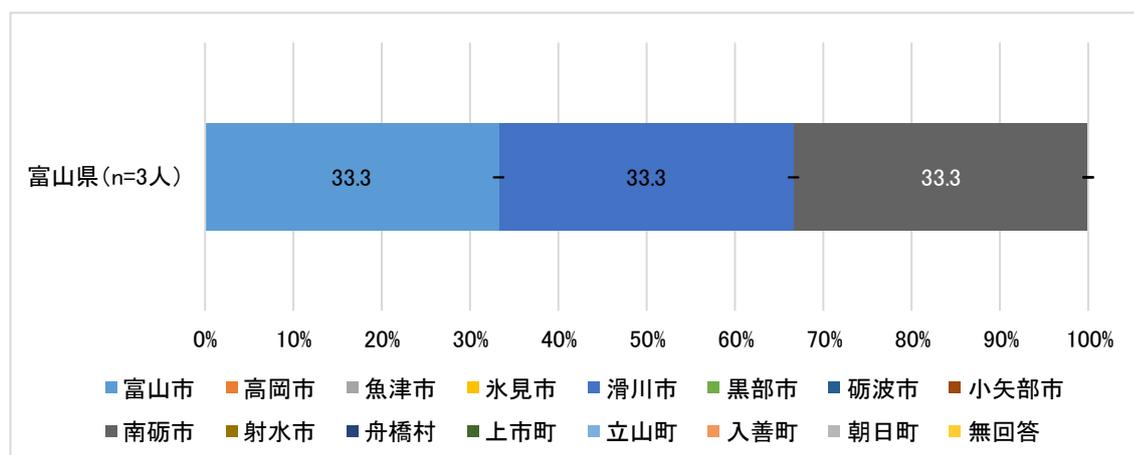
回答者の居住地は、15歳～39歳をみると、「富山市」は29.2%、「高岡市」は14.6%、「氷見市」、「滑川市」は2.1%、「黒部市」は14.6%、「砺波市」は4.2%、「南砺市」は8.3%、「射水市」は16.7%、「上市町」は4.2%、「入善町」は2.1%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「富山市」は32.4%、「高岡市」は11.8%、「滑川市」は17.6%、「黒部市」は5.9%、「小矢部市」は2.9%、「南砺市」、「射水市」は11.8%、「上市町」は5.9%となっている。

③60歳～64歳

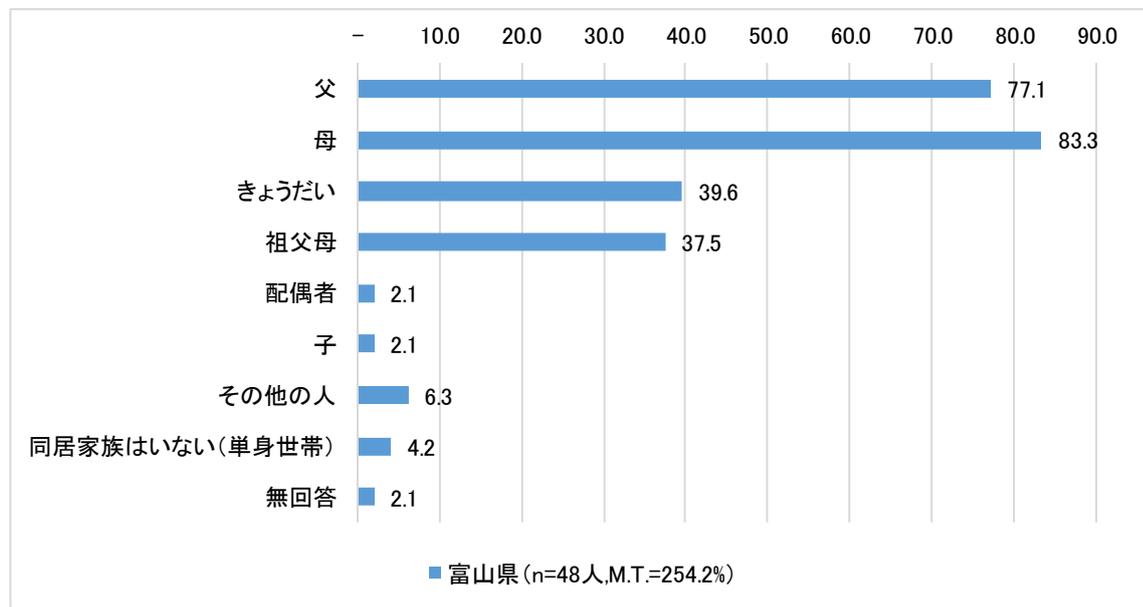


60歳～64歳をみると、「富山市」、「滑川市」、「南砺市」が33.3%となっている。

#### (4) 本人票 同居者

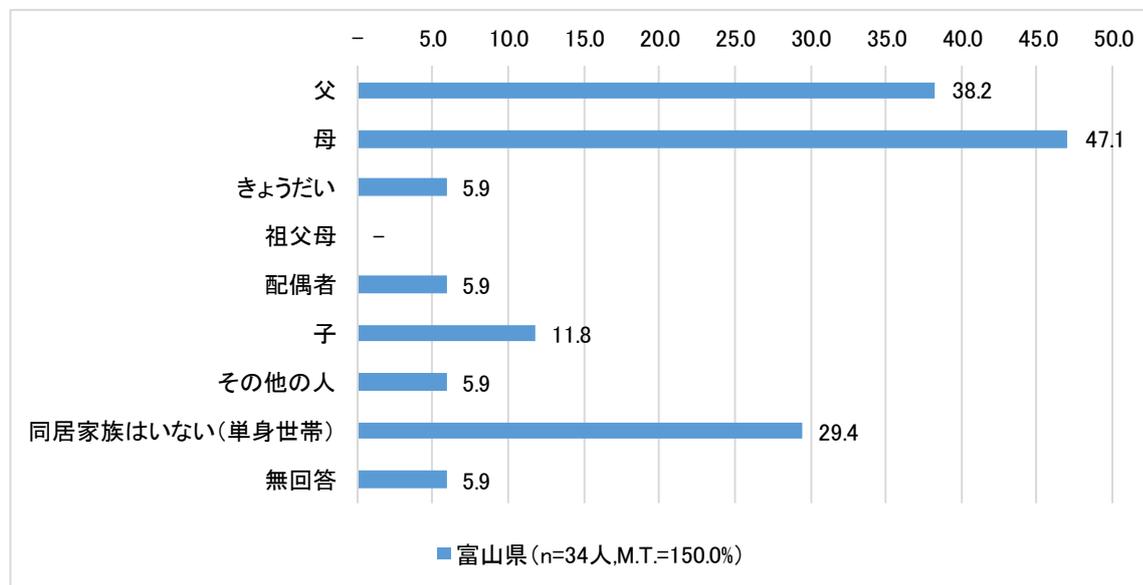
あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

##### ①15歳～39歳



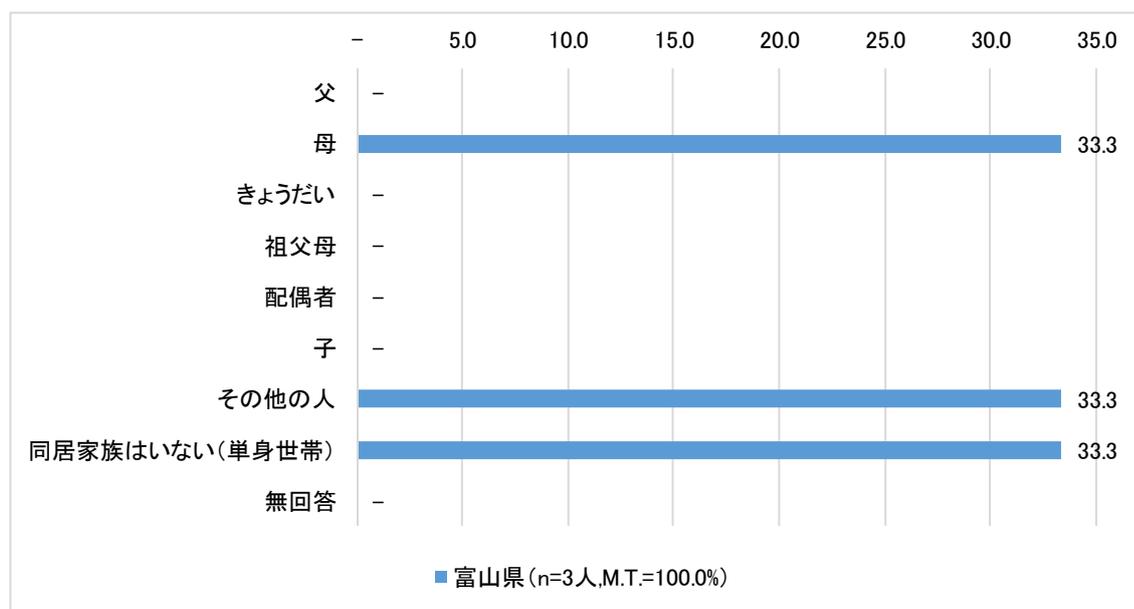
回答者の同居者について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「母」と答えた者の割合は83.3%、「父」は77.1%、「きょうだい」は39.6%、「祖父母」は37.5%などとなっている。

##### ②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「母」と答えた者の割合は47.1%、「父」は38.2%、「同居家族はいない」は29.4%、「子」は11.8%などとなっている。

③60歳～64歳

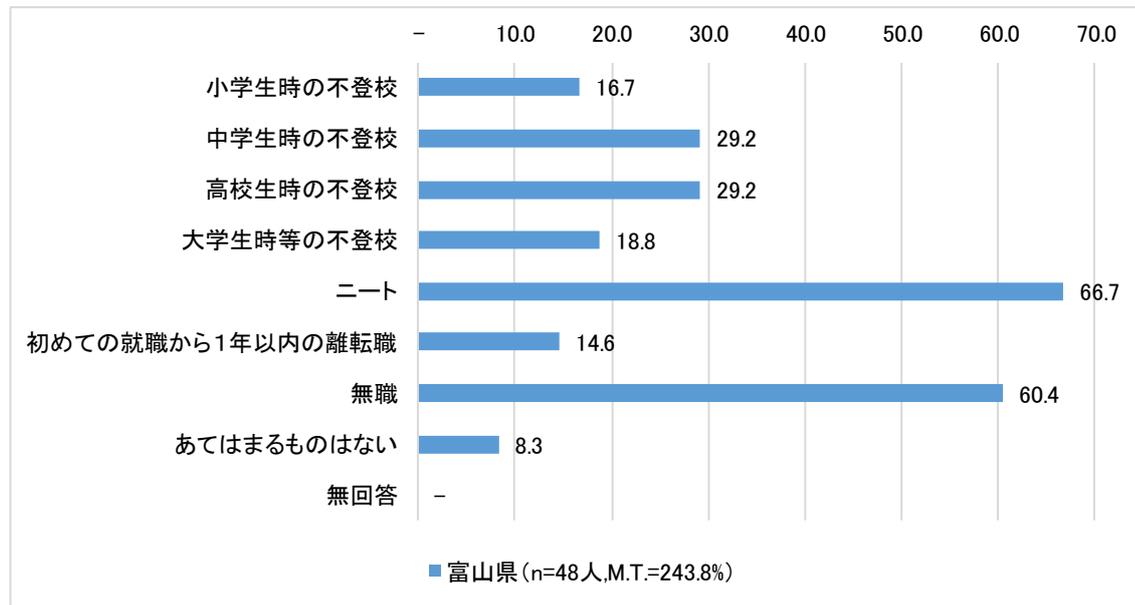


60歳～64歳をみると、「母」、「その他の人」、「同居家族はいない」と答えた者の割合は33.3%となっている。

(5) 本人票 これまでの経験

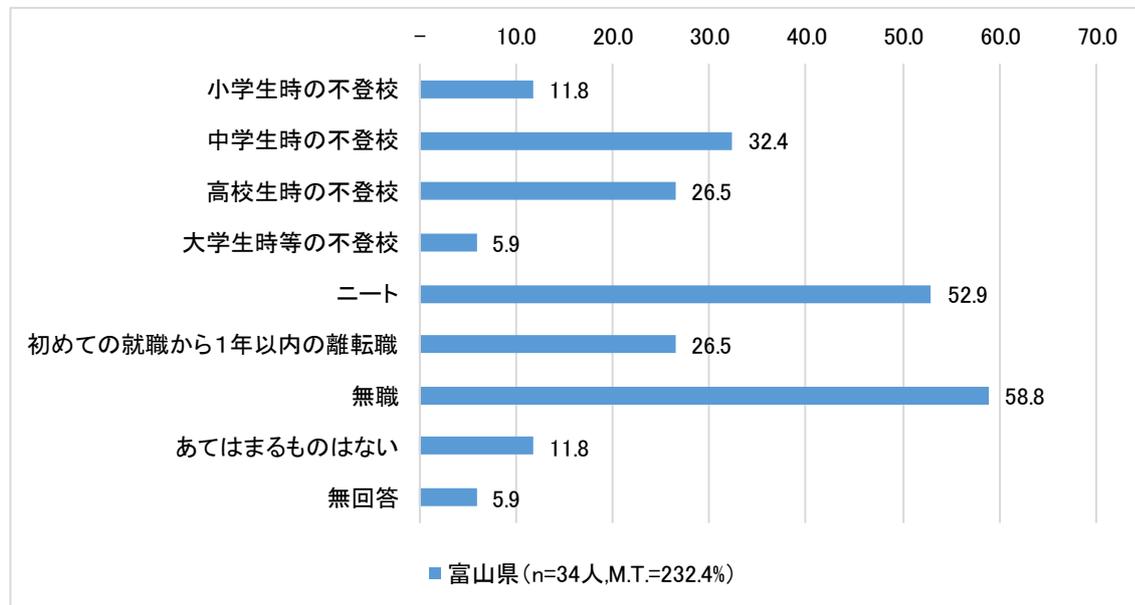
Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



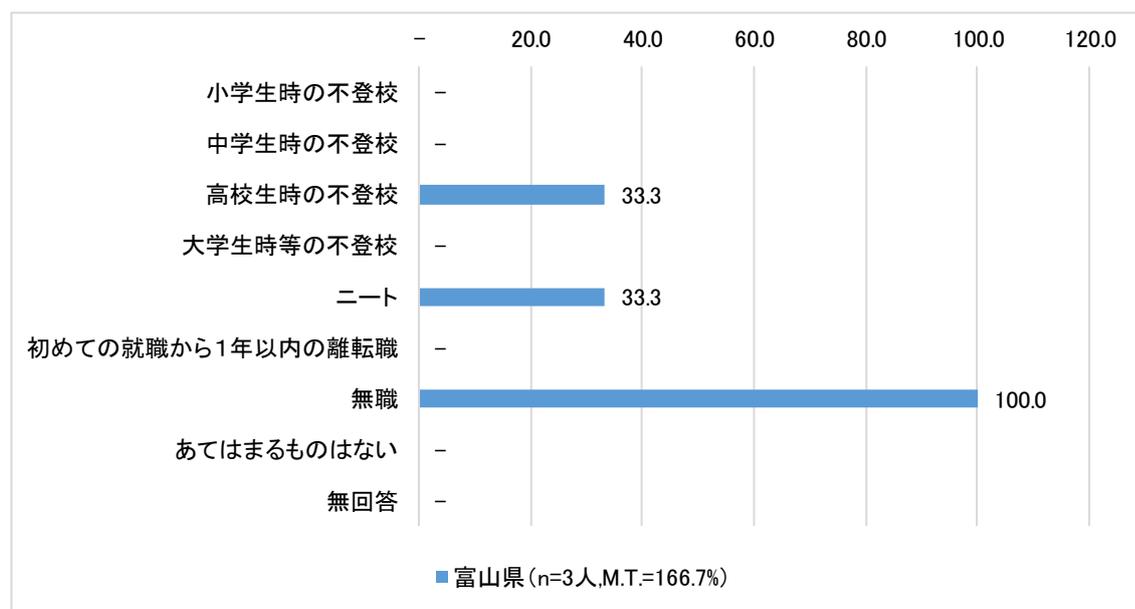
これまでの経験について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「ニート」と答えた者の割合は9.2%、「無職」は60.4%、「中学生時の不登校」、「高校生時の不登校」は29.2%となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者の割合は8.3%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「無職」と答えた者の割合は58.8%、「ニート」は52.9%、「中学生時の不登校」は32.4%となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者の割合は11.8%となっている。

③60歳～64歳

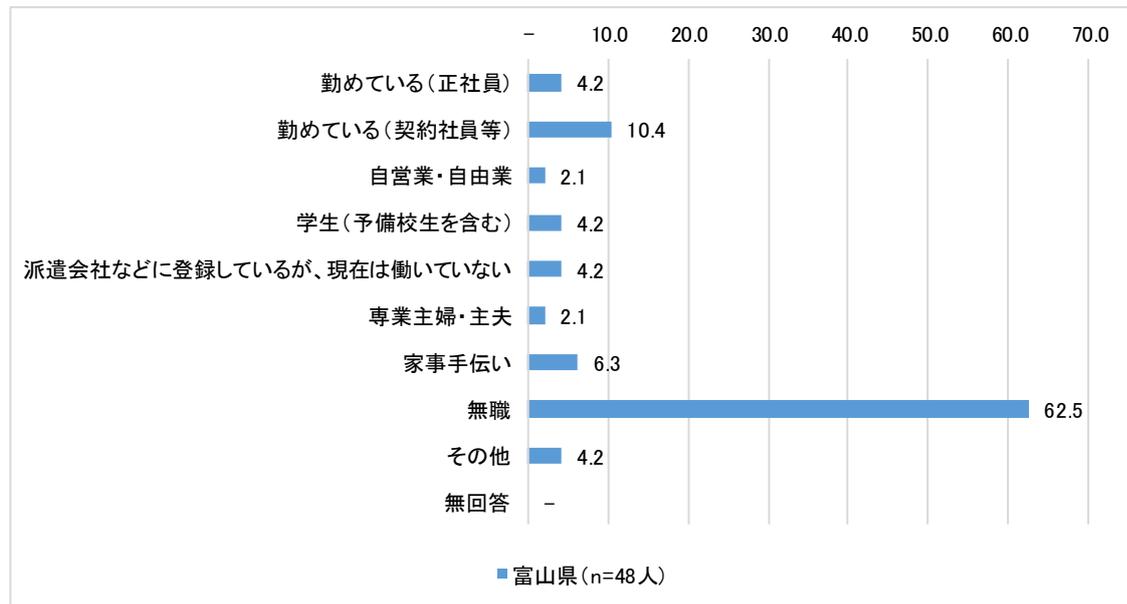


60歳～64歳をみると、「無職」と答えた者の割合は100.0%、「高校生時の不登校」は33.3%、「ニート」は33.3%となっている。

(6) 本人票 現在の就労・就学等の状況

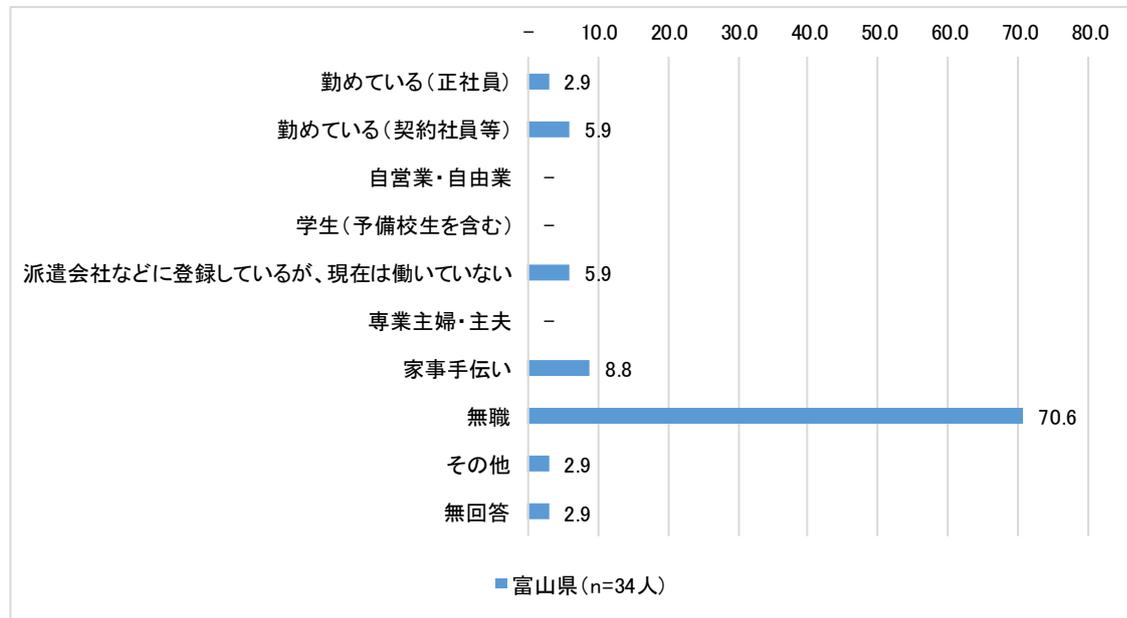
Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



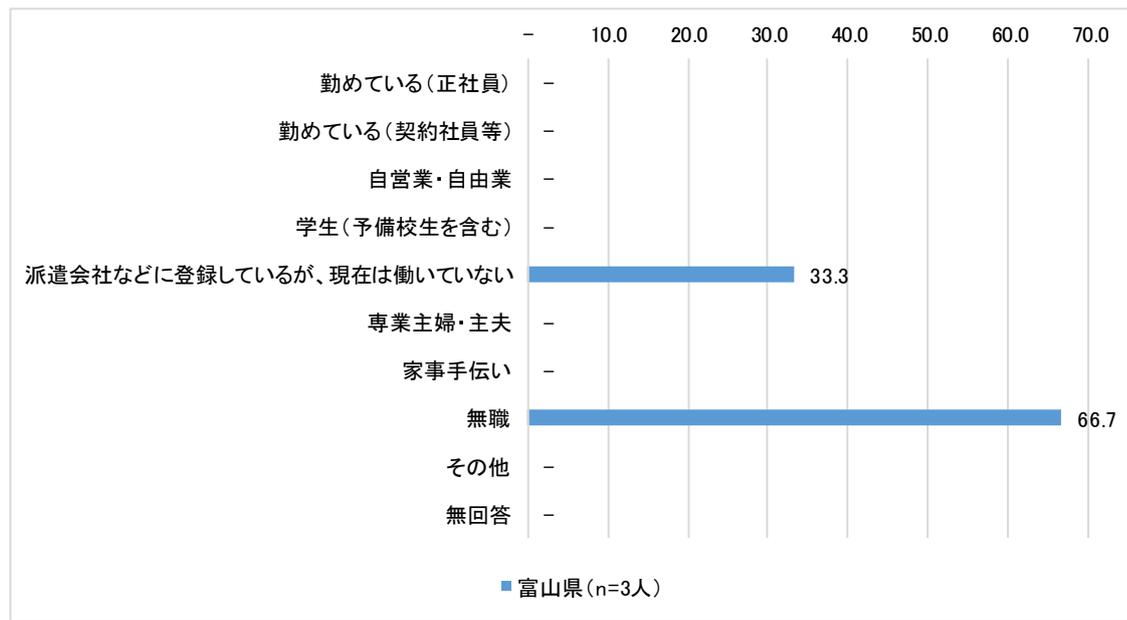
現在の就労・就学等の状況について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「無職」と答えた者の割合は62.5%、「勤めている(契約社員等)」は10.4%、「家事手伝い」は6.3%となっている。

②40歳～59歳



40歳～64歳をみると、「無職」と答えた者の割合は70.6%、「家事手伝い」は8.8%、「勤めている(契約社員等)」、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」は5.9%となっている。

③60歳～64歳



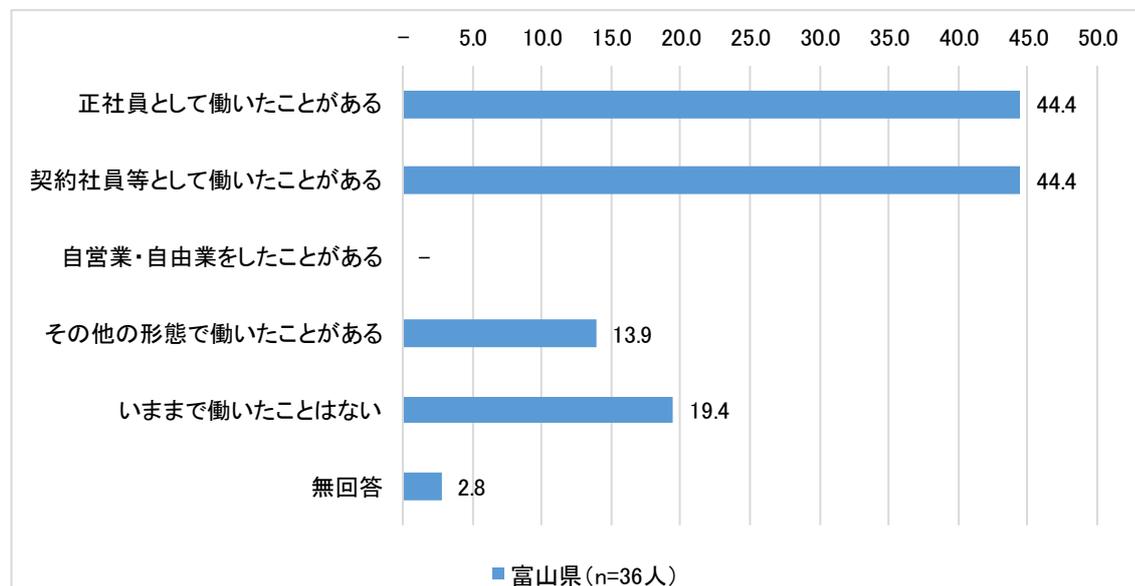
60歳～64歳をみると、「無職」と答えた者の割合は66.7%、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」は33.3%となっている。

(7) 本人票 働いた経験

【Q2 で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

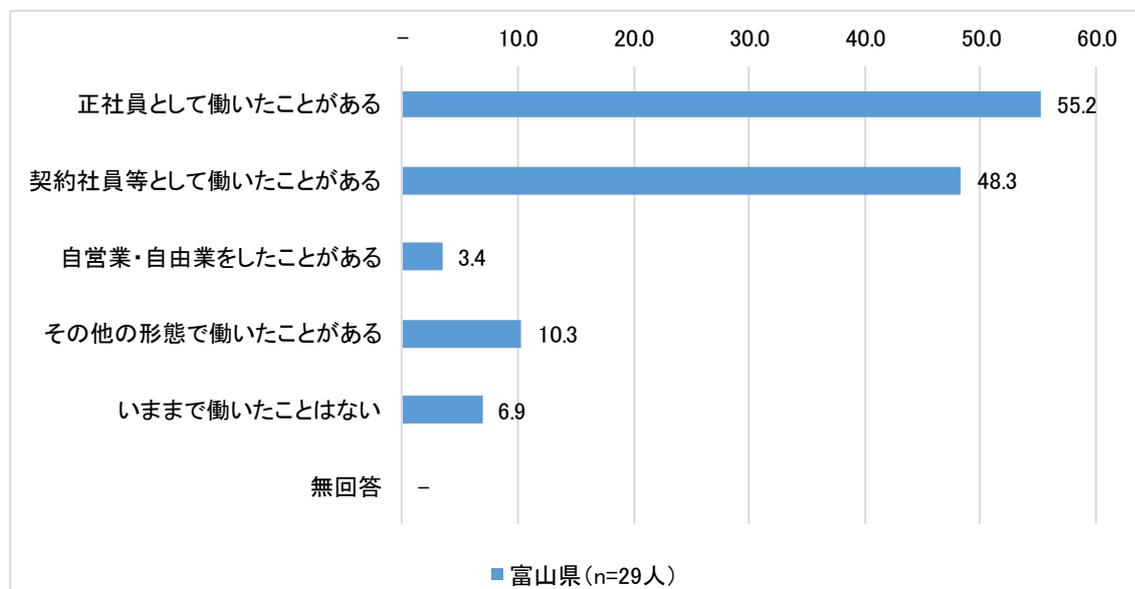
Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



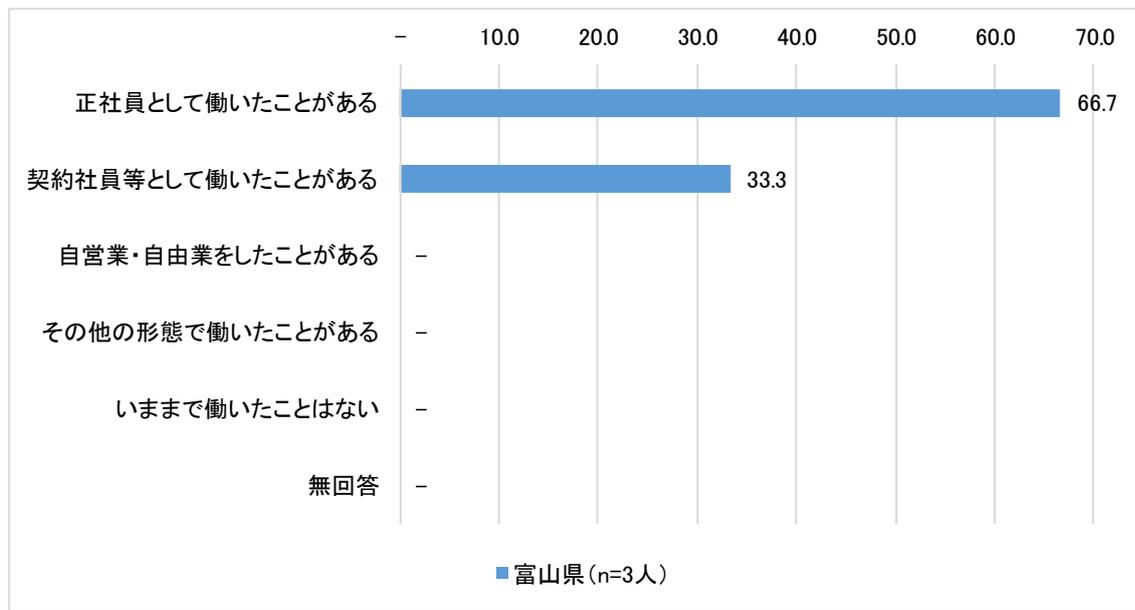
これまでの就労・就学等の経験について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「正社員として働いたことがある」、「契約社員等として働いたことがある」と答えた者はそれぞれ44.4%となっている。また、「いままで働いたことはない」と答えた者の割合は19.4%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「正社員として働いたことがある」と答えた者は55.2%、「契約社員等として働いたことがある」は48.3%となっている。また、「いままで働いたことはない」と答えた者の割合は6.9%となっている。

③60歳～64歳



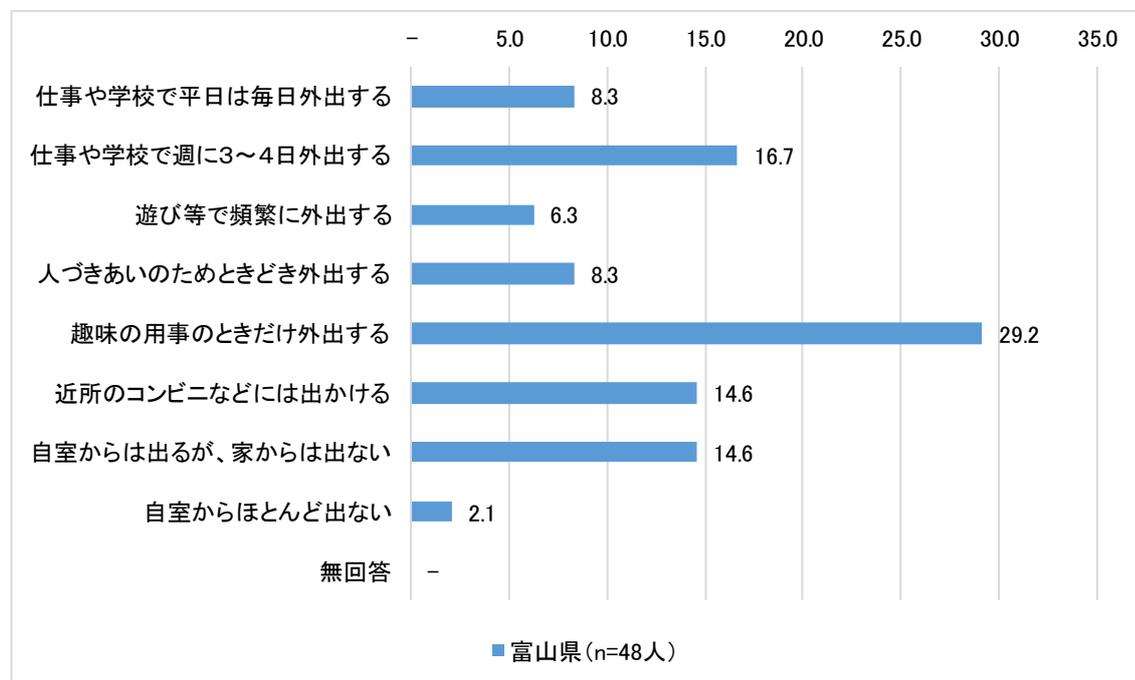
60歳～64歳をみると、「正社員として働いたことがある」と答えた者は66.7%、「契約社員等として働いたことがある」は33.3%となっている。

(8) 本人票 ふだんの外出頻度

【Q4はすべての方がお答えください。】

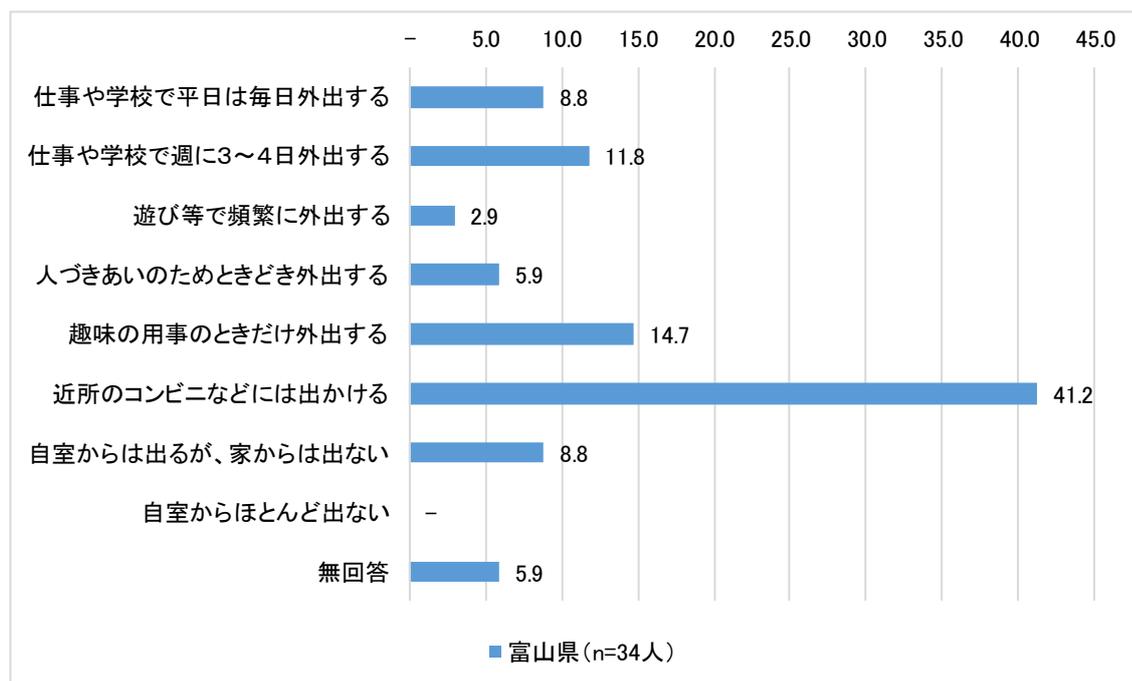
Q4 ふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



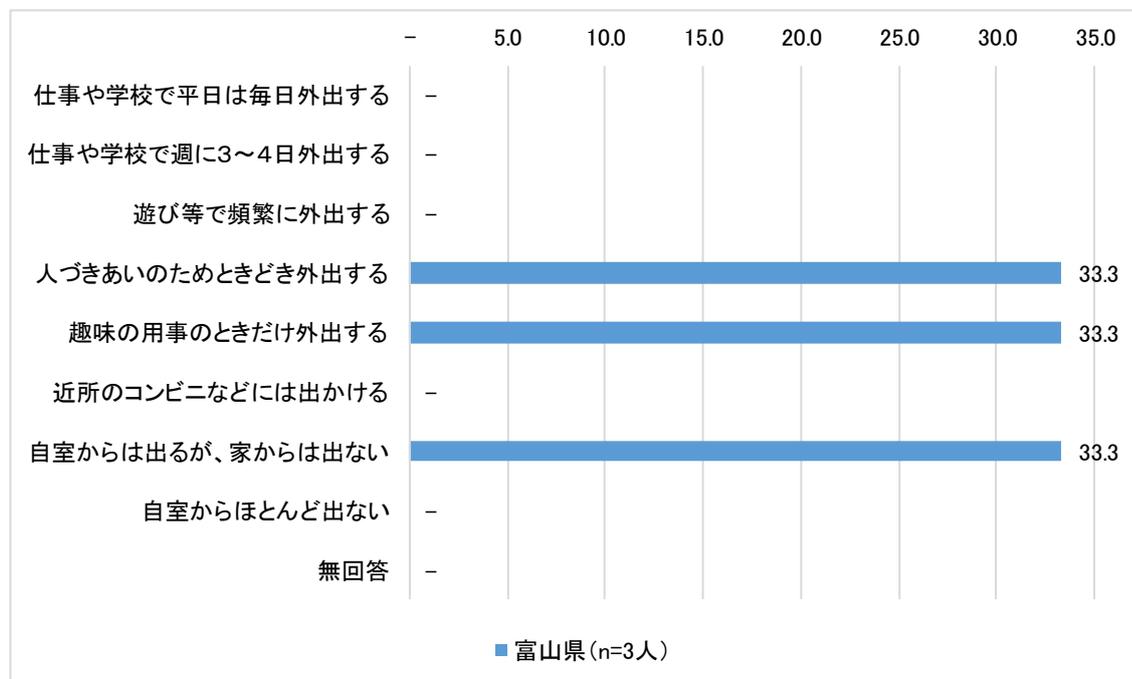
ふだんの外出頻度について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「趣味の用事の時だけ外出する」と答えた者は29.2%、「仕事や学校で週に3～4日外出する」は16.7%、「近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが家からはでない」はそれぞれ14.6%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「近所のコンビニなどには出かける」と答えた者は41.2%、「趣味の用事のみときだけ外出する」は14.7%、「仕事や学校で週に3～4日外出する」は11.8%となっている。

③60歳～64歳



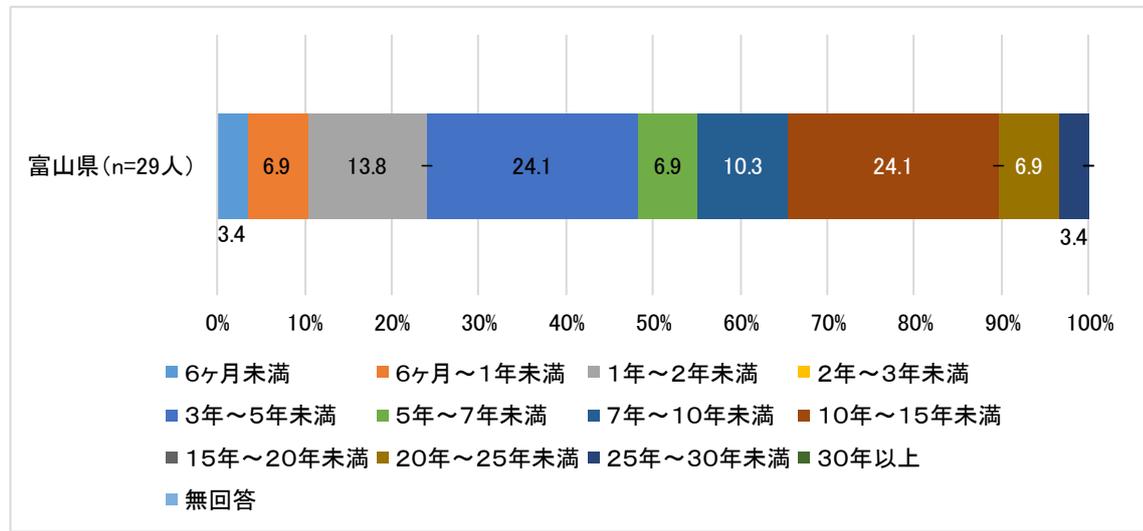
60歳～64歳をみると、「人づきあいのためときどき外出する」、「趣味の用事のみときだけ外出する」、「自室からは出るが、家からは出ない」と答えた者がそれぞれ33.3%となっている。

※本人票Q5～Q10は、本人票Q4において外出頻度が低かった者（本人票Q4において5～8を選択した者）のみが回答する項目となっている。

(9) 本人票 ひきこもりの状態になってからの期間

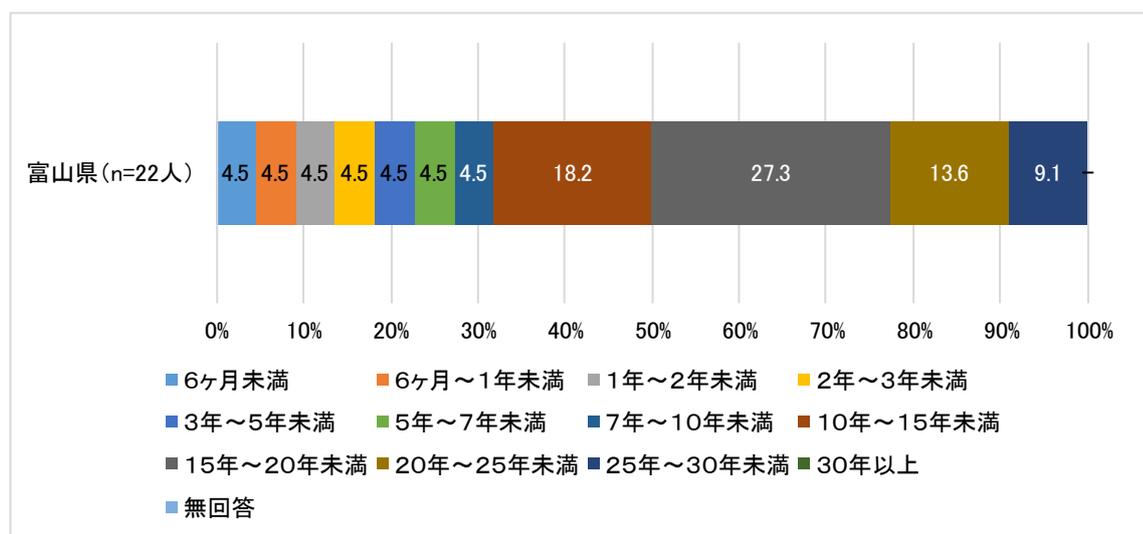
Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



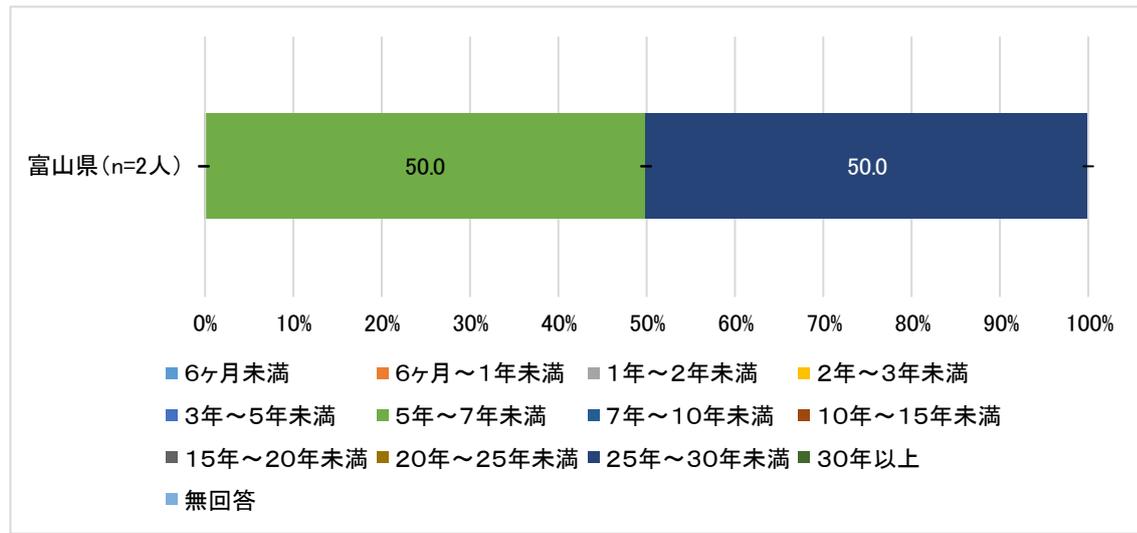
ひきこもりの状態になってからの期間について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「3年～5年未満」、「10年～15年未満」と答えた者の割合は24.1%、「1年～2年未満」は13.8%、「7年～10年未満」は10.3%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「15年～20年未満」と答えた者の割合は27.3%、「10年～15年未満」は18.2%、「20年～25年未満」は13.6%となっている。

③60歳～64歳

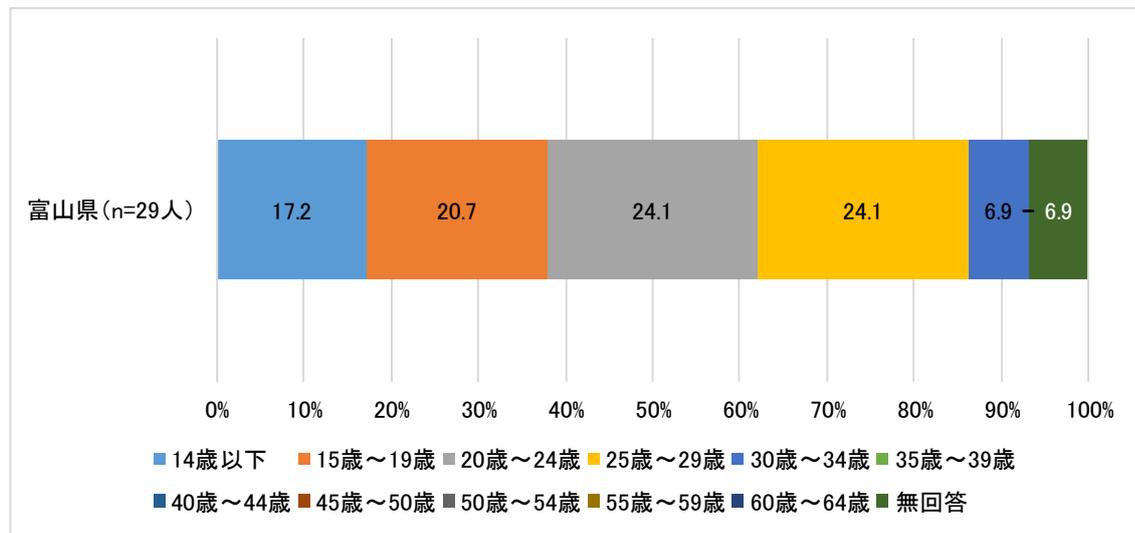


60歳～64歳をみると、「5年～7年未満」、「25年～30年未満」と答えた者の割合がそれぞれ50.0%となっている。

(10) 本人票 初めてひきこもりの状態になった年齢

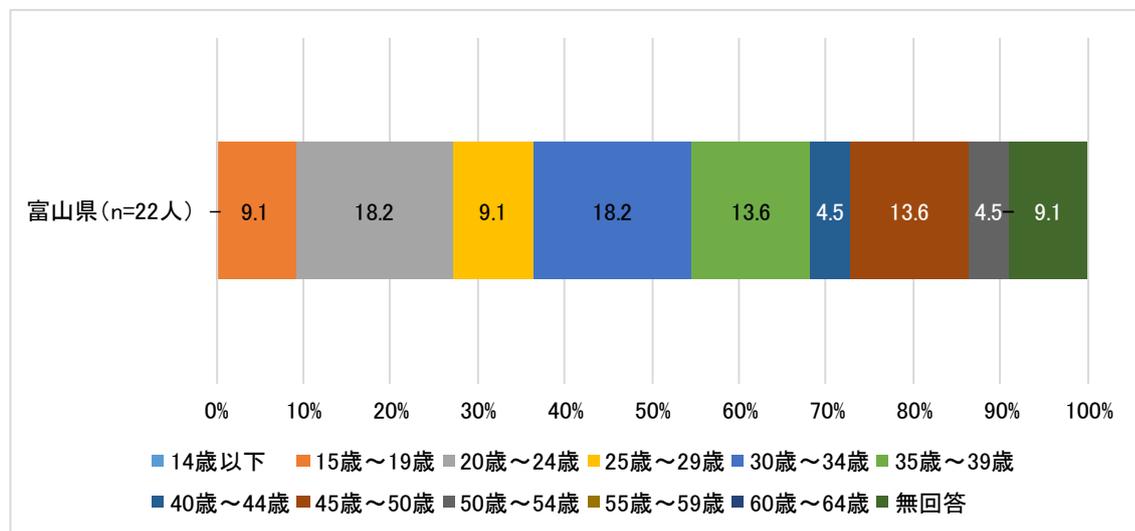
Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

①15歳～39歳



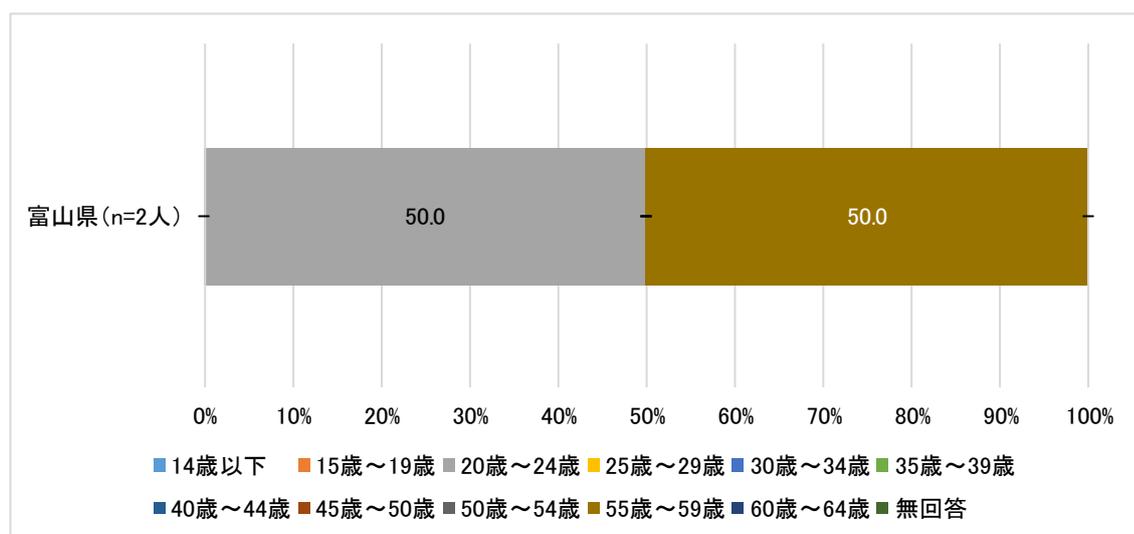
初めて現在の状態になったのは何歳の頃か聞いたところ、15歳～39歳をみると、「20歳～24歳」、「25歳～29歳」と答えた者の割合はそれぞれ24.1%、「15歳～19歳」は20.7%、「14歳以下」は17.2%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「20歳～24歳」、「30歳～34歳」と答えた者の割合はそれぞれ18.2%、「35歳～39歳」、「45歳～50歳」はそれぞれ13.6%、「15歳～19歳」、「25歳～29歳」はそれぞれ9.1%となっている。

③60歳～64歳

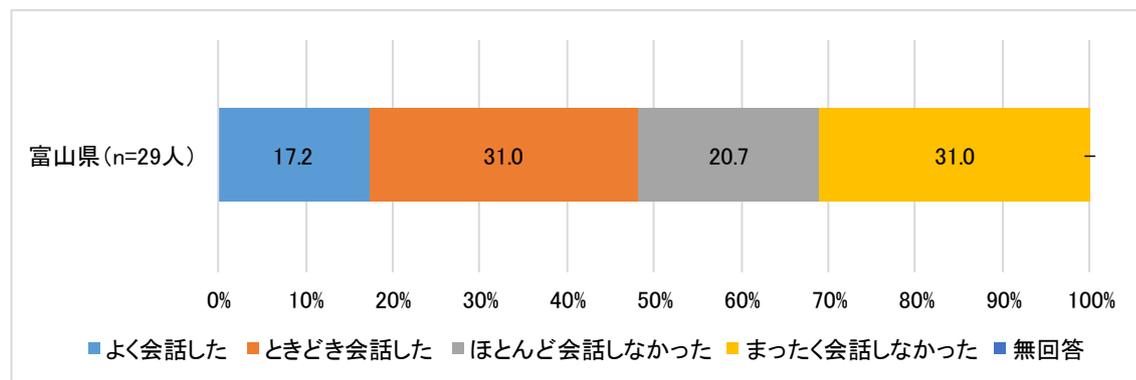


60歳～64歳をみると、「20歳～24歳」、「55歳～59歳」と答えた者の割合はそれぞれ50.0%となっている。

(11) 本人票 家族以外との会話の状況

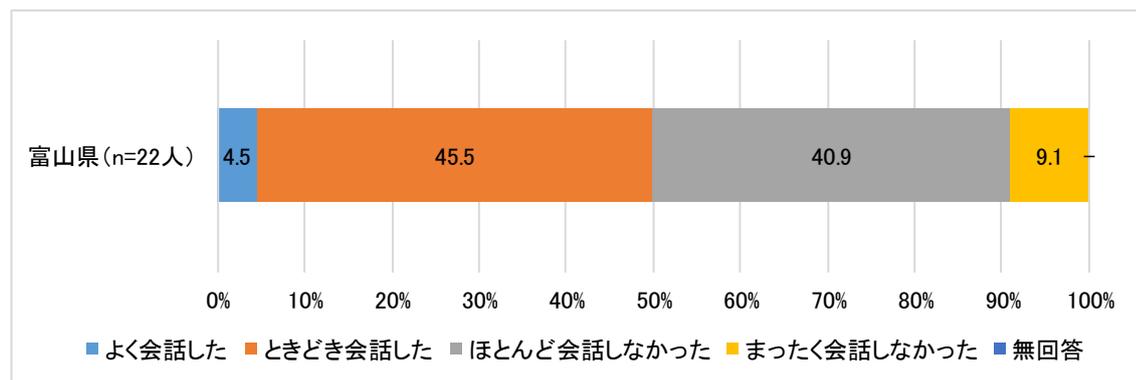
Q7 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



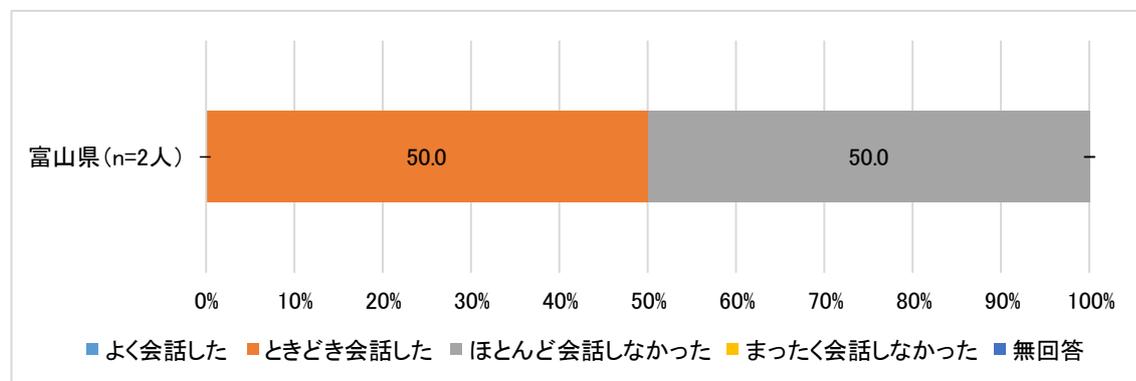
最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「よく会話した」と答えた者は17.2%、「ときどき会話した」は31.0%、「ほとんど会話しなかった」は20.7%、「まったく会話しなかった」は31.0%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「よく会話した」と答えた者の割合は4.5%、「ときどき会話した」は45.5%、「ほとんど会話しなかった」は40.9%、「まったく会話しなかった」は9.1%となっている。

③60歳～64歳

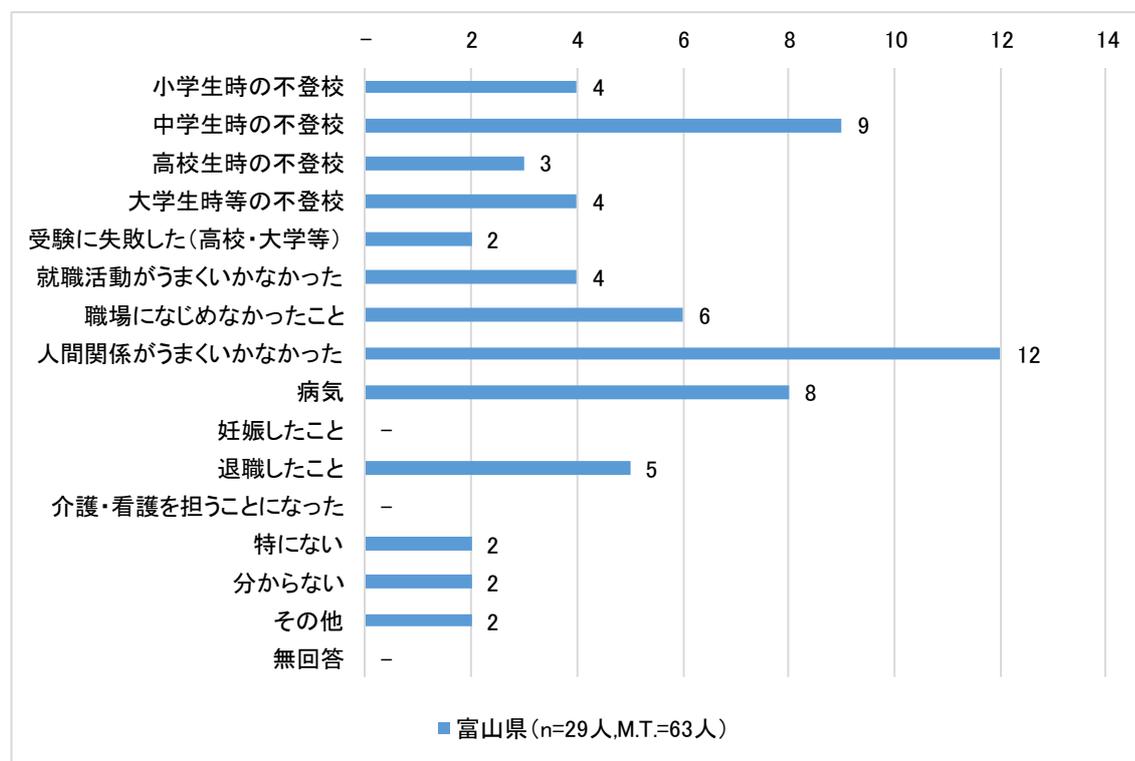


60歳～64歳をみると、「ときどき会話した」、「ほとんど会話しなかった」と答えた者の割合がそれぞれ50.0%となっている。

(12) 本人票 ひきこもりの状態になったきっかけ

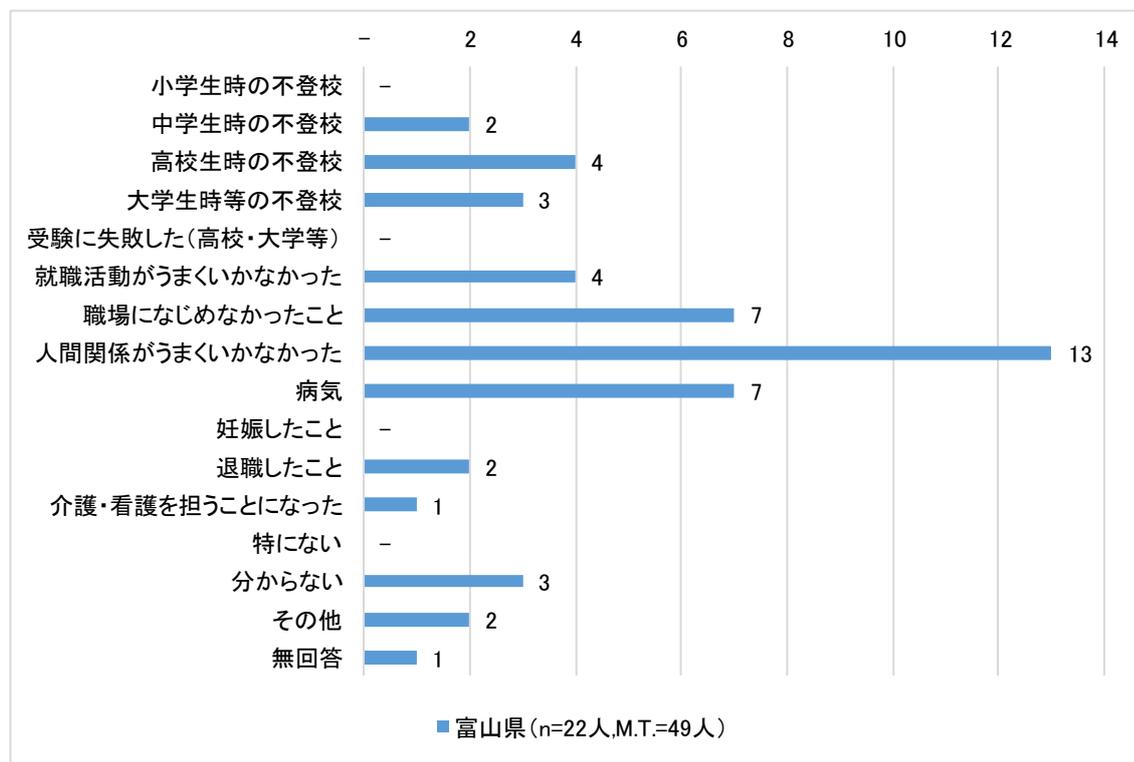
Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



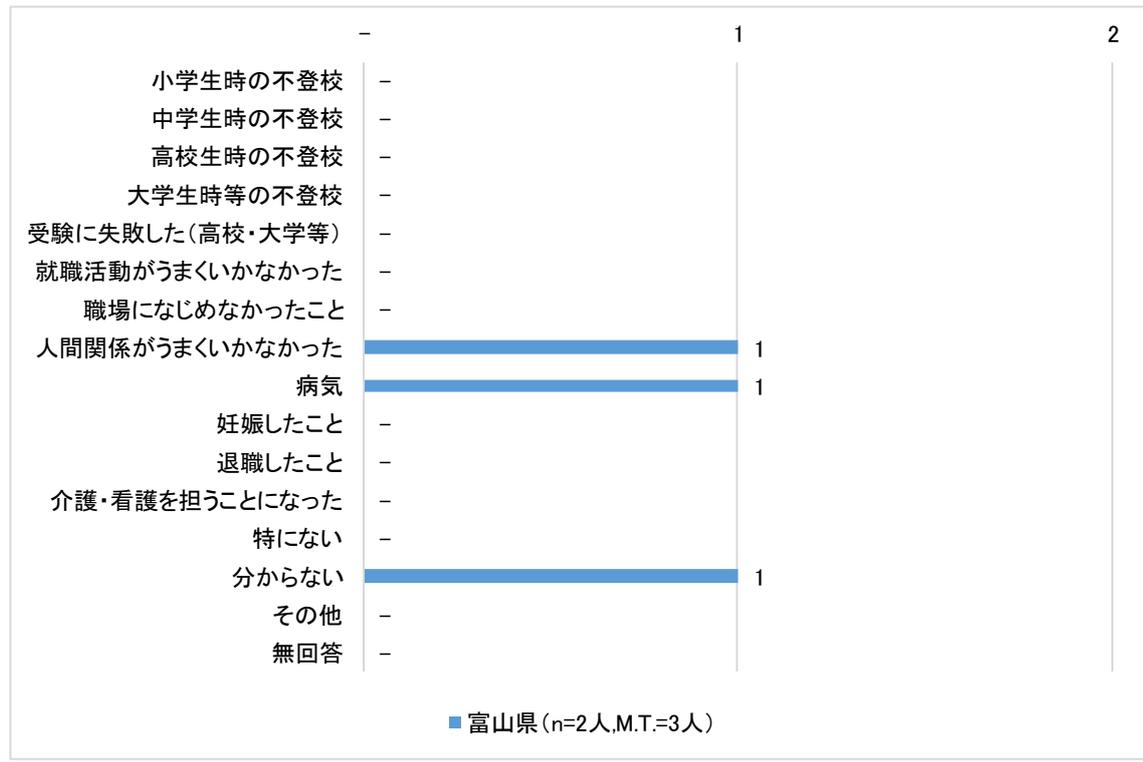
現在の状態になったきっかけを聞いたところ、15歳～39歳をみると、「人間関係がうまくいかなかった」と答えた者が12人、「中学生時の不登校」が9人、「病気」が8人、「職場になじめなかったこと」が6人となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「人間関係がうまくいかなかった」と答えた者が13人、「職場になじめなかったこと」、「病気」がそれぞれ7人、「高校生時の不登校」、「就職活動がうまくいかなかったこと」がそれぞれ4人となっている。

③60歳～64歳

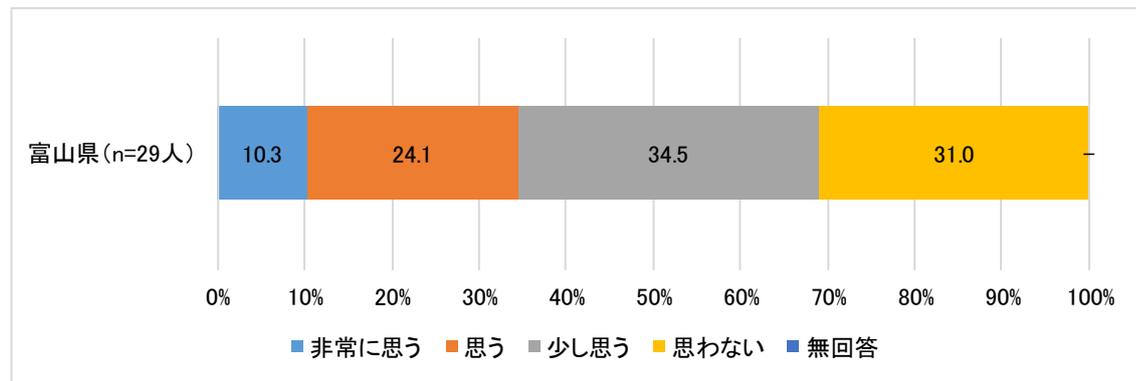


60歳～64歳をみると、「人間関係がうまくいかなかった」、「病気」、「分からない」と答えた者がそれぞれ1人となっている。

(13) 本人票 ひきこもりの状態について、関係機関に相談したいか

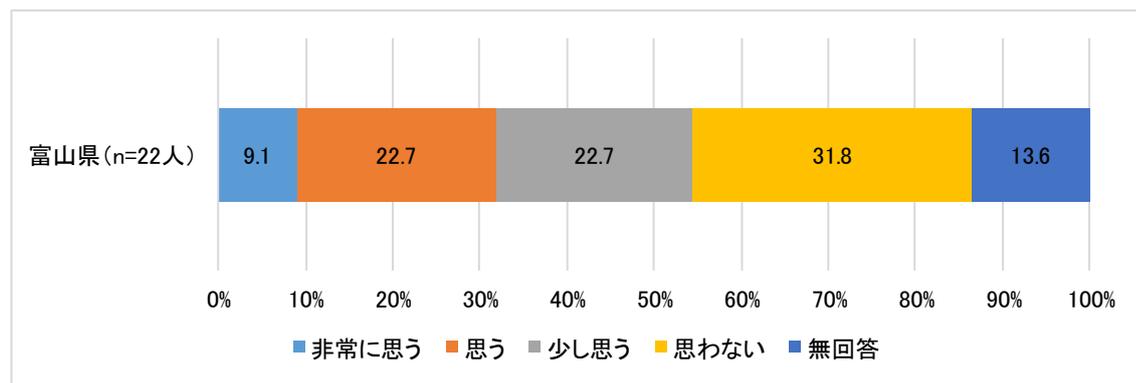
Q9 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



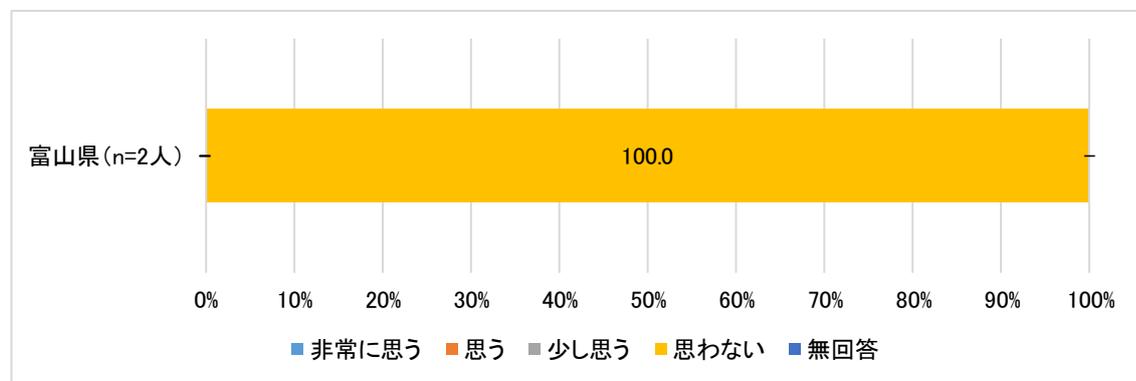
現在の状態について、関係機関に相談したいか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「非常に思う」と答えた者の割合は10.3%、「思う」は24.1%、「少し思う」は34.5%、「思わない」は31.0%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「非常に思う」と答えた者の割合は9.1%、「思う」、「少し思う」はそれぞれ22.7%、「思わない」は31.8%となっている。

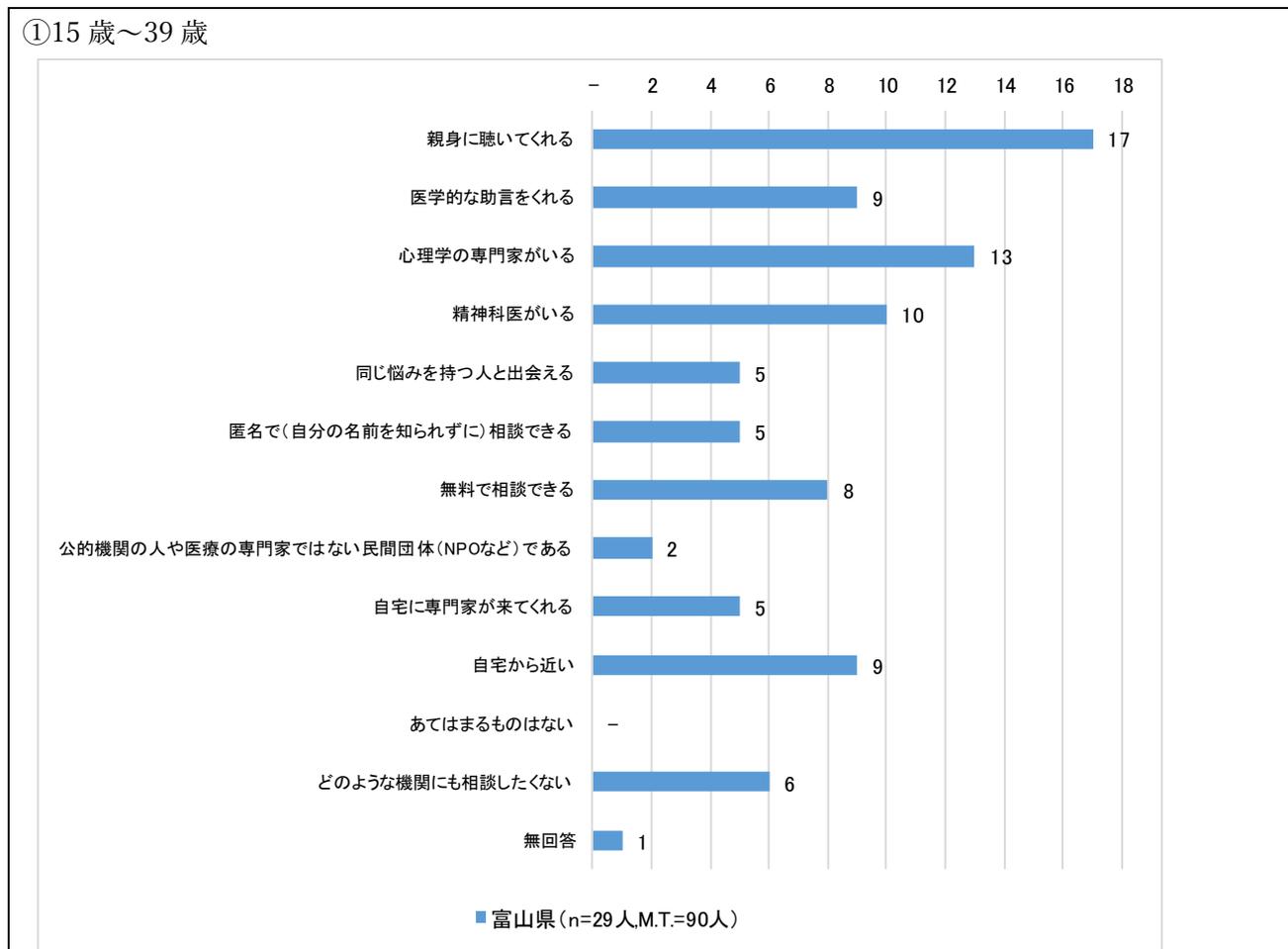
③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「思わない」と答えた者の割合が100.0%となっている。

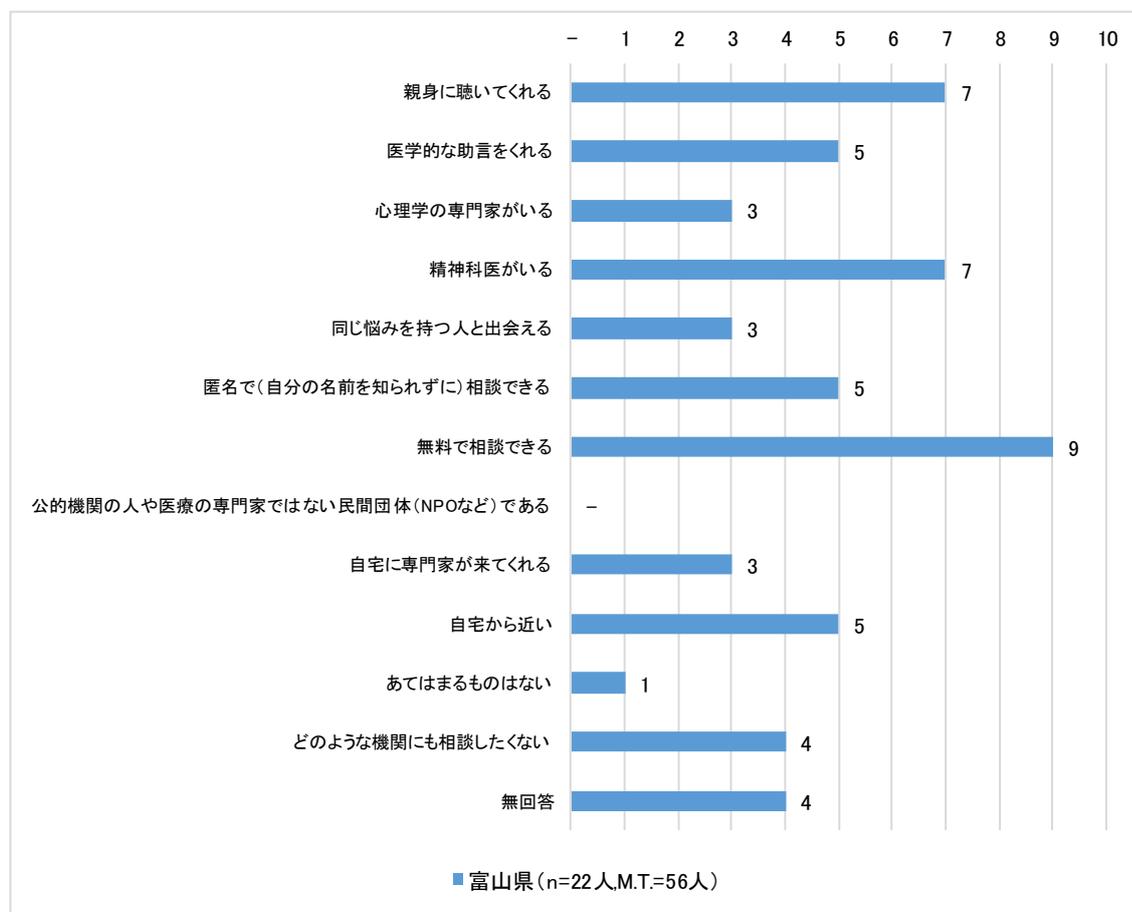
(14) 本人票 ひきこもりの状態をどのような機関なら相談したいか

Q10 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)



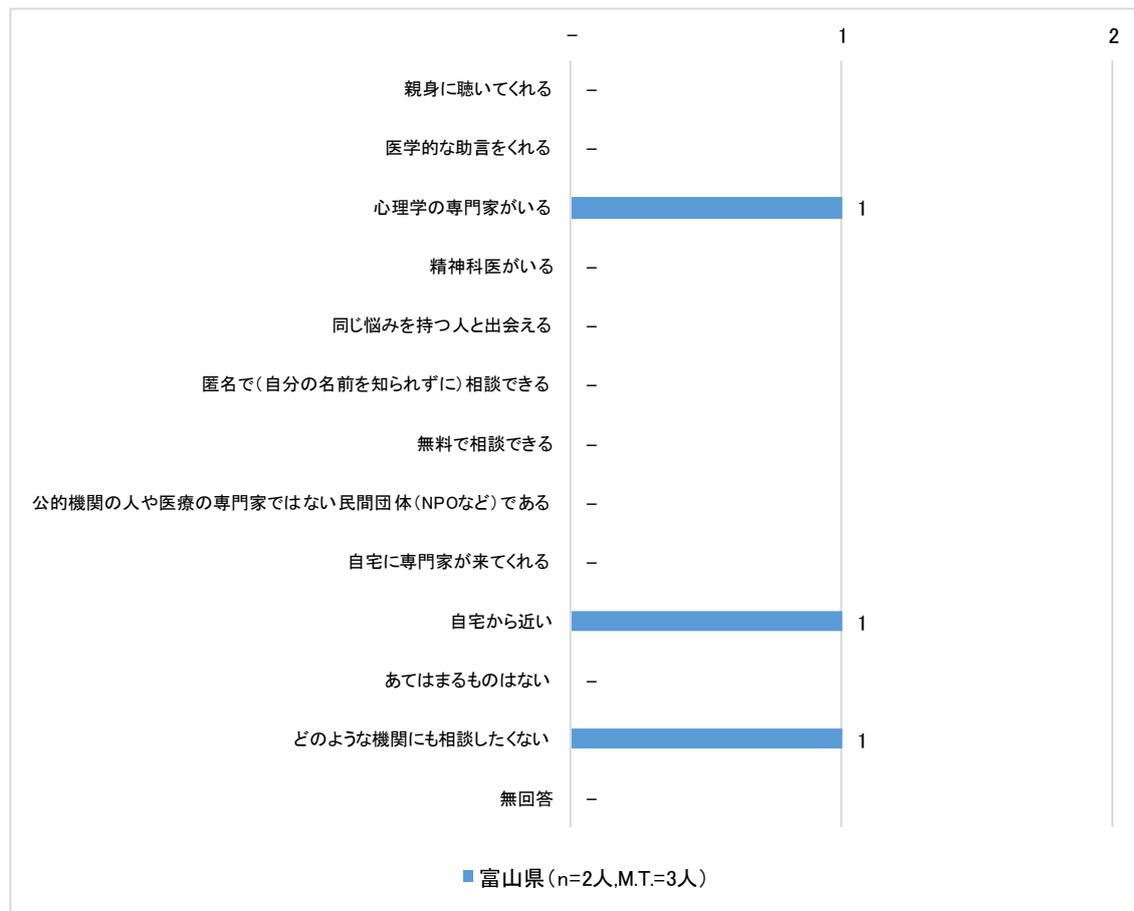
現在の状態を関係機関に相談するとすればどのような機関なら相談したいか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「親身に聴いてくれる」と答えた者は17人、「心理学の専門家がいる」は13人、「精神科医がいる」は10人となっている。また、「どのような機関にも相談したくない」と答えた者は6人となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「無料で相談できる」と答えた者は9人、「親身に聴いてくれる」、「精神科医がいる」はそれぞれ7人となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者は1人、「どのような機関にも相談したくない」と答えた者は4人となっている。

③60歳～64歳



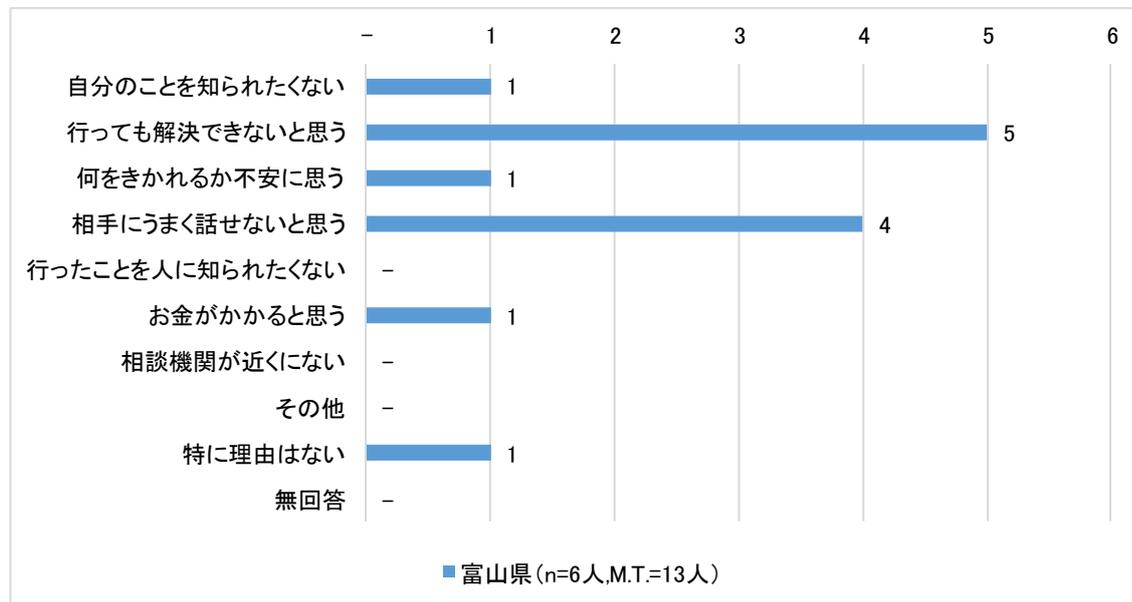
60歳～64歳をみると、「心理学の専門家がいる」、「自宅から近い」、「どのような機関にも相談したくない」と答えた者はそれぞれ1人となっている。また、「あてはまるものはない」と答えた者は1人となっている。

(15) 本人票 相談したくない理由

【Q10 で「12」に○をつけた方のみ、Q11 にお答えください。】

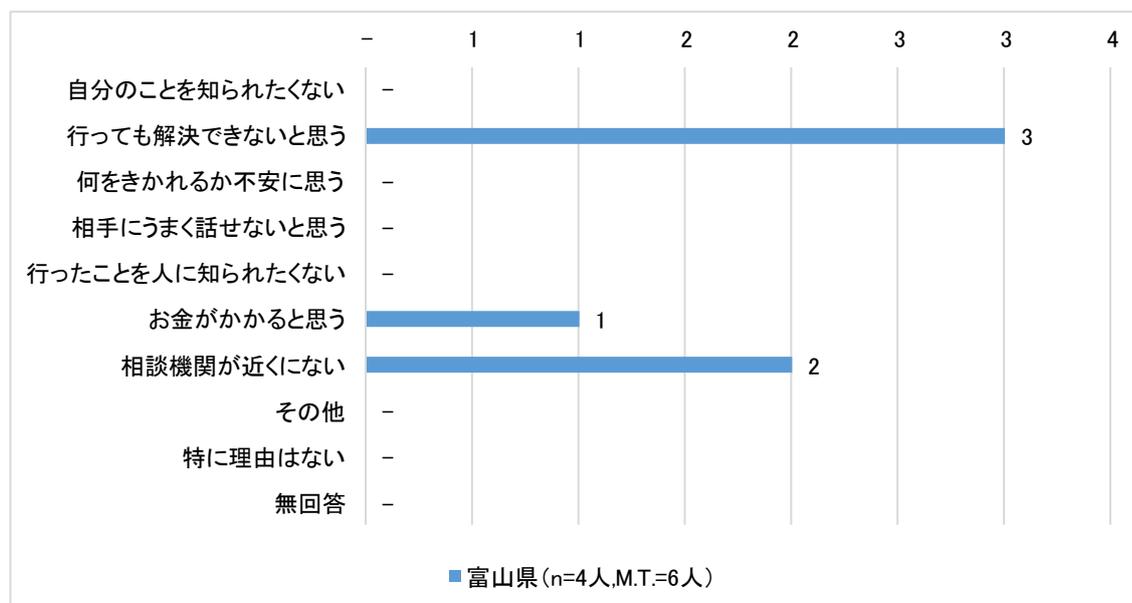
Q11 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



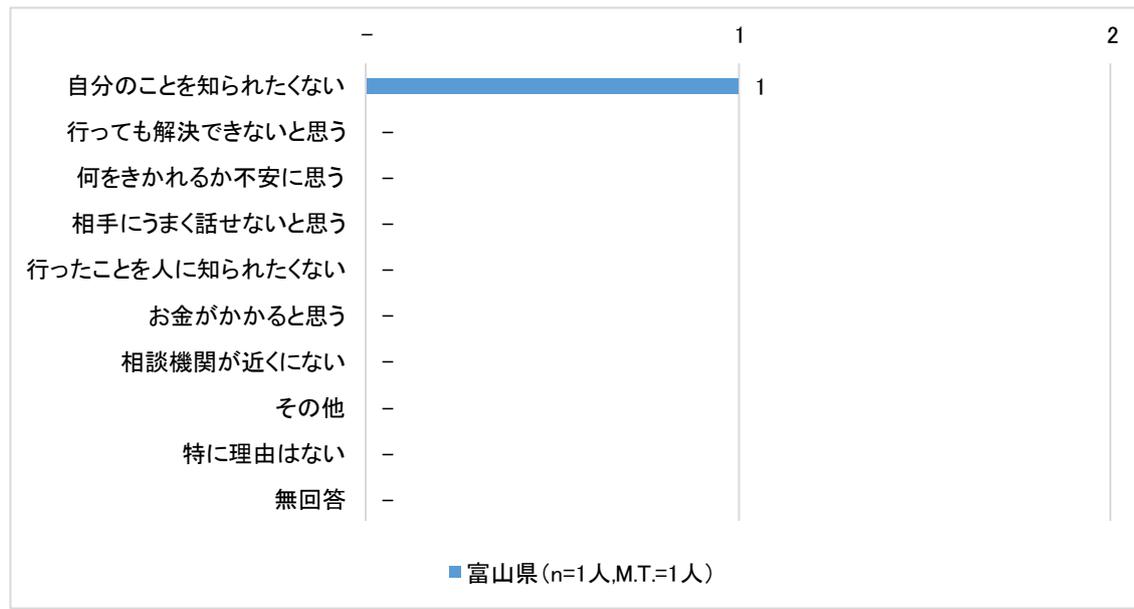
Q10で「相談したくない」と答えた者に、相談したくない理由を聞いたところ、15歳～39歳をみると、「行っても解決できないと思う」と答えた者が5人、「相手にうまく話せないと思う」が4人、「自分のことを知られたくない」、「何をきかれるか不安に思う」、「お金がかかると思う」がそれぞれ1人となっている。また、「特に理由はない」と答えた者は1人となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「行っても解決できないと思う」と答えた者が3人、「相談機関が近くにない」が2人、「お金がかかると思う」が1人となっている。

③60歳～64歳

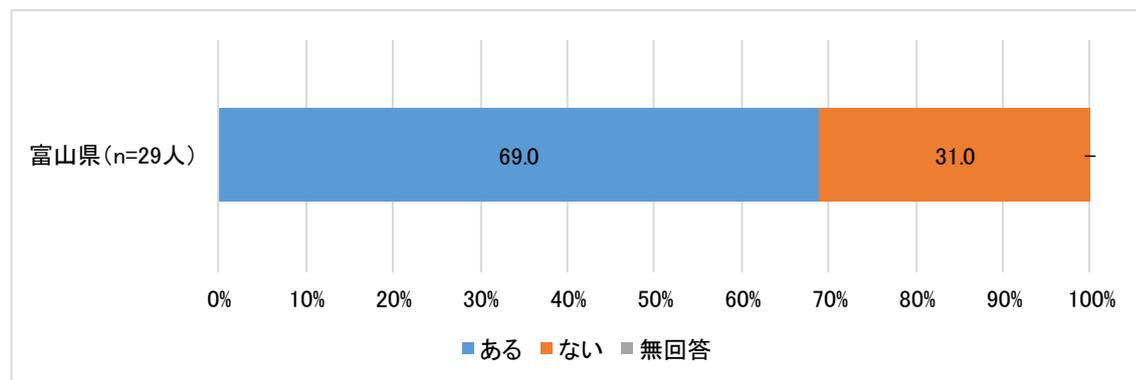


60歳～64歳をみると、「自分を知られたくない」と答えた者が1人となっている。

(16) 本人票 関係機関に相談した経験

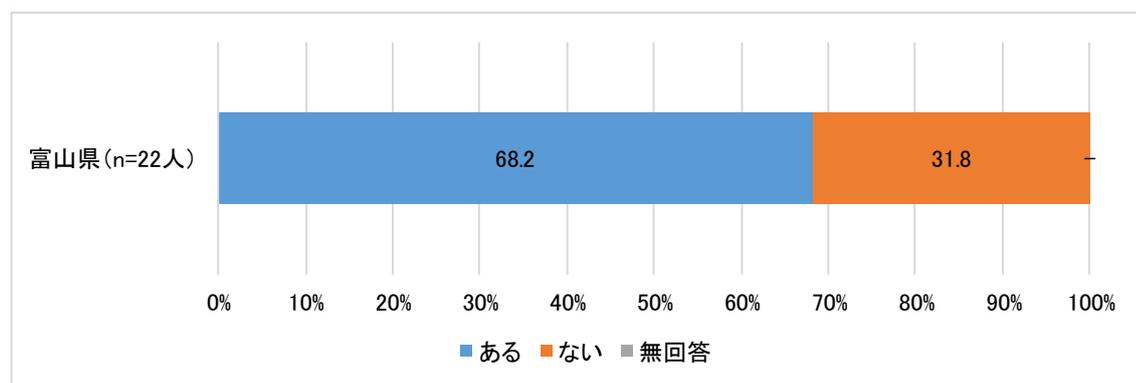
Q12 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

①15歳～39歳



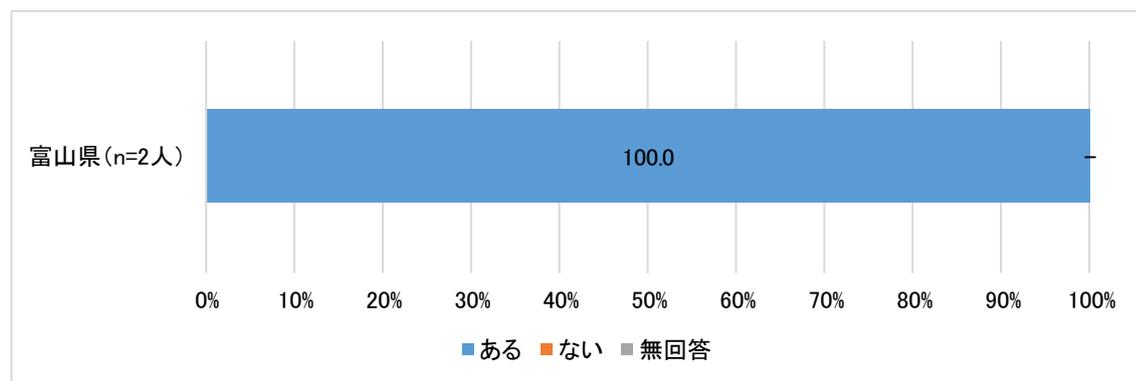
現在の状態について、関係機関に相談したことがあるか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「ある」と答えた者の割合が69.0%、「ない」が31.0%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「ある」と答えた者の割合が68.2%、「ない」が31.8%となっている。

③60歳～64歳



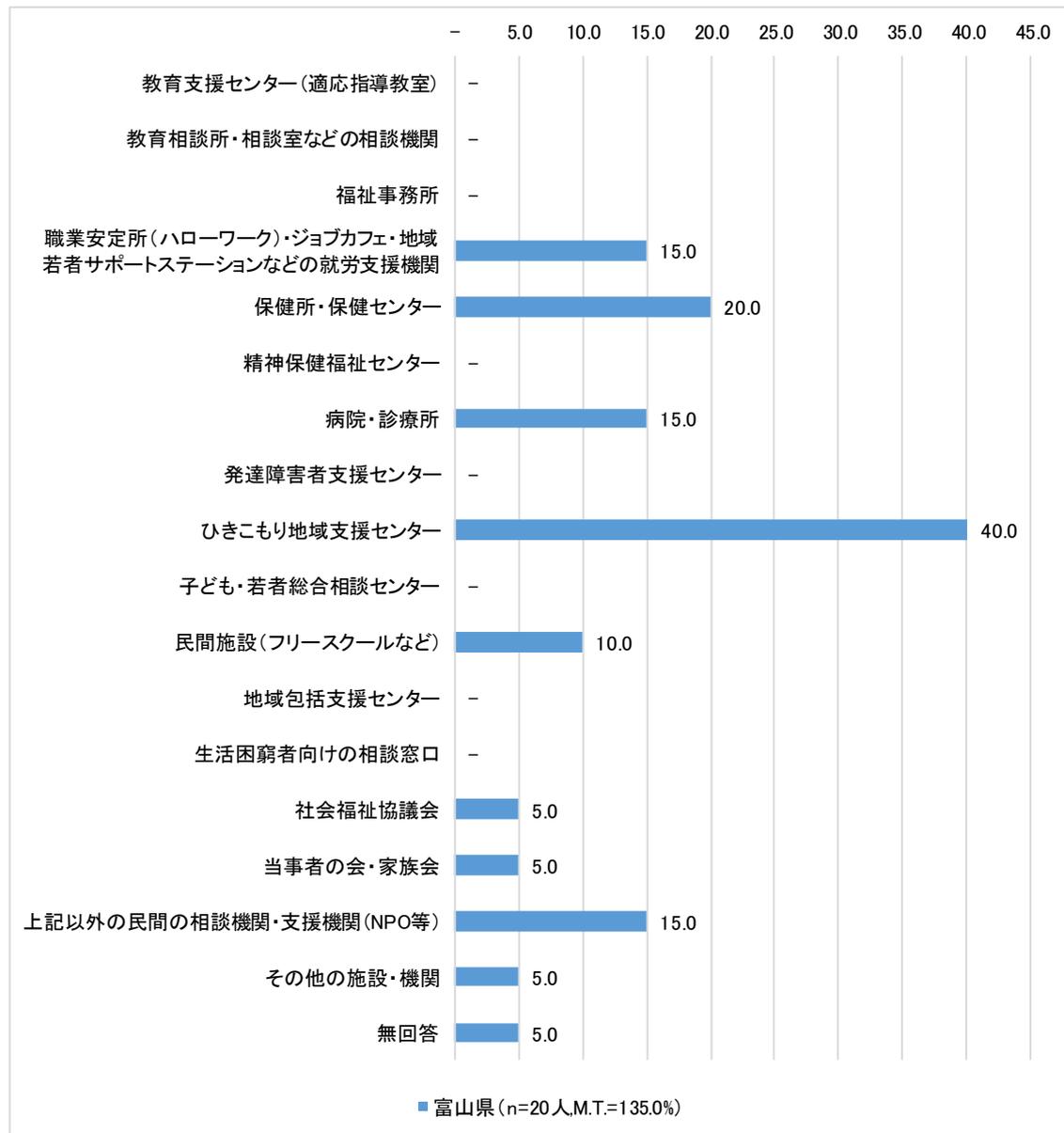
60歳～64歳をみると、「ある」と答えた者の割合が100.0%となっている。

(17) 本人票 相談した機関

【Q12で「1」に○をつけた方のみ、Q13～Q14にお答えください。】

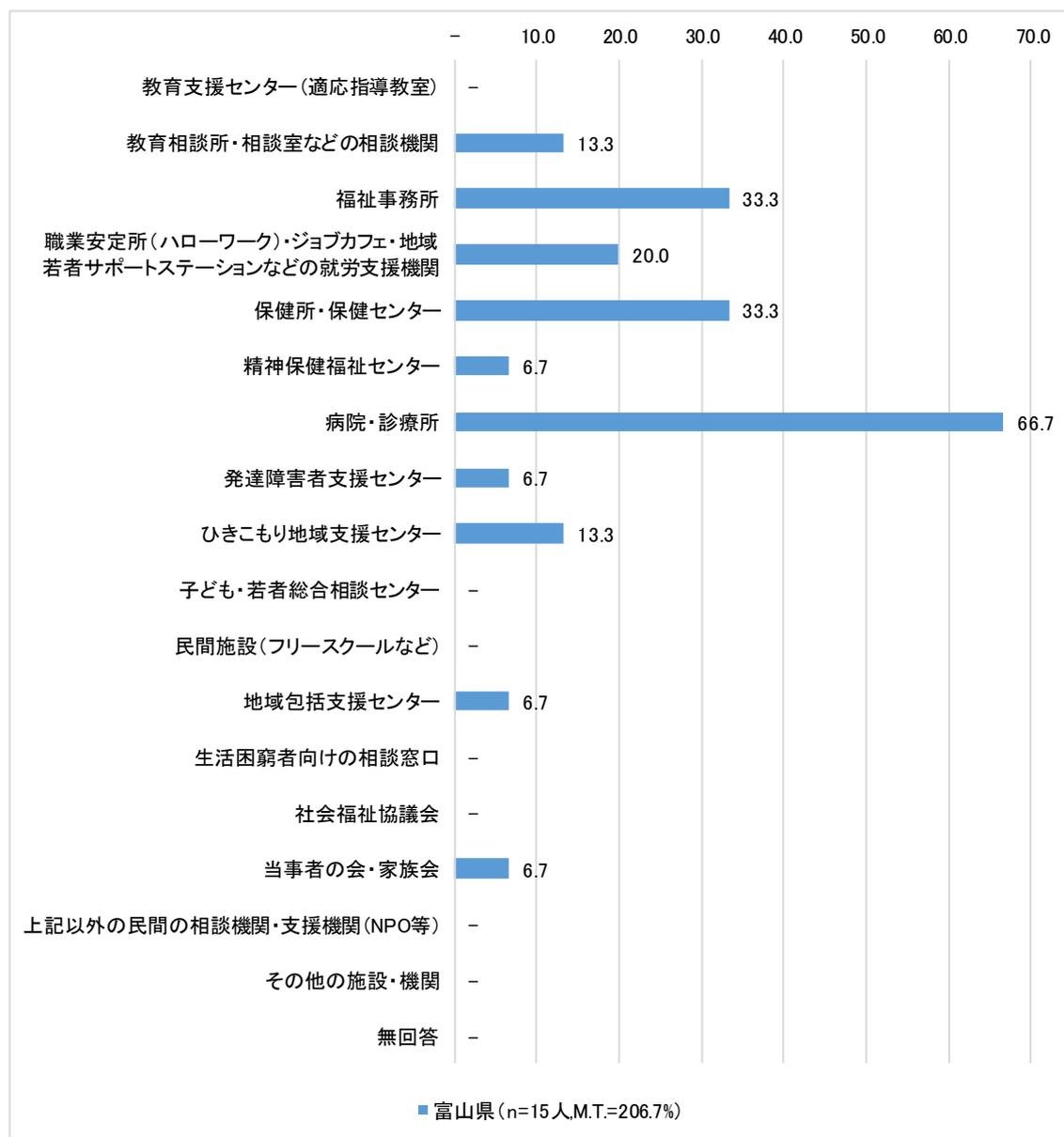
Q13 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



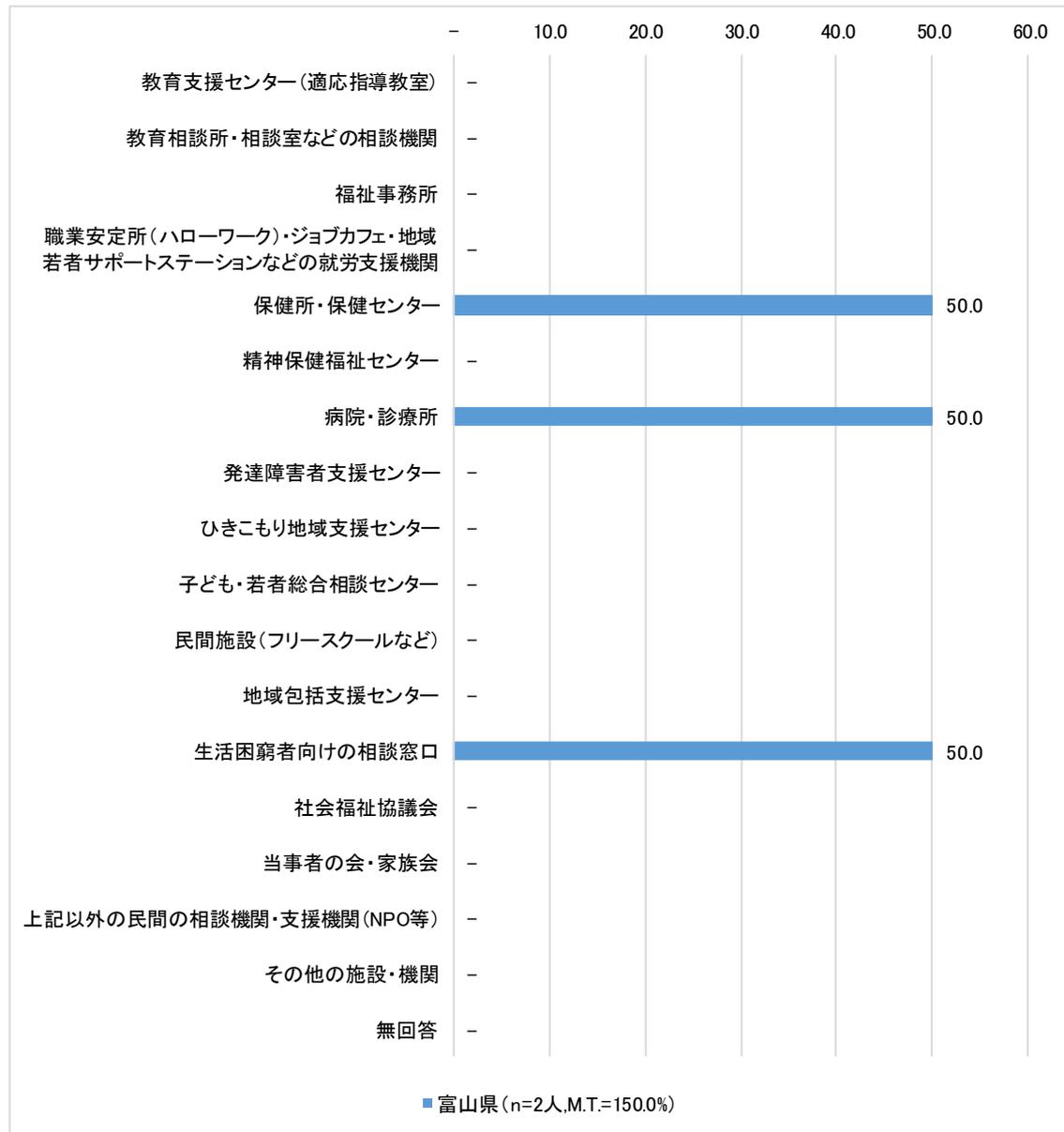
Q12で相談したことが「ある」と答えた者に、どのような相談機関に相談したか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「ひきこもり地域支援センター」と答えた者の割合が40.0%、「保健所・保健センター」が20.0%、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」、「病院・診療所」が15.0%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「病院・診療所」と答えた者の割合が66.7%、「福祉事務所」、「保健所・保健センター」が33.3%、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が20.0%となっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「保健所・保健センター」、「病院・診療所」、「生活困窮者向けの相談窓口」と答えた者の割合がそれぞれ50.0%となっている。

(18) 本人票 相談した結果

Q14 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

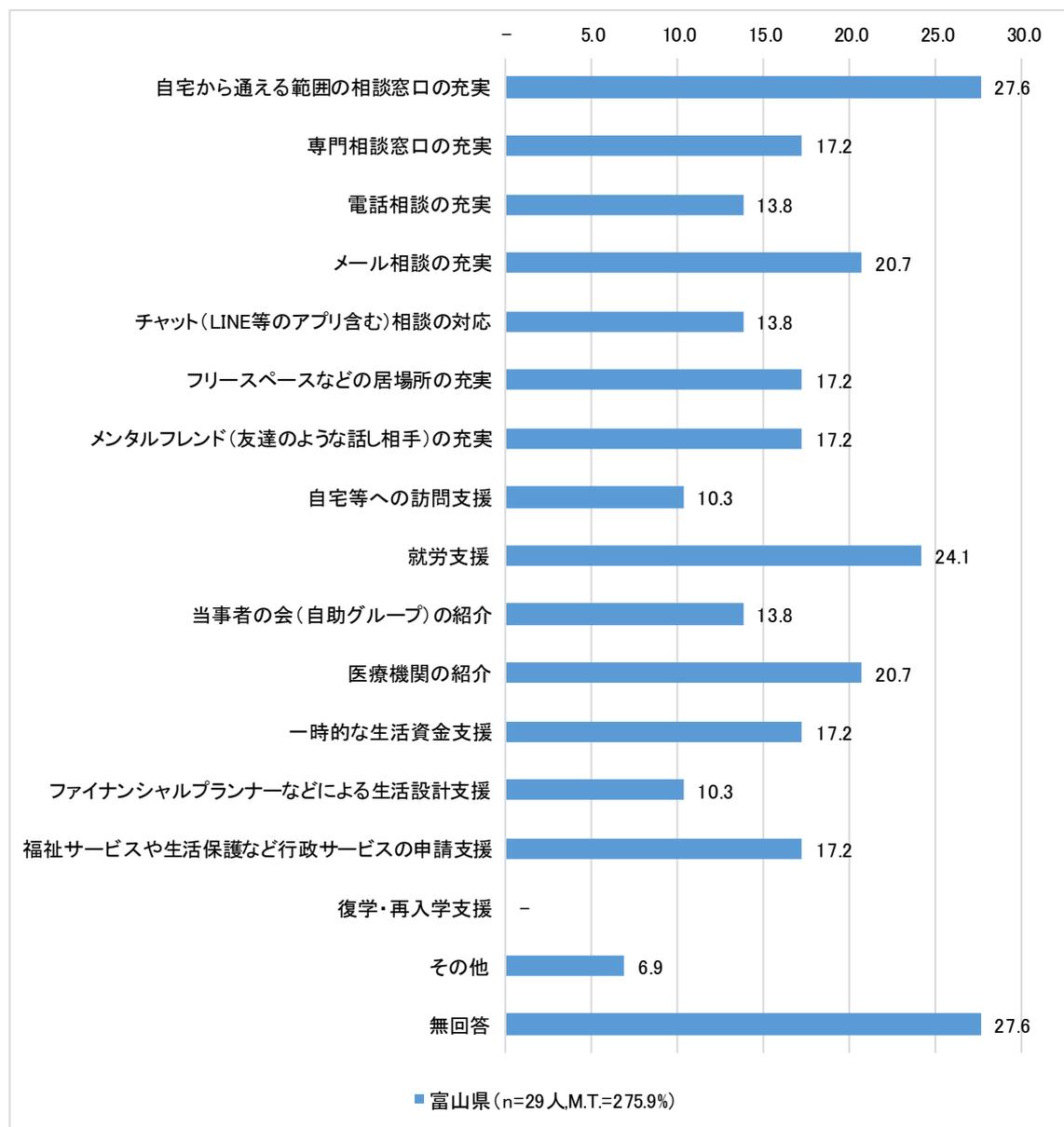
自分や家族で抱え込むより、相談して良かった。
自分一人で悩むことがなくなり、ためになるアドバイスが聞けて良かった。家族以外の人の話が聞けるので考え方が少し変わった。自分の話を聞いてもらえるのが嬉しかった。元気が出た。相談してから今の状態の過ごし方や気持ちの保ち方がわかった。病院に相談することも考えられるようになり、少し希望が持てるようになった。
親身になって話を聞いてくれて嬉しかった。話すことで自分の考えがまとまり、無気力から抜け出すいい機会になっている。自分の今の状態をありのままに受け止めてくれる安心感がある。
以前と比べて気が楽になり、多少明るい気持ちになれたように思う。
障害サービスを受けている。今後もサービスを受けたい。
病院に通院するきっかけとなった。
相談機関に定期的に関わってもらっていても、「Q11」にあるようなことを思うことがある。相談した結果、特に良い状況になってはいないけど、話をきいてもらえることをありがたく思う。
長い時間を要すると思う。相談前より少しではあるが改善方向だと感じる。
もっと早い段階で相談できればよかった。
相談したことで気持ちは落ち着いたがこのままでいいのか不安に思う。
何も変わらない。
もっとどうすれば良いかわからなくなった。
五年ほど通っていますが、月に1回で1時間ほどの会話だけでは何も変わりません。いつでも連絡できる友達のような人がほしいです。通ってわかったのはひきこもりに人権はないということです。孤独感が増しただけです。
自分が求めているものとのギャップがあり、足が向かなくなっていました。
相談をいくらしても根本的に病気が治る訳ではないのであまり有用性を感じない。
私の家庭での父母への接し方で私を悪く言うことに終始し、父母が私を非難することばかりでショックを受けた。相談に父母を参加させたくない。
自分が小学校時のトラウマを抱えているという他の人とは違うレアケースのため、あまりアドバイスが参考にならなかった。一般論の上で問題解決しようとしている感じ。
まだ解決した訳ではないので何ともいえない。
まともに聞いてくれる人はほとんどいない。キチガイ扱いされる。
形だけでも何か未来に向けて取り組んでいるということが気休めになったが、根本的な解決には至っていないと思う。
全く意味がなかった。
どの相談機関もこちらの要望を聞かずに自分たちの意見を押し付けてくる。親身になってくれないので全く解決できない。またあそこへ行け、ここへ行けと言われ、たらい回しにされる。こちらの優先度に合わせて協力し、現実的な解決をしてもらえたらいいと思う。

(19) 本人票 今後の支援策

【Q15～Q16 はすべての方がお答えください。】

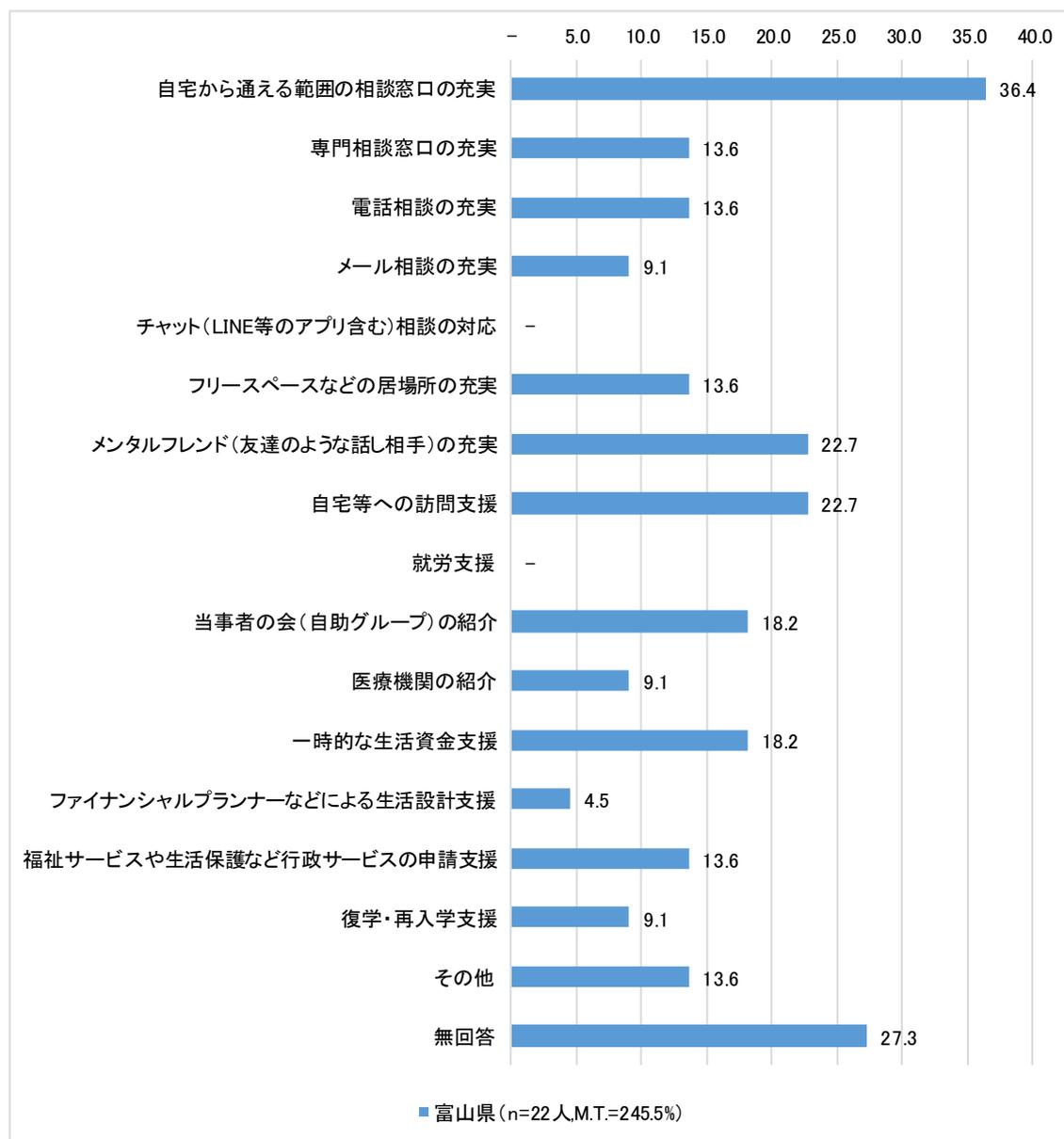
Q15 今後、どのような支援を望まれますか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



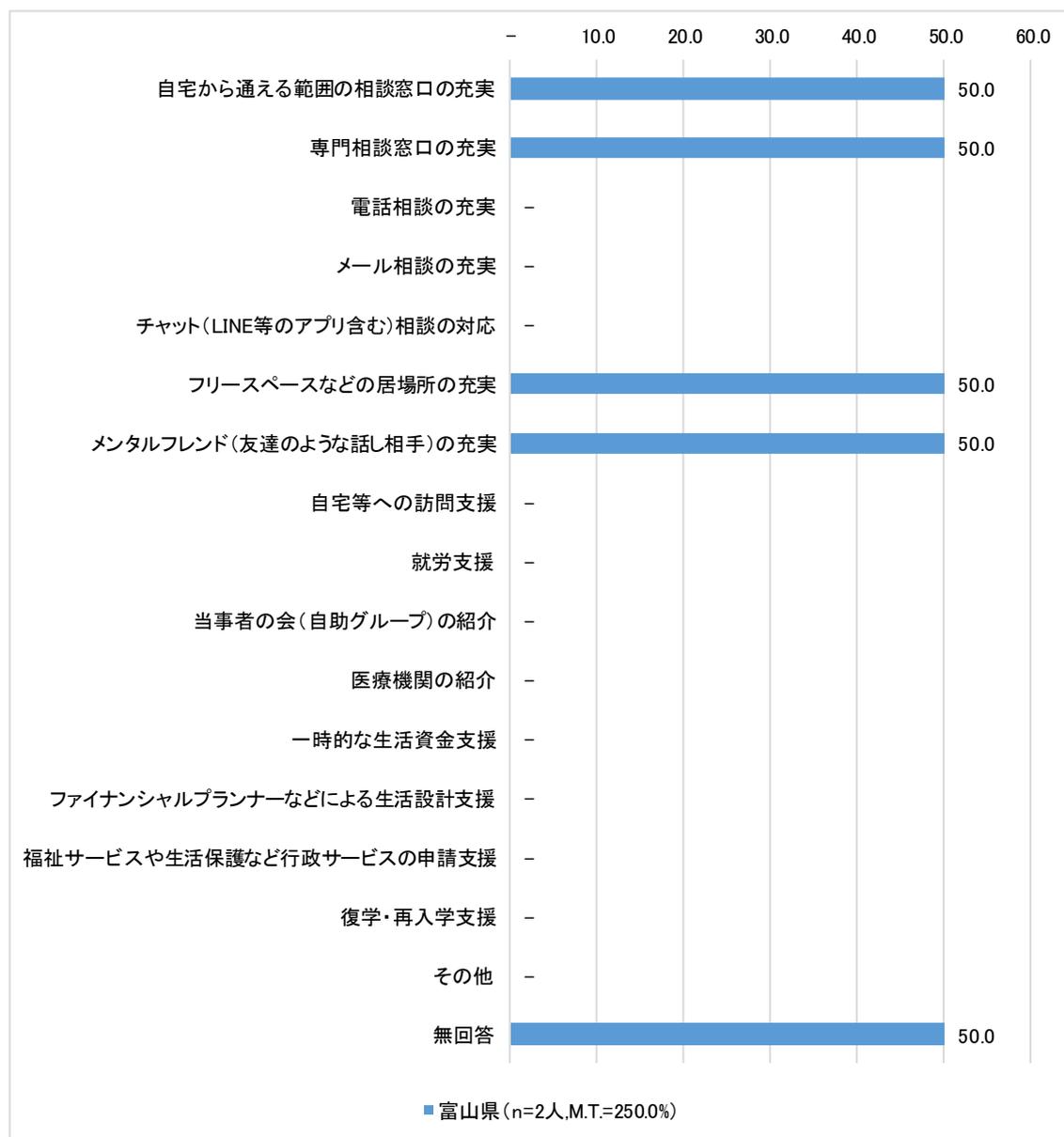
今後の支援策について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「自宅から通える範囲の相談窓口の充実」と答えた者の割合は27.6%、「就労支援」は24.1%、「メール相談の充実」、「医療機関の紹介」はそれぞれ20.7%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「自宅から通える範囲の相談窓口の充実」と答えた者の割合は36.4%、「メンタルフレンド（友達のような話し相手）の充実」、「自宅等への訪問支援」はそれぞれ22.7%、「当事者の会（自助グループ）の紹介」、「一時的な生活資金支援」はそれぞれ18.2%となっている。

③60歳～64歳

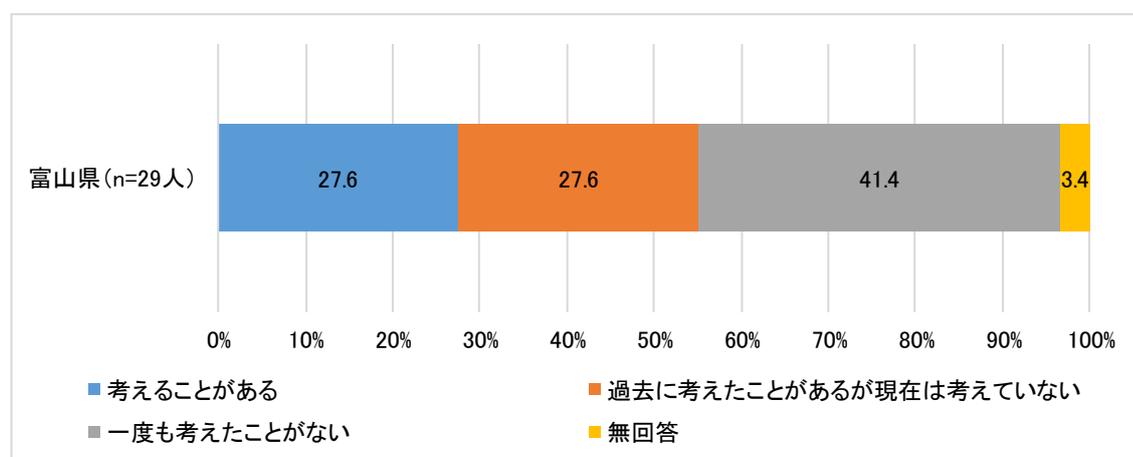


60歳～64歳をみると、「自宅から通える範囲の相談窓口の充実」、「専門相談窓口の充実」、「フリースペースなどの居場所の充実」、「メンタルフレンド（友達のような話し相手）の充実」と答えた者の割合はそれぞれ50.0%となっている。

(20) 本人票 自殺に対する考え

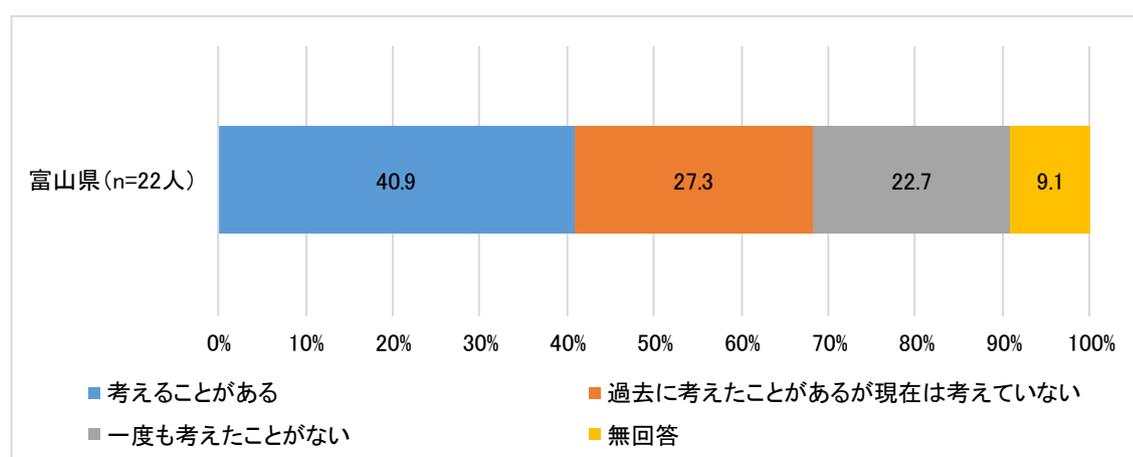
Q16 現在の状態になってから、あなたは自殺したいと考えたことがありますか。

①15歳～39歳



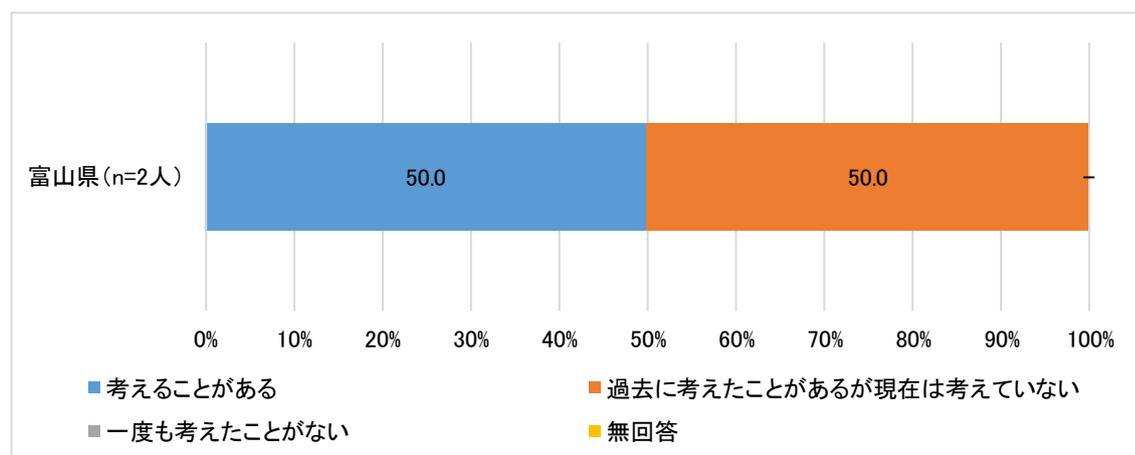
現在の状態になってから、自殺したいと考えたことがあるか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「考えることがある」、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない」と答えた者の割合はそれぞれ27.6%、「一度も考えたことがない」は41.4%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「考えることがある」と答えた者の割合は40.9%、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない」は27.3%、「一度も考えたことがない」は22.7%となっている。

③60歳～64歳



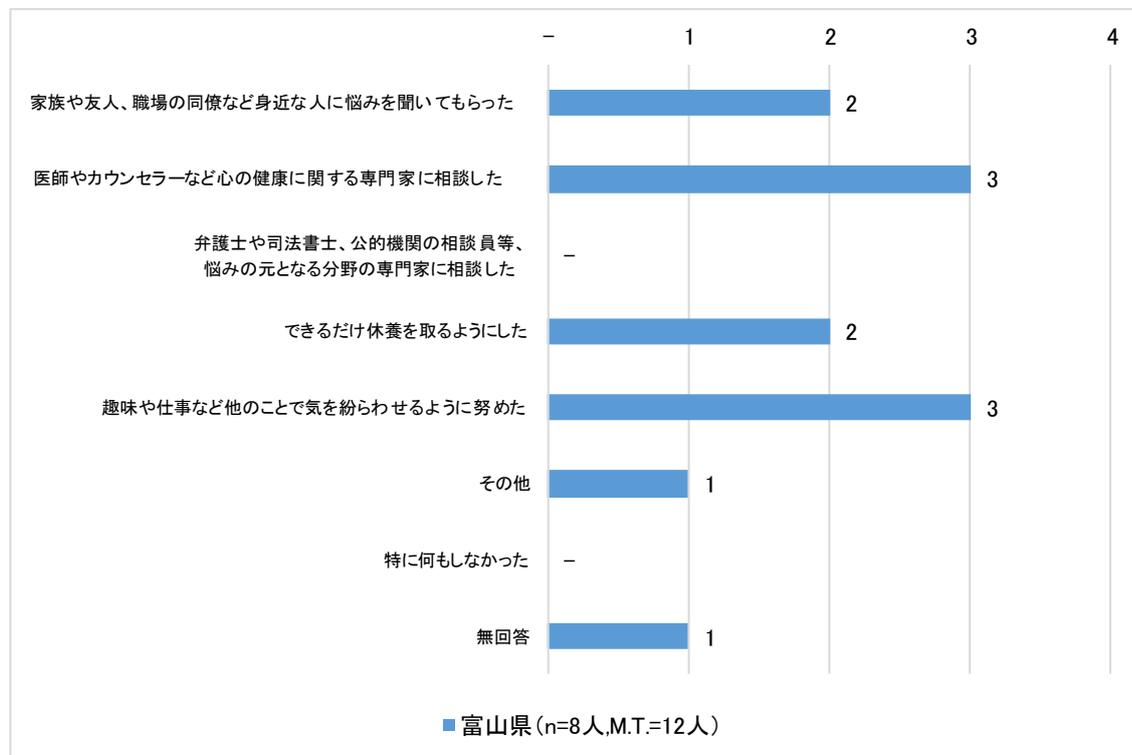
60歳～64歳をみると、「考えることがある」と答えた者の割合は50.0%、「過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない」は50.0%となっている。

(21) 本人票 自殺を考えた時の乗り越え方

【Q16で「2」に○をつけた方のみ、Q17にお答えください。】

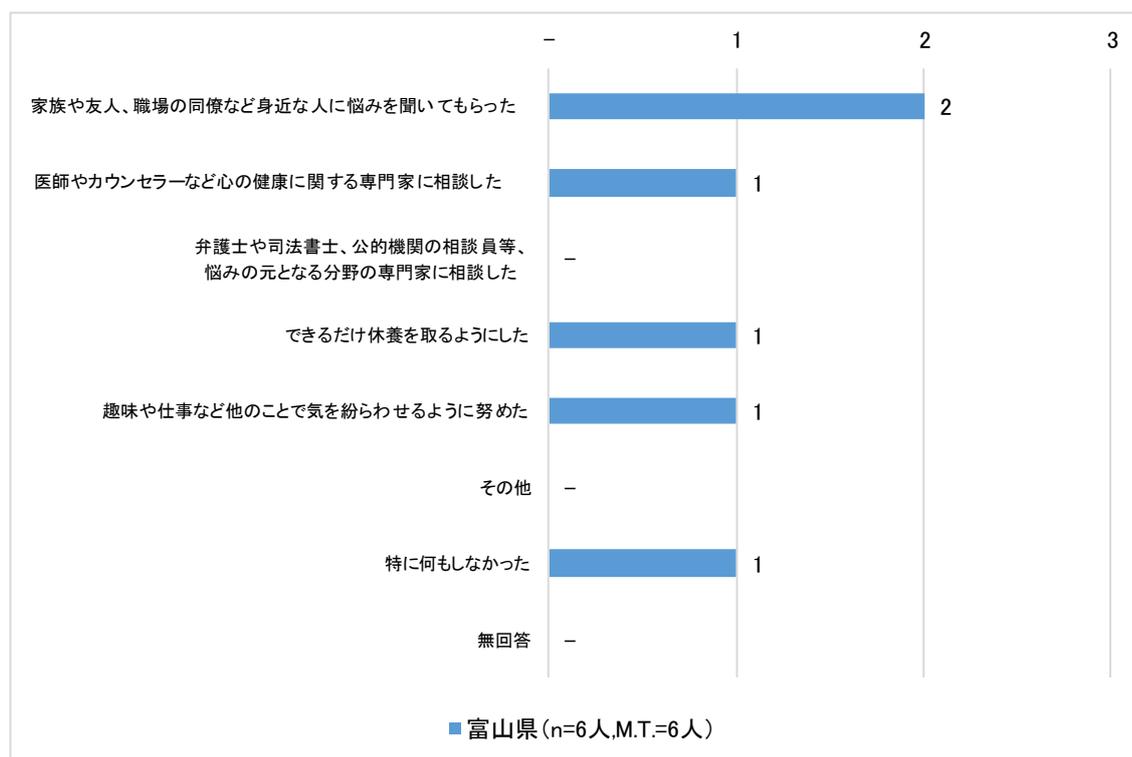
Q17 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



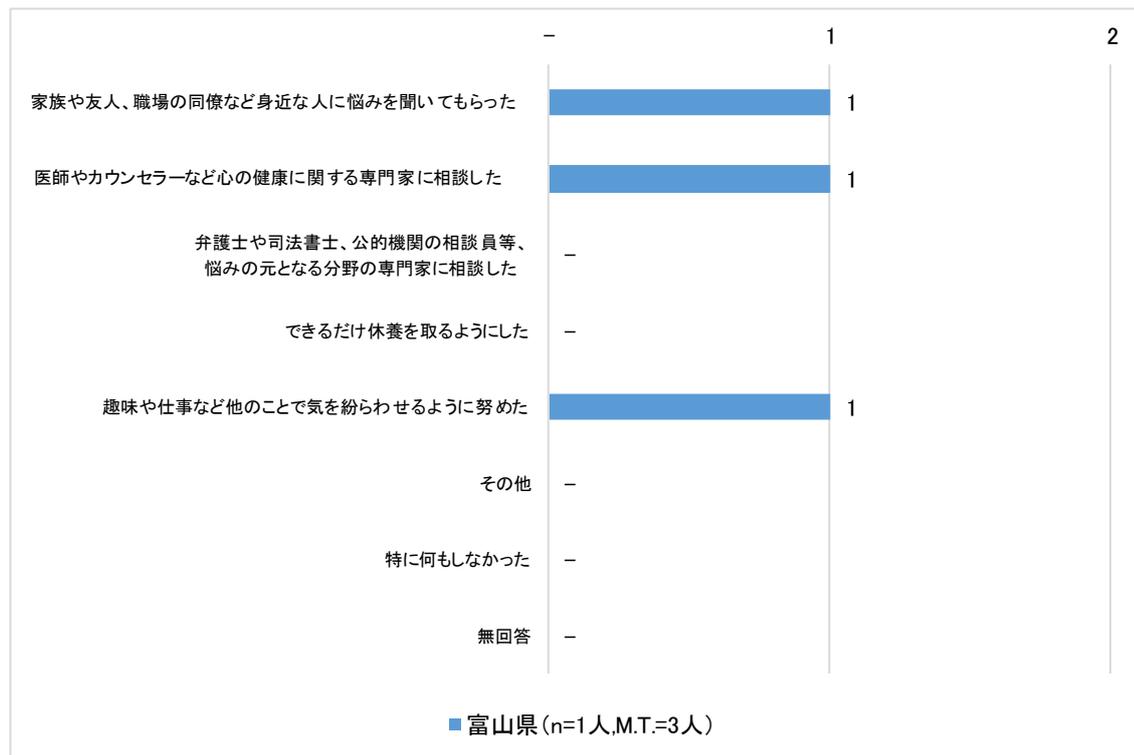
自殺を考えたときにどのように乗り越えたかを聞いたところ、15歳～39歳をみると、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」と答えた者はそれぞれ3人、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」、「できるだけ休養をとるようにした」は2人となっている。

②40 歳～59 歳



40 歳～59 歳をみると、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」と答えた者は 2 人、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」、「できるだけ休養を取るようにした」、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」、「特になにもしなかった」はそれぞれ 1 人となっている。

③60歳～64歳



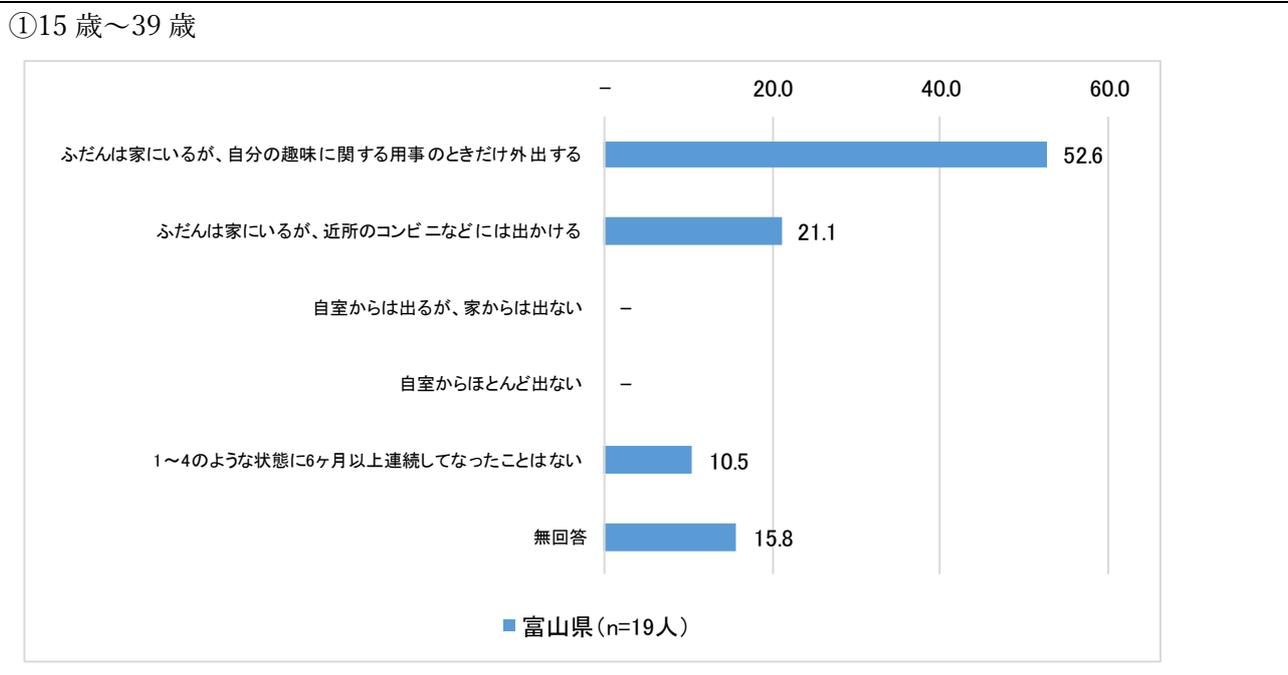
60歳～64歳をみると、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」と答えた者はそれぞれ1人となっている。

(22) 本人票 過去の外出頻度

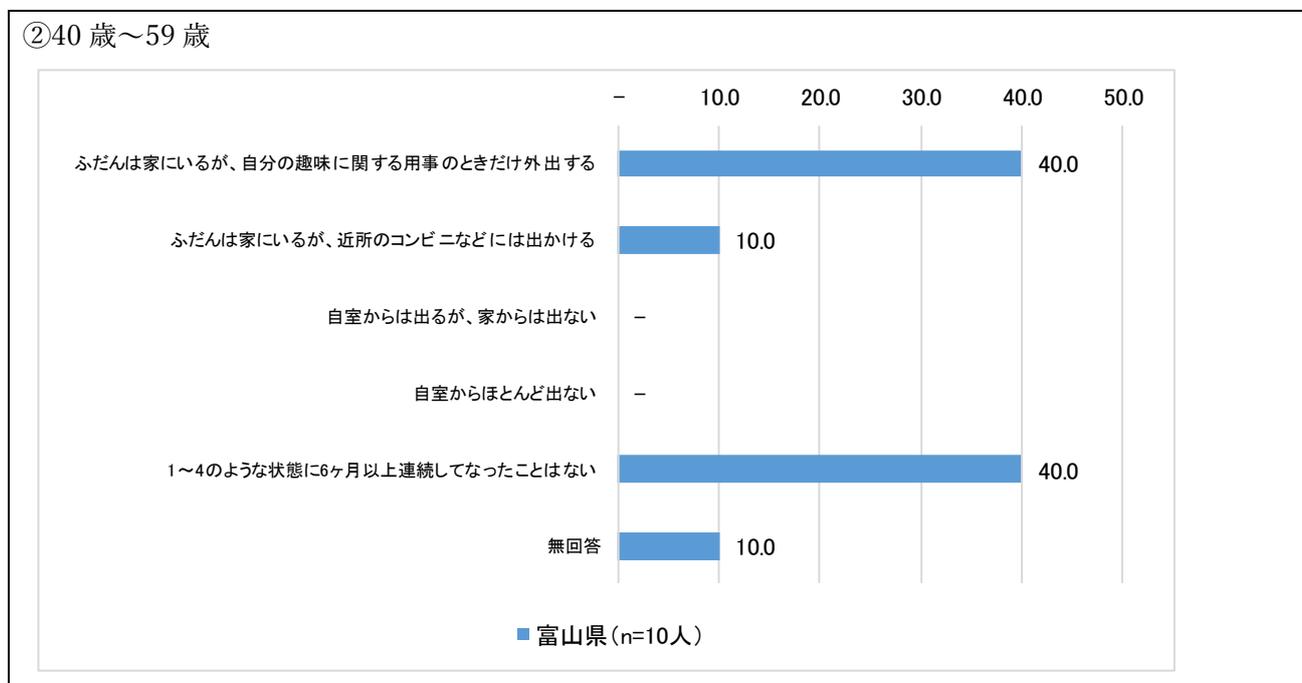
【Q4 で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q18 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

(○はひとつだけ)

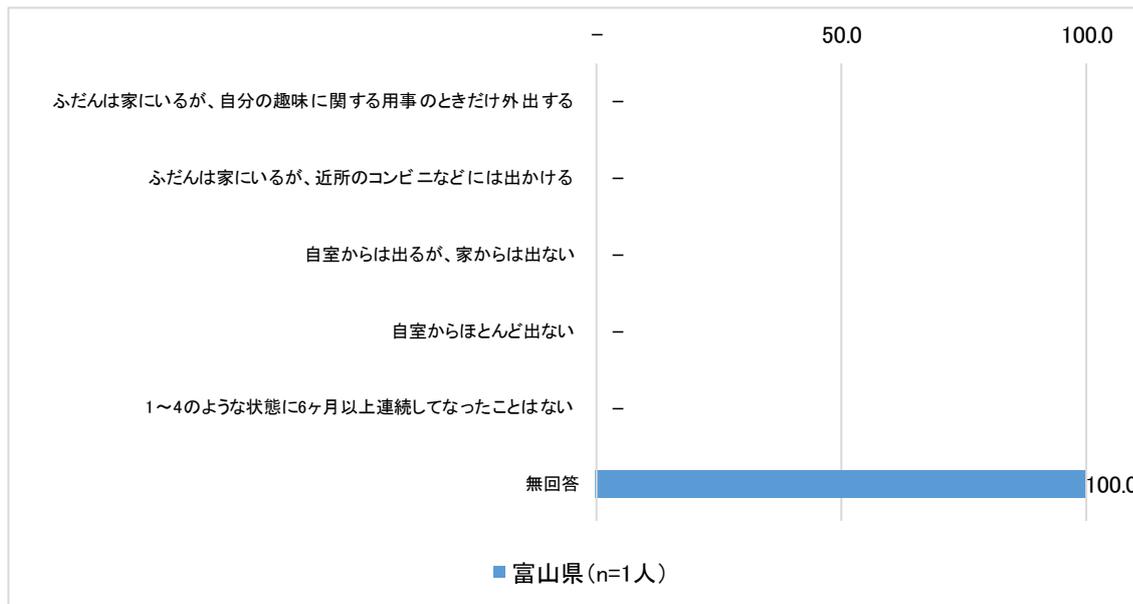


過去の外出頻度について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」と答えた者は52.6%、「近所のコンビニなどには出かける」は21.1%となっている。



40歳～59歳をみると、「自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」と答えた者は40.0%、「近所のコンビニなどには出かける」は10.0%となっている。

③60歳～64歳

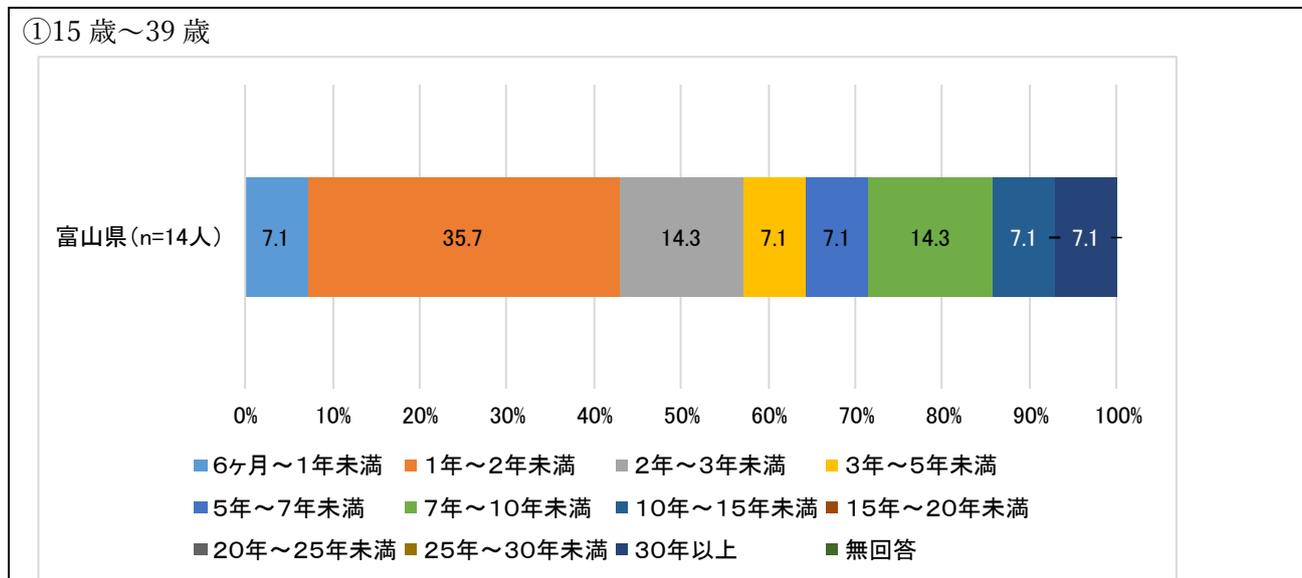


※本人票Q18～Q22は、本人票Q4において外出頻度が高かった者（本人票Q4において1～4を選択した者）のみが回答する項目となっている。

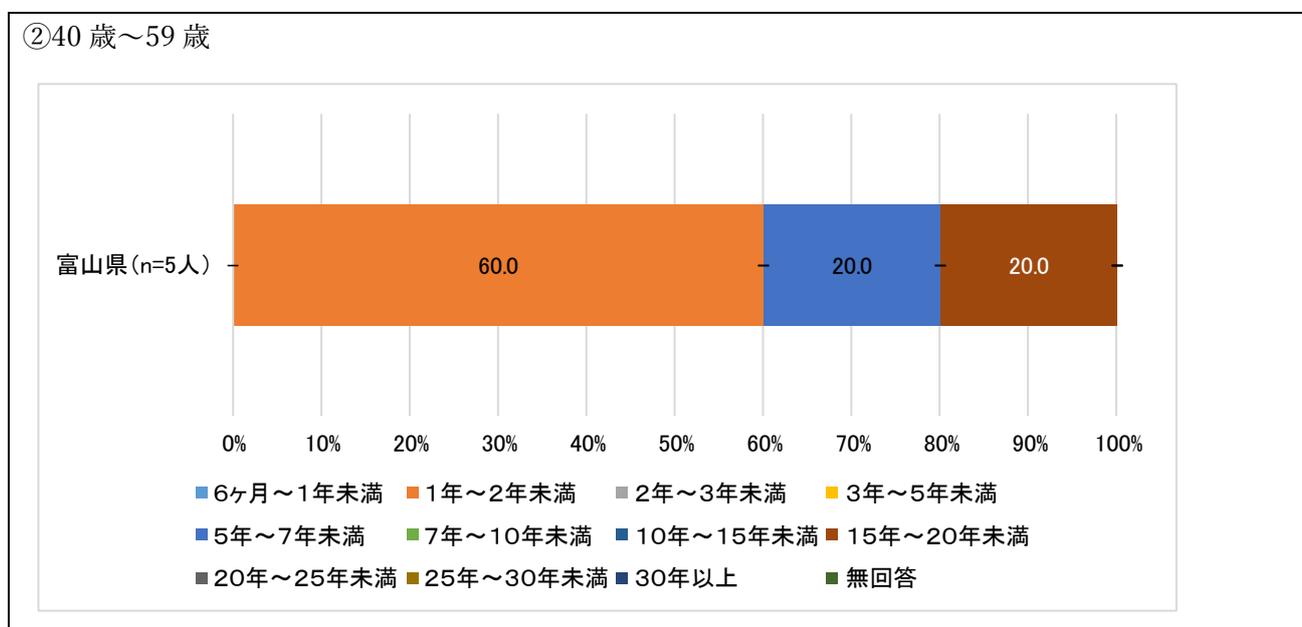
(23) 本人票 過去にひきこもりの状態だった期間

【Q18で「1～4」に○をつけた方は、Q19～Q21にお答えください。】

Q19 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)



過去のひきこもり状態の継続期間について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「1年～2年未満」と答えた者の割合は35.7%、「2年～3年未満」、「7年～10年未満」は14.3%となっている。

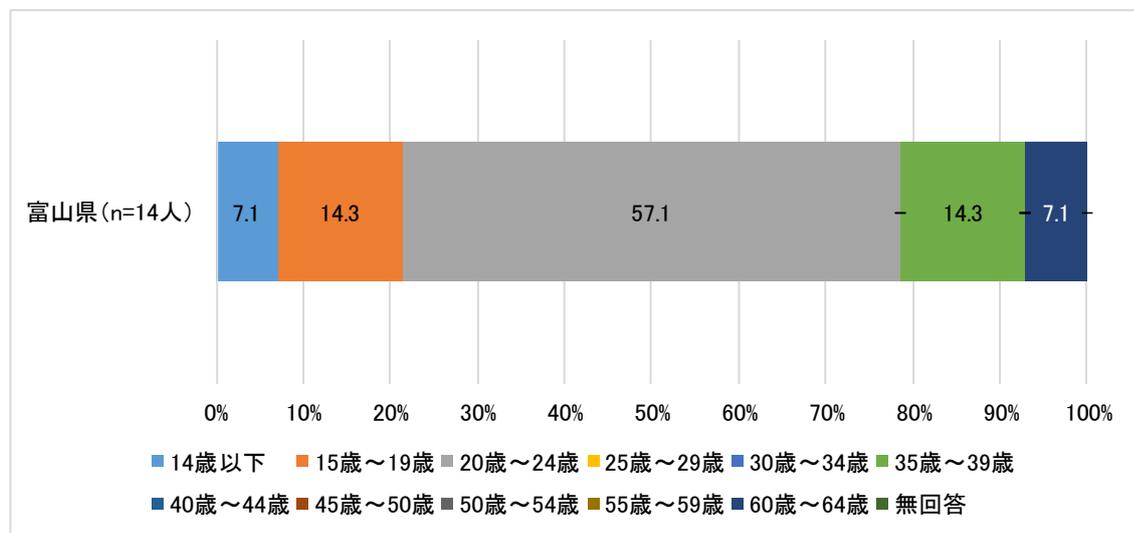


40歳～59歳をみると、「1年～2年未満」と答えた者の割合は60.0%、「5年～7年未満」、「15年～20年未満」は20.0%となっている。

(24) 本人票 過去に初めてひきこもりの状態になった年齢

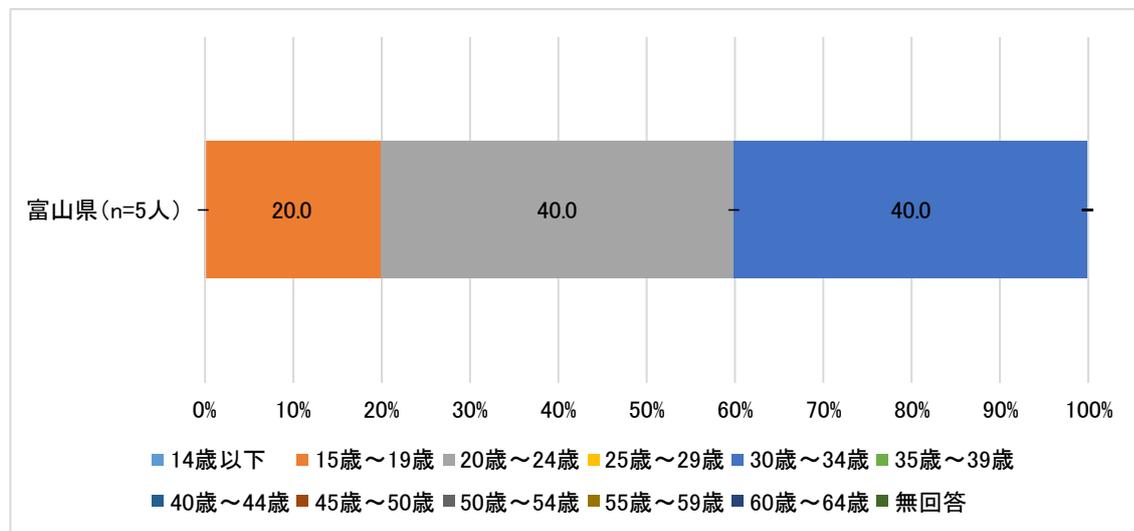
Q20 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

①15歳～39歳



過去に初めてひきこもりの状態になった年齢について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「20歳～24歳」と答えた者の割合は57.1%、「15歳～19歳」、「35歳～39歳」はそれぞれ14.3%となっている。

②40歳～59歳

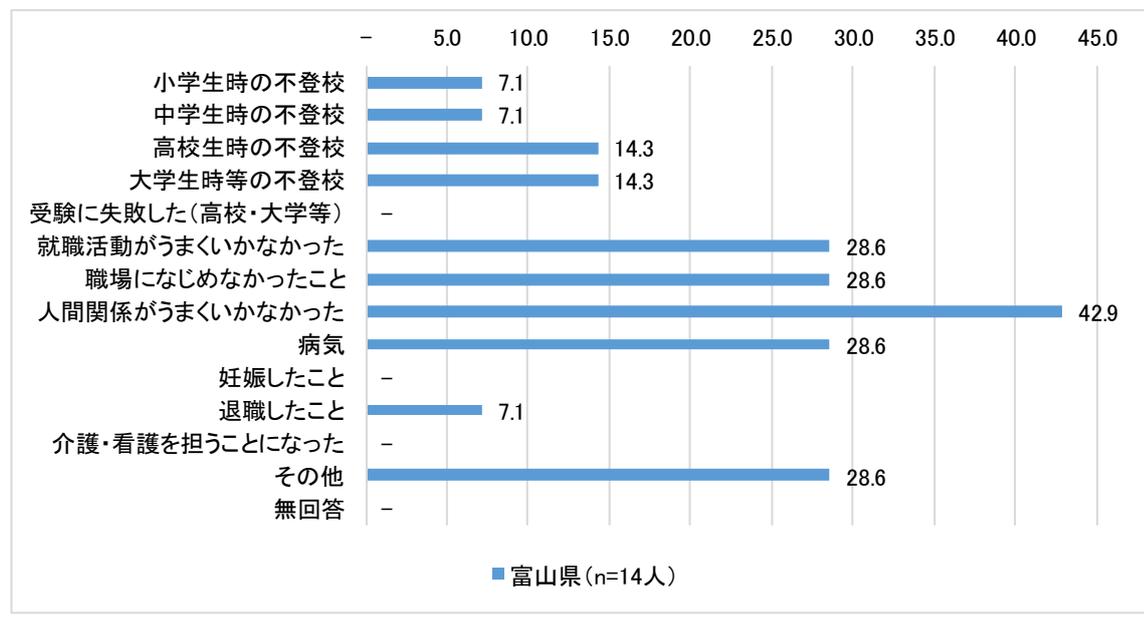


40歳～59歳をみると、「20歳～24歳」、「30歳～34歳」と答えた者の割合はそれぞれ40.0%、「15歳～19歳」は20.0%となっている。

(25) 本人票 過去にひきこもりの状態になったきっかけ

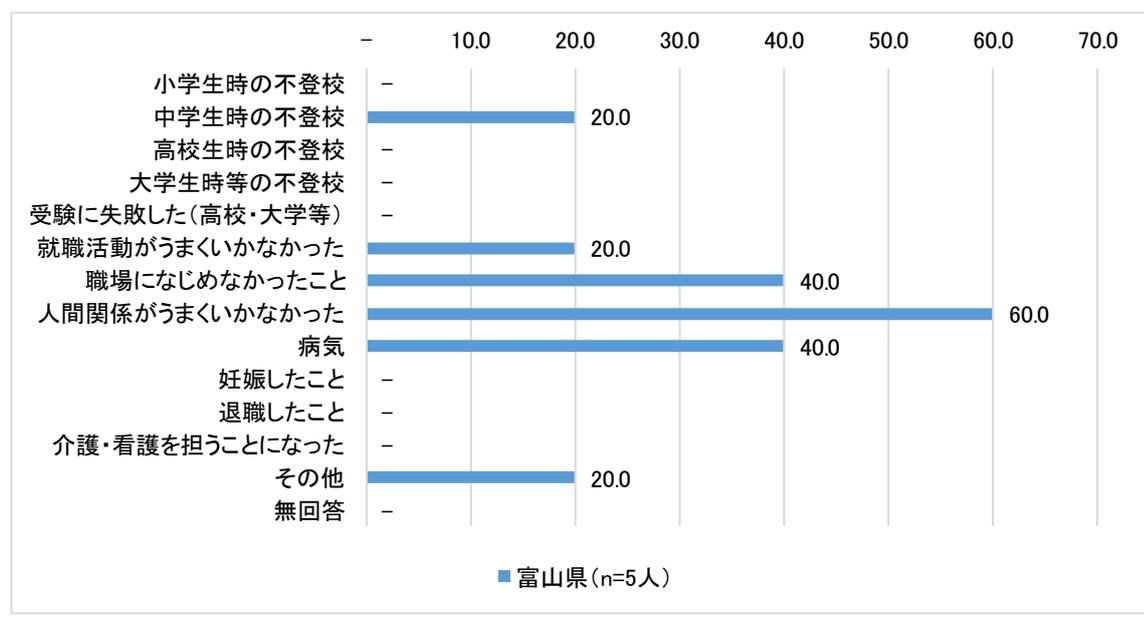
Q21 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



過去にひきこもりの状態になったきっかけについて聞いたところ、15歳～39歳をみると、「人間関係がうまくいかなかったこと」と答えた者の割合は42.9%、「就職活動がうまくいかなかった」、「職場になじめなかったこと」、「病気」はそれぞれ28.6%、「高校生時の不登校」、「中学生時の不登校」はそれぞれ14.3%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「人間関係がうまくいかなかったこと」と答えた者の割合は60.0%、「職場になじめなかったこと」、「病気」はそれぞれ40.0%、「中学生時の不登校」、「就職活動がうまくいかなかった」はそれぞれ20.0%となっている。

(26) 本人票 現在の状態になったきっかけや役立ったこと

Q22 そのような状態から、Q19で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

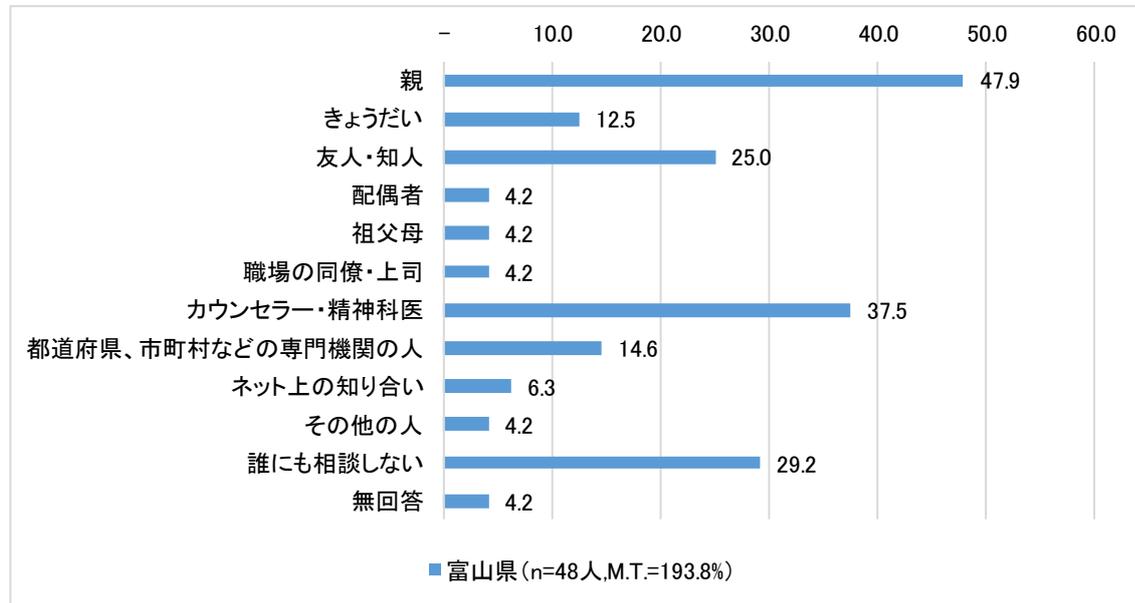
自分の趣味に関する用事。
家族関係がある程度落ち着いたので、進学することができた。今、働きに出られるようになったのは、親戚に車を買ってもらおうよう説得してもらったから。車がなかったら現在も家の中にいたと思う。周囲のサポートがあったのも心が折れそうになるのを改善してくれた。
親元から離れていたこと。
PCの資格を取るために勉強する時間ができた。
病院。
親に期待しないと一言聞かせ続けたこと。でもなければ死ぬと考えたこと。辛いことが当たり前になれば辛くなくなると考えてみたこと。忘れようとしたこと。自己否定し続けること。腕をかむこと（歯ぎしりをして歯がかけてしまったため、腕をかむ。歯を痛めずにストレス発散になり、痛みも感じた部分により強い痛みを与えること。）。同じ境遇の人に出会えたこと。
就労継続支援 A 型事業所につながったこと。その前段階として当事者会などへの参加で友人を得てきたこと。
当事者仲間と出会え、信頼できると思った。
同じ仲間の支援があったため。
最初は高校生時の不登校がきっかけで人間関係が上手くいかず親との関係も最悪でした。ひきこもったり抜けたりを繰り返していますが、今は結婚して専業主婦をしています。役にたったことは自助グループやカウンセリング心理セラピーです。思春期頃から抑うつ状態だったため、社会に出ることに対する不安や恐怖が強いです。

(27) 本人票 悩みを相談する相手

【Q23～Q29 はすべての方がお答えください。】

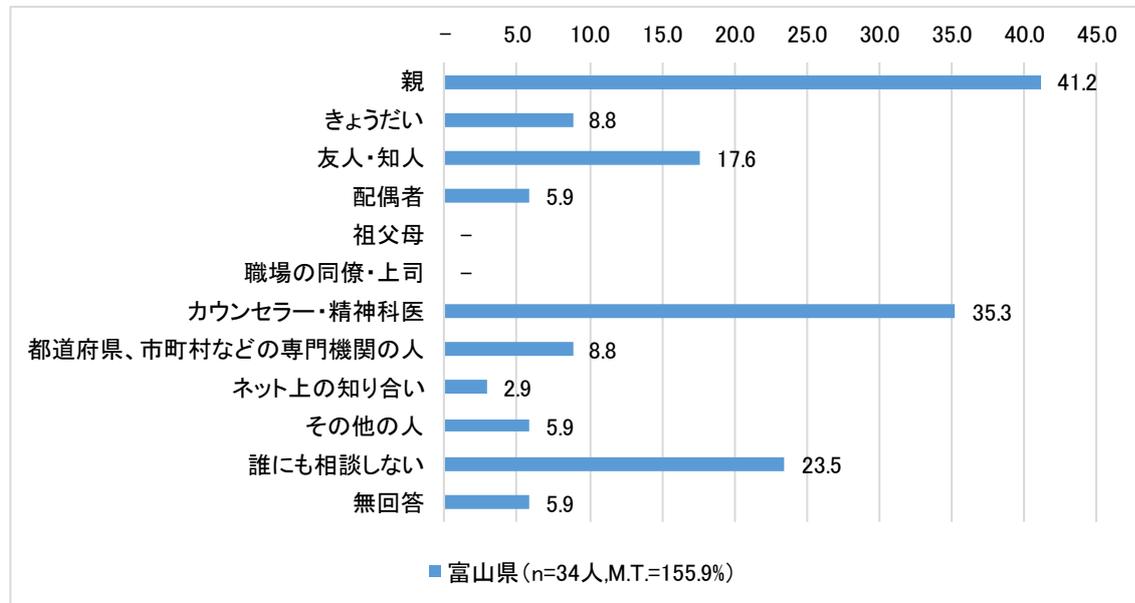
Q23 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

①15歳～39歳



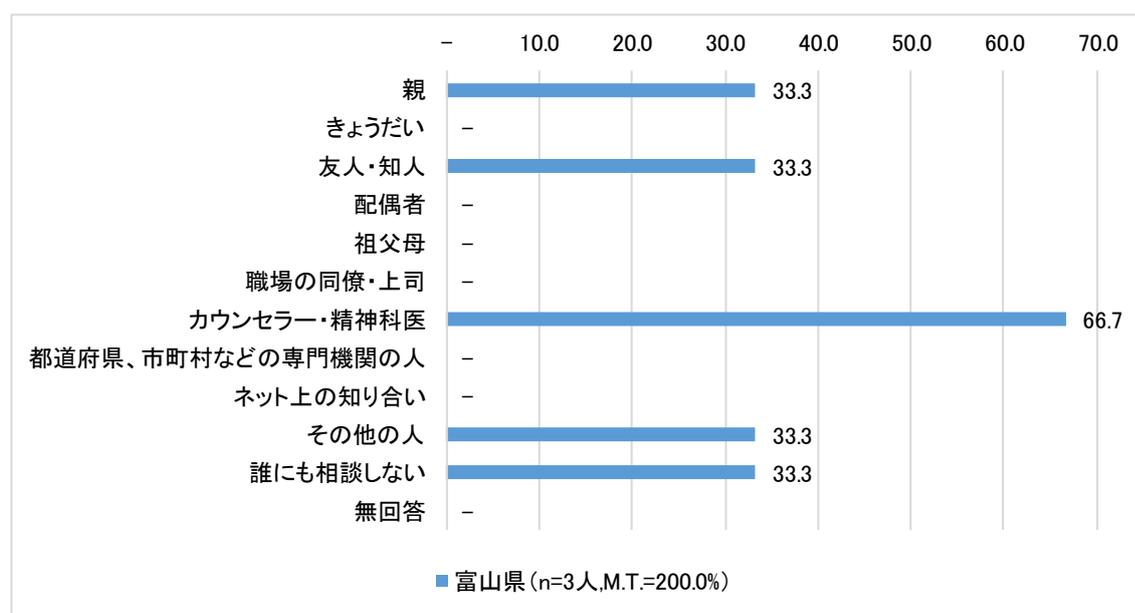
悩みを相談する相手について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「親」と答えた者の割合は47.9%、「カウンセラー・精神科医」は37.5%、「友人・知人」は25.0%となっている。また、「誰にも相談しない」と答えた者の割合は29.2%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「親」と答えた者の割合は41.2%、「カウンセラー・精神科医」は35.3%、「友人・知人」は17.6%となっている。また、「誰にも相談しない」と答えた者の割合は23.5%となっている。

③60歳～64歳

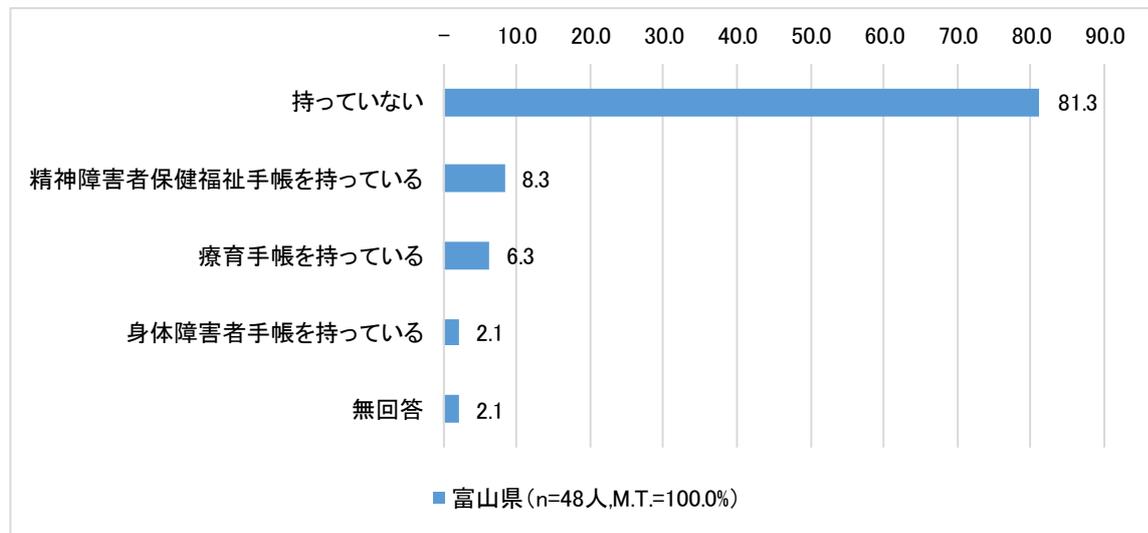


60歳～64歳をみると、「カウンセラー・精神科医」と答えた者の割合は66.7%、「親」、「友人・知人」は33.3%となっている。また、「誰にも相談しない」と答えた者の割合は33.3%となっている。

(28) 本人票 障害者手帳の有無

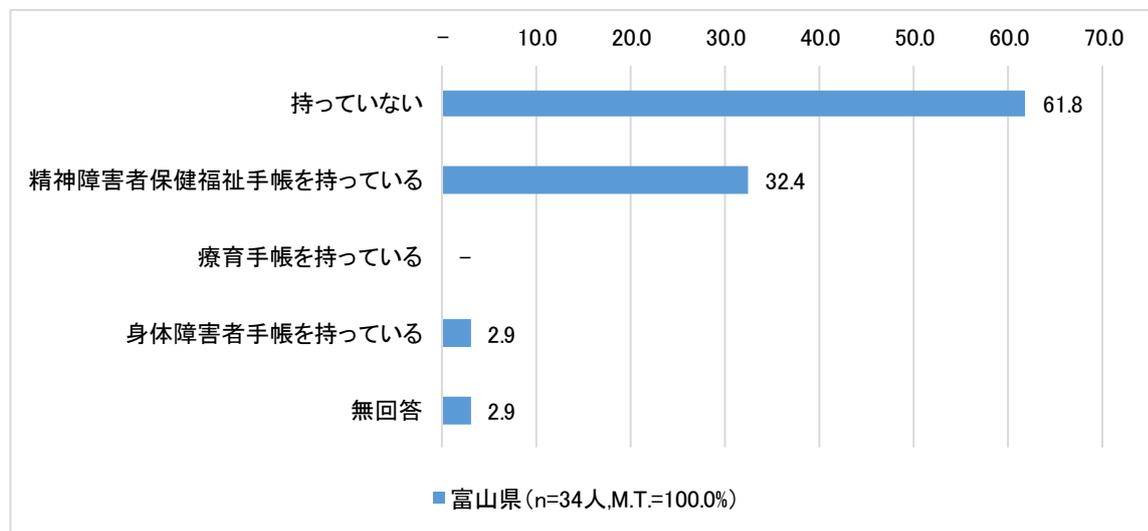
Q24 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(○はいくつでも)

①15歳～39歳



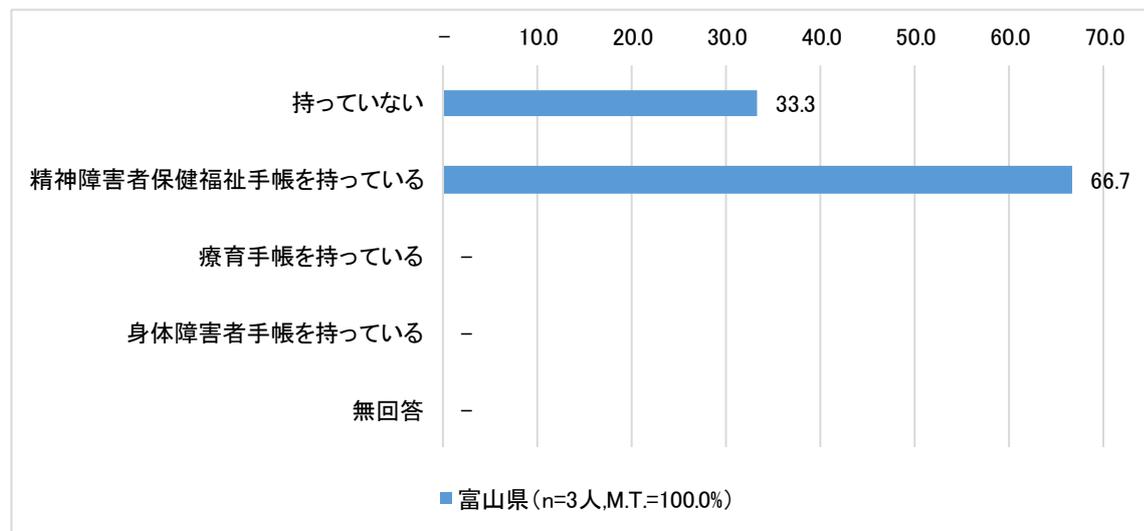
障害者手帳を持っているか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「持っていない」と答えた者の割合は81.3%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は8.3%、「療育手帳を持っている」は6.3%、「身体障害者手帳を持っている」は2.1%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「持っていない」と答えた者の割合は61.8%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は32.4%、「身体障害者手帳を持っている」は2.9%となっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「持っていない」と答えた者の割合は33.3%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は66.7%となっている。

(29) 本人票 支援のあり方

Q25 現在、県では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

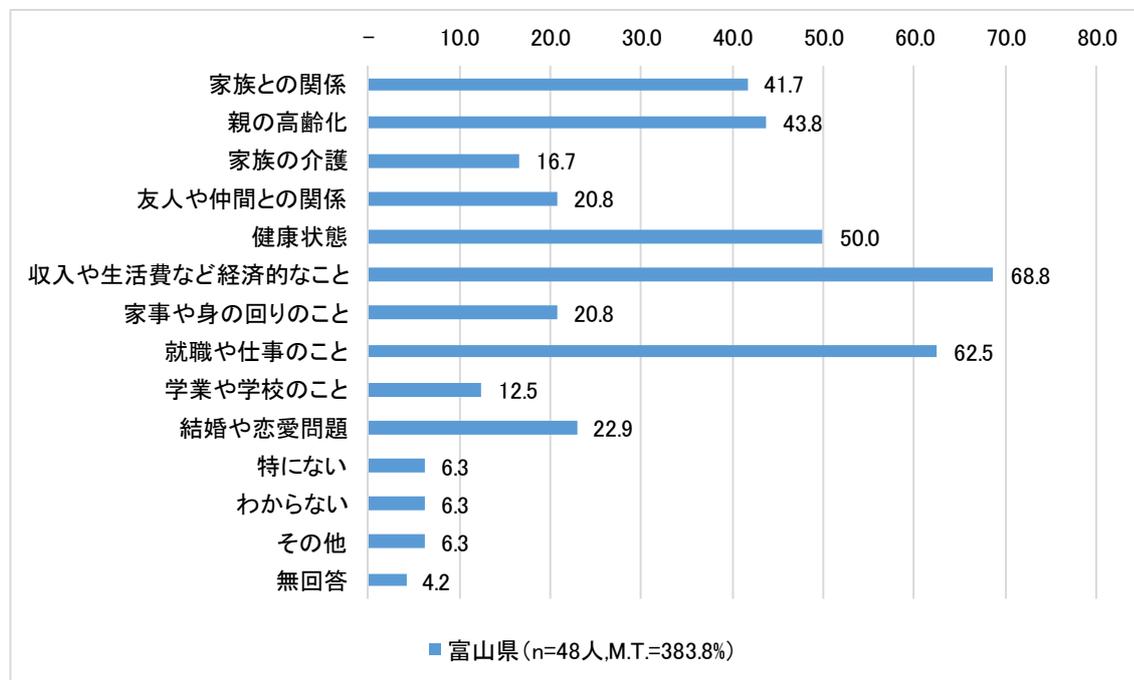
やはり訪問支援をお願いしたい。
時間に束縛されず、自由目的に、趣味感覚で、いろいろな用事ができる自宅勤務がしたいです。例えば、文通、英語でのテレビのヒアリング、テレビ観賞、新聞や雑誌の閲覧、読書、図書館等への外出。
目に見えない、数字にならない人たちをどう社会につなげていくかだと思ふ。特に行政は声に出さない人をどう拾い上げるのか。周りを見ていると某国立大学を出たのに働きに出ているのか疑問な人がいる。
お役所仕事らしく一定のタイミングで人事異動による担当者の変更が行われると、支援を受ける側としてはそれだけで不安になってしまう。最初に関わったスタッフの人にはなるべく長く付き合ってもらえると助かる。
無理やりでも外に出させること。
とにかく話を聞いてあげる。
ひきこもりセンターが自宅から遠いことや、平日しか行けない所もあります。会社を休んで行かなければいけない。勤労支援機関へも行ってみましたが、結局は本人次第ですと言われ、もっと早く来れなかったのかと責められ心が折れた時もありましたが、それが現実。手探り状態で家族に寄り添うまではなかなか難しいのが現状です。
もっとバスの交通を便利にしてください。
健康な人が訪問すると、在宅しているのに出てこないと思っていると思いますが、すぐに出れないほど具合が悪い人もいますので、出ないのではなく出られないことを理解してください。急に来られても出られないので前もって電話など、事前に連絡がほしい。
支援の場所が増えたら良いと思います。専門家も増えたら（たくさん居たら）良いと思います。
わからない。
直接的な働きかけよりも公園、公衆トイレ、サイクリングロードなどをきちんと整備して外出しやすくする方が良いと思う。
富山県に住んでいる人は、ひきこもりや心の病気について詳しく知らない人が多いと思います。知らない人にもわかりやすく、病気や外に出れない人の事情を説明するものがあればいいと思います。外に出られなくて美容院でヘアカットできない人や、メイクのやり方がわからない女性のために訪問美容をしてくれる業者や、ひきこもり女子会など、ひきこもっている当事者向けの情報を紹介するページを県や市の公式サイトに作ってほしいです。就職を支援する制度や団体についての情報が知りたいです。
歩きが悪い人用の在宅の仕事をもっと見つけやすくしてほしい。
潜在的に隠れている人たちがたくさんいると思うが、実際に支援を受けている人は少ないと思う。もっともっと相談しやすい気軽な場に、情報提供をたくさんするべきだと思う。
自分の不安や悩み事を、根拠を示し、協力して現実的な解決ができるようにしてほしい。要するにオー

<p>プンダイアログのようなこと。上記のような支援がないと孤独死しか見えてこない。生き甲斐があればいいと思う。</p>
<p>子どもたちが親や先生に助けを求めても人権否定されるだけなので、子どもたちに発信させる（電話をかける、学校内での先生との面接、親との相談等）やり方はだめだと思う。子どもの考えが親や先生に漏れないように個人で読む。一回だけでは打ち明けられない人も多いと思うので根気強くやってほしい。</p>
<p>ひきこもっていてもネットのある時代なので、ネットを通じて社会参加が可能なのでは。メンタルヘルス、ニート問題、働き方、家族の在り方などの概念は変化しているし、それに応じて行政も対応せねばならない。</p>
<p>本人たちが気楽に過ごせる居場所がもっといろんなところがあればいいなと思います。出かけられるきっかけになると思います。そしてその居場所には相談できる方がいてほしいです。</p>
<p>もっと目に付くところに情報がほしい。</p>
<p>お金をください。支援者より当事者にお金を。どちらがお金・生活に困ってるかわかりますよね。</p>
<p>一人ひとりの病気が違うように外出できない理由もそれぞれです。個人の思いを細かく捉え、ニートに合った支援を望みます。</p>
<p>相談員を支援してほしい。</p>
<p>県にはうつ病や発達障害のサロンや居場所はあるが、ひきこもりの当事者のものはない。またひきこもりは対人恐怖を持っている方が多いと思うのだが、トレーニングできるような場所がないようにも思う。</p>
<p>居場所を作るのも良いと思いますが、外出が出来ない方に関してはインターネットや電話・ライン訪問など考えればいろいろ出てくると思います。孤独感はとても辛いものです。一日のうち数分でも良いので、その気持ちを和らげられれば良いのではないのでしょうか。もちろん支援者の方のケアも大切です。ひきこもり=悪い人みたいな考え方・捉え方には疑問があります。</p>
<p>外出できない方たちをひきこもりの人達と解釈した上で書かせてもらいます。具体的な案とまではいきませんがこういった人達を見守ると、就労に向けた働きかけをするのと二分化した対応をするだけではなく、その中間を埋める支援があると良いと思います。ただし親は「就労が、ゴールが」という意識が強すぎるのが気にかかっています。なのでそのあたりの理解を得られる支援にするか、理解を得られずとも上手く説明する必要があると思います。見守りでも就労でもない中間に一種の成長があり、その成長に親が価値を感じられる、そんな支援があればWINWINになるのではないのでしょうか。</p>
<p>気軽な雰囲気作り。街の。</p>
<p>身近に支援してくれるような施設がない。市全体で見ればいろいろな施設があることになるのだが、地域による偏りをなくしてほしい。</p>

(30) 本人票 現在抱えている不安や危機感

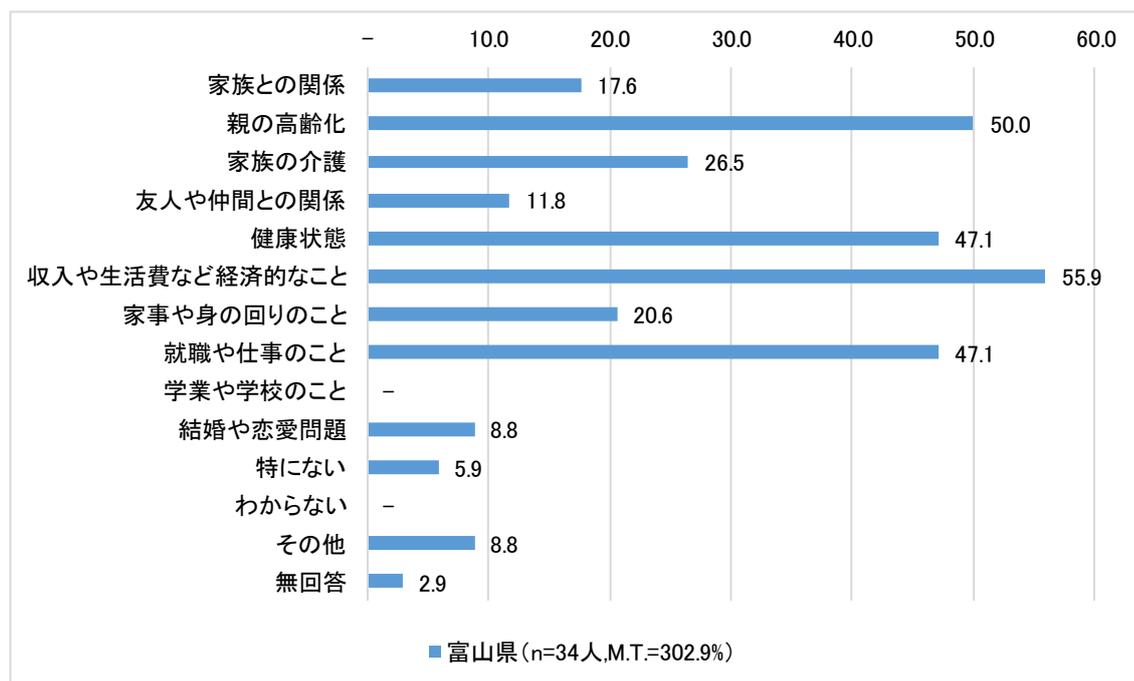
Q26 現在、あなたが抱えている不安や危機感としてどのようなものがありますか。(過去にひきこもり状態だった方は、ひきこもっていたときの状況をお聞かせください。)(○はいくつでも)

①15歳～39歳



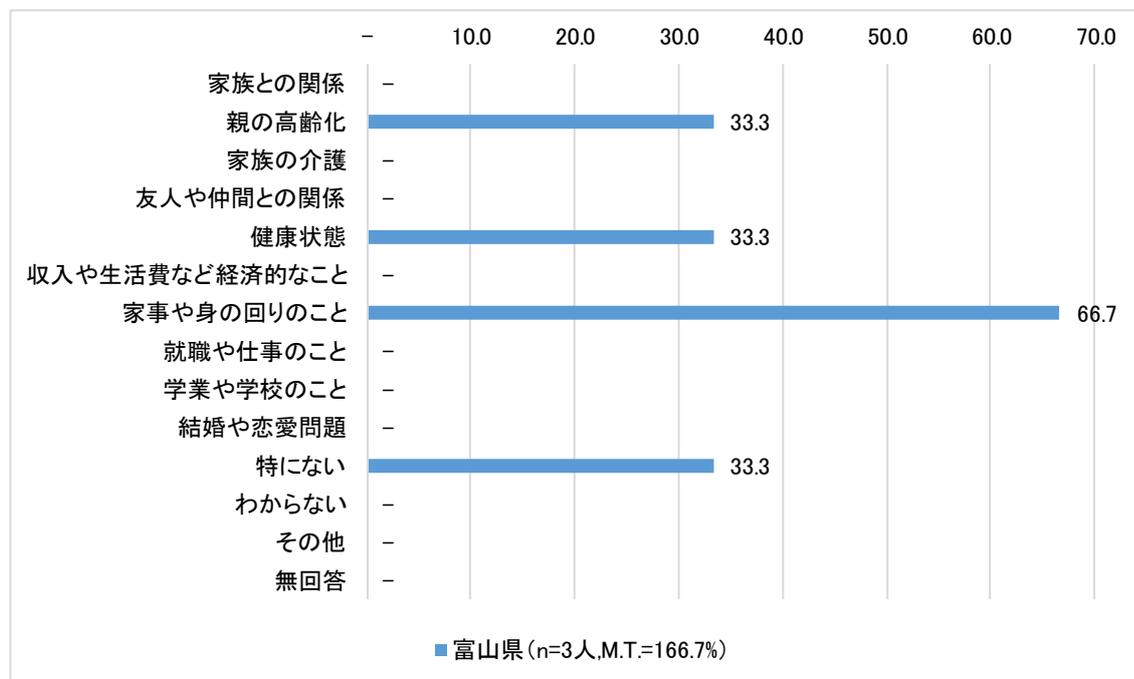
現在抱えている不安や危機感について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「収入や生活費など経済的なこと」と答えた者の割合は68.8%、「就職や仕事のこと」は62.5%、「健康状態」は50.0%、「親の高齢化」は43.8%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「収入や生活費など経済的なこと」と答えた者の割合は55.9%、「親の高齢化」は50.0%、「健康状態」、「就職や仕事のこと」はそれぞれ47.1%となっている。

③60歳～64歳



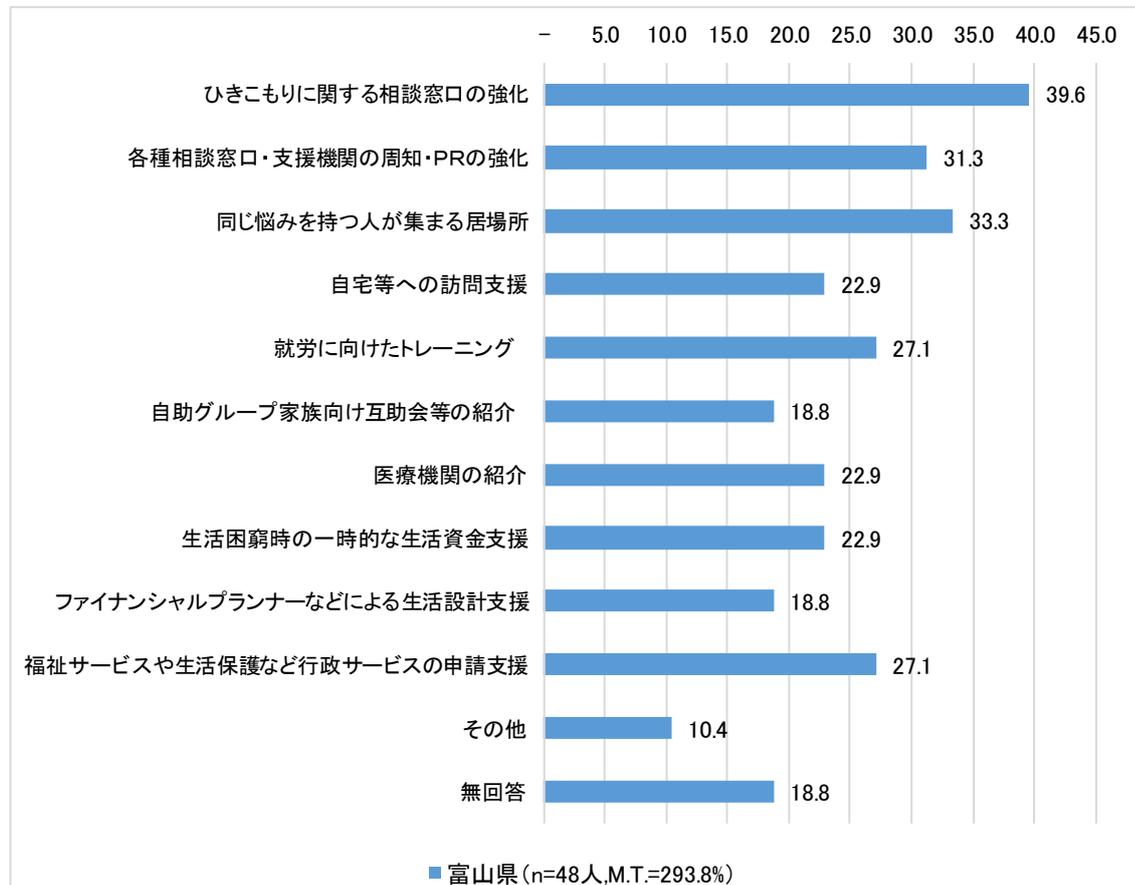
60歳～64歳をみると、「家事や身の回りのこと」と答えた者の割合は66.7%、「親の高齢化」、「健康状態」はそれぞれ33.3%となっている。

(31) 本人票 ひきこもりの方々に対する支援策

Q27 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。

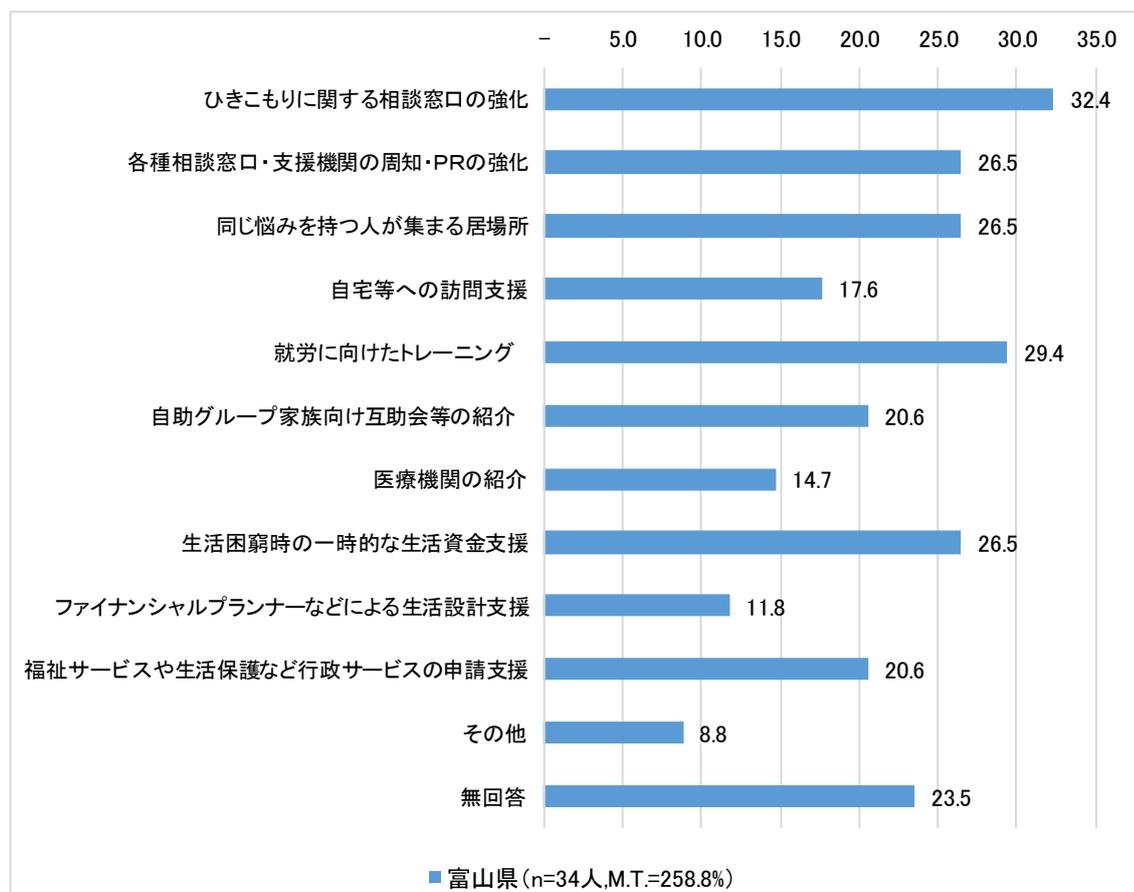
(○はいくつでも)

①15歳～39歳



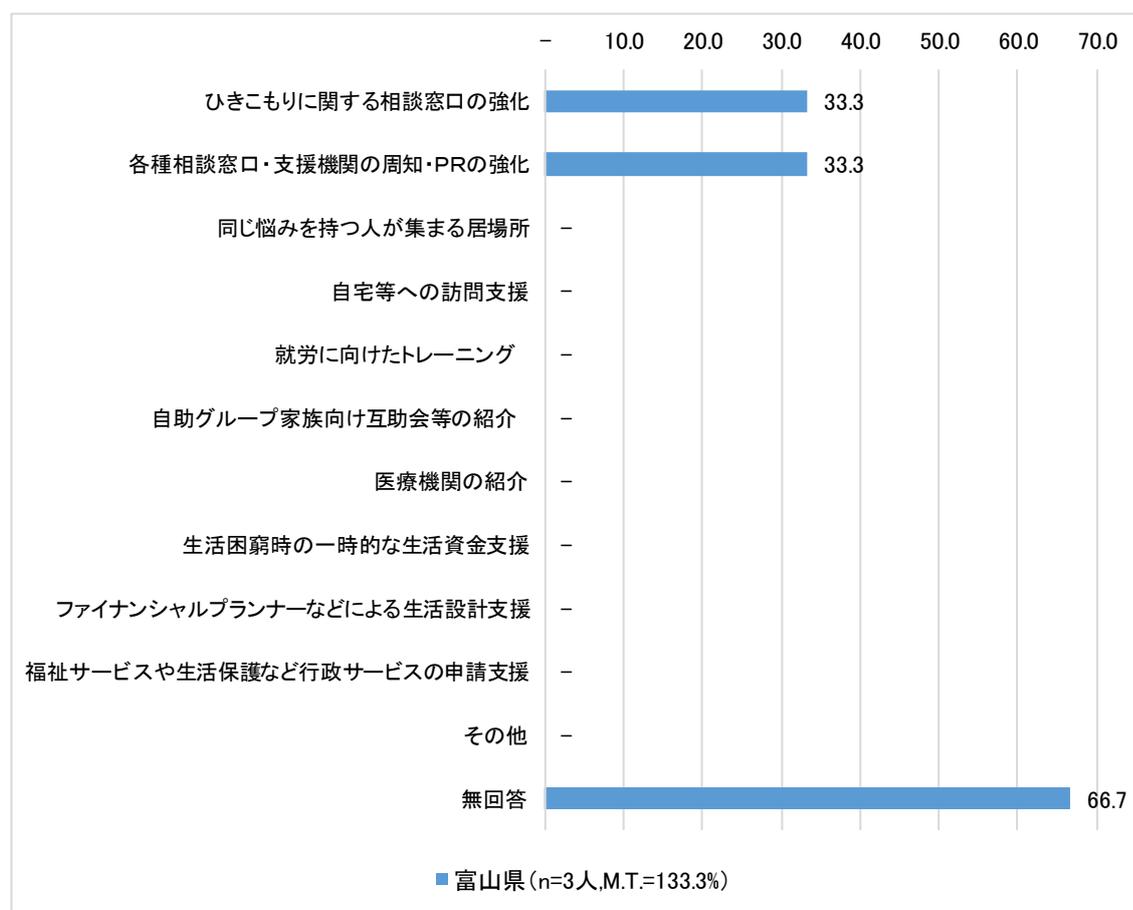
ひきこもりで悩む方々に対する支援策について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」と答えた者の割合は39.6%、「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」は33.3%、「各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化」は31.3%、「就労に向けたトレーニング」、「福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援」はそれぞれ27.1%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」と答えた者の割合は32.4%、「就労に向けたトレーニング」は29.4%、「各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化」、「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」、「生活困窮時の一時的な生活資金支援」はそれぞれ26.5%となっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「ひきこもりに関する相談窓口の強化」、「各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化」と答えた者の割合はそれぞれ33.3%となっている。

Q27 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。

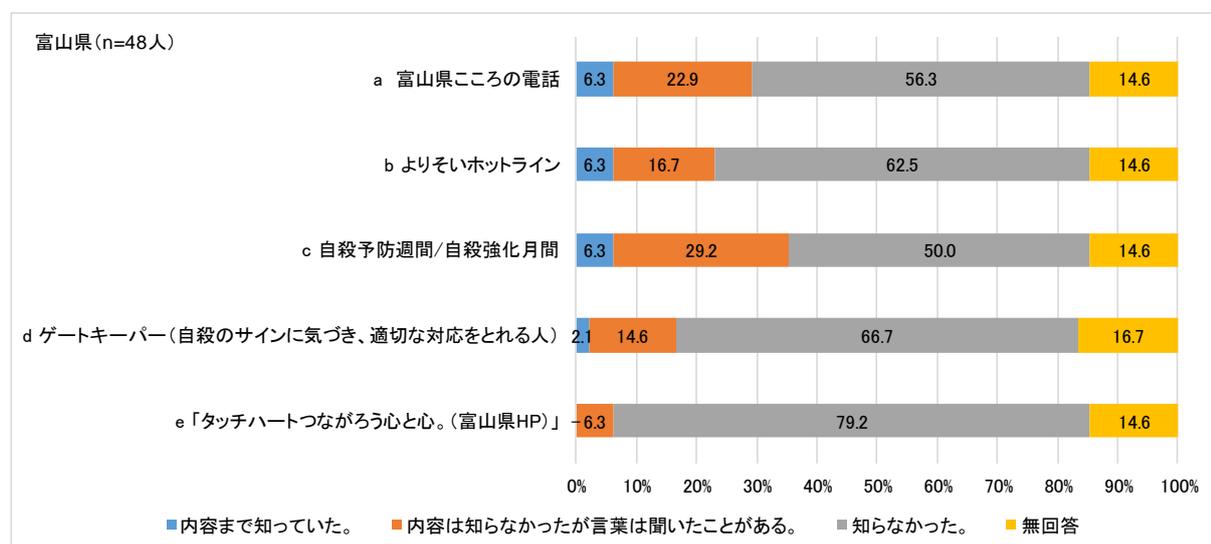
以下では「その他」の回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

趣味が自由目的にできる環境。
簡単な内職の紹介。
ひきこもり相談する人はもっと親身になってほしい。自分の行きづらい場所や依頼しにくいことのサポート。
わからない。
プロのカウンセラー、セラピストの育成。
就労とは直接は関係がなく、あくまでひきこもりの人が広い意味での外に踏み出す自信や行動力を得られるようにするための、本人が興味のあることについて深く学ぶことができる教育機関・施設。

(32) 本人票 自殺対策支援の認知度

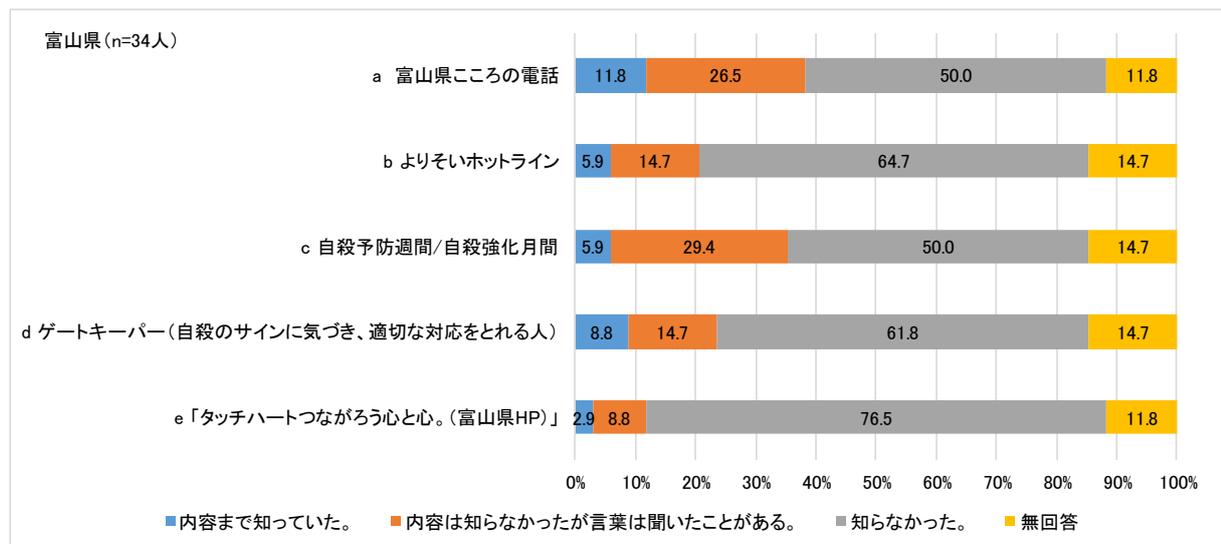
Q28 あなたは自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。該当する箇所の数字に○をつけてください。

①15歳～39歳



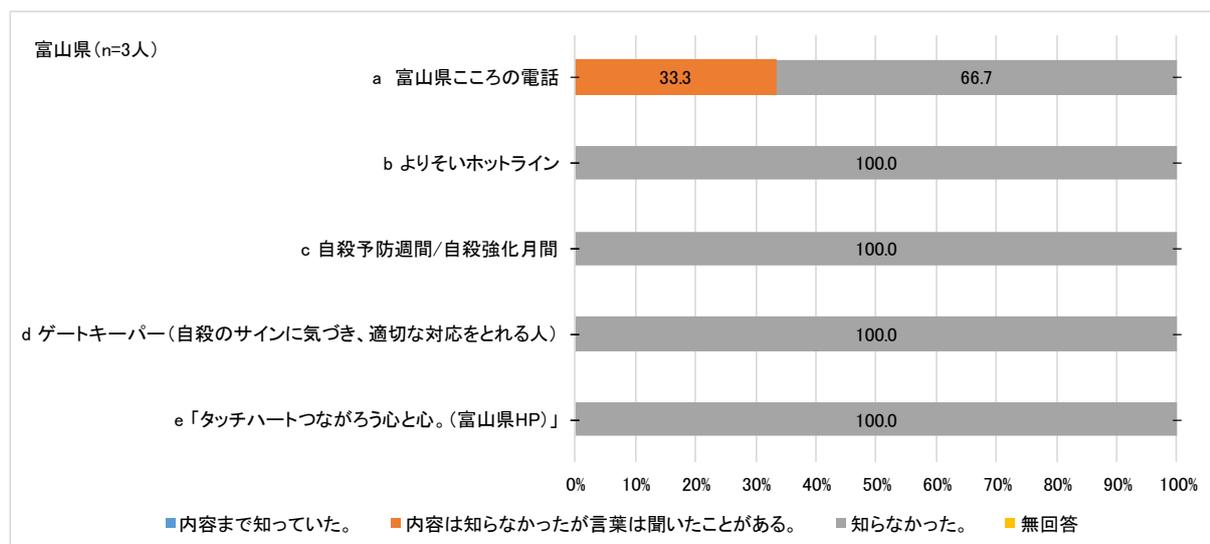
自殺対策に関する事柄について聞いたところ、15歳～39歳をみると、「a 富山県こころの電話」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は6.3%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は22.9%、「知らなかった。」は56.3%となっている。「b よりそいホットライン」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は6.3%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は16.7%、「知らなかった。」は62.5%となっている。「c 自殺予防週間/自殺強化月間」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は6.3%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は29.2%、「知らなかった。」は50.0%となっている。「d ゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は2.1%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は14.6%、「知らなかった。」は66.7%となっている。「e タッチハートつながろう心と心。(富山県HP)」では、「内容まで知っていた。」と答えた者はおらず、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」と答えた者の割合は6.3%、「知らなかった。」は79.2%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「a 富山県こころの電話」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は11.8%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は26.5%、「知らなかった。」は50.0%となっている。「b よりそいホットライン」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は5.9%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は14.7%、「知らなかった。」は64.7%となっている。「c 自殺予防週間/自殺強化月間」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は5.9%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は29.4%、「知らなかった。」は50.0%となっている。「d ゲートキーパー (自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人)」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は8.8%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は14.7%、「知らなかった。」は61.8%となっている。「e タッチハートつながろう心と心。(富山県HP)」では、「内容まで知っていた。」と答えた者の割合は2.9%、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は8.8%、「知らなかった。」は76.5%となっている。

③60歳～64歳

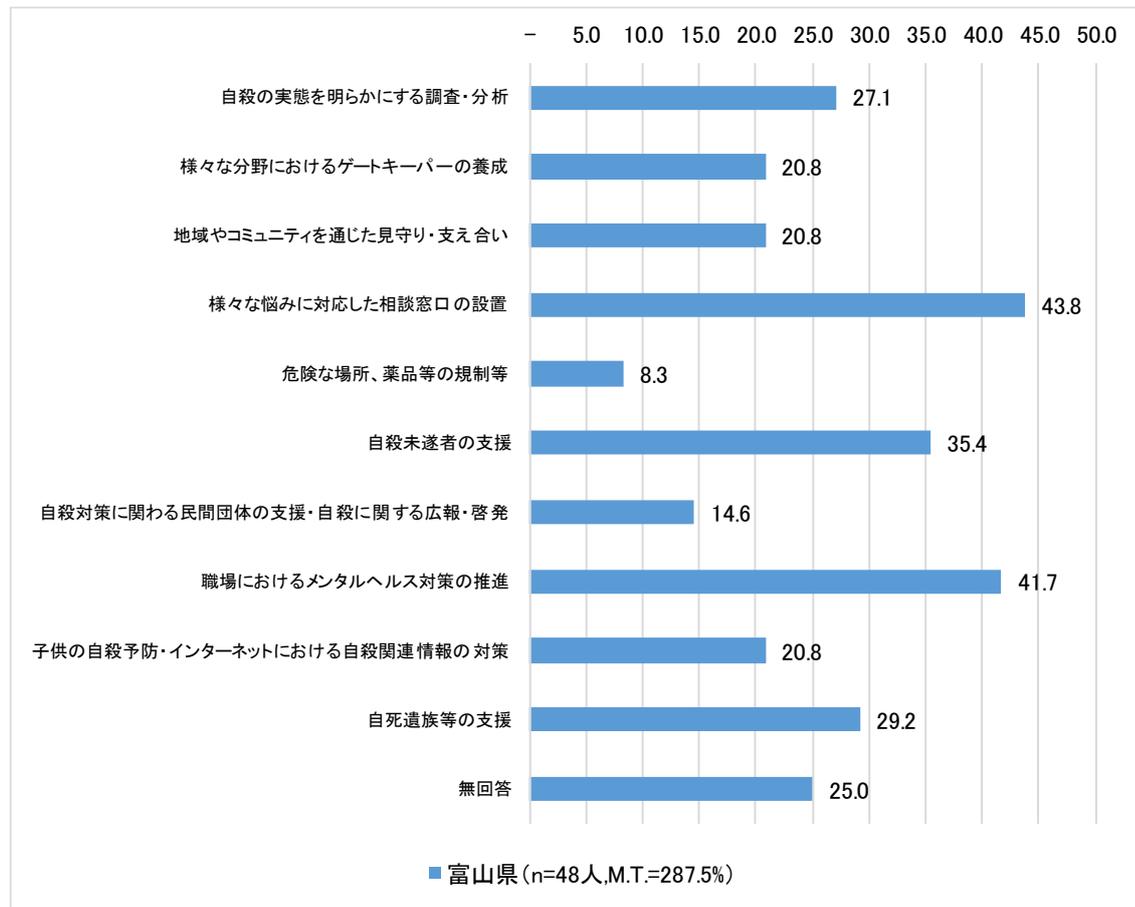


60歳～64歳をみると、「a 富山県こころの電話」では、「内容まで知っていた。」と答えた者はおらず、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」は33.3%、「知らなかった。」は66.7%となっている。「b よりそいホットライン」、「c 自殺予防週間/自殺強化月間」、「d ゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）」、「e タッチハートつながろう心と心。(富山県HP)」では、「内容まで知っていた。」、「内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。」と答えた者はおらず、「知らなかった。」が100.0%となっている。

(33) 本人票 今後必要な自殺対策（支援）

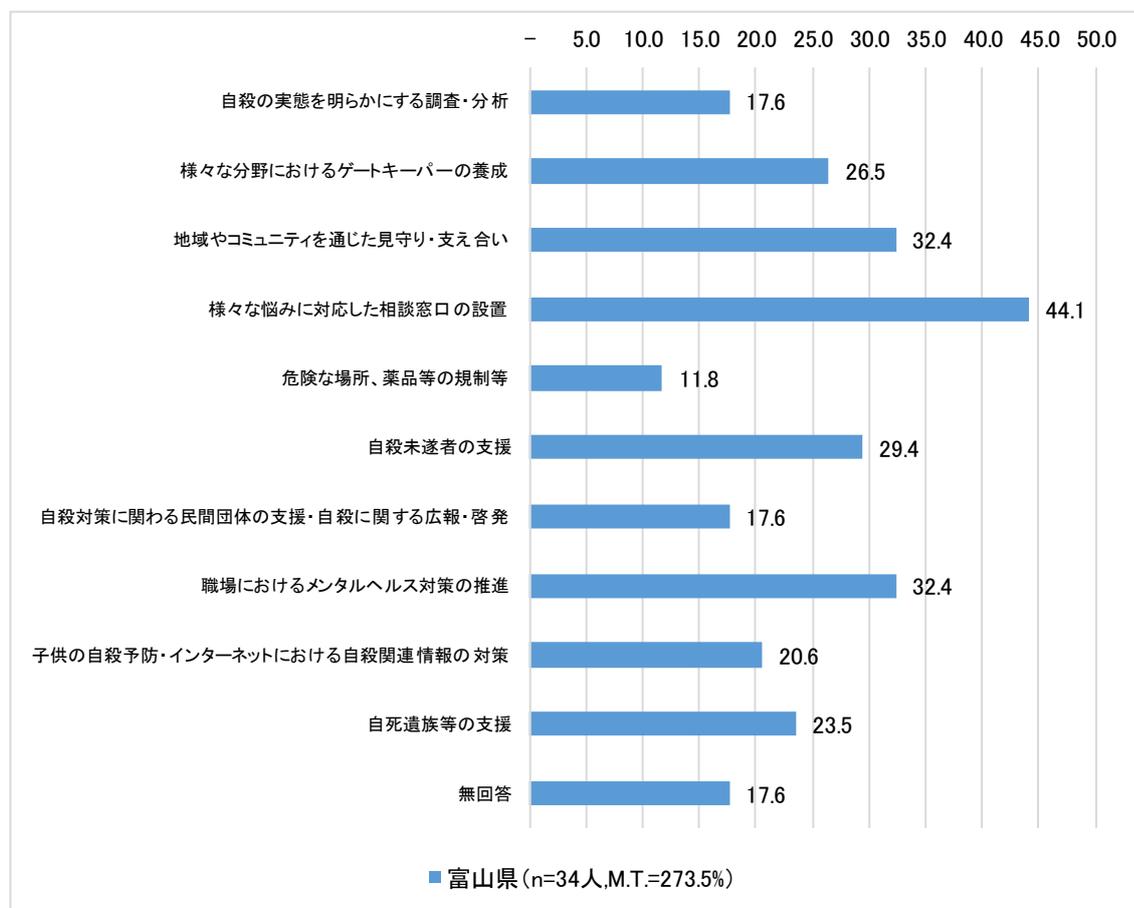
Q29 あなたは今後どのような自殺対策（支援）が必要になると思われますか。（○はいくつでも）

①15歳～39歳



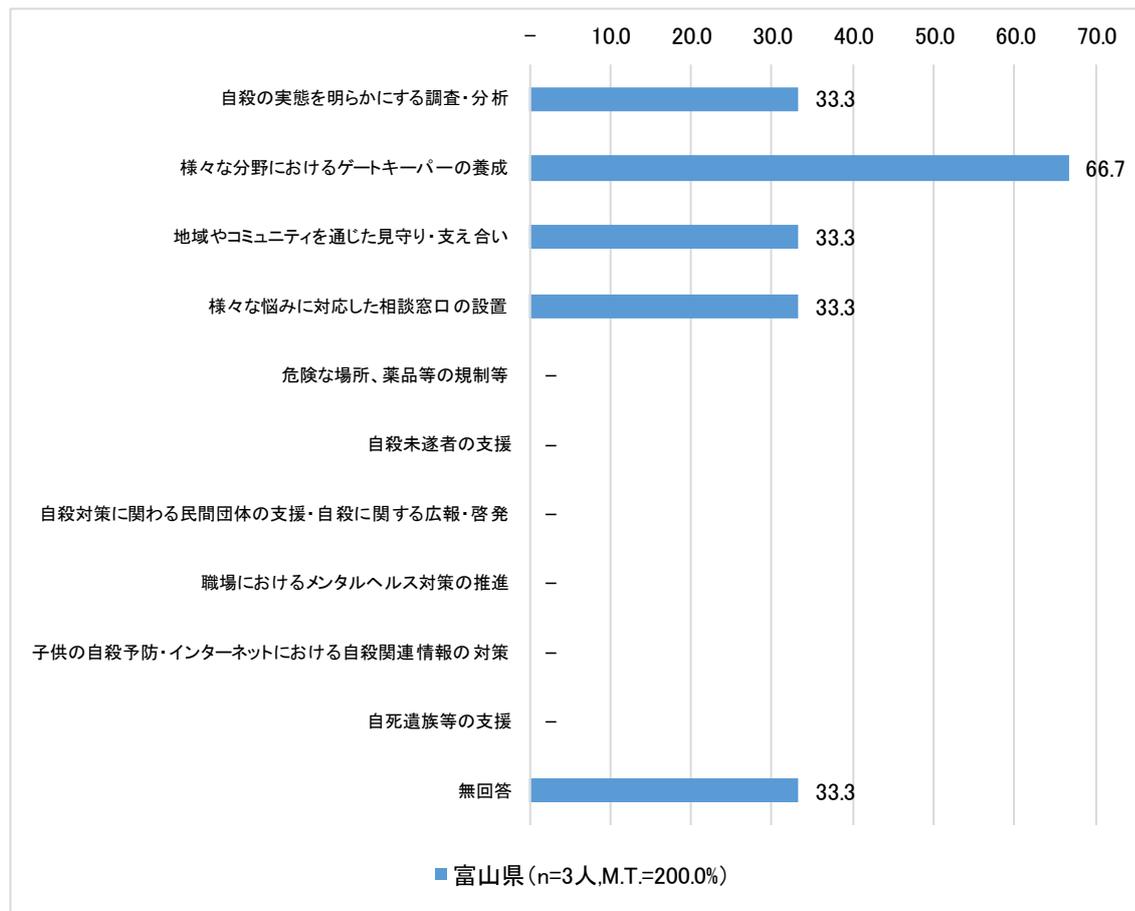
今後どのような自殺対策（支援）が必要になると思うか聞いたところ、15歳～39歳をみると、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」と答えた者の割合は43.8%、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」は41.7%、「自殺未遂者の支援」は35.4%、「自死遺族等の支援」は29.2%となっている。

②40歳～59歳



40歳～59歳をみると、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」と答えた者の割合は44.1%、「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」はそれぞれ32.4%、「自殺未遂者の支援」は29.4%、「様々な分野におけるゲートキーパーの養成」は26.5%となっている。

③60歳～64歳



60歳～64歳をみると、「様々な分野におけるゲートキーパーの養成」と答えた者の割合は66.7%、「自殺の実態を明らかにする調査・分析」、「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」はそれぞれ33.3%となっている。

### 3 支援団体ニーズ調査

以下ではヒアリング調査で得られたニーズを記載した。なお、回答からは団体が特定できないよう加工している。

#### 【相談窓口】

インターネット上で支援団体と繋がることのできるシステム・仕組みが必要。
市町村ごとに温度差はあるが、相談受付窓口の習熟度を上げ充実する必要がある。意識向上も必要。
相談窓口が混んでいるため、医療機関のように「予約受付」があるとよい。
子ども・若者支援地域協議会、青少年育成協議会など民間や県の組織がありすぎる。窓口の一元化を行い、組織をまとめて県としてのシステムを構築すべき。
日本では障害者支援に様々な窓口が個別に関わり、それぞれの支援に期限がある。期限や窓口を区切らず支援していく体制の構築が必要。

#### 【周知・PR】

ひきこもりに対する社会的偏見をなくしていく環境づくりが必要。
ひきこもりを特殊扱いせず、また偏見を持たず一般人として普通に付き合っていく関係性が必要。
当事者や家族がひきこもりになっていることを暖かく受け入れる地域づくりが必要。
市民一人ひとりが、ひきこもりは世の中に多数いることを理解すべき。
行政には当事者が参加可能なイベントや行事の開催、および啓蒙・広報活動をお願いしたい。
自治体の広報誌に支援団体の情報を掲載し、認知度の向上が必要。
パンフレット等を活用して、富山県はじめ他団体も一緒になって広報活動を行うべき
ひきこもりの相談窓口があるということを知らないという人もすごく多いと思うので、知ってもらうことが大切。
「様々な形で生き辛さを抱えている多様な生き方の人々をもっと受け入れていきましょう」という啓蒙を行政に期待したい。
離職者に対してサポステが周知できていない。退職したらサポステが利用できることを、商工会等に向けて周知すべき。
不登校に関して、学校を離れた場合（退学した場合）でも、所属団体としてサポステがあることを学校側が周知すべき。
「引き出し屋」（ひきこもり当事者を無理に家から引き出す業者・団体）の防犯対策、啓発活動が必要。
教育機関（大学等）にひきこもりを理解してもらうための講座を開講するべき。

#### 【居場所】

人には相性があるため居場所を選べることも必要。
ひきこもりには様々なパターンがあり、当事者や家族が自主性をもって選択できる場所があるとよい。
「居場所の整備と人員の配置」と「ひきこもりに対して専門の担当者（詳しい方）の養成」が大切。

### 【訪問支援】

アウトリーチが必要でありもっと実行すべき。
生半可な知識や小手先だけの対応を学んで訪問するのは、子どもを刺激するだけで、家族に危害が加わる案件が多いため、県のひきこもりサポーター養成は実施しない方が良い。
アウトリーチのやり方、注意点の講座や研修会を充実すべき。

### 【就労】

インターネットで仕事ができるチャンスを増やしていくべき。
インターネットを利用した仕事に関する情報が収集可能な機関・場所が存在するように対策すべき。
企業コラボや協力という形で、企業上部だけでなく全体としてひきこもり支援に理解を持っていただけの職場で就労体験ができるようにする。
制度外の就労支援に来年は力を入れていきたい。

### 【支援団体の活動の助成】

居場所を運営する際は光熱費や維持費が発生するため、行政には運営資金面で支援してほしい。
アウトリーチをする際にも交通費が発生するため、助成金として支援すべき。
就労支援に関して大半はボランティアで行っている状態のため、利用者の負担が大きくなっている。使いやすい助成金等が必要。
事業の継続性が重要で、資金面ではなく活動していることを理解いただけるバックアップの必要性が高い。
事業となると単独・単年度の括りのものが多いため個別に実施することは難しい。いくつかの事業を総合的にまとめ、継続的な支援があるからこそ運営ができる。
支援センターの増員と増設。

### 【支援機関の連携強化】

富山県ひきこもり対策支援協議会などに関わる団体を増やし、最新かつ公平な情報共有が必要。
別の協議会を立ち上げる、または現協議会の枠組みを変えるなど最新の情報を取り入れられる体制を構築する必要がある。
当事者が居住している市町村には相談しづらいとの声が非常に多く、広域圏での連携が必要。
富山県は官民の連携がうまくできていない。官が主導で「自己完結型」の事業が多いので、民間の活力を利用すべき。
様々な支援機関が連携することが必要。
教育機関・医療機関・福祉団体・支援団体等が連携し、支援していくことが家族にとって大切。
ひきこもりの現状・行政機関との連携面を理解した上で支援可能な体制を作るべき。
類似団体を一本化し、活動を集約すべき。従来の仕組みを見直し、全体を取りまとめる「連絡協議会」の立ち上げが必要。
ひきこもり当事者の状況を考慮して関係団体にリファーし合える体制が必要。

ひきこもり支援に際し、組織でなく担当者同士の顔が見える関係として、あらゆる関係機関は連携し、ネットワークづくりをすべき。
「居場所」の連携強化を図り、一つの施設で嫌な思いをしても、別の施設に行けることで利用者や事業者にとっての安心に繋げる。
厚生センターとの連携はできていない。公的団体として民間団体と一線を引くのではなく、連携すべき。
いろいろな支援機関が意見を出し合って協力する体制が必要。
ひきこもりでも、一人ひとり求めることも必要なことも違う。施設ごとに対象が異なるため、人それぞれに合った場所・状況・時期に応じて、多様な施設が必要。
学校とフリースクールが連携し、学習方法が選択できる体制が必要。

### 【早期段階の対応】

早期段階で発達障害に対応する必要がある。
ひきこもりの社会参加は、若いほどハードルが低く、ひきこもりの期間が短いほど社会復帰が早いと言われているので、何らかの対策が必要。

### 【その他】

ひきこもり当事者はインターネット依存症になる可能性が高いため、利用する際には管理体制の構築が必要。
8050 問題が注目されているが、親が亡くなった後の具体的な支援策を検討すべき。
包括的な支援体制の構築のため、全国の自治体にコミュニティーソーシャルワーカーを配置すべき。
厚生労働省の「地域共生社会推進検討会中間とりまとめ」で示されている「対人支援において今後求められるアプローチ」の「①断らない相談支援」「②参加支援」「③地域やコミュニティにおけるケア・支え合う関係性の育成支援」を実践して欲しい。
ひきこもり対策だけに限定してしまう支援でなく、多様な生き方の人々を様々に支える支援とつなげるべき。
中退者数は把握できるが、進学希望で進学できなかった数は把握できない。このひきこもり予備軍に対する支援が必要。
日常的支援を充実することで家族との関係を良好なものとし、事件等の発生低減を図る。
行政には多角的な視点で多様な支援を図っていくワンストップサービスになってもらいたい。
庁内のつながりがなく、情報共有・連携が行われていない。(同じ課内でも) 縦割り組織を改善すべき。
競争社会ではなく個人を認めることが必要。学校自体がまだまだ認める空気ではない。学校での教育目的を県も連携して変えるべき。
会社自体が人を育てる仕組みになっていない。大人になっても自己肯定感を育てる知識をもつべき。
精神障害の理解できる人・育てられる人が必要。最近では障害者を雇用した際の補助を目的とした雇用が多い。育てることを目的に資金が出ているのに一般雇用と同様の扱いをしているのは間違い。

## IV 集計表

【集計表】（当事者数推計調査 本人票）

あなたの性別

	総数	男性	女性	無回答
総数	2709	44.6	54.4	1.0
〔ひきこもり類型〕				
広義のひきこもり群	44	52.3	45.5	2.3
広義のひきこもり群以外	2665	44.5	54.5	1.0
〔年齢別〕（ひきこもり群）				
15歳～19歳	2	50.0	50.0	-
20歳～24歳	-	-	-	-
25歳～29歳	5	60.0	40.0	-
30歳～34歳	3	100.0	-	-
35歳～39歳	2	100.0	-	-
40歳～44歳	4	-	100.0	-
45歳～50歳	4	25.0	75.0	-
50歳～54歳	4	50.0	25.0	25.0
55歳～59歳	2	100.0	-	-
60歳～64歳	18	50.0	50.0	-
無回答	-	-	-	-
〔年齢別〕（ひきこもり群以外）				
15歳～19歳	278	46.4	53.2	0.4
20歳～24歳	130	46.2	53.8	-
25歳～29歳	156	44.9	54.5	0.6
30歳～34歳	176	44.3	55.1	0.6
35歳～39歳	259	42.5	57.1	0.4
40歳～44歳	248	44.0	55.6	0.4
45歳～50歳	307	45.9	53.7	0.3
50歳～54歳	273	42.9	56.4	0.7
55歳～59歳	289	42.6	56.4	1.0
60歳～64歳	512	46.3	53.7	-
無回答	37	32.4	27.0	40.5

あなたの年齢

	総数	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 50歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳
総数	2709	10.3	4.8	5.9	6.6	9.6	9.3	11.5	10.2	10.7
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	4.5	-	11.4	6.8	4.5	9.1	9.1	9.1	4.5
広義のひきこもり群以外	2665	10.4	4.9	5.9	6.6	9.7	9.3	11.5	10.2	10.8
〔年齢別〕（ひきこもり群）										
15歳～19歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳～44歳	4	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
45歳～50歳	4	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕（ひきこもり群以外）										
15歳～19歳	278	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	130	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	156	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	176	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	259	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳～44歳	248	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
45歳～50歳	307	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	273	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	289	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	60歳～ 64歳	無回答
総数	2709	19.6	1.4
〔ひきこもり類型〕			
広義のひきこもり群	44	40.9	-
広義のひきこもり群以外	2665	19.2	1.4
〔年齢別〕（ひきこもり群）			
15歳～19歳	2	-	-
20歳～24歳	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-
30歳～34歳	3	-	-
35歳～39歳	2	-	-
40歳～44歳	4	-	-
45歳～50歳	4	-	-
50歳～54歳	4	-	-
55歳～59歳	2	-	-
60歳～64歳	18	100.0	-
無回答	-	-	-
〔年齢別〕（ひきこもり群以外）			
15歳～19歳	278	-	-
20歳～24歳	130	-	-
25歳～29歳	156	-	-
30歳～34歳	176	-	-
35歳～39歳	259	-	-
40歳～44歳	248	-	-
45歳～50歳	307	-	-
50歳～54歳	273	-	-
55歳～59歳	289	-	-
60歳～64歳	512	100.0	-
無回答	37	-	100.0

あなたのお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

	総数	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市
総数	2709	41.5	14.5	3.9	4.3	3.5	3.2	5.0	2.2	4.9
[ひきこもり類型]										
広義のひきこもり群	44	50.0	18.2	2.3	-	-	4.5	2.3	-	2.3
広義のひきこもり群以外	2665	41.4	14.4	3.9	4.4	3.6	3.2	5.1	2.2	4.9
[年齢別](ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	4	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
45歳～50歳	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0
50歳～54歳	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	18	44.4	16.7	5.6	-	-	11.1	5.6	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[年齢別](ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	44.2	12.2	4.0	1.8	3.6	2.9	5.0	2.2	2.9
20歳～24歳	130	34.6	12.3	7.7	1.5	3.8	5.4	3.1	1.5	2.3
25歳～29歳	156	36.5	14.7	4.5	6.4	2.6	4.5	5.8	1.9	2.6
30歳～34歳	176	32.4	14.8	5.1	6.8	4.0	2.8	8.0	1.1	3.4
35歳～39歳	259	40.5	14.3	4.2	4.2	4.2	3.1	5.4	2.7	5.8
40歳～44歳	248	41.5	14.1	2.4	7.3	3.6	3.2	4.8	3.2	4.4
45歳～50歳	307	42.3	17.9	2.9	3.3	2.9	4.2	5.2	3.3	4.9
50歳～54歳	273	41.4	13.9	3.3	4.4	3.3	1.5	6.6	1.1	5.9
55歳～59歳	289	44.3	14.5	4.2	7.3	4.5	3.1	4.8	1.4	7.3
60歳～64歳	512	44.9	14.5	3.9	2.7	3.5	3.1	3.5	2.5	6.1
無回答	37	32.4	13.5	-	5.4	-	-	5.4	2.7	2.7

	総数	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	無回答
総数	2709	8.2	0.5	1.7	2.1	2.0	0.8	1.6
[ひきこもり類型]								
広義のひきこもり群	44	11.4	2.3	-	2.3	4.5	-	-
広義のひきこもり群以外	2665	8.2	0.5	1.7	2.1	2.0	0.9	1.7
[年齢別](ひきこもり群)								
15歳～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	20.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	66.7	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	4	-	25.0	-	25.0	-	-	-
45歳～50歳	4	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	4	25.0	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	18	5.6	-	-	-	11.1	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
[年齢別](ひきこもり群以外)								
15歳～19歳	278	9.4	0.4	2.9	1.8	2.5	0.4	4.0
20歳～24歳	130	10.0	0.8	3.8	3.8	3.1	-	6.2
25歳～29歳	156	9.0	0.6	2.6	3.8	2.6	0.6	1.3
30歳～34歳	176	10.8	-	1.7	4.0	2.3	1.7	1.1
35歳～39歳	259	5.8	0.4	1.2	2.3	2.3	1.5	1.9
40歳～44歳	248	7.7	0.8	1.6	3.2	0.8	0.4	0.8
45歳～50歳	307	6.5	0.7	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0
50歳～54歳	273	10.6	0.7	1.8	1.1	2.6	1.5	0.4
55歳～59歳	289	5.5	-	1.0	0.3	1.4	0.3	-
60歳～64歳	512	8.8	0.6	1.4	1.0	2.1	1.0	0.4
無回答	37	5.4	-	2.7	8.1	-	-	21.6

あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

	総数	父	母	きょうだい	祖父母	配偶者	子	その他の人	同居家族はいない(単身世帯)	無回答
総数	2709	33.4	46.6	15.8	10.7	57.4	43.8	5.0	5.3	3.0
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	31.8	47.7	20.5	6.8	29.5	18.2	6.8	18.2	-
広義のひきこもり群以外	2665	33.4	46.6	15.7	10.8	57.8	44.2	5.0	5.1	3.0
〔年齢別〕(ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	100.0	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	60.0	80.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-
30歳～34歳	3	66.7	100.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-
35歳～39歳	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	4	75.0	75.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
45歳～50歳	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
50歳～54歳	4	50.0	75.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-
55歳～59歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
60歳～64歳	18	-	5.6	5.6	-	50.0	33.3	11.1	33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	80.2	91.4	70.1	36.0	-	-	3.6	1.8	3.2
20歳～24歳	130	73.1	79.2	47.7	38.5	3.1	3.1	3.1	10.8	4.6
25歳～29歳	156	52.6	60.9	28.8	25.0	29.5	21.8	3.8	7.1	5.8
30歳～34歳	176	38.1	47.2	14.2	19.3	58.0	48.3	4.0	2.3	3.4
35歳～39歳	259	37.1	44.8	12.0	10.8	65.3	62.5	6.6	1.9	2.3
40歳～44歳	248	33.5	39.9	4.8	4.4	73.8	69.0	2.8	1.2	0.8
45歳～50歳	307	26.4	47.6	4.2	3.3	72.3	64.8	3.3	3.6	2.0
50歳～54歳	273	26.4	35.9	4.4	1.8	72.9	56.8	4.4	5.1	1.5
55歳～59歳	289	15.9	36.3	2.8	0.3	72.0	49.1	4.5	9.7	3.1
60歳～64歳	512	7.2	25.4	2.3	1.4	76.4	41.2	8.8	7.8	2.7
無回答	37	21.6	32.4	8.1	8.1	45.9	43.2	2.7	-	27.0

	総数	回答計
総数	2709	220.9
〔ひきこもり類型〕		
広義のひきこもり群	44	179.5
広義のひきこもり群以外	2665	221.6
〔性・年齢別〕		
15歳～19歳	2	350.0
20歳～24歳	-	-
25歳～29歳	5	220.0
30歳～34歳	3	233.3
35歳～39歳	2	150.0
40歳～44歳	4	250.0
45歳～50歳	4	125.0
50歳～54歳	4	200.0
55歳～59歳	2	150.0
60歳～64歳	18	138.9
無回答	-	-
〔性・年齢別〕		
15歳～19歳	278	286.3
20歳～24歳	130	263.1
25歳～29歳	156	235.3
30歳～34歳	176	234.7
35歳～39歳	259	243.2
40歳～44歳	248	230.2
45歳～50歳	307	227.4
50歳～54歳	273	209.2
55歳～59歳	289	193.8
60歳～64歳	512	173.2
無回答	37	189.2

【Q1～Q2 はすべての方がお答えください。】

Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。(〇はいくつでも)

	総数	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	ニート	初めての就職から1年以内の離転職	無職	あてはまるものはない	無回答
総数	2709	2.5	3.0	2.9	1.4	5.7	8.3	12.3	71.3	2.8
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	2.3	18.2	13.6	6.8	22.7	13.6	54.5	25.0	2.3
広義のひきこもり群以外	2665	2.5	2.7	2.7	1.3	5.4	8.3	11.6	72.1	2.9
〔年齢別〕(ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	20.0	20.0	20.0	80.0	-	-
30歳～34歳	3	33.3	66.7	33.3	33.3	100.0	33.3	100.0	-	-
35歳～39歳	2	-	50.0	50.0	-	100.0	-	100.0	-	-
40歳～44歳	4	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	50.0	25.0	-
45歳～50歳	4	-	-	25.0	-	25.0	50.0	100.0	-	-
50歳～54歳	4	-	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	50.0	-	100.0	-	-
60歳～64歳	18	-	5.6	-	-	5.6	5.6	38.9	44.4	5.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	1.4	2.9	4.3	0.4	1.1	-	0.7	87.8	4.3
20歳～24歳	130	2.3	6.2	3.1	0.8	4.6	4.6	6.2	77.7	3.1
25歳～29歳	156	5.1	6.4	2.6	0.6	9.0	12.2	10.3	67.9	3.8
30歳～34歳	176	5.1	4.5	6.3	4.0	9.7	16.5	9.7	65.9	1.1
35歳～39歳	259	3.9	5.0	2.7	3.1	13.1	8.9	18.9	60.6	1.5
40歳～44歳	248	2.0	3.6	1.6	1.2	7.7	13.3	15.3	64.1	2.8
45歳～50歳	307	2.9	2.0	2.3	1.0	5.2	8.1	15.3	69.7	2.6
50歳～54歳	273	1.8	1.1	1.8	0.7	4.8	9.9	16.5	67.0	3.7
55歳～59歳	289	1.4	1.7	3.8	1.7	3.5	6.9	13.5	72.0	3.1
60歳～64歳	512	1.8	0.6	1.4	0.6	2.3	6.8	8.2	79.7	2.3
無回答	37	-	-	-	2.7	2.7	8.1	18.9	67.6	5.4

	総数	回答計
総数	2709	110.3
〔ひきこもり類型〕		
広義のひきこもり群	44	159.1
広義のひきこもり群以外	2665	109.5
〔性・年齢別〕		
15歳～19歳	2	200.0
20歳～24歳	-	-
25歳～29歳	5	140.0
30歳～34歳	3	400.0
35歳～39歳	2	300.0
40歳～44歳	4	175.0
45歳～50歳	4	200.0
50歳～54歳	4	100.0
55歳～59歳	2	150.0
60歳～64歳	18	105.6
無回答	-	-
〔性・年齢別〕		
15歳～19歳	278	102.9
20歳～24歳	130	108.5
25歳～29歳	156	117.9
30歳～34歳	176	122.7
35歳～39歳	259	117.8
40歳～44歳	248	111.7
45歳～50歳	307	109.1
50歳～54歳	273	107.3
55歳～59歳	289	107.6
60歳～64歳	512	103.7
無回答	37	105.4

Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(〇はひとつだけ)

	総数	勤めている (正社員)	勤めている (契約社員等)	自営業・ 自由業	学生(予 備校生を 含む)	登録して いるが、 働いてい ない	専業主 婦・主夫	家事手伝 い	無職	その他
総数	2709	48.1	20.1	6.5	11.4	0.3	5.9	0.4	4.7	1.3
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	-	-	-	4.5	6.8	-	2.3	81.8	4.5
広義のひきこもり群以外	2665	48.9	20.5	6.6	11.5	0.2	6.0	0.4	3.4	1.2
〔年齢別〕(ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
30歳～34歳	3	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
40歳～44歳	4	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0
45歳～50歳	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
50歳～54歳	4	-	-	-	-	-	-	-	75.0	25.0
55歳～59歳	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
60歳～64歳	18	-	-	-	-	5.6	-	5.6	88.9	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	6.1	1.8	-	89.9	0.4	-	-	0.7	-
20歳～24歳	130	44.6	9.2	-	38.5	-	-	0.8	3.8	1.5
25歳～29歳	156	76.3	14.1	1.9	1.3	-	3.2	1.3	-	1.3
30歳～34歳	176	68.8	18.8	1.7	0.6	-	4.5	0.6	1.7	2.8
35歳～39歳	259	62.2	20.5	5.8	-	-	3.9	0.8	2.7	1.9
40歳～44歳	248	61.3	20.2	8.5	-	1.2	4.0	0.8	1.2	0.8
45歳～50歳	307	63.2	21.5	8.1	-	-	3.9	-	2.0	0.3
50歳～54歳	273	61.2	22.3	8.4	-	0.7	3.7	-	1.8	1.5
55歳～59歳	289	56.1	22.8	7.6	-	-	8.0	0.3	3.8	1.0
60歳～64歳	512	26.8	33.0	12.1	-	-	14.8	0.4	9.6	1.4
無回答	37	43.2	21.6	5.4	8.1	-	16.2	-	-	2.7

	総数	無回答
総数	2709	1.3
〔ひきこもり類型〕		
広義のひきこもり群	44	-
広義のひきこもり群以外	2665	1.3
〔年齢別〕(ひきこもり群)		
15歳～19歳	2	-
20歳～24歳	-	-
25歳～29歳	5	-
30歳～34歳	3	-
35歳～39歳	2	-
40歳～44歳	4	-
45歳～50歳	4	-
50歳～54歳	4	-
55歳～59歳	2	-
60歳～64歳	18	-
無回答	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)		
15歳～19歳	278	1.1
20歳～24歳	130	1.5
25歳～29歳	156	0.6
30歳～34歳	176	0.6
35歳～39歳	259	2.3
40歳～44歳	248	2.0
45歳～50歳	307	1.0
50歳～54歳	273	0.4
55歳～59歳	289	0.3
60歳～64歳	512	2.0
無回答	37	2.7

【Q2で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

	該当者	正社員として働いたことがある	契約社員等として働いたことがある	自営業・自由業をしたことがある	その他の形態で働いたことがある	いままで働いたことはない	無回答	回答計
総数	308	82.8	42.5	4.2	3.6	5.5	4.5	143.2
〔ひきこもり類型〕								
広義のひきこもり群	40	65.0	25.0	-	2.5	15.0	5.0	112.5
広義のひきこもり群以外	268	85.4	45.1	4.9	3.7	4.1	4.5	147.8
〔年齢別〕(ひきこもり群)								
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	40.0	-	-	-	60.0	-	100.0
30歳～34歳	3	-	66.7	-	-	33.3	-	100.0
35歳～39歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
40歳～44歳	3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	133.3
45歳～50歳	4	75.0	50.0	-	-	25.0	-	150.0
50歳～54歳	3	66.7	-	-	-	33.3	-	100.0
55歳～59歳	2	100.0	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	18	83.3	16.7	-	-	-	11.1	111.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)								
15歳～19歳	3	-	-	-	-	33.3	66.7	100.0
20歳～24歳	6	33.3	16.7	-	-	50.0	-	100.0
25歳～29歳	7	71.4	57.1	-	-	28.6	-	157.1
30歳～34歳	12	91.7	41.7	-	-	8.3	-	141.7
35歳～39歳	19	89.5	63.2	-	-	-	-	152.6
40歳～44歳	18	83.3	55.6	5.6	-	5.6	11.1	161.1
45歳～50歳	18	88.9	66.7	-	-	-	-	155.6
50歳～54歳	17	94.1	52.9	5.9	5.9	-	-	158.8
55歳～59歳	35	82.9	51.4	8.6	5.7	5.7	-	154.3
60歳～64歳	127	88.2	37.8	5.5	5.5	0.8	6.3	144.1
無回答	6	100.0	33.3	16.7	-	-	-	150.0

【Q4 はすべての方がお答えください。】

Q4 ふだんどのくらい外出しますか。(〇はひとつだけ)

	総数	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためときどき外出する	趣味の用事の時だけ外出する	近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	無回答
総数	2709	80.0	6.1	3.0	3.5	3.3	2.2	0.4	0.1	1.3
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	-	-	-	-	50.0	36.4	13.6	-	-
広義のひきこもり群以外	2665	81.4	6.2	3.1	3.6	2.5	1.7	0.2	0.2	1.3
〔年齢別〕 (ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	-	40.0	60.0	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
40歳～44歳	4	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-
45歳～50歳	4	-	-	-	-	75.0	25.0	-	-	-
50歳～54歳	4	-	-	-	-	75.0	-	25.0	-	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
60歳～64歳	18	-	-	-	-	44.4	50.0	5.6	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕 (ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	95.3	1.8	0.4	0.4	0.4	0.7	-	-	1.1
20歳～24歳	130	84.6	10.0	3.8	0.8	-	0.8	-	-	-
25歳～29歳	156	80.1	5.8	5.8	3.8	1.3	1.3	0.6	-	1.3
30歳～34歳	176	86.4	4.5	2.3	1.7	2.8	1.7	0.6	-	-
35歳～39歳	259	84.2	6.6	1.9	2.3	2.7	-	-	0.4	1.9
40歳～44歳	248	87.5	4.4	2.0	2.4	1.6	1.2	-	-	0.8
45歳～50歳	307	87.3	4.2	2.0	2.3	1.6	1.6	-	-	1.0
50歳～54歳	273	82.8	6.6	2.2	5.1	0.7	1.1	-	-	1.5
55歳～59歳	289	79.2	6.9	1.7	2.4	3.5	2.8	0.7	0.7	2.1
60歳～64歳	512	64.3	9.8	7.0	8.2	5.9	2.9	0.2	0.2	1.6
無回答	37	78.4	-	-	8.1	2.7	5.4	-	-	5.4

※本人票Q5～Q10は、本人票Q4において外出頻度が低かった者（本人票Q4において5～8を選択した者）のみが回答する項目となっている。

集計表では、その中でも広義のひきこもり群に該当する者のみの集計結果について記載する。

【Q4で「1～4」に○をつけた方は、Q11～Q14にお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q5～Q10にお答えください。】

Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。（○はひとつだけ）

	該当者	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満
総数	44	-	9.1	15.9	6.8	15.9	11.4	6.8	15.9	6.8
〔年齢別〕										
15歳～19歳	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-
30歳～34歳	3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
40歳～44歳	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-
45歳～50歳	4	-	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-
50歳～54歳	4	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0
55歳～59歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
60歳～64歳	18	-	11.1	16.7	5.6	27.8	11.1	5.6	11.1	5.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	44	6.8	4.5	-	-
〔年齢別〕					
15歳～19歳	2	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-	-
35歳～39歳	2	-	-	-	-
40歳～44歳	4	25.0	-	-	-
45歳～50歳	4	25.0	-	-	-
50歳～54歳	4	25.0	-	-	-
55歳～59歳	2	-	50.0	-	-
60歳～64歳	18	-	5.6	-	-
無回答	-	-	-	-	-

Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	44	2.3	13.6	15.9	6.8	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	40.0	60.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
40歳～44歳	4	-	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-
45歳～50歳	4	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-
50歳～54歳	4	-	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
60歳～64歳	18	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	44	6.8	22.7	4.5
[年齢別]				
15歳～19歳	2	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-
35歳～39歳	2	-	-	-
40歳～44歳	4	-	-	-
45歳～50歳	4	-	-	-
50歳～54歳	4	-	-	-
55歳～59歳	2	-	-	50.0
60歳～64歳	18	16.7	55.6	5.6
無回答	-	-	-	-

Q7 最近6カ月に家族以外の人と会話しましたか。(〇はひとつだけ)

	該当者	よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	無回答
総数	44	27.3	50.0	11.4	11.4	-
[年齢別]						
15歳～19歳	2	50.0	50.0	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	20.0	60.0	20.0	-	-
30歳～34歳	3	-	33.3	66.7	-	-
35歳～39歳	2	-	100.0	-	-	-
40歳～44歳	4	25.0	-	50.0	25.0	-
45歳～50歳	4	25.0	50.0	-	25.0	-
50歳～54歳	4	50.0	25.0	-	25.0	-
55歳～59歳	2	-	100.0	-	-	-
60歳～64歳	18	33.3	55.6	-	11.1	-
無回答	-	-	-	-	-	-

Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	44	2.3	4.5	9.1	2.3	2.3	6.8	13.6	29.5	25.0
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-
30歳～34歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	100.0	66.7
35歳～39歳	2	-	-	50.0	-	-	-	100.0	100.0	-
40歳～44歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-
45歳～50歳	4	-	-	25.0	-	-	-	25.0	75.0	75.0
50歳～54歳	4	-	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0
55歳～59歳	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	100.0
60歳～64歳	18	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	特にない	分からない	その他	無回答	回答計
総数	44	-	31.8	2.3	11.4	9.1	20.5	2.3	172.7
[年齢別]									
15歳～19歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	200.0
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-	120.0
30歳～34歳	3	-	33.3	-	-	-	-	-	366.7
35歳～39歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	300.0
40歳～44歳	4	-	-	-	-	-	75.0	-	175.0
45歳～50歳	4	-	50.0	-	-	-	-	-	250.0
50歳～54歳	4	-	-	-	-	-	25.0	-	100.0
55歳～59歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	300.0
60歳～64歳	18	-	55.6	-	22.2	11.1	22.2	5.6	122.2
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q9 現在の状態になってから、あなたは死にたい(逃げ出したい)と考えたことがありますか。

	該当者	現在死にたいと考えている	過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない	一度も考えたことがない	無回答
総数	44	29.5	18.2	50.0	2.3
[年齢別]					
15歳～19歳	2	50.0	50.0	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	40.0	40.0	20.0	-
30歳～34歳	3	66.7	-	33.3	-
35歳～39歳	2	100.0	-	-	-
40歳～44歳	4	50.0	25.0	25.0	-
45歳～50歳	4	50.0	50.0	-	-
50歳～54歳	4	-	25.0	75.0	-
55歳～59歳	2	100.0	-	-	-
60歳～64歳	18	-	5.6	88.9	5.6
無回答	-	-	-	-	-

【Q9で「1. 3」に○をつけた方は、Q15にお進みください。「2」に○をつけた方は、Q10にお答えください。】

Q10 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

	該当者	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた
総数	8	25.0	50.0	-	50.0	50.0
[年齢別]						
15歳～19歳	1	100.0	100.0	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	2	-	50.0	-	50.0	100.0
30歳～34歳	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	1	-	100.0	-	100.0	-
45歳～50歳	2	50.0	50.0	-	100.0	50.0
50歳～54歳	1	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	1	-	-	-	-	100.0
無回答	-	-	-	-	-	-

	該当者	その他	特に何もしなかった	無回答	回答計
総数	8	12.5	12.5	12.5	212.5
[年齢別]					
15歳～19歳	1	-	-	-	200.0
20歳～24歳	-	-	-	-	-
25歳～29歳	2	-	-	-	200.0
30歳～34歳	-	-	-	-	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-
40歳～44歳	1	-	-	-	200.0
45歳～50歳	2	50.0	-	-	300.0
50歳～54歳	1	-	-	100.0	100.0
55歳～59歳	-	-	-	-	-
60歳～64歳	1	-	100.0	-	200.0
無回答	-	-	-	-	-

Q11 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(〇はひとつだけ)

	該当者	趣味に関する用事のみだけ外出する	近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	1～4のような状態に6ヶ月以上連続してなったことはない	無回答
総数	2502	3.6	1.2	0.3	0.04	86.6	8.3
〔年齢別〕							
15歳～19歳	272	2.2	0.4	0.7	-	91.9	4.8
20歳～24歳	128	6.3	2.3	0.8	-	85.2	5.5
25歳～29歳	149	6.0	1.3	0.7	-	85.2	6.7
30歳～34歳	167	3.6	0.6	0.6	-	87.4	7.8
35歳～39歳	244	4.9	1.6	0.8	-	84.8	7.8
40歳～44歳	238	4.6	1.7	-	-	87.0	6.7
45歳～50歳	293	2.7	2.0	0.3	-	89.1	5.8
50歳～54歳	263	3.4	1.1	-	-	84.8	10.6
55歳～59歳	260	2.7	0.8	-	0.4	87.7	8.5
60歳～64歳	456	2.4	0.7	-	-	84.0	12.9
無回答	32	9.4	-	-	-	78.1	12.5

※本人票Q11～Q14は、本人票Q4において外出頻度が高かった者（本人票Q4において1～4を選択した者）のみが回答する項目となっている。

集計表ではその中でも過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群に該当する者の結果について記載する。

【Q11で「1～4」に○をつけた方は、Q12～Q14にお答えください。「5」に○をつけた方は、Q15にお進みください。】

Q12 その状態はどれくらい続きましたか。（○はひとつだけ）

	該当者	6ヶ月～ 1年未満	1年～2 年未満	2年～3 年未満	3年～5 年未満	5年～7 年未満	7年～1 0年未満	10年～ 15年未 満	15年～ 20年未 満	20年～ 25年未 満
総数	82	26.8	19.5	8.5	12.20	7.3	2.4	3.7	1.2	4.9
〔年齢別〕										
15歳～19歳	7	42.9	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-
20歳～24歳	7	28.6	28.6	-	14.3	-	-	-	-	14.3
25歳～29歳	8	25.0	-	-	37.5	-	-	-	-	12.5
30歳～34歳	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	14	21.4	28.6	-	14.3	14.3	7.1	-	7.1	7.1
40歳～44歳	10	20.0	10.0	20.0	-	10.0	-	10.0	-	-
45歳～50歳	11	27.3	18.2	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-
50歳～54歳	6	50.0	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-
55歳～59歳	8	12.5	12.5	25.0	-	12.5	-	12.5	-	12.5
60歳～64歳	7	28.6	28.6	-	28.6	-	-	14.3	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	25年～ 30年未 満	30年以 上	無回答
総数	82	1.2	6.1	6.1
〔年齢別〕				
15歳～19歳	7	-	-	-
20歳～24歳	7	-	-	14.3
25歳～29歳	8	-	-	25.0
30歳～34歳	3	-	-	-
35歳～39歳	14	-	-	-
40歳～44歳	10	10.0	10.0	10.0
45歳～50歳	11	-	18.2	-
50歳～54歳	6	-	-	16.7
55歳～59歳	8	-	12.5	-
60歳～64歳	7	-	-	-
無回答	1	-	100.0	-

Q13 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	82	8.5	17.1	19.5	6.1	14.6	8.5	2.4	2.4	6.1
[年齢別]										
15歳～19歳	7	42.9	57.1	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	8	-	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
35歳～39歳	14	7.1	14.3	21.4	14.3	28.6	14.3	-	-	-
40歳～44歳	10	10.0	20.0	20.0	-	30.0	20.0	-	-	-
45歳～50歳	11	9.1	-	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	-
50歳～54歳	6	-	-	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7
55歳～59歳	8	-	12.5	25.0	-	12.5	-	12.5	-	37.5
60歳～64歳	7	-	-	-	-	14.3	-	-	-	14.3
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	82	2.4	3.7	8.5
[年齢別]				
15歳～19歳	7	-	-	-
20歳～24歳	7	-	-	28.6
25歳～29歳	8	-	-	25.0
30歳～34歳	3	-	-	-
35歳～39歳	14	-	-	-
40歳～44歳	10	-	-	-
45歳～50歳	11	-	-	18.2
50歳～54歳	6	-	-	16.7
55歳～59歳	8	-	-	-
60歳～64歳	7	28.6	42.9	-
無回答	1	-	-	-

Q14 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	82	3.7	8.5	6.1	1.2	1.2	7.3	7.3	19.5	14.6
[年齢別]										
15歳～19歳	7	-	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3	14.3
20歳～24歳	7	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3	28.6
25歳～29歳	8	12.5	12.5	-	-	-	-	-	12.5	12.5
30歳～34歳	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-
35歳～39歳	14	-	7.1	-	-	7.1	28.6	21.4	28.6	21.4
40歳～44歳	10	-	10.0	10.0	-	-	10.0	-	20.0	10.0
45歳～50歳	11	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	36.4	9.1
50歳～54歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	8	-	-	12.5	12.5	-	12.5	25.0	25.0	25.0
60歳～64歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	その他	無回答	回答計
総数	82	8.5	18.3	3.7	20.7	17.1	137.8
[年齢別]							
15歳～19歳	7	-	-	-	28.6	14.3	114.3
20歳～24歳	7	-	14.3	-	14.3	14.3	114.3
25歳～29歳	8	12.5	-	-	-	62.5	125.0
30歳～34歳	3	-	-	-	66.7	-	166.7
35歳～39歳	14	-	14.3	-	35.7	-	164.3
40歳～44歳	10	30.0	20.0	10.0	10.0	-	130.0
45歳～50歳	11	18.2	18.2	-	18.2	18.2	145.5
50歳～54歳	6	16.7	33.3	-	16.7	33.3	100.0
55歳～59歳	8	-	50.0	12.5	-	25.0	200.0
60歳～64歳	7	-	28.6	14.3	42.9	-	100.0
無回答	1	-	-	-	-	100.0	100.0

【Q15～Q16 はすべての方がお答えください。】

Q15 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

	総数	親	きょうだい	友人・知人	配偶者	祖父母	職場の同僚・上司	カウンセラー・精神科医	都道府県、市町村などの専門機関の人	ネット上の知り合い
総数	2709	39.0	20.8	53.3	46.6	2.6	22.8	3.0	1.0	1.7
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	20.5	15.9	22.7	25.0	4.5	-	27.3	2.3	4.5
広義のひきこもり群以外	2665	39.3	20.9	53.8	46.9	2.6	23.2	2.6	0.9	1.7
〔年齢別〕(ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	100.0	50.0	-	-	50.0	-	100.0	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0
30歳～34歳	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	-
35歳～39歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	4	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	25.0
45歳～50歳	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	75.0	-	-
50歳～54歳	4	-	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-
55歳～59歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	18	-	22.2	33.3	38.9	-	-	11.1	5.6	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	68.0	20.1	74.8	-	7.6	2.5	2.5	-	4.7
20歳～24歳	130	66.2	22.3	70.8	1.5	5.4	15.4	0.8	-	5.4
25歳～29歳	156	66.7	26.3	62.8	27.6	5.1	34.6	3.8	0.6	2.6
30歳～34歳	176	54.5	24.4	60.8	49.4	2.8	44.3	1.1	1.1	0.6
35歳～39歳	259	54.8	23.6	52.5	57.1	3.1	34.7	3.9	1.2	1.5
40歳～44歳	248	44.8	13.7	51.6	57.3	1.6	29.0	4.0	0.8	2.0
45歳～50歳	307	40.1	17.9	48.9	57.0	0.7	30.0	2.6	1.0	1.0
50歳～54歳	273	25.6	18.7	48.7	57.1	2.2	23.8	2.6	1.5	0.7
55歳～59歳	289	18.7	17.3	47.4	58.5	0.7	20.8	2.4	1.4	1.0
60歳～64歳	512	11.9	25.6	44.9	61.1	0.8	14.8	1.8	1.0	0.2
無回答	37	32.4	16.2	43.2	43.2	2.7	13.5	2.7	2.7	5.4

	総数	その他の人	誰にも相談しない	無回答	回答計
総数	2709	5.0	11.1	1.0	208.0
〔ひきこもり類型〕					
広義のひきこもり群	44	9.1	22.7	-	154.5
広義のひきこもり群以外	2665	5.0	11.0	1.0	208.9
〔年齢別〕(ひきこもり群)					
15歳～19歳	2	-	-	-	300.0
20歳～24歳	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	40.0	-	140.0
30歳～34歳	3	-	33.3	-	133.3
35歳～39歳	2	-	50.0	-	100.0
40歳～44歳	4	25.0	-	-	150.0
45歳～50歳	4	-	25.0	-	225.0
50歳～54歳	4	-	25.0	-	150.0
55歳～59歳	2	50.0	-	-	100.0
60歳～64歳	18	11.1	22.2	-	144.4
無回答	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)					
15歳～19歳	278	2.9	8.6	0.4	192.1
20歳～24歳	130	2.3	8.5	0.8	199.2
25歳～29歳	156	1.3	10.3	-	241.7
30歳～34歳	176	3.4	8.5	1.1	252.3
35歳～39歳	259	2.3	10.0	1.2	245.9
40歳～44歳	248	3.6	10.1	0.8	219.4
45歳～50歳	307	2.6	12.7	0.7	215.0
50歳～54歳	273	5.9	9.9	2.6	199.3
55歳～59歳	289	8.0	12.5	0.7	189.3
60歳～64歳	512	9.6	12.7	1.0	185.4
無回答	37	5.4	21.6	5.4	194.6

Q16 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介	生活困窮時の一時的な生活資金支援	フアインシヤルプランナーなどによる生活設計支援
総数	2709	40.9	31.0	49.3	22.3	31.7	16.4	14.7	13.8	8.3
〔ひきこもり類型〕										
広義のひきこもり群	44	36.4	31.8	40.9	11.4	29.5	11.4	15.9	25.0	9.1
広義のひきこもり群以外	2665	41.0	31.0	49.4	22.4	31.8	16.5	14.7	13.7	8.3
〔年齢別〕(ひきこもり群)										
15歳～19歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	20.0	20.0	-	40.0	-	20.0	40.0	-
30歳～34歳	3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
35歳～39歳	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	4	75.0	25.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-
45歳～50歳	4	-	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-
50歳～54歳	4	25.0	-	75.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0
55歳～59歳	2	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	-	-	50.0	-
60歳～64歳	18	38.9	38.9	38.9	11.1	22.2	16.7	11.1	11.1	11.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)										
15歳～19歳	278	47.1	23.7	48.6	15.5	21.6	9.4	12.2	10.4	7.6
20歳～24歳	130	40.8	26.2	45.4	14.6	25.4	8.5	11.5	13.8	7.7
25歳～29歳	156	25.6	26.9	52.6	19.2	29.5	12.2	10.3	11.5	7.7
30歳～34歳	176	32.4	26.1	51.1	24.4	33.0	17.0	13.1	14.2	9.7
35歳～39歳	259	34.0	30.9	47.9	23.9	39.4	19.7	16.2	12.7	14.3
40歳～44歳	248	40.7	29.0	50.8	27.0	36.3	18.5	16.9	15.7	7.7
45歳～50歳	307	37.1	26.1	49.5	21.8	34.2	17.9	18.6	13.7	8.8
50歳～54歳	273	48.4	37.4	45.8	22.0	32.2	21.2	17.9	17.2	7.7
55歳～59歳	289	43.6	40.1	54.0	23.2	34.3	18.7	16.6	13.8	8.7
60歳～64歳	512	46.1	34.8	49.6	26.6	29.9	16.6	12.3	12.9	6.1
無回答	37	40.5	27.0	37.8	10.8	35.1	10.8	5.4	18.9	-

	総数	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	その他	無回答	回答計
総数	2709	17.1	7.4	3.5	256.4
〔ひきこもり類型〕					
広義のひきこもり群	44	29.5	15.9	4.5	261.4
広義のひきこもり群以外	2665	16.8	7.3	3.5	256.4
〔年齢別〕(ひきこもり群)					
15歳～19歳	2	-	50.0	-	300.0
20歳～24歳	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	40.0	20.0	-	200.0
30歳～34歳	3	33.3	33.3	-	400.0
35歳～39歳	2	50.0	-	-	300.0
40歳～44歳	4	25.0	-	-	225.0
45歳～50歳	4	50.0	25.0	25.0	175.0
50歳～54歳	4	25.0	-	-	300.0
55歳～59歳	2	-	50.0	-	450.0
60歳～64歳	18	27.8	11.1	5.6	244.4
無回答	-	-	-	-	-
〔年齢別〕(ひきこもり群以外)					
15歳～19歳	278	10.1	6.8	5.8	218.7
20歳～24歳	130	11.5	8.5	1.5	215.4
25歳～29歳	156	10.9	7.1	3.2	216.7
30歳～34歳	176	13.6	12.5	2.8	250.0
35歳～39歳	259	16.2	9.3	2.3	266.8
40歳～44歳	248	13.3	5.6	2.4	264.1
45歳～50歳	307	17.6	9.1	2.3	256.7
50歳～54歳	273	22.0	6.6	4.8	283.2
55歳～59歳	289	20.8	3.8	3.1	280.6
60歳～64歳	512	21.3	6.3	4.3	266.6
無回答	37	18.9	10.8	8.1	224.3

【集計表】（当事者等支援ニーズ調査 本人票）

あなたの性別

	総数	男性	女性	無回答
総数	86	67.4	30.2	2.3
[年齢別]				
15歳～19歳	3	66.7	33.3	-
20歳～24歳	8	50.0	50.0	-
25歳～29歳	9	88.9	11.1	-
30歳～34歳	14	92.9	7.1	-
35歳～39歳	14	57.1	35.7	7.1
40歳～44歳	16	75.0	25.0	-
45歳～50歳	7	57.1	42.9	-
50歳～54歳	6	50.0	50.0	-
55歳～59歳	5	40.0	60.0	-
60歳～64歳	3	66.7	33.3	-
無回答	1	-	-	100.0

あなたの年齢

	総数	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 50歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳
総数	86	3.5	9.3	10.5	16.3	16.3	18.6	8.1	7.0	5.8
[年齢別]										
15歳～19歳	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	9	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	14	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	14	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳～44歳	16	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
45歳～50歳	7	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	5	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	60歳～ 64歳	無回答
総数	86	3.5	1.2
[年齢別]			
15歳～19歳	3	-	-
20歳～24歳	8	-	-
25歳～29歳	9	-	-
30歳～34歳	14	-	-
35歳～39歳	14	-	-
40歳～44歳	16	-	-
45歳～50歳	7	-	-
50歳～54歳	6	-	-
55歳～59歳	5	-	-
60歳～64歳	3	100.0	-
無回答	1	-	100.0

あなたのお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

	総数	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市
総数	86	31.4	12.8	-	1.2	9.3	10.5	2.3	1.2	10.5
[年齢別]										
15歳～19歳	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3
20歳～24歳	8	37.5	12.5	-	-	-	25.0	-	-	12.5
25歳～29歳	9	22.2	22.2	-	-	-	11.1	-	-	-
30歳～34歳	14	21.4	7.1	-	-	-	14.3	7.1	-	-
35歳～39歳	14	42.9	21.4	-	-	7.1	7.1	7.1	-	14.3
40歳～44歳	16	43.8	18.8	-	-	6.3	6.3	-	-	18.8
45歳～50歳	7	28.6	-	-	-	57.1	-	-	-	-
50歳～54歳	6	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-
55歳～59歳	5	40.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0
60歳～64歳	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	無回答
総数	86	14.0	-	4.7	-	1.2	-	1.2
[年齢別]								
15歳～19歳	3	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	-	-	12.5	-	-	-	-
25歳～29歳	9	33.3	-	-	-	-	-	11.1
30歳～34歳	14	35.7	-	7.1	-	7.1	-	-
35歳～39歳	14	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	16	6.3	-	-	-	-	-	-
45歳～50歳	7	-	-	14.3	-	-	-	-
50歳～54歳	6	33.3	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	5	20.0	-	20.0	-	-	-	-
60歳～64歳	3	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-

あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

	総数	父	母	きょうだい	祖父母	配偶者	子	その他の人	同居家族はいない(単身世帯)	無回答
総数	86	33.4	46.6	15.8	10.7	57.4	43.8	5.0	5.3	3.0
[年齢別]										
15歳～19歳	3	100.0	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	9	77.8	88.9	55.6	55.6	-	-	11.1	-	-
30歳～34歳	14	85.7	92.9	35.7	21.4	-	7.1	7.1	7.1	-
35歳～39歳	14	78.6	78.6	21.4	14.3	7.1	-	-	7.1	-
40歳～44歳	16	50.0	50.0	6.3	-	6.3	6.3	6.3	18.8	6.3
45歳～50歳	7	28.6	57.1	-	-	-	-	-	42.9	-
50歳～54歳	6	-	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7
55歳～59歳	5	60.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-
60歳～64歳	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【Q1～Q2 はすべての方がお答えください。】

Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。(〇はいくつでも)

	総数	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	ニート	初めての就職から1年以内の離転職	無職	あてはまるものはない	無回答
総数	86	15.1	29.1	27.9	12.8	59.3	18.6	60.5	9.3	2.3
〔年齢別〕										
15歳～19歳	3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-	66.7	-	-
20歳～24歳	8	12.5	25.0	37.5	12.5	87.5	-	37.5	12.5	-
25歳～29歳	9	22.2	44.4	55.6	22.2	55.6	33.3	44.4	11.1	-
30歳～34歳	14	7.1	14.3	14.3	28.6	57.1	14.3	78.6	7.1	-
35歳～39歳	14	21.4	35.7	14.3	14.3	78.6	14.3	64.3	7.1	-
40歳～44歳	16	12.5	43.8	25.0	6.3	50.0	31.3	62.5	6.3	12.5
45歳～50歳	7	14.3	28.6	28.6	14.3	57.1	42.9	57.1	-	-
50歳～54歳	6	16.7	33.3	33.3	-	33.3	16.7	50.0	33.3	-
55歳～59歳	5	-	-	20.0	-	80.0	-	60.0	20.0	-
60歳～64歳	3	-	-	33.3	-	33.3	-	100.0	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(〇はひとつだけ)

	総数	勤めている(正社員)	勤めている(契約社員等)	自営業・自由業	学生(予備校生を含む)	登録しているが、働いていない	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職	その他
総数	86	48.1	20.1	6.5	11.4	0.3	5.9	0.4	4.7	1.3
〔年齢別〕										
15歳～19歳	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
20歳～24歳	8	12.5	12.5	-	-	-	-	12.5	62.5	-
25歳～29歳	9	11.1	-	-	-	-	-	11.1	66.7	11.1
30歳～34歳	14	-	14.3	-	-	7.1	-	-	78.6	-
35歳～39歳	14	-	7.1	7.1	7.1	-	7.1	7.1	57.1	7.1
40歳～44歳	16	-	6.3	-	-	12.5	-	12.5	62.5	-
45歳～50歳	7	-	-	-	-	-	-	-	85.7	14.3
50歳～54歳	6	-	16.7	-	-	-	-	-	83.3	-
55歳～59歳	5	20.0	-	-	-	-	-	20.0	60.0	-
60歳～64歳	3	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

	総数	無回答
総数	86	1.3
〔年齢別〕		
15歳～19歳	3	-
20歳～24歳	8	-
25歳～29歳	9	-
30歳～34歳	14	-
35歳～39歳	14	-
40歳～44歳	16	6.3
45歳～50歳	7	-
50歳～54歳	6	-
55歳～59歳	5	-
60歳～64歳	3	-
無回答	1	-

【Q2で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

	該当者	正社員として働いたことがある	契約社員等として働いたことがある	自営業・自由業をしたことがある	その他の形態で働いたことがある	いままで働いたことはない	無回答
総数	68	50.0	45.6	1.5	11.8	13.2	1.5
〔年齢別〕							
15歳～19歳	1	-	-	-	-	-	100.0
20歳～24歳	6	-	33.3	-	33.3	33.3	-
25歳～29歳	7	57.1	57.1	-	14.3	28.6	-
30歳～34歳	12	66.7	50.0	-	16.7	8.3	-
35歳～39歳	10	40.0	40.0	-	-	20.0	-
40歳～44歳	14	50.0	64.3	-	14.3	7.1	-
45歳～50歳	6	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	-
50歳～54歳	5	40.0	40.0	-	-	-	-
55歳～59歳	4	100.0	25.0	-	-	-	-
60歳～64歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-

【Q4はすべての方がお答えください。】

Q4 ふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

	総数	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためときどき外出する	趣味の用事の時だけ外出する	近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	無回答
総数	86	9.3	14.0	4.7	8.1	23.3	24.4	12.8	1.2	2.3
〔年齢別〕										
15歳～19歳	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	12.5	12.5	12.5	-	50.0	-	12.5	-	-
25歳～29歳	9	22.2	-	-	11.1	44.4	11.1	11.1	-	-
30歳～34歳	14	-	21.4	7.1	-	28.6	21.4	14.3	7.1	-
35歳～39歳	14	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	21.4	21.4	-	-
40歳～44歳	16	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	43.8	12.5	-	6.3
45歳～50歳	7	-	14.3	-	14.3	28.6	42.9	-	-	-
50歳～54歳	6	16.7	-	-	-	-	50.0	16.7	-	16.7
55歳～59歳	5	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0	-	-	-
60歳～64歳	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

【Q4で「1～4」に○をつけた方は、Q18～Q22へお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q5～Q17にお答えください。】

Q5 現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満
総数	53	3.8	5.7	9.4	1.9	15.1	7.5	7.5	20.8	11.3
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	-
25歳～29歳	6	-	16.7	16.7	-	33.3	-	-	33.3	-
30歳～34歳	10	10.0	-	10.0	-	40.0	-	20.0	20.0	-
35歳～39歳	8	-	-	-	-	-	25.0	-	37.5	-
40歳～44歳	10	10.0	-	-	10.0	-	-	10.0	20.0	20.0
45歳～50歳	5	-	-	20.0	-	-	-	-	40.0	20.0
50歳～54歳	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	25.0
55歳～59歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
60歳～64歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	53	9.4	7.5	-	-
[年齢別]					
15歳～19歳	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	-	-	-
25歳～29歳	6	-	-	-	-
30歳～34歳	10	-	-	-	-
35歳～39歳	8	25.0	12.5	-	-
40歳～44歳	10	30.0	-	-	-
45歳～50歳	5	-	20.0	-	-
50歳～54歳	4	-	-	-	-
55歳～59歳	3	-	33.3	-	-
60歳～64歳	2	-	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-

Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	53	9.4	15.1	22.6	17.0	11.3	5.7	1.9	5.7	1.9
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	6	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-
30歳～34歳	10	-	20.0	30.0	40.0	10.0	-	-	-	-
35歳～39歳	8	25.0	12.5	-	25.0	12.5	-	-	-	-
40歳～44歳	10	-	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0	-	10.0	-
45歳～50歳	5	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-
50歳～54歳	4	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0
55歳～59歳	3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-
60歳～64歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	53	1.9	-	7.5
[年齢別]				
15歳～19歳	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	-	-
25歳～29歳	6	-	-	-
30歳～34歳	10	-	-	-
35歳～39歳	8	-	-	25.0
40歳～44歳	10	-	-	-
45歳～50歳	5	-	-	20.0
50歳～54歳	4	-	-	-
55歳～59歳	3	-	-	33.3
60歳～64歳	2	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-

Q7 最近6カ月間に家族以外の人と会話しましたか。(〇はひとつだけ)

	該当者	よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	無回答
総数	53	11.3	37.7	30.2	20.8	-
[年齢別]						
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-
25歳～29歳	6	16.7	33.3	-	50.0	-
30歳～34歳	10	10.0	50.0	10.0	30.0	-
35歳～39歳	8	25.0	12.5	37.5	25.0	-
40歳～44歳	10	-	50.0	40.0	10.0	-
45歳～50歳	5	-	20.0	60.0	20.0	-
50歳～54歳	4	25.0	50.0	25.0	-	-
55歳～59歳	3	-	66.7	33.3	-	-
60歳～64歳	2	-	50.0	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-

Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	53	7.5	20.8	13.2	13.2	3.8	15.1	24.5	49.1	30.2
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0
25歳～29歳	6	16.7	50.0	-	16.7	-	16.7	16.7	33.3	16.7
30歳～34歳	10	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	40.0	30.0	40.0
35歳～39歳	8	12.5	37.5	-	-	-	12.5	12.5	62.5	25.0
40歳～44歳	10	-	10.0	30.0	10.0	-	10.0	30.0	50.0	30.0
45歳～50歳	5	-	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	60.0	40.0
50歳～54歳	4	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-
55歳～59歳	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3	100.0	66.7
60歳～64歳	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	特にない	分からない	その他	無回答	回答計
総数	53	-	13.2	1.9	3.8	11.3	7.5	1.9	217.0
[年齢別]									
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	-	-	-	-	20.0	-	220.0
25歳～29歳	6	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	216.7
30歳～34歳	10	-	30.0	-	10.0	10.0	-	-	240.0
35歳～39歳	8	-	12.5	-	12.5	-	-	-	187.5
40歳～44歳	10	-	10.0	10.0	-	20.0	-	10.0	220.0
45歳～50歳	5	-	-	-	-	-	20.0	-	220.0
50歳～54歳	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	200.0
55歳～59歳	3	-	-	-	-	-	-	-	266.7
60歳～64歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	150.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q9 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(〇はひとつだけ)

	該当者	非常に思う	思う	少し思う	思わない	無回答
総数	53	9.4	22.6	28.3	34.0	5.7
[年齢別]						
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	20.0	40.0	40.0	-
25歳～29歳	6	16.7	33.3	16.7	33.3	-
30歳～34歳	10	20.0	10.0	30.0	40.0	-
35歳～39歳	8	-	37.5	50.0	12.5	-
40歳～44歳	10	-	30.0	30.0	20.0	20.0
45歳～50歳	5	40.0	40.0	-	-	20.0
50歳～54歳	4	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	3	-	-	66.7	33.3	-
60歳～64歳	2	-	-	-	100.0	-
無回答	-	-	-	-	-	-

Q10 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

	該当者	親身に聴いてくれる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家が	精神科医がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	無料で相談できる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)である
総数	53	45.3	26.4	32.1	32.1	15.1	18.9	32.1	3.8
[年齢別]									
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	60.0	60.0	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0
25歳～29歳	6	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7
30歳～34歳	10	70.0	30.0	40.0	40.0	-	10.0	20.0	-
35歳～39歳	8	50.0	-	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-
40歳～44歳	10	40.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	40.0	-
45歳～50歳	5	40.0	60.0	-	60.0	20.0	-	40.0	-
50歳～54歳	4	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-
55歳～59歳	3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	66.7	66.7	-
60歳～64歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	自宅に専門家が来てくれる	自宅から近い	あてはまるものはない	どのような機関にも相談したくない	無回答	回答計
総数	53	15.1	28.3	1.9	20.8	9.4	281.1
[年齢別]							
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	20.0	-	-	40.0	-	440.0
25歳～29歳	6	33.3	33.3	-	33.3	-	383.3
30歳～34歳	10	10.0	40.0	-	10.0	10.0	280.0
35歳～39歳	8	12.5	37.5	-	12.5	-	212.5
40歳～44歳	10	10.0	40.0	-	10.0	30.0	270.0
45歳～50歳	5	-	-	-	20.0	20.0	260.0
50歳～54歳	4	25.0	-	25.0	25.0	-	125.0
55歳～59歳	3	33.3	33.3	-	33.3	-	366.7
60歳～64歳	2	-	50.0	-	50.0	-	150.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-

【Q10で「12」に○をつけた方のみ、Q11にお答えください。】

Q11 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

	該当者	自分のことを知られたくない	行っても解決できないと思う	何をきかれるか不安に思う	相手にうまく話せないと思う	行ったことを人に知られたくない	お金がかかると思う	相談機関が近くにない	その他	特に理由はない
総数	11	18.2	72.7	9.1	36.4	-	18.2	18.2	-	9.1
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0
25歳～29歳	2	50.0	100.0	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-
30歳～34歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
40歳～44歳	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-
45歳～50歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	無回答	回答計
総数	11	-	181.8
[年齢別]			
15歳～19歳	-	-	-
20歳～24歳	2	-	150.0
25歳～29歳	2	-	350.0
30歳～34歳	1	-	100.0
35歳～39歳	1	-	200.0
40歳～44歳	1	-	300.0
45歳～50歳	1	-	100.0
50歳～54歳	1	-	100.0
55歳～59歳	1	-	100.0
60歳～64歳	1	-	100.0
無回答	-	-	-

Q12 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

	該当者	ある	ない	無回答
群	53	69.8	30.2	-
[年齢別]				
15歳～19歳	-	-	-	-
20歳～24歳	5	40.0	60.0	-
25歳～29歳	6	66.7	33.3	-
30歳～34歳	10	70.0	30.0	-
35歳～39歳	8	87.5	12.5	-
40歳～44歳	10	60.0	40.0	-
45歳～50歳	5	80.0	20.0	-
50歳～54歳	4	75.0	25.0	-
55歳～59歳	3	66.7	33.3	-
60歳～64歳	2	100.0	-	-
無回答	-	-	-	-

【Q12で「1」に○をつけた方のみ、Q13～Q14にお答えください。】

Q13 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

	該当者	教育支援センター (適応指導教室)	教育相談所・相談室などの 相談機関	福祉事務所	職業安定所などの 就労支援機関	保健所・保健センター	精神保健福祉センター	病院・診療所	発達障害者支援センター	ひきこもり地域支援センター
総数	37	-	5.4	13.5	16.2	27.0	2.7	37.8	2.7	27.0
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
25歳～29歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
30歳～34歳	7	-	-	-	28.6	14.3	-	14.3	-	57.1
35歳～39歳	7	-	-	-	14.3	28.6	-	14.3	-	42.9
40歳～44歳	6	-	-	16.7	33.3	16.7	-	66.7	-	16.7
45歳～50歳	4	-	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	75.0	25.0	-
50歳～54歳	3	-	-	66.7	-	-	-	33.3	-	-
55歳～59歳	2	-	-	50.0	-	50.0	-	100.0	-	50.0
60歳～64歳	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	子ども・若者総合 相談センター	民間施設 (フリースクール など)	地域包括 支援センター	生活困窮者向けの 相談窓口	社会福祉 協議会	当事者の 会・家族 会	上記以外の民 間の相談機 関・支援機関 (NPO等)	その他の 施設・機 関	無回答	回答計
総数	37	-	5.4	2.7	2.7	2.7	5.4	8.1	2.7	2.7	164.9
[年齢別]											
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	150.0
25歳～29歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	100.0
30歳～34歳	7	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	128.6
35歳～39歳	7	-	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3	157.1
40歳～44歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150.0
45歳～50歳	4	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	350.0
50歳～54歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
55歳～59歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250.0
60歳～64歳	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	150.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q15 今後、どのような支援を望まれますか。(〇はいくつでも)

	該当者	自宅から通 える範囲の 相談窓口の 充実	専門相談 窓口の充 実	電話相談 の充実	メール相 談の充実	チャット (LINE等のア プリ含む) 相 談の対応	フリース ペースな どの居場 所の充実	メンタルフレ ンド(友達 のような話し 手)の充実	自宅等へ の訪問支 援	就労支援
総数	53	32.1	17.0	13.2	15.1	7.5	17.0	20.8	15.1	13.2
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	-	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0
25歳～29歳	6	33.3	16.7	-	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3
30歳～34歳	10	40.0	20.0	30.0	20.0	10.0	20.0	-	-	20.0
35歳～39歳	8	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0
40歳～44歳	10	40.0	10.0	20.0	10.0	-	20.0	40.0	30.0	-
45歳～50歳	5	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-
50歳～54歳	4	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	当事者の会 (自助グ ループ)の 紹介	医療機関 の紹介	一時的な 生活資金 支援	ファイナンシャ ルプランナーな どによる生活設 計支援	福祉サービ スや生活保護な ど行政サービ スの申請支援	復学・再 入学支援	その他	無回答	回答計
総数	53	15.1	15.1	17.0	7.5	15.1	3.8	9.4	28.3	262.3
[年齢別]										
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	180.0
25歳～29歳	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7	333.3
30歳～34歳	10	10.0	40.0	-	20.0	10.0	-	-	50.0	290.0
35歳～39歳	8	-	-	37.5	12.5	37.5	-	-	25.0	275.0
40歳～44歳	10	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	30.0	290.0
45歳～50歳	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	300.0
50歳～54歳	4	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0	150.0
55歳～59歳	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	133.3
60歳～64歳	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	250.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q16 現在の状態になってから、あなたは自殺したいと考えたことがありますか。

	該当者	考えるこ とがある	過去に考えた ことがあるが 現在は考えて いない	一度も考 えたこと がない	無回答
総数	53	34.0	28.3	32.1	5.7
[年齢別]					
15歳～19歳	-	-	-	-	-
20歳～24歳	5	40.0	20.0	20.0	20.0
25歳～29歳	6	33.3	33.3	33.3	-
30歳～34歳	10	20.0	40.0	40.0	-
35歳～39歳	8	25.0	12.5	62.5	-
40歳～44歳	10	40.0	20.0	20.0	20.0
45歳～50歳	5	60.0	20.0	20.0	-
50歳～54歳	4	-	50.0	50.0	-
55歳～59歳	3	66.7	33.3	-	-
60歳～64歳	2	50.0	50.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-

【Q16で「2」に○をつけた方のみ、Q17にお答えください。】

Q17 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

	該当者	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした
総数	15	33.3	33.3	-	20.0
〔年齢別〕					
15歳～19歳	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	100.0	100.0	-	-
25歳～29歳	2	-	-	-	50.0
30歳～34歳	4	25.0	50.0	-	25.0
35歳～39歳	1	-	-	-	-
40歳～44歳	2	100.0	-	-	-
45歳～50歳	1	-	-	-	-
50歳～54歳	2	-	-	-	50.0
55歳～59歳	1	-	100.0	-	-
60歳～64歳	1	100.0	100.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-

	該当者	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	その他	特に何もしなかった	無回答	回答計
総数	15	33.3	6.7	6.7	6.7	140.0
〔年齢別〕						
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	-	-	200.0
25歳～29歳	2	-	50.0	-	-	100.0
30歳～34歳	4	75.0	-	-	-	175.0
35歳～39歳	1	-	-	-	100.0	100.0
40歳～44歳	2	-	-	-	-	100.0
45歳～50歳	1	-	-	100.0	-	100.0
50歳～54歳	2	50.0	-	-	-	100.0
55歳～59歳	1	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	1	100.0	-	-	-	300.0
無回答	-	-	-	-	-	-

【Q4で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q18 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)

	該当者	趣味に関する用事のみ きだけ外出する	近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	1～4のような状態に6ヶ月以上連続してなったことはない	無回答
総数	31	48.4	16.1	-	-	19.4	16.1
〔年齢別〕							
15歳～19歳	3	-	33.3	-	-	-	66.7
20歳～24歳	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3
25歳～29歳	3	100.0	-	-	-	-	-
30歳～34歳	4	75.0	-	-	-	25.0	-
35歳～39歳	6	50.0	50.0	-	-	-	-
40歳～44歳	5	60.0	20.0	-	-	20.0	-
45歳～50歳	2	50.0	-	-	-	50.0	-
50歳～54歳	1	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	2	-	-	-	-	50.0	50.0
60歳～64歳	1	-	-	-	-	-	100.0
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-

【Q18で「1～4」に○をつけた方のみ、Q19～Q21にお答えください。】

Q19 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満
総数	20	5.0	40.0	10.0	5.00	10.0	15.0	5.0	5.0	-
[年齢別]										
15歳～19歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
35歳～39歳	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-
40歳～44歳	4	-	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
45歳～50歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

	該当者	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	20	-	5.0	-
[年齢別]				
15歳～19歳	1	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	-
35歳～39歳	6	-	16.7	-
40歳～44歳	4	-	-	-
45歳～50歳	1	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-

Q20 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	20	10.0	15.0	50.0	-	10.0	10.0	-	-	-
[年齢別]										
15歳～19歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	6	16.7	16.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-
40歳～44歳	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-
45歳～50歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	20	-	5.0	-
[年齢別]				
15歳～19歳	1	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	-
30歳～34歳	3	-	33.3	-
35歳～39歳	6	-	-	-
40歳～44歳	4	-	-	-
45歳～50歳	1	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-

Q21 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	20	10.0	10.0	10.0	10.0	-	25.0	30.0	45.0	30.0
〔年齢別〕										
15歳～19歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
20歳～24歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0
25歳～29歳	3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	66.7	-
30歳～34歳	3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3
35歳～39歳	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	33.3	33.3	33.3
40歳～44歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	50.0	25.0
45歳～50歳	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	その他	無回答	回答計
総数	20	-	5.0	-	25.0	-	200.0
〔年齢別〕							
15歳～19歳	1	-	-	-	100.0	-	300.0
20歳～24歳	1	-	-	-	-	-	300.0
25歳～29歳	3	-	-	-	-	-	166.7
30歳～34歳	3	-	-	-	66.7	-	133.3
35歳～39歳	6	-	16.7	-	16.7	-	233.3
40歳～44歳	4	-	-	-	25.0	-	200.0
45歳～50歳	1	-	-	-	-	-	200.0
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	100.0

【Q23～Q29 はすべての方がお答えください。】

Q23 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

	総数	親	きょうだい	友人・知人	配偶者	祖父母	職場の同僚・上司	カウンセラー・精神科医	都道府県、市町村などの専門機関の人	ネット上の知り合い
総数	86	44.2	10.5	23.3	4.7	2.3	2.3	37.2	11.6	4.7
[年齢別]										
15歳～19歳	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	25.0	12.5	37.5	-	12.5	12.5	25.0	-	-
25歳～29歳	9	66.7	11.1	-	-	11.1	-	55.6	-	-
30歳～34歳	14	57.1	7.1	42.9	7.1	-	-	42.9	14.3	-
35歳～39歳	14	42.9	14.3	21.4	7.1	-	7.1	35.7	35.7	21.4
40歳～44歳	16	50.0	6.3	18.8	6.3	-	-	43.8	6.3	6.3
45歳～50歳	7	28.6	14.3	-	-	-	-	42.9	-	-
50歳～54歳	6	-	-	33.3	16.7	-	-	16.7	16.7	-
55歳～59歳	5	80.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-
60歳～64歳	3	33.3	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

	総数	その他の人	誰にも相談しない	無回答	回答計
総数	86	5.8	26.7	4.7	177.9
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	33.3	33.3	133.3
20歳～24歳	8	12.5	37.5	12.5	187.5
25歳～29歳	9	-	33.3	-	177.8
30歳～34歳	14	-	21.4	-	192.9
35歳～39歳	14	7.1	28.6	-	221.4
40歳～44歳	16	-	18.8	6.3	162.5
45歳～50歳	7	14.3	14.3	14.3	128.6
50歳～54歳	6	16.7	33.3	-	133.3
55歳～59歳	5	-	40.0	-	200.0
60歳～64歳	3	33.3	33.3	-	200.0
無回答	1	-	-	-	100.0

Q24 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(〇はいくつでも)

	総数	持っていない	精神障害者保健福祉手帳を持っている	療育手帳を持っている	身体障害者手帳を持っている	無回答	回答計
総数	86	72.1	19.8	3.5	2.3	2.3	100.0
[年齢別]							
15歳～19歳	3	100.0	-	-	-	-	100.0
20歳～24歳	8	75.0	12.5	-	-	12.5	100.0
25歳～29歳	9	88.9	-	11.1	-	-	100.0
30歳～34歳	14	78.6	7.1	7.1	7.1	-	100.0
35歳～39歳	14	78.6	14.3	7.1	-	-	100.0
40歳～44歳	16	62.5	31.3	-	-	6.3	100.0
45歳～50歳	7	42.9	57.1	-	-	-	100.0
50歳～54歳	6	83.3	-	-	16.7	-	100.0
55歳～59歳	5	60.0	40.0	-	-	-	100.0
60歳～64歳	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0
無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0

Q26 現在、あなたが抱えている不安や危機感としてどのようなものがありますか。（過去にひきこもり状態だった方は、ひきこもっていたときの状況をお聞かせください。）（〇はいくつでも）

	総数	家族との関係	親の高齢化	家族の介護	友人や仲間との関係	健康状態	収入や生活費など経済的なこと	家事や身の回りのこと	就職や仕事のこと	学業や学校のこと
総数	86	31.4	45.3	19.8	16.3	47.7	60.5	22.1	54.7	7.0
[年齢別]										
15歳～19歳	3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
20歳～24歳	8	25.0	25.0	12.5	25.0	62.5	62.5	12.5	62.5	25.0
25歳～29歳	9	33.3	55.6	11.1	-	44.4	66.7	44.4	66.7	-
30歳～34歳	14	71.4	64.3	28.6	28.6	50.0	71.4	14.3	64.3	7.1
35歳～39歳	14	28.6	35.7	14.3	21.4	50.0	78.6	14.3	64.3	14.3
40歳～44歳	16	18.8	62.5	37.5	18.8	43.8	56.3	18.8	43.8	-
45歳～50歳	7	28.6	42.9	28.6	-	71.4	42.9	28.6	28.6	-
50歳～54歳	6	16.7	16.7	-	16.7	33.3	33.3	-	66.7	-
55歳～59歳	5	-	60.0	20.0	-	40.0	100.0	40.0	60.0	-
60歳～64歳	3	-	33.3	-	-	33.3	-	66.7	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-

	総数	結婚や恋愛問題	特にない	わからない	その他	無回答	回答計
総数	86	16.3	7.0	3.5	7.0	3.5	341.9
[年齢別]							
15歳～19歳	3	-	66.7	-	-	-	300.0
20歳～24歳	8	12.5	12.5	-	-	12.5	350.0
25歳～29歳	9	11.1	-	11.1	-	11.1	355.6
30歳～34歳	14	35.7	-	7.1	7.1	-	450.0
35歳～39歳	14	28.6	-	7.1	14.3	-	371.4
40歳～44歳	16	12.5	6.3	-	-	6.3	325.0
45歳～50歳	7	-	14.3	-	14.3	-	300.0
50歳～54歳	6	16.7	-	-	16.7	-	216.7
55歳～59歳	5	-	-	-	20.0	-	340.0
60歳～64歳	3	-	33.3	-	-	-	166.7
無回答	1	-	-	-	-	-	200.0

Q27 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介
総数	86	36.0	29.1	29.1	19.8	26.7	19.8	18.6
[年齢別]								
15歳～19歳	3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3
20歳～24歳	8	25.0	25.0	37.5	25.0	50.0	12.5	25.0
25歳～29歳	9	22.2	33.3	44.4	22.2	22.2	22.2	22.2
30歳～34歳	14	50.0	42.9	28.6	7.1	28.6	21.4	35.7
35歳～39歳	14	42.9	28.6	28.6	35.7	14.3	21.4	7.1
40歳～44歳	16	37.5	31.3	37.5	18.8	37.5	31.3	18.8
45歳～50歳	7	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3
50歳～54歳	6	33.3	16.7	-	-	33.3	-	-
55歳～59歳	5	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0
60歳～64歳	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-

	総数	生活困窮時の一時的な生活資金支援	ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	その他	無回答	回答計
総数	86	23.3	15.1	23.3	9.3	22.1	272.1
[年齢別]							
15歳～19歳	3	-	-	-	-	-	200.0
20歳～24歳	8	12.5	12.5	37.5	-	25.0	287.5
25歳～29歳	9	22.2	22.2	22.2	-	22.2	277.8
30歳～34歳	14	21.4	28.6	21.4	14.3	21.4	321.4
35歳～39歳	14	35.7	14.3	35.7	21.4	14.3	300.0
40歳～44歳	16	43.8	18.8	31.3	-	18.8	325.0
45歳～50歳	7	14.3	-	14.3	-	14.3	228.6
50歳～54歳	6	-	-	-	16.7	50.0	150.0
55歳～59歳	5	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	220.0
60歳～64歳	3	-	-	-	-	66.7	133.3
無回答	1	-	-	-	-	-	100.0

Q28 あなたは自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。  
該当する箇所の数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

a 富山県こころの電話

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	86	9.3	24.4	53.5	12.8
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	33.3	66.7	-
20歳～24歳	8	-	50.0	25.0	25.0
25歳～29歳	9	11.1	-	66.7	22.2
30歳～34歳	14	7.1	21.4	57.1	14.3
35歳～39歳	14	7.1	21.4	64.3	7.1
40歳～44歳	16	-	31.3	56.3	12.5
45歳～50歳	7	14.3	14.3	57.1	14.3
50歳～54歳	6	-	50.0	50.0	-
55歳～59歳	5	60.0	-	20.0	20.0
60歳～64歳	3	-	33.3	66.7	-
無回答	1	100.0	-	-	-

b よりそいホットライン

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	86	7.0	15.1	64.0	14.0
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	33.3	66.7	-
20歳～24歳	8	12.5	37.5	25.0	25.0
25歳～29歳	9	11.1	-	66.7	22.2
30歳～34歳	14	-	28.6	57.1	14.3
35歳～39歳	14	7.1	-	85.7	7.1
40歳～44歳	16	-	18.8	68.8	12.5
45歳～50歳	7	14.3	-	57.1	28.6
50歳～54歳	6	-	16.7	83.3	-
55歳～59歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0
60歳～64歳	3	-	-	100.0	-
無回答	1	100.0	-	-	-

c 自殺予防週間/自殺強化月間

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	86	7.0	27.9	51.2	14.0
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	33.3	66.7	-
20歳～24歳	8	-	12.5	62.5	25.0
25歳～29歳	9	-	33.3	44.4	22.2
30歳～34歳	14	14.3	42.9	28.6	14.3
35歳～39歳	14	7.1	21.4	64.3	7.1
40歳～44歳	16	-	31.3	56.3	12.5
45歳～50歳	7	14.3	42.9	14.3	28.6
50歳～54歳	6	-	16.7	83.3	-
55歳～59歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0
60歳～64歳	3	-	-	100.0	-
無回答	1	100.0	-	-	-

d ゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	86	5.8	14.0	65.1	15.1
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	-	100.0	-
20歳～24歳	8	12.5	-	50.0	37.5
25歳～29歳	9	-	22.2	55.6	22.2
30歳～34歳	14	-	21.4	64.3	14.3
35歳～39歳	14	-	14.3	78.6	7.1
40歳～44歳	16	6.3	31.3	50.0	12.5
45歳～50歳	7	14.3	-	57.1	28.6
50歳～54歳	6	-	-	100.0	-
55歳～59歳	5	20.0	-	60.0	20.0
60歳～64歳	3	-	-	100.0	-
無回答	1	100.0	-	-	-

e 「タッチハートつながろう心と心。（富山県HP）」

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	86	2.3	7.0	77.9	12.8
[年齢別]					
15歳～19歳	3	-	-	100.0	-
20歳～24歳	8	-	-	75.0	25.0
25歳～29歳	9	-	11.1	66.7	22.2
30歳～34歳	14	-	14.3	71.4	14.3
35歳～39歳	14	-	-	92.9	7.1
40歳～44歳	16	-	12.5	75.0	12.5
45歳～50歳	7	14.3	14.3	57.1	14.3
50歳～54歳	6	-	-	100.0	-
55歳～59歳	5	-	-	80.0	20.0
60歳～64歳	3	-	-	100.0	-
無回答	1	100.0	-	-	-

Q29 あなたは今後どのような自殺対策（支援）が必要になると考えられますか。（〇はいくつでも）

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介
総数	86	23.3	24.4	26.7	43.0	9.3	31.4	15.1
〔年齢別〕								
15歳～19歳	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
20歳～24歳	8	25.0	25.0	12.5	37.5	12.5	37.5	25.0
25歳～29歳	9	11.1	11.1	33.3	44.4	-	33.3	22.2
30歳～34歳	14	50.0	7.1	14.3	57.1	7.1	42.9	14.3
35歳～39歳	14	21.4	35.7	28.6	35.7	7.1	35.7	7.1
40歳～44歳	16	18.8	43.8	31.3	43.8	6.3	25.0	18.8
45歳～50歳	7	-	14.3	42.9	28.6	-	28.6	-
50歳～54歳	6	33.3	-	-	33.3	33.3	50.0	33.3
55歳～59歳	5	20.0	20.0	60.0	80.0	20.0	20.0	20.0
60歳～64歳	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-

	総数	生活困窮時の一時的な生活資金支援	ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	無回答	回答計
総数	86	36.0	19.8	25.6	22.1	276.7
〔年齢別〕						
15歳～19歳	3	33.3	66.7	33.3	33.3	266.7
20歳～24歳	8	25.0	12.5	37.5	37.5	287.5
25歳～29歳	9	33.3	22.2	22.2	22.2	255.6
30歳～34歳	14	50.0	21.4	35.7	21.4	321.4
35歳～39歳	14	50.0	14.3	21.4	21.4	278.6
40歳～44歳	16	43.8	25.0	25.0	18.8	300.0
45歳～50歳	7	14.3	-	28.6	14.3	171.4
50歳～54歳	6	33.3	33.3	16.7	16.7	283.3
55歳～59歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	320.0
60歳～64歳	3	-	-	-	33.3	200.0
無回答	1	-	-	-	-	100.0

## V 調査票

## 生活状況に関する調査（ご本人様用）

この調査は、県民の皆様の生活状況を把握する大切な調査ですので、必ずお答えください。  
すべての方にご回答いただく設問は、5問（Q1、Q2、Q4、Q15、Q16、）です。  
 それ以外の設問は、該当の方のみお答えください。

あなたの性別	1 男	2 女	あなたの年齢（ ）歳			
あなたのお住まいに○をつけてください。（○はひとつだけ）						
1 富山市	2 高岡市	3 魚津市	4 氷見市	5 滑川市	6 黒部市	
7 砺波市	8 小矢部市	9 南砺市	10 射水市	11 舟橋村	12 上市町	
13 立山町	14 入善町	15 朝日町	16 その他（ ）			
あなたと同居している方に○をつけてください。（○はいくつでも）						
1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母	5 配偶者		
6 子	7 その他の人	8 同居家族はいない（単身世帯）				

【Q1～Q2はすべての方がお答えください。】

Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 小学生時の不登校
- 2 中学生時の不登校
- 3 高校生時の不登校
- 4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校
- 5 ニート（就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）
- 6 初めての就職から1年以内に離職・転職した
- 7 無職
- 8 あてはまるものはない

Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。（○はひとつだけ）

- 1 勤めている（正社員）
- 2 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- 3 自営業・自由業
- 4 学生（予備校生を含む）
- 5 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- 6 専業主婦・主夫
- 7 家事手伝い
- 8 無職
- 9 その他（具体的に： ）

## 【Q2で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。（○はいくつでも）

- 1 正社員として働いたことがある
- 2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある（学生時代の経験は含めません）
- 3 自営業・自由業をしたことがある
- 4 その他の形態で働いたことがある（具体的に： ）
- 5 いままで働いたことはない

【Q4はすべての方がお答えください。】

Q4 ふだんどのくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにときどき外出する
- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

**A** 【Q4で「1～4」に○をつけた方は、Q11～Q14にお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q5～Q10にお答えください。】

Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月未満    2 6ヶ月～1年未満    3 1年～2年未満    4 2年～3年未満  
5 3年～5年未満    6 5年～7年未満    7 7年～10年未満    8 10年～15年未満  
9 15年～20年未満    10 20年～25年未満    11 25年～30年未満    12 30年以上

Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_歳

Q7 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(○はひとつだけ)

- 1 よく会話をした    2 ときどき会話をした    3 ほとんど会話をしなかった  
4 まったく会話をしなかった

Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校    2 中学生時の不登校    3 高校生時の不登校  
4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校  
5 受験に失敗したこと(高校・大学等)    6 就職活動がうまくいかなかったこと  
7 職場になじめなかったこと    8 人間関係がうまくいかなかったこと  
9 病気(病名: \_\_\_\_\_)    10 妊娠したこと    11 退職したこと  
12 介護・看護を担うことになったこと    13 特にない    14 分からない  
15 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q9 現在の状態になってから、あなたは死にたい(逃げ出したい)と考えたことがありますか。

- 1 現在死にたいと考えている(現在も、考えることがある。)  
2 過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない(過去に考えたことがあるが、現在は考えていない)  
3 一度も考えたことがない

【Q9で「1. 3」に○をつけた方は、Q15にお進みください。「2」に○をつけた方は、Q10にお答えください。】

Q10 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった  
2 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した  
3 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した  
4 できるだけ休養を取るようにした    5 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた  
6 その他( \_\_\_\_\_ )    7 特に何もしなかった

※Q15にお進みください。

## 【Q4で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q11 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)

- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する  
 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 3 自室からは出るが、家からは出ない  
 4 自室からほとんど出ない 5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない

【Q11で「1～4」に○をつけた方は、Q12～Q14にお答えください。「5」に○をつけた方は、Q15にお進みください。】

Q12 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月～1年未満 2 1年～2年未満 3 2年～3年未満 4 3年～5年未満  
 5 5年～7年未満 6 7年～10年未満 7 10年～15年未満 8 15年～20年未満  
 9 20年～25年未満 10 25年～30年未満 11 30年以上

Q13 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_ 歳

Q14 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校 2 中学生時の不登校 3 高校生時の不登校  
 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 5 受験に失敗したこと(高校・大学等)  
 6 就職活動がうまくいかなかったこと 7 職場になじめなかったこと  
 8 人間関係がうまくいかなかったこと 9 病気(病名: \_\_\_\_\_)  
 10 妊娠したこと 11 退職したこと 12 介護・看護を担うことになったこと  
 13 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

【Q15～Q16はすべての方がお答えください。】

Q15 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- 1 親 2 きょうだい 3 友人・知人 4 配偶者 5 祖父母 6 職場の同僚・上司  
 7 カウンセラー・精神科医 8 都道府県、市町村などの専門機関の人 9 ネット上の知り合い  
 10 その他の人(具体的に: \_\_\_\_\_) 11 誰にも相談しない

Q16 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 ひきこもりに関する相談窓口の強化 2 各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化  
 3 同じ悩みを持つ人が集まる居場所 4 自宅等への訪問支援 5 就労に向けたトレーニング  
 6 自助グループ家族向け互助会等の紹介 7 医療機関の紹介  
 8 生活困窮時の一時的な生活資金支援 9 ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援  
 10 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援  
 11 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。】

## 生活状況に関する調査（ご本人様用）

あなたの性別	1 男	2 女	あなたの年齢（ ）歳			
あなたのお住まいに○をつけてください。（○はひとつだけ）						
1 富山市	2 高岡市	3 魚津市	4 氷見市	5 滑川市	6 黒部市	
7 砺波市	8 小矢部市	9 南砺市	10 射水市	11 舟橋村	12 上市町	
13 立山町	14 入善町	15 朝日町	16 その他（ ）			
あなたと同居している方に○をつけてください。（○はいくつでも）						
1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母	5 配偶者		
6 子	7 その他の人	8 同居家族はいない（単身世帯）				

## 【Q1～Q2はすべての方がお答えください。】

Q1 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 小学生時の不登校
- 2 中学生時の不登校
- 3 高校生時の不登校
- 4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校
- 5 ニート（就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）
- 6 初めての就職から1年以内に離職・転職した
- 7 無職
- 8 あてはまるものはない

Q2 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。（○はひとつだけ）

- 1 勤めている（正社員）
- 2 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- 3 自営業・自由業
- 4 学生（予備校生を含む）
- 5 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- 6 専業主婦・主夫
- 7 家事手伝い
- 8 無職
- 9 その他（具体的に： ）

## 【Q2で「5～8」に○をつけた方のみ、Q3にお答えください。】

Q3 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。（○はいくつでも）

- 1 正社員として働いたことがある
- 2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある（学生時代の経験は含めません）
- 3 自営業・自由業をしたことがある
- 4 その他の形態で働いたことがある（具体的に： ）
- 5 いままで働いたことはない

## 【Q4はすべての方がお答えください。】

Q4 ふだんのくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにときどき外出する
- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

【Q4で「1～4」に○をつけた方は、Q18～Q22へお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q5～Q17にお答えください。】

# C

Q5 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月未満    2 6ヶ月～1年未満    3 1年～2年未満    4 2年～3年未満  
 5 3年～5年未満    6 5年～7年未満    7 7年～10年未満    8 10年～15年未満  
 9 15年～20年未満    10 20年～25年未満    11 25年～30年未満    12 30年以上

Q6 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_ 歳

Q7 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)

- 1 よく会話した    2 ときどき会話した    3 ほとんど会話しなかった  
 4 まったく会話しなかった

Q8 現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校    2 中学生時の不登校    3 高校生時の不登校  
 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校  
 5 受験に失敗したこと(高校・大学等)    6 就職活動がうまくいかなかったこと  
 7 職場になじめなかったこと    8 人間関係がうまくいかなかったこと  
 9 病気(病名: \_\_\_\_\_)    10 妊娠したこと    11 退職したこと  
 12 介護・看護を担うことになったこと    13 特になし    14 分からない  
 15 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q9 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

- 1 非常に思う    2 思う    3 少し思う    4 思わない

Q10 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 親身に聴いてくれる    2 医学的な助言をくれる    3 心理学の専門家がいる  
 4 精神科医がいる    5 同じ悩みを持つ人と出会える  
 6 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる    7 無料で相談できる  
 8 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)である  
 9 自宅に専門家が来てくれる    10 自宅から近い    11 あてはまるものはない  
 12 どのような機関にも相談したくない

**【Q10で「12」に○をつけた方のみ、Q11にお答えください。】**

Q11 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自分のことを知られたくない    2 行っても解決できないと思う  
 3 何をきかれるか不安に思う    4 相手にうまく話せないと思う  
 5 行ったことを人に知られたくない    6 お金がかかると思う    7 相談機関が近くにない  
 8 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)    9 特に理由はない

Q12 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

- 1 ある    2 ない

**【Q12で「1」に○をつけた方のみ、Q13～Q14にお答えください。】**

Q13 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 教育支援センター(適応指導教室)      2 教育相談所・相談室などの相談機関  
 3 福祉事務所      4 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関      5 保健所・保健センター      6 精神保健福祉センター      7 病院・診療所  
 8 発達障害者支援センター      9 ひきこもり地域支援センター  
 10 子ども・若者総合相談センター      11 民間施設(いわゆる「フリースクール」など)  
 12 地域包括支援センター      13 生活困窮者向けの相談窓口      14 社会福祉協議会  
 15 当事者の会・家族会      16 上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)  
 17 その他の施設・機関(具体的に: \_\_\_\_\_ )

Q14 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。


Q15 今後、どのような支援を望まれますか。(○はいくつでも)

- 1 自宅から通える範囲の相談窓口の充実      2 専門相談窓口の充実      3 電話相談の充実  
 4 メール相談の充実      5 チャット(LINE等のアプリ含む)相談の対応  
 6 フリースペースなどの居場所の充実      7 メンタルフレンド(友達のような話し相手)の充実  
 8 自宅等への訪問支援      9 就労支援      10 当事者の会(自助グループ)の紹介  
 11 医療機関の紹介      12 一時的な生活資金支援  
 13 ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援  
 14 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援      15 復学・再入学支援  
 16 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

Q16 現在の状態になってから、あなたは自殺したいと考えたことがありますか。

- 1 考えることがある      2 過去に考えたことがあるが現在は考えていない  
 3 一度も考えたことがない

**【Q16で「2」に○をつけた方のみ、Q17にお答えください。】**

Q17 そのように考えた時どのように乗り越えましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった  
 2 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した  
 3 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した  
 4 できるだけ休養を取るようにした      5 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた  
 6 その他( \_\_\_\_\_ )      7 特に何もしなかった

※Q23にお進みください。

# C

**【Q4で「1～4」に○をつけた方のみ】**

Q18 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)

- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける      3 自室からは出るが、家からは出ない
- 4 自室からほとんど出ない      5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない

**【Q18で「1～4」に○をつけた方のみ、Q19～Q21にお答えください。】**

Q19 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月～1年未満      2 1年～2年未満      3 2年～3年未満      4 3年～5年未満
- 5 5年～7年未満      6 7年～10年未満      7 10年～15年未満      8 15年～20年未満
- 9 20年～25年未満      10 25年～30年未満      11 30年以上

Q20 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_歳

Q21 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校      2 中学生時の不登校      3 高校生時の不登校
- 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校      5 受験に失敗したこと(高校・大学等)
- 6 就職活動がうまくいかなかったこと      7 職場になじめなかったこと
- 8 人間関係がうまくいかなかったこと      9 病気(病名: \_\_\_\_\_)
- 10 妊娠したこと      11 退職したこと      12 介護・看護を担うことになったこと
- 13 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q22 その状態から、Q19で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思えますか。ご自由にお書きください。


**【Q23～Q29はすべての方がお答えください。】**

Q23 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- 1 親      2 きょうだい      3 友人・知人      4 配偶者      5 祖父母      6 職場の同僚・上司
- 7 カウンセラー・精神科医      8 都道府県、市町村などの専門機関の人      9 ネット上の知り合い
- 10 その他の人(具体的に: \_\_\_\_\_)      11 誰にも相談しない

Q24 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(○はいくつでも)

- 1 持っていない      2 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 3 療育手帳を持っている      4 身体障害者手帳を持っている



VI 參考資料  
(同居者用 集計表)

【参考資料】【集計表】（当事者数推計調査 同居者票）

あなたの性別

	総数	男性	女性	無回答
総数	2514	46.8	52.1	1.1
〔年齢別〕				
15歳～19歳	231	45.0	54.5	0.4
20歳～24歳	126	100.0	-	-
25歳～29歳	133	48.9	50.4	0.8
30歳～34歳	173	45.1	54.9	-
35歳～39歳	227	48.9	51.1	-
40歳～44歳	237	51.1	48.9	-
45歳～50歳	291	44.0	55.7	0.3
50歳～54歳	237	40.1	59.5	0.4
55歳～59歳	260	38.5	61.2	0.4
60歳～64歳	379	53.3	46.2	0.5
無回答	220	49.5	40.9	9.5

あなたの年齢

	総数	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳	55歳～59歳
総数	2514	9.2	5.0	5.3	6.9	9.0	9.4	11.6	9.4	10.3
〔年齢別〕										
15歳～19歳	231	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	126	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	133	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	173	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	227	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳～44歳	237	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
45歳～50歳	291	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	237	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	260	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	379	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	220	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	60歳～64歳	無回答
総数	51	15.1	8.8
〔年齢別〕			
15歳～19歳	231	-	-
20歳～24歳	126	-	-
25歳～29歳	133	-	-
30歳～34歳	173	-	-
35歳～39歳	227	-	-
40歳～44歳	237	-	-
45歳～50歳	291	-	-
50歳～54歳	237	-	-
55歳～59歳	260	-	-
60歳～64歳	379	100.0	-
無回答	220	-	100.0

あなたのお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

	総数	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市
総数	2514	40.5	14.3	4.3	4.1	3.3	3.1	5.0	2.1	5.0
[年齢別]										
15歳～19歳	231	43.7	9.5	4.3	3.0	2.6	2.6	5.6	3.0	3.5
20歳～24歳	126	40.5	10.3	5.6	0.8	1.6	7.1	1.6	1.6	3.2
25歳～29歳	133	36.8	16.5	3.8	4.5	3.0	1.5	6.0	-	3.8
30歳～34歳	173	37.6	15.0	4.0	4.6	3.5	3.5	6.9	1.2	2.9
35歳～39歳	227	45.4	15.4	5.3	3.5	4.0	2.6	3.1	2.2	4.8
40歳～44歳	237	42.2	14.8	2.5	5.5	3.4	2.5	5.5	3.4	5.1
45歳～50歳	291	40.9	16.5	2.7	4.5	3.4	3.4	5.8	2.7	6.5
50歳～54歳	237	34.6	17.7	3.4	3.0	4.6	3.4	6.3	1.3	4.6
55歳～59歳	260	40.4	13.1	5.4	5.8	4.2	2.3	5.0	1.2	8.1
60歳～64歳	379	41.2	14.5	5.5	4.0	4.0	2.9	3.7	2.4	4.7
無回答	220	39.5	12.7	4.5	5.0	0.9	3.6	5.0	2.7	5.5

	総数	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	その他	無回答
総数	2514	8.7	0.6	1.5	2.0	2.0	0.9	0.6	1.9
[年齢別]									
15歳～19歳	231	9.5	0.4	2.2	2.2	2.2	0.4	2.6	2.6
20歳～24歳	126	10.3	1.6	1.6	0.8	4.0	0.8	5.6	3.2
25歳～29歳	133	15.0	-	2.3	2.3	0.8	1.5	1.5	0.8
30歳～34歳	173	11.6	0.6	0.6	1.7	2.9	0.6	-	2.9
35歳～39歳	227	4.4	0.9	1.8	2.2	3.1	0.4	-	0.9
40歳～44歳	237	8.9	0.4	3.4	0.8	-	-	-	1.7
45歳～50歳	291	5.5	0.7	1.4	2.7	1.7	1.0	-	0.3
50歳～54歳	237	11.0	0.4	1.3	2.1	3.8	0.8	-	1.7
55歳～59歳	260	8.5	0.4	0.8	2.7	1.2	0.8	-	0.4
60歳～64歳	379	8.4	0.3	1.3	2.1	2.4	1.3	-	1.3
無回答	220	7.3	0.9	0.5	1.8	0.9	1.8	-	7.3

あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

	総数	父	母	きょうだい	祖父母	配偶者	子	その他の人	無回答	回答計
総数	2514	31.1	40.5	14.2	9.7	51.6	39.4	4.7	13.0	204.1
[年齢別]										
15歳～19歳	231	73.6	84.4	61.9	32.9	0.4	3.0	4.3	9.5	270.1
20歳～24歳	126	65.9	73.0	44.4	30.2	2.4	8.7	4.8	11.9	241.3
25歳～29歳	133	48.1	57.9	26.3	20.3	25.6	23.3	0.8	14.3	216.5
30歳～34歳	173	37.6	41.0	13.3	13.3	53.8	41.0	6.4	10.4	216.8
35歳～39歳	227	31.7	38.3	7.0	11.0	60.8	55.5	4.0	12.8	221.1
40歳～44歳	237	29.5	35.4	5.5	5.1	67.9	61.6	4.2	6.3	215.6
45歳～50歳	291	30.2	41.9	7.6	5.2	64.3	56.7	1.7	12.0	219.6
50歳～54歳	237	19.8	28.3	5.5	3.8	65.0	46.0	2.5	13.9	184.8
55歳～59歳	260	16.5	30.0	3.8	3.5	69.2	42.3	3.8	16.2	185.4
60歳～64歳	379	12.1	25.6	3.7	1.6	69.9	32.2	9.8	13.5	168.3
無回答	220	15.0	21.4	5.5	2.3	36.8	42.3	5.5	21.8	150.5

【Q1～Q2はすべての方がお答えください。】

Q1 調査対象者の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

	総数	勤めている (正社員)	勤めている (契約社員等)	自営業・ 自由業	学生(予 備校生を 含む)	登録して いるが、 働いてい ない	専業主 婦・主夫	家事手伝 い	無職	その他	無回答
総数	2514	47.2	17.9	6.1	11.9	0.4	6.3	0.8	7.3	1.8	0.4
[年齢別]											
15歳～19歳	231	5.2	1.7	-	91.3	-	-	-	1.3	0.4	-
20歳～24歳	126	46.8	7.9	-	34.9	-	1.6	1.6	5.6	1.6	-
25歳～29歳	133	66.9	15.0	0.8	1.5	-	5.3	0.8	7.5	2.3	-
30歳～34歳	173	65.9	16.2	4.0	-	1.2	4.6	0.6	4.6	2.9	-
35歳～39歳	227	64.3	14.5	6.6	0.9	0.4	6.2	2.2	1.8	2.2	0.9
40歳～44歳	237	59.9	19.8	5.9	2.5	1.3	4.6	1.3	2.1	2.5	-
45歳～50歳	291	61.5	20.3	7.2	3.4	-	3.4	0.3	3.1	0.7	-
50歳～54歳	237	54.4	21.9	7.6	4.2	0.8	8.4	-	1.7	0.8	-
55歳～59歳	260	57.7	17.3	9.6	0.8	-	8.5	0.8	4.2	0.8	0.4
60歳～64歳	379	32.7	30.3	8.7	-	0.3	11.9	0.3	12.9	2.9	-
無回答	220	19.1	17.3	8.6	5.0	-	8.6	1.8	33.2	3.2	3.2

Q2 調査対象者の方は、ふだんのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

	総数	仕事や学 校で平日 は毎日外 出する	仕事や学 校で週に 3～4日 外出する	遊び等で 頻繁に外 出する	人づきあ いのため ときどき 外出する	趣味の用 事するとき だけ外出 する	近所のコ ンビニな どには出 かける	自室から は出るが 、家から は出ない	自室から ほとんど 出ない	無回答
総数	2514	79.2	5.7	3.5	3.7	3.9	2.7	0.6	0.1	0.7
[年齢別]										
15歳～19歳	231	94.4	2.6	0.9	-	1.7	0.4	-	-	-
20歳～24歳	126	87.3	4.8	0.8	1.6	3.2	1.6	-	-	0.8
25歳～29歳	133	73.7	12.8	0.8	3.8	3.8	4.5	0.8	-	-
30歳～34歳	173	82.1	4.6	2.3	2.9	3.5	2.9	1.2	-	0.6
35歳～39歳	227	83.7	5.3	3.1	2.2	1.3	3.1	0.4	-	0.9
40歳～44歳	237	88.2	4.2	3.8	0.8	2.1	0.4	0.4	-	-
45歳～50歳	291	88.3	3.1	1.7	2.4	2.4	1.4	0.7	-	-
50歳～54歳	237	85.2	5.1	2.5	4.2	0.8	1.7	0.4	-	-
55歳～59歳	260	81.2	5.4	3.5	1.9	4.6	1.5	0.8	-	1.2
60歳～64歳	379	66.0	9.2	6.3	5.5	7.1	4.5	0.3	0.5	0.5
無回答	220	47.3	6.8	9.1	13.6	10.0	7.7	1.4	0.5	3.6

【Q2で「1～4」にまるをつけた方は、Q7にお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q3～Q6にお答えください。】

Q3 調査対象者の方が、現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満
総数	182	5.5	7.7	11.5	5.5	14.8	12.6	5.5	11.5	6.6
[年齢別]										
15歳～19歳	5	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	6	-	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-
25歳～29歳	12	8.3	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-
30歳～34歳	13	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7
35歳～39歳	11	-	9.1	9.1	9.1	-	18.2	9.1	18.2	18.2
40歳～44歳	7	-	-	14.3	14.3	-	-	-	-	28.6
45歳～50歳	13	-	15.4	7.7	-	7.7	-	7.7	30.8	7.7
50歳～54歳	7	28.6	-	-	14.3	-	14.3	-	-	14.3
55歳～59歳	18	-	11.1	5.6	-	33.3	16.7	-	16.7	5.6
60歳～64歳	47	8.5	8.5	12.8	2.1	21.3	12.8	8.5	6.4	2.1
無回答	43	-	4.7	11.6	4.7	14.0	11.6	7.0	9.3	7.0

	該当者	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	182	2.7	3.8	3.3	8.8
[年齢別]					
15歳～19歳	5	-	-	-	-
20歳～24歳	6	-	-	-	-
25歳～29歳	12	-	-	-	8.3
30歳～34歳	13	-	7.7	-	-
35歳～39歳	11	-	9.1	-	-
40歳～44歳	7	-	14.3	14.3	14.3
45歳～50歳	13	7.7	-	7.7	7.7
50歳～54歳	7	14.3	-	-	14.3
55歳～59歳	18	-	5.6	-	5.6
60歳～64歳	47	-	-	4.3	12.8
無回答	43	7.0	7.0	4.7	11.6

Q4 初めて現在の状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	182	3.8	9.9	5.5	7.7	6.6	2.2	3.3	4.9	8.2
[年齢別]										
15歳～19歳	5	20.0	80.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	6	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	12	8.3	25.0	50.0	16.7	-	-	-	-	-
30歳～34歳	13	23.1	15.4	7.7	30.8	23.1	-	-	-	-
35歳～39歳	11	-	9.1	9.1	36.4	27.3	-	-	-	9.1
40歳～44歳	7	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	14.3	-	-
45歳～50歳	13	7.7	7.7	-	-	15.4	23.1	15.4	7.7	-
50歳～54歳	7	-	-	-	14.3	14.3	-	-	28.6	28.6
55歳～59歳	18	-	-	-	5.6	-	-	5.6	16.7	38.9
60歳～64歳	47	-	2.1	-	2.1	4.3	-	2.1	4.3	6.4
無回答	43	-	2.3	-	-	2.3	-	2.3	2.3	4.7

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	182	5.5	17.0	25.3
[年齢別]				
15歳～19歳	5	-	-	-
20歳～24歳	6	-	-	-
25歳～29歳	12	-	-	-
30歳～34歳	13	-	-	-
35歳～39歳	11	-	-	9.1
40歳～44歳	7	-	-	28.6
45歳～50歳	13	-	-	23.1
50歳～54歳	7	-	-	14.3
55歳～59歳	18	11.1	-	22.2
60歳～64歳	47	12.8	44.7	21.3
無回答	43	4.7	23.3	58.1

Q5 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	182	3.3	6.6	6.0	5.5	1.1	5.5	8.8	11.0	17.6
〔年齢別〕										
15歳～19歳	5	20.0	40.0	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0
20歳～24歳	6	-	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7	-
25歳～29歳	12	16.7	25.0	33.3	33.3	-	25.0	33.3	41.7	16.7
30歳～34歳	13	15.4	23.1	15.4	23.1	15.4	7.7	-	15.4	15.4
35歳～39歳	11	9.1	9.1	9.1	-	-	18.2	27.3	18.2	27.3
40歳～44歳	7	-	-	-	14.3	-	-	28.6	14.3	28.6
45歳～50歳	13	-	7.7	15.4	-	-	7.7	23.1	30.8	23.1
50歳～54歳	7	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	28.6
55歳～59歳	18	-	-	-	5.6	-	5.6	5.6	5.6	22.2
60歳～64歳	47	-	2.1	-	-	-	-	-	2.1	8.5
無回答	43	-	2.3	-	-	-	-	-	2.3	20.9

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	特にない	分からない	その他	無回答	回答計
総数	182	5.5	26.9	7.1	6.0	1.6	16.5	10.4	139.6
〔年齢別〕									
15歳～19歳	5	20.0	-	-	20.0	-	-	-	220.0
20歳～24歳	6	16.7	-	-	-	-	33.3	-	116.7
25歳～29歳	12	-	8.3	-	-	-	25.0	-	258.3
30歳～34歳	13	23.1	-	-	7.7	-	7.7	-	169.2
35歳～39歳	11	27.3	27.3	18.2	-	-	18.2	-	209.1
40歳～44歳	7	-	28.6	-	-	-	14.3	14.3	142.9
45歳～50歳	13	15.4	23.1	-	7.7	7.7	38.5	-	200.0
50歳～54歳	7	-	28.6	14.3	-	-	-	14.3	114.3
55歳～59歳	18	-	-	27.8	11.1	-	27.8	5.6	116.7
60歳～64歳	47	-	51.1	6.4	4.3	-	17.0	14.9	106.4
無回答	43	-	32.6	4.7	9.3	4.7	7.0	20.9	104.7

Q6 現在の状態になってから、調査対象の方は死にたいと発言されることがありますか。

	該当者	現在死にたいと考えている(現在も、考えることがある。)	過去に死にたいと考えたことがあるが現在は考えていない(過去に考えたことがあるが、現在は考えていない)	一度も考えたことがない	無回答
総数	182	4.4	14.8	63.2	17.6
〔年齢別〕					
15歳～19歳	5	-	60.0	40.0	-
20歳～24歳	6	16.7	16.7	66.7	-
25歳～29歳	12	8.3	33.3	58.3	-
30歳～34歳	13	7.7	30.8	38.5	23.1
35歳～39歳	11	9.1	18.2	63.6	9.1
40歳～44歳	7	-	14.3	71.4	14.3
45歳～50歳	13	15.4	7.7	61.5	15.4
50歳～54歳	7	-	14.3	71.4	14.3
55歳～59歳	18	-	22.2	66.7	11.1
60歳～64歳	47	2.1	6.4	70.2	21.3
無回答	43	2.3	7.0	62.8	27.9

【Q2で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q7 調査対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)

	該当者	自分の趣味に関する用事の時きだけ外出する	近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	1～4のような状態に6ヶ月以上連続してなったことはない	無回答
総数	2315	4.1	0.6	0.4	0.04	87.8	7.0
〔年齢別〕							
15歳～19歳	226	3.5	0.4	0.9	-	90.3	4.9
20歳～24歳	119	3.4	0.8	1.7	-	84.0	10.1
25歳～29歳	121	3.3	1.7	1.7	-	89.3	4.1
30歳～34歳	159	5.0	-	0.6	-	88.1	6.3
35歳～39歳	214	3.3	0.9	0.5	-	90.2	5.1
40歳～44歳	230	4.3	1.3	-	0.4	86.1	7.8
45歳～50歳	278	3.6	0.7	0.4	-	87.1	8.3
50歳～54歳	230	3.0	0.4	-	-	90.0	6.5
55歳～59歳	239	2.9	0.4	-	-	92.1	4.6
60歳～64歳	330	4.2	0.3	-	-	87.0	8.5
無回答	169	8.9	0.6	-	-	79.3	11.2

【Q7で「1～4」に○をつけた方は、Q9～Q11にお答えください。「5」に○をつけた方は、Q11にお進みください。】

Q8 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満
総数	119	13.4	13.4	5.9	7.6	5.0	3.4	2.5	1.7	-
〔年齢別〕										
15歳～19歳	11	27.3	36.4	-	9.1	-	9.1	-	-	-
20歳～24歳	7	14.3	42.9	-	-	-	14.3	-	-	-
25歳～29歳	8	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-
30歳～34歳	9	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	-
35歳～39歳	10	10.0	10.0	10.0	20.0	-	10.0	-	10.0	-
40歳～44歳	14	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-
45歳～50歳	13	-	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-
50歳～54歳	8	25.0	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-
55歳～59歳	8	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-
60歳～64歳	15	13.3	-	13.3	6.7	6.7	-	-	6.7	-
無回答	16	6.3	6.3	-	12.5	6.3	-	12.5	-	-

	該当者	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	119	1.7	3.4	42.0
〔年齢別〕				
15歳～19歳	11	-	-	18.2
20歳～24歳	7	-	-	28.6
25歳～29歳	8	-	-	37.5
30歳～34歳	9	-	-	55.6
35歳～39歳	10	-	-	30.0
40歳～44歳	14	-	-	42.9
45歳～50歳	13	7.7	-	61.5
50歳～54歳	8	-	-	50.0
55歳～59歳	8	-	37.5	25.0
60歳～64歳	15	-	6.7	46.7
無回答	16	6.3	-	50.0

Q9 初めて現在の状態になったのは、調査対象者の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	119	9.2	16.0	12.6	4.2	7.6	5.9	5.9	1.7	4.2
[年齢別]										
15歳～19歳	11	36.4	36.4	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	7	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	8	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-
30歳～34歳	9	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-	-	11.1
35歳～39歳	10	10.0	10.0	30.0	-	20.0	10.0	-	-	-
40歳～44歳	14	14.3	14.3	7.1	7.1	28.6	14.3	-	-	-
45歳～50歳	13	7.7	7.7	-	-	15.4	7.7	23.1	7.7	-
50歳～54歳	8	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5	25.0	-	12.5
55歳～59歳	8	-	12.5	25.0	-	-	-	-	12.5	12.5
60歳～64歳	15	-	6.7	6.7	-	-	-	6.7	-	13.3
無回答	16	-	6.3	-	-	-	12.5	6.3	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	119	2.5	8.4	21.8
[年齢別]				
15歳～19歳	11	-	-	27.3
20歳～24歳	7	-	-	28.6
25歳～29歳	8	-	-	-
30歳～34歳	9	-	-	-
35歳～39歳	10	-	-	20.0
40歳～44歳	14	-	-	14.3
45歳～50歳	13	-	-	30.8
50歳～54歳	8	-	-	12.5
55歳～59歳	8	-	-	37.5
60歳～64歳	15	6.7	46.7	13.3
無回答	16	12.5	18.8	43.8

Q10 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	119	1.7	10.1	6.7	3.4	0.8	5.9	7.6	22.7	15.1
[年齢別]										
15歳～19歳	11	18.2	54.5	27.3	-	-	-	-	54.5	36.4
20歳～24歳	7	-	14.3	-	14.3	-	-	-	42.9	28.6
25歳～29歳	8	-	-	12.5	12.5	-	12.5	25.0	37.5	25.0
30歳～34歳	9	-	11.1	22.2	-	-	11.1	11.1	44.4	22.2
35歳～39歳	10	-	10.0	-	10.0	-	10.0	10.0	30.0	10.0
40歳～44歳	14	-	14.3	7.1	-	-	-	7.1	21.4	28.6
45歳～50歳	13	-	7.7	-	-	7.7	7.7	7.7	23.1	-
50歳～54歳	8	-	-	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	12.5
55歳～59歳	8	-	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5
60歳～64歳	15	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	-
無回答	16	-	-	-	-	-	12.5	-	6.3	6.3

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	その他	無回答	回答計
総数	119	4.2	21.8	5.9	14.3	15.1	135.3
[年齢別]							
15歳～19歳	11	-	-	-	18.2	9.1	218.2
20歳～24歳	7	-	-	-	-	14.3	114.3
25歳～29歳	8	-	-	-	25.0	-	150.0
30歳～34歳	9	-	-	22.2	22.2	-	166.7
35歳～39歳	10	-	10.0	-	20.0	20.0	130.0
40歳～44歳	14	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	142.9
45歳～50歳	13	7.7	15.4	-	23.1	23.1	123.1
50歳～54歳	8	-	37.5	-	25.0	-	125.0
55歳～59歳	8	-	25.0	12.5	-	62.5	125.0
60歳～64歳	15	6.7	46.7	13.3	13.3	13.3	106.7
無回答	16	-	50.0	6.3	6.3	18.8	106.3

【Q11 はすべての方がお答えください。】

Q11 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介
総数	2514	45.5	35.3	43.9	22.4	31.2	19.6	19.3
[年齢別]								
15歳～19歳	231	55.4	37.7	56.7	24.2	34.2	22.1	23.4
20歳～24歳	126	47.6	39.7	49.2	16.7	31.0	15.1	19.0
25歳～29歳	133	33.1	32.3	49.6	12.0	33.1	16.5	15.8
30歳～34歳	173	35.3	32.4	42.8	24.3	35.8	15.6	22.0
35歳～39歳	227	44.9	32.2	40.5	22.9	33.0	22.0	20.7
40歳～44歳	237	40.1	26.2	41.4	23.2	33.8	25.7	15.2
45歳～50歳	291	41.2	34.0	48.5	18.9	30.6	22.3	20.6
50歳～54歳	237	47.3	33.8	42.6	22.8	30.8	16.9	17.3
55歳～59歳	260	56.5	41.9	46.2	27.7	33.1	28.1	24.2
60歳～64歳	379	51.5	43.5	41.2	25.1	27.2	16.4	18.7
無回答	220	36.4	29.1	28.2	20.0	25.0	10.0	14.1

	総数	生活困窮時の一時的な生活資金支援	ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	その他	無回答	回答計
総数	2514	15.1	9.3	20.0	4.6	5.5	271.7
[年齢別]							
15歳～19歳	231	16.0	12.1	21.6	6.1	1.7	311.3
20歳～24歳	126	14.3	7.1	18.3	4.8	4.8	267.5
25歳～29歳	133	19.5	6.8	18.8	4.5	1.5	243.6
30歳～34歳	173	13.9	9.8	14.5	5.8	5.2	257.2
35歳～39歳	227	17.6	7.9	15.9	3.5	6.2	267.4
40歳～44歳	237	19.8	8.9	20.7	5.5	5.9	266.2
45歳～50歳	291	12.0	11.7	18.9	4.5	3.4	266.7
50歳～54歳	237	13.1	8.9	16.9	4.6	6.8	261.6
55歳～59歳	260	18.5	12.7	24.2	3.5	5.4	321.9
60歳～64歳	379	13.2	7.7	24.8	4.0	6.6	279.7
無回答	220	10.9	6.8	19.5	4.5	10.9	215.5

【自由意見（調査対象者の方に関して、現在や将来のことについて不安に思うことなど）】

【不安に思うこと】

不安に感じたことはあるが、どうすることもできない。まだ少しは社会の役に立つと思っているが、その窓口がわからない。このまま死を迎えるにはもったいないと思っているが、身体の衰えも感じている。
父親は来年 80 歳になります。現在、本人は月に 1 日グループホームで 1 泊して来ますが、将来、そんなに遠くない日に本人はグループホームでの生活になり、そこから介護老人保健施設へ働きに行かなければなりません。先生の話では、グループホームの数が全然足りないのも、一室があくまで待ってもらわないとなりませんとのこと。
年金は払った分くらいはもらえるのか、大変不安に思う。
今パートでこのままで良いのか不安。正社員になってほしい。
老後のお金の心配があります。
富山県がこんなことに税金を使い続けることが不安です。
子どもの遊び場、交流できる場所が少ない事。
お金がない。
今は仕事を頑張っているが、時々具合が悪くなる。見守ってやりたい。
お金（預金など）。
退職後、老後、年金が不安です。
収入が不安定で、自分（母）が働けなくなると生活に困る（正社員でないため）。
高校生になってスマホを持つようになり、明らかに親と話す時間が減ったと思う。勉強が忙しいのはわかるが、部屋に入ってしまうと本当に何をしているのか心配になる。将来は進学のために県外へ出ることがあっても、卒業後は帰ってきてほしいと思います。
障害者年金がもらえないので、将来が不安である。
介護が必要となり、妻が亡くなっていた場合、老人介護施設も待ちの状態と聞くと、どこで面倒を見てもらえるのか心配である。子ども達には迷惑かけたくない。
年収が少なくて老後が心配。
年金だけで生涯生活していけるのか。夫が死亡し、一人残された時、不安で生きていけるのか。
このままではいけないのはわかるが、なかなか変わることができない。親が亡くなってしまった後どうすればいいのかわからず、将来に不安しかない。現在も家族や親戚の目が気になる。世間体が気になり、親に対して申し訳ない気持ちでたくさん。
給料が上がっても、税金や保険料も一緒に高くなるので、手取りがあまり変わらない。産休後、働きたくても保育園に入れない。保育園が決まらなないと働けません。
これから先の人生、子どもらに見守ってもらえるか。孫のこれからの人生のことが心配です。
仕事が多忙すぎて、心が病まないか心配。身体も壊さないか心配。
この子は障害者です。療育手帳 B です。親が助けながら短い時間働いていますが、20 年間働いています。今後親が死ぬとどうなるか不安です。兄弟に助け合うよう促していますが、兄弟は自立して家を出ています。
仕事がなくなったら不安になります。親の死など。
退職後の生活と精神面の安定。
老後生活の不安（将来の一人暮らし）。健康面。
現在は学生であるが、就職がスムーズに行えなかったとき、ひきこもりになるのではないかと心配。過保護に育てたつもりはないけれど、逆境に弱い子の様に思います。
アルコールを飲むことが多いので、身体に気を付けて少量を減らして行ってほしい。健康診断、人間ドックは嫌がらずに受診してほしい。
一人息子が大学卒業後、県外に出る可能性があり、住んでいる地区も過疎化になるかも知れないので、老後が心配になります。
大学を辞めた後の将来に対する不安がある。
正社員ではないので、収入が少ないのが不安です。予算がなくなればすぐに解雇されても仕方がない不安定さもあります。本人は大学卒業後、大学院入学からすぐに退学。その後ヤングジョブに行き、今の仕事を選んでいるので本人の希望なのだと思います。実家にいる限り収入が少なくても生活していきますのでそれでよしとしているようです。
福祉の仕事をしているので、身体を壊さないように気を付けて、ある時は一息抜いて、無理しないで頑張ってもらいたい。
現在未就学児があり、時短勤務をしているのですが、小学校にあがったらフルタイムに戻ってしまうこと。働き方がもっと柔軟になってほしい。
腰痛、眼疲労等あるので心配だ。
年金ちゃんとももらえるのか。子育てに対する支援を厚く（教育費、医療費）。

現在は全く問題ない。今後、高齢に伴う病気について不安に思うことが出てくる可能性はある。
行政に信頼が持てない。ふさわしい人材がわからないし居ない。
町が継続できるのか不安。人口は減り、若者が居ないのに「箱もの」を作っている。今のままだと負の財産になる。それを渡されるのは今の若者です。とてもかわいそうで町に残ることを進められません。政治は自己満足ではなく、後世に継ぐ若者のために行うべきです。もっと考えてほしいです。
子ども、付き合い、その他出費が多く、毎月赤字でとても不安に感じます。貯金も減る一方。今は医療の助成などもあり、安心して病院に通ったりもしているが、高校生になると助成もなくなるのでこのようなものを18歳くらいまでにしてもらえると助かるかなと思います。
現在、子ども4人の子育て、共働きという環境の中で精一杯生活しています。まだ子どもが小さいので本人共に自分の時間をとることが難しいと思っております。少しでもお互いの負担が少なくなるように、そして時間を作ってあげられるように努力しておりますが、これからも続けていくとともに様子を見ようと思います。
両親が居なくなった後のいろいろなことが不安。
仕事と子育てを両立させているが、忙しすぎて倒れるのではないかと心配になることがある。少しゆっくりとしてほしいが、子育てで習い事の送迎等大変そうでそんなゆとりもなさそうだ。
親の死後、生活していけるかが心配です。
娘3人いますがひきこもり状態です。私は3人とも仕事をすぐにしてもらいたいと思っておりますが、妻が慌てなくて良いような意見の食い違いもあり、全く進んでいません。娘3人は妻の言いなりでずっと家にこもったままです。
ひきこもりの状態から約1年3カ月経過し、たくさんの方々に助けていただき社会復帰することができましたが、パワハラを受け身共に病んだ状況（トラウマになっていた頃）にまた戻ることへの恐怖心があります。まさか自分の子どもがこのような状態になるとは思ってもみなかったです。頭では対応の仕方を理解しているつもりでしたが、現実、うつ病の日々が続くサポートする側も病みます。社会全体が受け入れてくれて住みやすい世の中になってほしいと願います。
今現在は健康体で働くことができ、収入が入ってくるが、働くことができない状態に陥ったときの収入源が不安。寿命の平均年齢も高くなってきているので定年の年齢も伸びそうだが、その家庭毎の状況により働けない人たちもいると思うので、生活支援活動をもっと盛んにしてほしい。
転職を考えているが家庭の事を考えると不安。
現在は仕事に就いているが、退職後、年金だけで生活ができるか不安。年とともに医療費もかかるようになってきたので。
ひきこもった場合、子どもの成長への影響、家事・育児の作業的な負荷増と、それによりこちらの仕事量のセーブが必要になることによる収入減。
年金を受け取る時期が来て、今まで支払ってきた厚生年金などを考えるとバランスの悪さに不満を思ってしまう。今後もっと楽に暮らせるような社会を願います。
老後、経済面などに不安。
現在は孫と嫁と私祖母の3人で暮らしております。嫁が乳がんになり手術をする予定です。私は90歳代ですので、死んだあとどうして生活していくのか不安です。
健康問題。年金で生活していけるか。
知的障害がある娘が、災害にあつて避難する状況になったとき、家族が近くに居なかったらと思うと、家以外に所属している場所があり、手を貸してもらえらる仕組みがあれば良いと思います。ひきこもりで家に居る人も同じように社会とのつながりが少しでも増えるようになっていけば良いと思います。
このままどうなっていくのか、心配です。
将来、年金があたるかどうか、どれくらい少なくなるか不安である。
来年の4月から社会人として就労しますが、社会・会社などでうまくやっていけるか少々心配な気持ちもありますが、彼の今までや性格からすると多分乗り切っていくのではないかと考えています。
本人、胃瘻に依る自宅療養中。看護・ベッド付き添いは主に母。
調査対象者は心身ともに健康ですが、身内に20代男性のひきこもりがおり、私たちも将来を大変心配しております。いろいろな場所（相談窓口・医療機関など）に出向かなくても一つの専門窓口相談したら、医療・学校・仕事・生活面（金銭面）などあらゆることを一人の担当者が相談者家族や本人を長期的にフォローしてもらえると安心です。
できれば結婚してほしい。
現在の仕事（長距離）は若いうちにはできるが、年を取ると続けるのが大変になり不安に思う。地場（ローカル便）になっても今程度の給料を保証してくれるあてもない。
子どもが居ないので老後の生活が不安。
定年退職後の生活が、まだはっきりと決まっていないこと。

両親の介護で不満が溜まっているようだ。
毎日仕事に忙殺されているように思われます。悩み事があっても気づいてあげられないかもしれない。何でも話し合える環境が家にも職場にもあればと思い、なるべく会話を持つように心がけています。
将来、家族がいなくなって、一人だけになった時のことを考えると、不安しかありません。コミュニケーションがうまく取れないので、ほとんど人と関わる機会がないので心配です。
親がいなくなった時の精神的な支援。
子供が大きくなり自立すると老夫婦は一人になる可能性が大きい。年金の心配もあるが、生きがいを見つけられるか心配。老人のひきこもりが多くならないよう、社会福祉の充実、元気な老人が働ける場を作ってほしいと思う。
仕事以外では人付き合いもなく、休みの日もほとんど一人では出かけない。私(妻)に何かあって、子供と本人(父)だけになった時にやっていたらいいのかどうか。なので、私に何も無いように頑張るしかありません。
健康管理が心配。
年金の制度がとても心配。金銭面なので、どれくらいまで働かなくてはいけないのかと将来が心配です。
知的障害を持っていますが、自分で好きなことなど進んでします。今は両親とも健在で、面倒を見て自宅で過ごしていますが、親も高齢になりつつあり、いつまで一緒に住めるか心配です。ショート等も利用はしておらず、本人のためにもならし等しくしてほしいと思いますが、身近になかなか利用するところもなく迷っています。
同居が大変である。他人と暮らすストレスがはんばない。無理そうです。
定年後の充実した生活時間を持つことがうまくできるか。
会社には休まず行きますが、休日は家から出ません。会社関係の人とは出ます。
まず健康。若いうちは、不摂生のリカバリーが効くので疎かになりがちであるが、若いときこそ健康貯金をしてほしい。バランスの良い食事、運動、自覚が持てるよう情報を広げてほしい。
残業が多いのでこれからの子育てに不安を感じます。
入院や痴呆が長くなり、看病が長くなるのが不安。
アルコール依存症とニコチン依存症。
若いころと同じだと思い無理をする。
調査対象者は非正規雇用であるため、老後の社会保障等の面で不安である。
定年後、畑などの手入れの出来。そういう地道な働きに向かい、汗して働けるかどうか心配。
結婚しない方が増え、子供の数が減ってきており、地域の活力が下がっていること。
調査対象者は受験生なので、その結果で進路が決まるので不安は大きい。就職するにしても、適正であるか事前に検討できるようにインターンの機会を増やしてほしい。
不意な事故や病気。
健康状態、経済状況。
体調を壊したらと不安になることがある。
配偶者に介護が必要になった場合、自分も外出制限や家に縛られる感じになり、ストレスがたまるといけない。不安である。
メンタルクリニックや心理カウンセラーに定期的に通っているが、いつまでに完治するという目安がないため、今後どのようにしていくのだろうと見通しが持てず不安である。しかし、本人を見守ることしかできず、本人が解決していくことなのか、親として本人に何か働きかければいいのかとても難しい。
結婚ができるか心配だ。少子高齢化社会のため、子供を多くほしい。親が認知症にならないか心配だ。徘徊は防ぎたい。
現在、給与収入も生活ギリギリなので、年金生活になるとどうなってしまうのか心配。
初めて正社員で勤務した時、人間関係でやめてから正社員ではなく、臨時で10年以上仕事をしています。正社員ではないので将来の不安があり、何も守ってくれません。例えば、育休、病休の時、収入がないということになるので何でもいから保証がある正社員で仕事をしてほしいというのですが、全くその気にならないのか、何を考えているのかわからず、年ばかり取っていく子や自分も不安ではありません。
年齢も年齢なので、再就職には大変苦労しました。無事見つかったのでよかったですが、収入の減少には我慢するしかなく、55~65歳のことをとても長くしんどく感じます。お金持ちじゃなくても、早くリタイアしても安心して生活できる方法がこの国にないのがとても不満です。そう思っている人は多いと思います。
たまに体調不良等で学校を休んでるようで、ラインや電話をしてもつながらないことがあり、そういう時はどうしているのかとても心配になります。出席率が低いと、卒業後の進路にも影響が出そうで、本当に体調不良なのか、学校に行きたくないのか、聞いても「明日からは行く」という答えばかりです。冬休みに帰ってきたらまた相談に乗ろうと思います。
親(私)なき後、どのように生活していくのか心配。兄がひきこもりの状態です。家の20年ローンはありません。食べていくだけでしたら手当はしてあります。

親の介護。
とにかく生活しにくいです。路線バスもない。同じ税金払っているのに。
鬱の傾向があるので、相談できる場所はどこなのか。祖母が鬱で自殺している。
定年後、生活していけるのか不安。年金だけではまず生活していけないが、パート就労など年齢的にできるかわからないので、医療費生活費がUPしていく中で収入がなくなるのは苦しい。60歳を過ぎても働ける環境がほしいと思う。
ひきこもり状態になった時を考えると、どのような対策を取ればよいか、正直わからないことが多い。
不安があるとすれば認知症くらいです。いつ発症するかわからない認知症ほど不安なことはありません。交通事故死、がんや白血病で死亡した、これらはまだ踏まえられそうな気でいますが。老後の我が家の経済状況も気になりますが、夫婦ともに、まずは今日を楽しく生きていきいきしたいです。
下の子はコミュニケーション力が弱く、人付き合いがうまくありません。家族ともほとんど口を利きません。でも高校も退学したいとは言わず、仕事も18歳から10年勤めた会社を辞めましたが、すぐ再就職し、現在に至っています。生き下手なのは気になりますが、仕事の愚痴を言ったのは、10年勤めた会社を辞めた時くらいです。
現在入院中で、暴力や近所のいたずらなど、心配事は減りましたが、本人の今後のことをどうしていくか不安です。私が元気な時は何とかなるが、病院の費用が不安です。本人もどうしていいか判断できない様子です。相談できる場所があれば教えてほしい。
来年離婚するので不安。お金が足りるか不安。子が自閉症であることが不安。一人で子供を育てられるか不安。病気にならず一生働けるのが不安。ひきこもりたくても、働かなければならないことが辛い。ひきこもれる人がうらやましく感じることもある。
真面目に頑張るすぎることがあるので、もう少し力を抜くことがあってもよいと思う。
現在は単位制高校にバス通学をし、毎日頑張っておりますが、やはり自信の無さが強く現れます。自閉症スペクトラムの特性もあり、ゲームに没頭しがち。苦手な教科はどうしようもなく、単位を落とすと思うと不安に陥ります。高校を卒業するという目標に向かって、通学をしているだけでもうれしいと思っておりますが、学習や心の面のサポートが必要です。でもどうしていいかわからない。「高校を卒業して働きたい、ニートにはなりたくない」という本人の希望を叶えるため、家族にできることは何か、いつも模索しております。
健康でいてほしいです。自分のために時間を使ってほしいのでそのために私も努力したいです。
目標を実現できるかやはり不安に感じられる。
市の未来。財政悪化による公共サービスの低下。めっちゃ不安です。市議会議員数を少なくしてほしい。そしたら税金が節約できると思う。
小中学生時の友達はメールをしてくれるようだが、会うことはない。高校になって学校では、1、2名とは話す程度です。来年からは専門学校に行くのですが、バス、電車に乗って出たことも少なく、学校生活も友達も心配です。子供はまじめな生活です。口数が少なく、自分の心に秘めて我慢しているようですが、祖母としては心配です。
高校生の年齢だと支援が少ないことです。入院費の高額制限をしましたが、所得で決まるというのが辛いです。子供が4人いて、所得で決まるのはとてもつらいです。高校生への支援控除がほしいです。病状にもよりますが、子供が病気になって私がまともに働くことができません。何とか高校生にも病気になったら、よい制度になってほしいと思います。
親が元気で共に生活できる間はいいけれど、病気になった場合、死去した場合にどんな風になるかと不安である。
親も年を取っていく、子供も年を取って、この子はどうなっていくのか先が見えず、とても不安になります。家にいることが多いので、できていたことができなくなってる様子です。本人が何を考えているのかわからず、家族も困惑してしまうことも多いです。ストレスが溜まって暴れることもあり、本人も辛いかもしれないけれど、家族も辛いです。
結婚しない子供のことが心配です。
病気して以来、東京から家に帰ってきて、精米などの手伝いもしてもらった時もありますが、食事の用意は母である私がしています。ここで就活してほしいのですが、現在その気はないようです。子より母が先に死ぬのですから、どうか自活してほしいと思っています。私自身高齢者になりましたので心配しています。
学校や仕事に行っていたのに、急にいなくなったりして、ひきこもったりしたらと不安になることがある。その時に、同じ悩みの人とつながれるとありがたい。
将来、年金がもらえるのか心配。
4歳の頃に父親がなくなり、母親には相談できないこともあったと思います。48歳になった今、まだ独身で年老いていく私と二人の生活に将来が見えず、不安な心で生活しています。
仕事への不安をどう解消していけばいいのか悩みます。仕事へ行けなくなる前に、解決していければいいのですが、心配に思うことがある。
自分たちが亡くなった場合の本人の生活が一番心配。
うつ病のため、他の病院に連れて行こうと思っても言うことを聞かなくて病院にも行きません。困っています。外出させようと思っても、人の多いところへはあまり行きたがらず、旅行など行きません。

子育て世代に対するサポートができていない。学童も 19 時までにしてほしい。インフルエンザワクチン助成がほしい。12 歳未満は 2 回打つのに実費はきつい。子供の遊ぶところが少ない。不妊治療に対する助成が不十分。高齢者ばかり優遇されているように感じる。未来に不安しかない。生きるのが嫌になる。
富山県の将来が不安。ここまで何も無い県はそうもない。自然や住みやすさを長年売りにしているが、そうではないと気づくべき。県の議員も覇気がなく、県民企業で働く人を下に見た態度が多い。この県に住んでいて本当に良いのか不安で仕方がない。
金銭に関して計画性がない。未婚なので子供はおらず、将来高齢になれば不安。成人病などに注意してほしいと願うが、夕食後の飲み物・お菓子などいつも食べている。
私たちの世代はまだよいのですが、未婚の方が増加しているのが不安です。子供を持って結婚しない人たちが増え、家族のありがたみが以前と変化しているのがわかりますが、一人の方が増えると、行政も変わっていかないといけないのではと思う次第です。
仕事、現在の生活の継続、子供、自分、妻の今後の生活、老後。
12 年余り、通院と服薬により自殺しがったり暴れたりという状況がなくなったが、人と会うこと、人と関わることへの恐怖心が大きく、社会とどのように繋がっていけばよいのか本人も親もわからない。親子それぞれカウンセリングを受け、以前よりも落ち着いて暮らせるようになってきているが、次の一歩へどう踏み出せばよいのか。親も 50 代後半となり、子どもの自立について大きな不安がある。就労支援事業所への見学さえ恐れる本人の気持ちを考えると、時を待つことが支援なのかと悩んでいる。本人もこのままでよいと考えておらず、現状を打破したい気持ちはあるが、踏み出そうとするとうつ病が悪化するという状況であるので、ますます将来が見えず不安である。
自立してほしい。どうしたらよいかわからない。
心を病む人が増えており、いつ何がきっかけでそうになってしまうかわからないので、普段からよく話を聞くようにしている。
今は学校に通っていますが学生時代が終了し、社会に出て働くことになったとき、会社勤務を続けていくことができるのかと不安になることはあります。我慢することは大事な時もあります。我慢しすぎて精神的に病気になるってしまったらどのように対応してあげたらよいのか。いつまでも子供時代のように何かあれば親が守ってあげられるようなことをしてあげてよいのか。様々なメディアで流されているひきこもりのニュース等を見ると自分に置き換えて考えてしまいます。親子の会話をいつまでも大切にして、親も子供に対して自分の弱い部分も見せながら一緒に乗り越えていけるような環境を作っていけたらと心掛けています。
自営業なので老後の資金や年金などが心配。
現在高校一年生で親元を離れて普段は寮に入っております。毎日が楽しくて充実しているそうです。ただ、いつ、何が原因でひきこもりの選択をするかわからないので気にはなりますが、もし、ひきこもりになってしまったときどうすればよいか、どこに相談できるのか、知っておく必要があると感じました。
私には現在、ひきこもりがちな弟（60 歳代）がいます。今となっては就職先もなく、大変困っています。本人は全くお金もなく、時々小遣いを渡していますが、将来、私が居なくなった時に家族に迷惑がかかるのではとても心配しています。現在、同居していますが近いうちに独立していけるよう努力していますがなかなか実現しません。良い方法があれば教えてください。
高齢になったときの生活環境がどうなっているか心配。
高齢化社会について不安。
現在独身なので、将来パートナーを得ることがあるのか不安。
自分は働いていないので、家族全員の将来が心配。金銭的に余裕がない。
気晴らしに出かけられる場所。母以外に話ができる場所。私が病気になったら一人で生活もできないし金銭面でも苦しい。私が亡くなった後がとても心配だ。
後継者がおらず、一人暮らしになった場合など。
現在の職場環境が悪いので、本当に続けていっていいの不安。
年齢的に仕事に関してはなにもない。息子が大学を卒業後、数年間に渡りニートであった。その期間、親としての心配は、人生の中でも最大限に大きく辛い日々であった。知人からの情報で地域若者サポートステーションにも相談し、息子も連れて行ったが、中途半端なままで継続的なサポートもなかった。そしてその後も変わらず完全ニートは続いた。何のためのサポートステーションだったのだろう。結局、今でも親戚のアルバイト程度で正規の仕事に就けないままです。親は年を取っていき、息子の将来に対して今も不安と心配が続いている。行政じゃなく、やはり神頼みしかないのかと思うほど悲しい日々を送っている。
自分が定年してからの生活が不安（年金は十分にもらえないと思うので）。いつまで働かなくてはいけないのかと思うと長生きしたくない。税金だけ上がって、生活が改善（福祉サービス）していくとは考えにくい。今の生活がすぐお金がなくて辛いわけではないが、いろいろ制限して生活していかないといけないのかと思うと、これから先が辛い。今の生活に満足している人は、多くいるのだろうかと思問に思う。
年金だけでは生活が大変なので、アルバイトなどをして収入増大に努めてほしい。
今は現役で働いているので良いが、退職後どうなるかはわからない。問題になった際には相談してみたい。
消極的な性格のため、人間関係に不安を感じますが、今のところは自身でやりくりしているようなので見守っていきたいです。

息子は自閉症と知的障害があるのですが、こだわりが強く、感情のコントロールが難しく困ることがあります。困ったときに相談できる機関はどこなのかわからない。病院にはかかっているのだが、薬での治療はできるが生活のトレーニングはできないと言われた。成人した者がトレーニングできる場所を知りたい。将来グループホームに入らせようと思うが、入りたいときには空きがあるか心配です。
自分の子どもはひきこもりではないのですが、病気なので家族がもっといろいろ外出させてあげるべきと思うところです。
将来年金がきちんともらえるかが心配。
結婚の意思はあるが前進しない。適齢を過ぎて困っている。縁談はあったが、双方積極性にかけて進まない。女性は結婚願望が薄く、男性も面倒がりで、男女とも未婚者の風潮が広がっている。離婚者も多い。
民生児童委員の研修会でたくさんの資料をいただいて読み、定例会に参加して地域のことなど話し合いをしています。家族の中でもプライベート、親戚付き合いはもちろん、地区の方々にも温かく声をかけて見守っていきましょう。近年、耳にしたくない事故や事件があるので、一日一日平素な生活が送れるように話し合っています。また、私自身も85歳以上になり、痴ほう症や寝たきりになった状態で生き続ける自身や家族のことを思うと苦しくなります。祖母が100歳代で亡くなりましたが、亡くなる6か月前に病院にいれ、母と私でみていました。大切な命なんです、家族の負担や自身のことを考えるとどうしたことだろうと思う日々です。
普通の生活に戻ってほしい。買い物とか外出とかしてほしい。
身勝手な人間が多くて迷惑をかけられることもしばしばあり、社会はどうなっていくのか不安です。身勝手な人間が得ているように見えても、自分だけではそうならないように努めています。自分を大切に思うけれど、社会の一員であることも忘れてはいけないと思う。
東京での一人暮らしのため、愚痴をこぼしたり気分転換がうまくできているか心配。仕事へ向かう意欲が欠けてしまうと、ひきこもりになる可能性もあると思うので、やりたいこと、趣味等、楽しいことを一つでも、それを心の糧にもって毎日を前向きに素直に過ごしていってもらいたい。
私たち親も70歳代で元気な間に、子供の今後の生活がある程度見極めねばと思っています。兄が近くで家族をもって生活していますがあてにはできないと思っています。本人の考えもありますが、親亡き後は一人になり、いずれ本人も病気等になることを思えば、共同生活ができる場所があればと思っています。自分の子供にあった生活場所はどういうところがあるのかわかりたいです。厚生センターでの家族教室は参加していますが、私の思う内容は得ていません。
生まれつき耳の都合が悪く、学校は特別学級に入りました。中学高等部は普通の学校に行きましたが、大学に入ってから都合が悪くなり、今年の4月～8月まで休学していました。10月から学校に行きましたが、今現在どのようになっているかわかりません。学校には行っているようです。先生からも電話をもらっていますのでお話ししています。母親は施設に入っているので困っています。
現在学生です。就職は考えていない様子。自立していけるか心配です（経済的な面）。
将来の年金が不安。
突然ひきこもりになったときにどう対応すればよいか不安になると思う。行政で相談しやすい環境を作っていただきたい。相談する時間も、できれば19時頃までにしてもらえるとありがたいです（仕事をしているため）。
結婚相手を見つけてほしい。
福祉施設等でボランティアをしています。今も、どう皆さんと楽しい時間を作るか考えていますが、なかなか難しいです。少しずつゆっくりでも「楽しい」が増えればいいなと思っています。
本人にあった就職の状況を紹介してくれて、気軽に行ける施設があればいい。将来生活していけるか心配です。本人は働きたいと思っているようですが、自分でどんな仕事をすればいいか迷っているようです。
年金。
免許返納において、移動しやすい街づくりが心配。一生において生活費が不足していないか心配。
今の生活で将来ちゃんとできるか心配。
ひとり親で子供より先に出勤していますが、学校の時間と差があり二度寝してしまう。会社出勤中に電話をして起こすこともあるが毎日できず、いつの間にか単位を落としていた。一度単位を落とすと後は教育されないことからそのままとなる。昼一部から二部や夜間への変更を希望したができないとのことで、大人のいる親類の家から登校を進めてみたが、本人が嫌がってそのままとなっている。
親が亡くなった後、本人が一人で生活していけるかが心配。
現在は自由に生活できているが、一人になった場合は生活に困るのは明らか。
子供を育てること、生活すること、本当にお金がかかる。お金が必要になると感じます。
生活保険の話聞きに行ったが車がある時点でダメ。通院などもバスに乗れないのにどうしたらいいのかと思う。タクシーは前払いで後から役場に来てください。外出がなかなかできないのに。
ひきこもりではないが精神的な疾患があり正社員で働きたくてもなかなか雇ってもらえない。就職しても休む日が長く続き長く勤められない。働きたいが症状がいつ出て、いつ治るかわからないため不安である。重い症状ではないため障害者の認定も難しい。企業側にもっといろいろな人に対する理解と歩み寄りがあるほしい。

自分の時と比べて子どもの遊び方、学び方が違うので子育てに不安を感じる。子どもの悪いところを注意しても逆切れされる。子どもが強いように思う。
精神的な病気があってひきこもっている状態ですが、将来、両親が居なくなった時に生きていけるか心配です。今は症状が重いので到底働ける状態ではないのですが、もし元気になれば、親子で一緒に働けるところがあると良いかなと思います。
山間部に住んでいます。地域のつながりが強いのですがその中に入っていけるか不安です。学校や医療機関も将来的に山間部のような僻地からなくなるのではないかと不安に感じます。
本人に就労意欲があっても適応障害を抱えていては面接すら通らないし、仕事を得ることができても体調が悪くなってきたときに3～7か月の休みを取ることができずやめることになる。障害者とは違うが普通とも違う。いろいろな働き方があるというが、在宅で仕事をして生活ができるだけの収入を得ることは難しい。転職を繰り返したので再就職が困難になっている。医療機関のサポートを受けているが10年以上になっている。
仕事内容と給料が見合っておらず、日増しに鬱っぽくなっているようだ。現在の就職先は、県の母子家庭等支援自立センターにて、連合の紹介だと言っていた。入職後、採用条件と違っていたら申し立ててあげると言われたのに、実際は「がんばれ」とか「自分の力をかいかぶりすぎだ」などと言われた、と言っている。それがさらに負担になっているようだ。
長生きすると住みにくい。経済的にも厳しいから心配。
病気になるか心配。
小さなことにくよくよしがちで、今はパートに週5回行ってはいるが、人間関係に悩んでいる様子です。フルタイムで働く勇気がないようです。同じような悩みを持つ人との集まりの場があればよいのかなと思います。
親亡き後の事が一番心配です。身近にグループホームがなく、どうにかしたいと思う気持ちでいっぱいです。
ちゃんと就職先が見つかるか心配。自分の将来なりたい職業が決まっていないので心配。目標を持ち努力していない。仕事が続くか心配。このアンケートの結果をニュース・新聞で公表し、意義あるものにしてほしい。
自分たちの世代だけでなく、子どもたちの年金制度は保証されるのか不安でいっぱいです。
夫の帰りが遅いため、子育て、親の介護もあり、仕事を続けられるか迷っている。

## 【要望・ご意見など】

慢性的な病気があるので、2カ月に1回医薬大に通院しておりますが、薬を服用しながらしっかり働いています。
ムダな調査に税金を使うな。
とても気分を害するアンケートでした。
ひきこもりに対しての初期教育の実施。
統合失調症で通院しています。こういう人間でも仕事のトレーニングができる場所を多く作ってほしいです。
現在関節リウマチに苦しんでおります。薬や注射の価格が高く、働いても全部薬のお金でなくなります。全国には私のような人は多くいると思います。子どもの支援も必要かと思いますが、病院で苦しんでいる人の支援もあって良いと思いますが。
ひきこもりの定義がわかりません。
子どもがそうやって行政に相談しようと思っても平日のみで、フルタイムで働いている親にとって優しくなかった。なかなか休みも取れず、一人で悩んでいた。大変なのは子どもなのだが、その姿を見ている親も同様に苦しかった。子どもも親もダメになりそうになった。厚生センターのひきこもり等家族教室にも一度行ったが、そこにおられる家族の方々、子どもさんの年齢も高くて若者用ではなく、それから行かなくなった。ひきこもりの子どもの年齢で分けてもらえたら良かった。行政の方に相談に行っても、どこも他人事のように聞かれるだけで、親身になってもらった記憶がない。アドバイスとかもなかった。
この調査の選出は何の情報に元になされているのでしょうか。気分が悪いですし、失礼だと思います。
このようなアンケートは2度と送らないでください。
外部との接触を必要最低限にしても就労できるよう在宅ワーク等の支援をしたい。人としての人権も大切だが、国民・県民としての義務も同時に考えていけるようにしたい。
就職したので心配ない。
先日、中学生を持つ親御さんより、学校から様々なことが制約されている話を伺いました。ショッピングセンターや中古本屋などに子どもだけでは入店できない、制服の下にはトレーナーを着れないなど、こういった学校の行き過ぎた制約がひきこもりにつながると感じました。今の中学生は親としかほぼ行動できず、これが親離れ、子離れを難しくしてしまっているのでは。
ひきこもりの相談窓口を強化、PRしても誰も出てこないと思う。それができればひきこもりなどいない。ムダ。
15年前の事でした。40歳代の働き盛りで視覚障害者となり、極度のうつ症状。自室にこもる生活約2年。時折暴れ、家具を壊すこともあった。暴力も妻の私にあった。つまり、苦しきはけ口が妻の私だけだった。もしこのはけ口がなかったら、きっと自殺していただろう。気持ちをほぐしたのは、その頃飼い始めた1匹の子猫。夫の部屋でコロコロ遊んでいた。家族のみんなも子猫の存在に助けられた。夫は3年目くらいから外出できるようになり、徐々に心を回復してきた。しかし、今度は義母がパーキンソン病となり、介護の

<p>手が夫から義母になり、これもまた夫の精神を不安定にさせた。2年程が経ち、義母が安定してきた時、息子が不登校→ひきこもり。息子のひきこもりは、8年間（強制入院→退院→作業所へ）。夫と義母、二人の介護に息子の保護者として限界でした。（息子は現在30歳代）。私が言いたいのは、ひきこもりを抱える家族をサポートすることの方が先。まずは、家族の方が相談できるサロンのようなものを広く告知。また、ひきこもりを通常の就労へ向かわせるのは難しいため、作業所のようなところへ行けるようにしてほしい。そのために病院の先生の診断書ではなく、社会福祉課、社会福祉協議会などの判断で利用できるようにすべき。ひきこもりの社会復帰は、人（理解のある人）とのコミュニケーションが一番の薬となる。</p>
<p>家庭内で解決するのは難しいと思います。多方面からのサポートや支援をするべきだと思います。</p>
<p>人間関係と自分をどのようにして克服するかをしっかりと考え、いろんなことに挑戦し、いろんな女友達（ガールフレンド）をつくる。</p>
<p>Q2の質問は“ひきこもりあり”という条件で丸を付けなくてはいけないので答えに窮しました。</p>
<p>ひきこもりのために税金を使うのは絶対やめてほしい。</p>
<p>ひきこもりに対する生活資金支援を強化したとしても、収入源があるという安心感から、就活などをしようという方向性にはいかないと思う。本人用アンケートにコメントを書く欄がないのはおかしいと思う。</p>
<p>誰もがひきこもり等になる可能性があります。身内で解決できない場合は行政サービスに頼らざるを得ない気がします。ひきこもりになる前にしっかりとした教育（小学校・中学校・高校・大学）と、職場での何かしらの悩みを聞いてくれる場所と部署を設ける必要があるかと思われます。甥っ子がひきこもりでその家族も大変な生活となっておりますが、現在は転校して新たな生活で頑張っております。</p>
<p>本来、このような調査よりすべきことがあるのではないのでしょうか。何もせずデータだけ取られても意味がないです。</p>
<p>誰にでもひきこもりになるきっかけはあると思う。現在は病気、けが、人間関係が良好でもいろいろなきっかけがあると思う。気軽に相談でき、前向きな気持ちになれるような窓口があれば良いと思います。</p>
<p>行政がしっかりひきこもり者を把握する努力を。行政がひきこもり対応者の養成を。担当課・専門官の充実。</p>
<p>中学生の頃、私自身も不登校で両親以外信用できなくなり、死にたいと思うことがあったが、高校、大学、社会人となるにつれて、大切な友人や職場の仲間ができ、困ったときに相談にのってくれる人や上司にも恵まれ、今は生き生きと仕事に取り組むことができている。もし、中学生の時のままの環境で何も変わらず生きていたら、今の自分はいなかったと思う。環境を変えることも大事だが、ひきこもりや困っていて家から出られない人の話をたくさん聞いてほしい。私が中学生の時は、先生も自分の身の危険を回避していたように見えていたので信用していませんでした。</p>
<p>子ども達が県外へ就職して年寄りだけが残る。もっと魅力ある会社を誘致してほしい。学校も選択肢を広げてほしい。魅力ある富山県を目指して。</p>
<p>"ひきこもりと運動不足で身体も頭もおかしくなるので運動のパーソナルトレーニングやヨガ（心に良い）を自宅で受けれるなどの制度を作っていくと良いと思う。人の役に立つ経験も少ないと思うので、老人ホームでボランティアしたり、老人たちと一緒に運動したり、音楽、手芸など何でも楽しめる仕組みを作る。個人の家庭ではもう手に負えないと思うので。</p>
<p>市、県、国、民間の会社が一体となって取り組んでいくと良いと思う。ひきこもりに携わる仕事を増やしたら雇用も増えるし、正規雇用で働く人が増えると年金をかける人も増えるので、経済活性化もする。</p>
<p>8050問題と言われるように、親も高齢化しているので今すぐ対策をしていくべきだと思う。自立した生活に向けて、生活リハビリをしても良いと思う。空家もたくさんあるからそれを使うなどできる。ひきこもりはコミュニケーション能力も低そうなので、接客の達人（スナックのママなどにも）支援を頼むのも良いと思う。"</p>
<p>ひきこもりの人及びその家族の方々の支援については、最低でも週1くらい尋ねたり、外で（家族の人と）会ったり電話をしたりすることが心のつながりが得られるのではと思っています。このことによって家族の方から電話をされるようになるのではと思っています。</p>
<p>調査対象者は全くひきこもりの傾向はありません。調査対象者が私だったら良かったのにとと思います。介護のあと姑を看取り、その後心身共に疲れて町内の人とも会いたくない。誰とも会いたくない。朝は起きれず夕方まで暗い部屋でじっとしていました。頑張って仕事に出たものの心のバランスを崩しました。結果として医師にかかりながら心身のケアをして15年以上働き続け現在に至っています。医師を見つけるまでも迷い道で大変でした。私は頑張って働くことができましたが、ひきこもりとなる状況が介護、葬式のしきたり、相続などで発生します。また、若くしてひきこもりになり、無職の状態が続くと就職への不安は大きいと思います。どうぞ支援をしてあげてください。</p>
<p>この調査の費用がもったいない。この調査の費用を他の事に使った方が良い。学校への支援、行政の効率化、住民税の軽減、医療費拡大への対策にこのような費用を使った方が良い。この調査で何が変わるのか全く見えない。この調査をするならもっと調査する内容を絞ってしないと意味がないのでは。これでどのような施策が可能になるか、回答することのメリットを明確化してほしい。</p>
<p>10年前に娘がひきこもりになったが、家族で考え乗り切った。周りが何をしてもダメ。自殺も認めること。</p>
<p>学校を卒業してから勤続して働いてくれているので、今のところ不安はない。</p>
<p>ひきこもりのアンケートがあるとは知りませんでした。</p>

<p>健康で働いているのであれば特に心配なことはないが、長時間労働（残業）になることがあるのは少し気がかりである。行き過ぎた成果主義や新自由主義、格差社会などが若い人の働きづらさ、離職などの原因になっているので、「働き方改革」を官民あげて進めるべきである。コンサルタントと称する人々が人件費削減や成果主義ばかり企業に指南するから職場がギスギスして若い人、地道に真面目に仕事をする人が苦しんでいるのですよ。</p>
<p>本人はきちんと働いているのになぜこのようなアンケートが来たのかわからない。不愉快です。ひきこもりとリストアップされているのでしょうか。</p>
<p>主人が5月に脳梗塞で倒れ半年、まだ働けない状態で福祉は利用したけど利用料が高いため、家族は大変な毎日を送ってます。同居している母親（70歳代）は父が年金をかけなかったそうで全くもらえず、私が3人を養わなければいけないので、寝る暇なく働いています。</p>
<p>家族、身内にそのようにひきこもりになった方が居ないのであまり考えたことがなかったが、ひきこもりだという状態の方に過剰に行政のサービスを行うのはどうかと思う。身体的に働かなくても無理な方、精神的に無理な方、いろいろいっちゃと思うが、ひきこもりの方が犯罪を行ってしまうことは困る。気持ちがわかってあげられる元ひきこもりの方に話を聞いて、いろいろ解決策を出したり、自助グループ家族向け会等で話し合い、施設等を作ったりすれば良いと思います。安易に補助金や生活支援を行うのは税金の無駄だと思います。生活していけるから働かなくても今の状態で暮らしていけてると思います。ひきこもりの問題で悩んだことがない私はそう思ってしまいます。人間、食べなくては生きていけない。そのために働く。職種を選ばなければ働けると思っている私にはわかりません。</p>
<p>特にはないが、息子は学校を出てから仕事のことで悩み、心の事で悩み苦悩していた時があった。その時、相談できる所もなく、暗い表情をしていた。息子曰く、相談できる所か人がほしかったと今、言っている。私もその時どうして良いのかわからなかった。</p>
<p>行政の窓口を作るべき。仕事でいじめを受けている人たちのための相談窓口。</p>
<p>ひきこもりは甘えです。家族や養うものがいればひきこもるなんてことはできない。軽度の方には社会復帰、就労が行えるよう官民で支援を。重度の方（10年ひきこもり等）は社会のゴミです。切り捨てましょう。私の税金はこれまで一生懸命働いた高齢者のため、この国を支える未来ある子ども達のために使ってください。</p>
<p>身近にひきこもり、不登校等で深刻に悩んでいらっしゃる方がいないので正直な所わかりません。おかげ様で我が家の子ども達は皆、1度も学校へ行きたくないということは言いませんでした。それぞれ理由も違うでしょうし、難しい問題だと思います。</p>
<p>生活援助ではなく、自立支援。一生懸命働いている我々が苦勞するのはおかしい。</p>
<p>親身に共感してもらえる場面を求めているのではないかと思います。しかし、社会と遮断している気持ちをいかに表に出すかは難しいと思います。何らかの形で促しが必要と思うので、周囲がまず根気よく心に寄り添い行動することが大切だと思います。</p>
<p>知人の息子が30代後半ですが、高校の時からひきこもり現在無職です。家庭的な雰囲気のある窓口で相談にのってくださる所があれば良いと思っています。また、本人も健康であるので労働ができると思える自信がつけば社会に参加できるのではと。まずは会話、対話していただける所があることを、ショッピングセンターやスーパー等、誰もが足を運ぶ所にPRしてほしいです。</p>
<p>連休がほぼない会社なのでひきこもれる状況にある人が逆にうらやましく思えます。しかしひきこもりでも生活のためには仕事をして生活設計をしっかりとしないといけないと思います。在宅の仕事もたくさんある時代だと思うので、ひきこもりの方たちにもしっかりとしてもらいたいですね。</p>
<p>思春期などに一度トラウマになってしまうほど心が折れた人が立ち直っていくのは大変なことだと思います。できればひきこもりにならなくてもよい（つくらない）社会になってほしいです。ひきこもった人に家族以外、ただ一人でも理解者や共感してくれる人が居るだけで、立ち直るチャンスになるかと思っています。</p>
<p>地域の繋がりを密にして全体で見守りできるようにしていく。</p>
<p>今は別にありません。</p>
<p>小学校の頃、1か月不登校になったが転校で合わない、なじめないストレスからだったと思います。学校や職場の環境が合わず行けない人には、他の学校や勉強をする場、就労トレーニングが良いと思います。精神的な問題が原因であれば、もっと専門的な窓口や医療機関の紹介が必要なのかなと感じました。</p>
<p>むしろ対象者の方よりも私の方がひきこもりに近いと思っていましたが、大丈夫なようです。良かった。</p>
<p>今は仕事を頑張ってくれていますが、ひきこもりになる可能性というのはゼロではないと思うので、変わったことがあれば気付けるようにしていきたいと思っています。</p>
<p>ひきこもりを持つ家庭は意外と多いです。私知っている限りでは生活苦ではなく、共通して言えることは親の言動や、びっくりするような家庭教育です。なかなかその部分に入ることはできませんが、周りから少しでも早く気づき対処すること。本人だけではなくその親自体が医療機関に行ってカウンセリングが必要に思う。今後ますますひきこもりは増えていく事が予想され、早く対処しないとその子ども達はいずれ大人になり、最後は生活保護。日本全体が回らなくなる。</p>
<p>ひきこもりは自らの要因によって違いひきこもりの状態が違うと思います。家族も隠したがるためいろいろな情報が伝わらないこともあると思います。家族同士のコミュニケーションの場を作り、その集まりの情報など少しずつでもひきこもっている方へ伝わり、興味のあることがあれば、それがきっかけになると思います。</p>

<p>ひきこもりにはそれぞれいろいろな種類があると思います。身近に強迫性障害で、家から出たくても出られない状態の人が居ます。ひきこもりと一括りで言ってしまうとその中にも入るとは思います。出られない状態で病院にも行けずと、そんな状態が4年程続いています。一緒にいる家族を見ているととても大変で辛そうです。強迫性障害にも種類がありますが、知っている中で2家族もいます。強迫性障害の家族を持つ方への相談場所、支援などあまりないような気がします。病院にも行けないくらい、家から出ることができない人を持つ人達への支援策があれば良いと思います。最近、強迫性障害の妻を、夫と夫の親が殺人で裁判が行われたニュースがありました。もちろん殺人はいけな事ではありますが、強迫性障害の妻に耐えられなかった夫の気持ちも、身近な人を見ているとわかるような気がします。一緒に居る家族がとても疲れている状態を見ると心が痛くなります。すぐに治る病気ではありませんが、その家族を支援できる場所など、相談できる場があれば良いと思います。私は第三者の立場からして何もしてあげることはできません。ひきこもりは人間関係がうまくできない人などいろいろな種類があると思うので、強迫性障害というものもあるという事も考えてください。もちろん強迫性障害でも家から出て、働いている人もいます。私の知っている中でこのような状態にいる人が3人もいます。本人自体も苦しいのかもしれませんが、それを見ている家族を見ていると本当に心が痛いです。</p>
<p>子どもが大学生になったときの資金や仕送りの具体額や奨学金の制度を詳しく知りたい。</p>
<p>書きたくない方もいると思うが、ひきこもりの方のもう少し詳しい質問をした方がいいと思う。せっかくアンケートしたのだから。次に活かせるような具体的な、家にいる理由がわかるようにしたら良いかなと思う。</p>
<p>考えても考えても良い策が思いつきません。対人関係で悩む人がひきこもりの要因であるなら、まずは早い段階で第三者の助けが必要。対人トラブルの際、必ず誰かに話ができる社会を作ること、人の心を育てることなど、新しく生まれる子供たちの事も考えた方が良いでしょう。フレンドシップ支援（疑似家族体験）のような、誰かが家に行って家事手伝いをし、新しい家族の在り方支援などをする。</p>
<p>人間関係によるストレスでひきこもりになりやすい。現在、ひきこもりの人に対してだけではなく、社会全体でのケアが必要。</p>
<p>対象者ではありませんが、兄弟が不登校気味になったことがあり、親も一緒にで塞ぎこんで心がいっぱいになってしまった。本人も親も、悩みを聞いてもらったり、話せる場所があれば良いと思います。</p>
<p>依存症等にならないように子供の時から、酒、たばこ、パチンコ、麻雀、カジノ等良くないことを学校や地域で話して聞かせたり教えたりして、いい大人になってほしいです。</p>
<p>ひきこもりの要因は多種多様だと思います。自分もいつかそのような状況になるかもわからないので、関心深い問題だと思います。</p>
<p>ニートはダメ絶対。</p>
<p>近所にひきこもりの方がいるのはわかっているのですが、住民としてどのようにしてあげればいいのか。家族が悩みを表に出せる公の場の紹介パンフレットや悩み相談所があれば良いと思います。いずれ自分もどうなるか、年齢を考えると、移動手段、友人関係、コミュニティの制限、ひきこもりというよりひきこもらせることにならないよう、地域の関わりは大切と思っています。</p>
<p>何事も本人の「生きる」という強い意識を持つ。持てない人には「生きる」ことの大切さ、この世に生まれたことなどいろいろ、人間として生まれてきたことの意識をわかりやすく、いろいろな角度から教えてあげる。お寺の住職のお説教が一番です。また、この世の中、生きるため辛い思いをしているビデオなど見てもらう。</p>
<p>我が子は不登校になったことはないが、友人の子が小学校から、学校や普通教室に通えない状況である。フリースクール等、もっと柔軟に学べる環境があればいいのと言っていた。</p>
<p>1~2年のひきこもりでも家族としてはとても悩み、親としていろいろなことを試してみた記憶があります。恥ずかしながら、世間の方には知られたくないと思い、ただひたすら家族で助け合い。今となっては社会復帰してくれたことに安堵しています。どんどん増えているひきこもりの家族のためにも真剣に向き合ってくださいる場所が増えることを祈ります。</p>
<p>ひきこもりは家族間の問題であり、相談窓口やいろんな支援交流があったとしても何の解決にもならないと思います。今までもこういってことがあるというニュースを見ますが、ひきこもりはなくなり、増加する一方です。家族にひきこもりがいるというのは家の恥と思い、相談できない、知られたくないという考えが、家族はもちろん、世間的に強いのではないだろうか。</p>
<p>ひきこもりではない。資格に合格するために2年浪人。その後契約社員で数年務めるが、職場の人手不足や環境が悪くて、鬱になる手前でやめる。その後休養しつつ、パートという形で現在の仕事に就労。今年、他の病気で入院し、体調を見ながら働いている。</p>
<p>今頃このようなアンケートが送られてくることに、富山はひきこもりや不登校に対する取り組みがすごく遅れていると思う。行政の取り組みについてはもっとPRが必要だと思う。</p>
<p>ひきこもりとは、その人の性格がそのような状態にあると思う。何か趣味とか、目標を持てば、ひきこもりなどはないと思う。今の温い時代がそうさせているのかもしれない。</p>
<p>調査対象者は昨春高校を卒業し、大学に進学したばかりでおそらく人生で一番楽しい盛りかと思えます。ご心配には及びません。ありがとうございました。</p>
<p>現在入院しており、治療法もない難病です。病院スタッフの看護で生きている状態です。今後は苦痛もなく、余命を全うしてくれれば良いと思います。</p>
<p>市内でも市電やバスの本数が多い地域に住んでいるとあまり不便にならないが、もう少し範囲を広げて行ってほしい。もっと子供やお年寄りが集える公園や施設を作ってほしい。</p>
<p>生活保護等を頼りすぎて、働く気がなくなるのではないのでしょうか。</p>

医療機関でうつ病と診断され、薬の効果をよくわからないまま薬を飲むことになっているような感じがします。本人以外の家族にだけでも、薬の必要性など説明があるといいと思います。薬漬けになっている方が多いように思います。
不特定多数の抜粋した方にこのようなアンケートを取るよりも、県と市町村が連携し、自治体等を利用しながら、各家庭の実態調査をしていった方が、根本的解決につながるのではないのでしょうか。心の健康に関する相談窓口を明記されていますが、私どものようにニーズの無い家庭に知らされても。本来知らせるべき対象家庭が放置状態になるばかりでは。このアンケートで終わることなく、さらなる対策が進みますよう期待しております。
現在では、ヤングジョブの就職支援を経て正社員として勤めており、仕事が楽しいと言っているのですがこのまま継続してくれればと思っています。
ひきこもりではないので考えたことがあまりなかったが、実際に家族にひきこもりになった際、どこに相談すればよいか、相談窓口がどこにあるかわからない。もう少し行政がPRすればよいのではないかと考える。
ニュースでひきこもり等の話を聞いたりすると、ひきこもり＝マイナスなイメージで、家族も、ひきこもりであることを隠そうとしているイメージだ。ひきこもりという言葉のほかにか別呼び方があればいいし、一種の病気だと認識されるようになればいいと思う。
今のところ家庭生活に問題はないと思っています。日頃から子供との会話を大切に、気軽に話せる環境だと自分では思っています。
苦しんだり、辛い思いをされている方々の声に、少しでも耳を傾けていただけるとありがたく思います。
様々な理由でひきこもりになられると思いますが、まず話を本人とすることが大切だと思います。上記「4」が行えるのであれば、積極的かつ継続的に行うことが大切だと思います。
病気やケガなどで仕事ができない人への生活保護はありだが、自分の都合で仕事をしない人の支援は本当に必要か、働いてもらわねば。
悩んでいる人が、行政だけではなく NPO など、自治体以外で相談できる場所を作ってほしい。
ひきこもりになってしまったからの支援はもちろん必要である。また、予防のために、学生のときに親学を学び、やがて生まれてくる子供との接し方、育て方を知ることが必要である。
ネットでのひどい中傷や、人が簡単に殺されるなど日本人のレベルが下がっている。生まれたときからパソコンやスマホ、ネットが身近にあるこれからの子供たちの心が心配です。精神教育、人への思いやりや大自然への感謝などを子供のころから教えていくことが大事ではと思います。
近年ひきこもりの方が事件を起こすことが多く報道されており、近所や知り合いにも悩んでいる方がいます。行政で支援して欲しいです。
不安に思うことはありません。楽しい人生を過ごしています。
息子は中3の2学期に頭痛や腹痛を訴え、学校に行けなくなりました。何とか高校へ進学したものの、授業を受けていると腹痛になり、また行けなくなりました。話を聞いてくれる友人はいましたが、ほかの子や他人の孫の活躍する話を聞くのが辛かったです。心療内科を受診し今は通信で学んでいます。登校もレポートもまじめに取り組み、週2でバイトへも行っているのでもっとしています。今後のことは本人のやりたいようにさせ、親は見守るのみだと思っています。
ひきこもりにならないように学校が楽しくて、いじめがなくなることが大切だと思う。
都会と違って、富山はバリアフリー化されていないので、生活しにくい。職場においても、障害者に対して理解がなく、冷たい人が多い。
自分が自分らしく生きていける社会が理想とされるけれど、やはり本人が自信の持てる教育を与え、何よりも強く生きていけるよう指導せねばならないと思う。そのためには、親の教育が必要不可欠でしょう。
昔はいろいろとあったようですが、現在は職に就き元気に働いています。いろいろな人と出会える場があると、成長できるのではないかと考えます。
どのような関係でこのようなアンケートが送付されてきたのでしょうか。調査対象になった妻は非常に困惑しております。
一時預りやいつでも立ち寄れる場所などがあればよいなと思いました。
ひきこもりの人の大半は、他人とのコミュニケーションができない。よって、ひきこもりを治そうとするのは無意味。ひきこもりのままでもなんとかできるようにしてあげましょう。
子育てをしてきた中で、我が子は上記の様な悩みはありません。他の家庭のお子様でそんな悩みがあってひきこもるのはそれでいいと思います。ただ収入がないと益々生きるのが辛くなるので「4、8」の支援があれば乗り越えられるかもしれません。このようなアンケートを書く機会があれば、いろんな人がひきこもりなどの問題を考えるきっかけになり、良いことだと思いました。
ひきこもりの方々が、将来生活保護となったらとても大変なことになると思うので、少しでも若いうちに就労できるようにしてほしい。
ひきこもりで悩んだ経験がないのでわからない。

ひきこもり時は他の人との会話ができない、相談とかもできない、支援したらなおさら動かない。でもこのままじゃだめだと思うきっかけはいつかある。その時に手を差し伸べて助けてあげられる環境が大切だと思う。無理せずマイペースだけど自立できることが大切なのだが、周りの人が理解していないとそのチャンスも見逃してしまう。本人もだけど周りの理解も大切。それを知れる世界があればいいと思う。
このようなアンケートは面倒なので二度と書きたくない。今後は捨てる。
ひきこもり本人に対する支援も大事だと思うが、それを支える家族に対するカウンセリングも大事だと思う。
難しい。各自の違いがあるのでわからない。自分の気持ちを話せることができるかどうか。
ひきこもりの問題を持つ本人と家族に対し、健康面、就労面、金銭面、法律面による対応箇所を一か所で相談できる施設があれば助かる。県外に住むひきこもりに対し、円滑に対応できる方法ができるとよい。
ひきこもりの人が事件を起こすニュースも多くなり、ひきこもり本人も苦しさを抱えていると思いますが、親や兄弟も苦しんでいると思うので、両方を支える支援が必要になってくると思います。本人への支援は逆効果であることや難しい部分もあると思いますし、自分がそうなったとき親の立場ならば窓口や会、医療機関を利用するはずで。
普通に生活していると思うので、特に不安はありません。
私はひきこもりになったことはありませんが、子供が一度、学校に行かずに家にいたことがあります。今はちゃんと仕事にも行っていますがその時に、どこに相談すればよいかわからず、とても辛かったです。普段は関係ないと思っていたので、突然自分の身に降りかかったとき、もっと支援をわかりやすくしてくれると助かります。
知的障害と週3回の透析で本人も大変ですが、おかげさまで前向きで明るい性格で、日々カルシウム不足にならないようにと2,000歩ほどですが家の近くを歩いています。1級障害のため皆様に助けられての今日感謝いたします。
公的相談窓口には、身内が公的機関に勤めている場合は、相談するのをためらうと思う。話が漏れそうで他市町村に行くことになる。
富山県での24時間対応の相談窓口が必要。相談窓口では話を聞くだけではなく、有料でもいいのでアドバイスがほしい。精神科に通院している患者たちが集まって意見交換できる場所がほしい。将来の不安はもちろんあるが、今の苦しみを早く解消してあげたい。対象者が孤立しないように社会で見守る体制がほしい。
所詮、行政はたいしたことはできませんよ。何かやります的なこのアンケートも行政の保身ですか。あと、下請を利用した調査は何ですか。お金が余りましたか。
ひきこもりは誰にでも起こり得ること。例えばいじめ・仲間外れ・犯罪などほんの小さな事で躓く。世間の人からしたら小さなことで本人にとっては重大事案。本人の周囲も巻き込んでしまう社会問題。世間は第三者的な見方をしがちで本人、家族からしたら理論的になりがち。ひきこもりのレッテルを貼られるし、本人、家族の苦勞なんて全く知らない人がほとんど。具体的な支援のPRも少なく、もっと新聞やメディアで取り上げてほしい。そして支援に関わる行政も上辺だけの対応はやめて、真に受け入れ、共に苦勞するくらいの覚悟で挑んでほしい。行政に携わる方がもっと人間を学んでほしい。いっそのこと実習すればよいのに。
ひきこもりがない家なので、なぜこのような用紙が届いたのか不思議です。よくわからないので、アンケートの答えがひきこもりかどうかを考えさせられました。
ひきこもり、鬱、どちらかはわかりませんが周囲にもおられます。家族だけでなく、周囲の人々の協力が必要だと感じます。早めに対応できるといいのですが、知識がないので対応講習等あればいいですね。
不安はありませんでした。
ひきこもりでもOKな求人。
匿名性の保たれた相談サービス（特にSNS）。
富山県はとても閉鎖的で、表面では良いことを言っていたとしても、心の中は何を考えているのかわからず、本音で話すことができない人が多い。プライドの高い人が多く、家での問題があったとしても家の中で解決しようとするので、表面では近くに住んでいても気づかないと思う。立派な家と車を持っている人と見られる富山では、価値観の押し付けや、親の子供に対する過大な期待が大きく、子供が潰れるように思う。給料もそんなにももらえている訳ではないが、人として生きている、存在しているだけで素晴らしいと思える世の中にしてほしい。
ひきこもりにもいろいろあるだろうが、病気なのか、ただの怠け癖なのか見極めたくて支援してほしい。安易に生活支援をすると、まじめに仕事している人たちもやる気をなくす。
悩みに対する支援、紹介とありますが実際にどういった活動をされているか不明。年を取るに従って外出するのが段々億劫になってくる。友達から誘われたりすると外出はよくしますが、以前みたく自分から誘い出すということはあまりなくなりました。良い友達をたくさん持つことが必要かと思えます。若いときから。
なぜこのような調査が送られてきたのかわかりません。誰が選んだのですか。心外です。
住みよいまちづくりとよく言われますが、子育てのしやすい交通の利便性、安全性、夜道をもっと明るくとかいろんなことをもっと住民から吸い上げてほしい。場を作ってほしい。その中でできることから少しずつやってほしい。箱モノを作るとか立派なイベントをすとかじゃなくて普通でいい。和やかな生活、おっとりとした環境、毎日が平凡でいいのでは。
問題ないということがありがたいということだとつくづく思います。

<p>本人が学校または会社に行きたくないと言ったら無理に行かせないでと皆さんは言いますが、私はそういうことばかり新聞などでみかけ、余計に行かなくなっているのではと思います。恐ろしい人が1人いれば、1割か2割は学校へ行くのではないかと考えています。無理にでも連れて行けばそこで何とかかなと思います。まずは連れていくことです。</p>
<p>将来のことについて不安に思うことは特にありません。本人が考えて本人が選んでいく人生ですので、親としては寄り添ったり言葉をかけたりして見守っていこうと思っています。</p>
<p>ひきこもりという言葉を変えてみてはどうかと思います。</p>
<p>学校（小中学校）が健全に動き、ひきこもりを出さないような教育ができれば、少しは少なくなるのではないかと思います。クラスに何人かは支援級の子がいるため授業もできないし、教育もできていません。早期に手当てをすることはありがたいことだと、支援が必要な子の親に伝えてほしいです。日本はろくに教育も受けられない子を生産しています。学校は本来の機能を果たしていません。先生たちにソーシャルワーカーの仕事を求められても困ります。教育費を増やして根本的なところを正さないとひきこもり等は増える一方だと思います。</p>
<p>支援者も家族もなかなか相談ができない心理状態だと思います。早期からカウンセリングを受けることができる体制をシステム化していただければ気軽に相談が出来るのではないかと思います。</p>
<p>質問の様式がわかりにくいです。もしひきこもりの方がいる場合は本当のことを書けるか考えさせられた。地域の厚生委員の方は老人対策で大変なので、別の方法で助けてあげてほしい。</p>
<p>個人によってタイプが違うと思うので、ひきこもりと一括りにはできないと思うけれど、窓口で対応できることは多いほうが良いと思います。本人の力を信じて、家族や行政があきらめずに支援できるように願います。</p>
<p>今現在健康に目標を持ち生活している。進学して地元を離れる今後について気になる。何かに悩んでも一人で抱え込まないことや対処の方法など、行政は様々な支援を考え出して実行してほしい。人それぞれ最善の対処法は違うし、試してみないとわからないので。</p>
<p>おそらく悩んでいるのはその本人の家族なのだから、ひきこもり本人は自覚がない人も多いと思う。相談しやすい環境にしてあげることが第一。世間体もあるので、役所の人間とわかる人が家に訪問というのも避けるべき。あとは本人の問題で、本人が社会に出ようと思ったら支援すべきだと思うが、残念ながら、無理やり外に出させても、仕事させても、どうにもならないと思う。</p>
<p>支援策を強化する前に実態把握しないと対外的にアピールになるだけで、ただの満足。</p>
<p>ひきこもりの人に対して、自宅訪問はあまりうまくいかないように思います。近くでもよいので、外に出て相談できるほうが良いかと。やはり金銭的な支援が助かるかと思えます。</p>
<p>10年ひきこもりをしていたという男の人は知っています。10年ひきこもってましたと言われ、何がきっかけで働くようになったのと聞くと、障害者のお世話するのがきっかけだったと。ちょっとしたことが彼にとって一生の仕事で、今は正社員として施設で頑張っておられます。</p>
<p>不登校になったときの小中学校側の対応が、30年前と変わらず無理やりにも登校させ、不登校児童はいませんと教育委員会に報告し、良い学校面をすところを見直してほしいと切に思った。無理に学校へ連れて行っても保健室直行。寝てしまう。何の意味が。小児科でも登校しろと。心療内科でようやく心身ともに休養が必要だと。成人して働きに行けないうらい心に傷がついている。そしてまた悩む。のループ。他人に迷惑をかけたくないと。まだ暴れないだけましな現在。ニュースで見る親殺し、子殺しが増えないように教師の方々、生徒たちが心に傷を負ったときのケア方法も必要かと。小学校の担任は、教師となるときにそのカテゴリーはなく、直面して初めて勉強するそうです。先日、大人のいじめと教師問題が問題視されていました。これの改善につながるのでは。国会で議員同士が派閥別にケチの付けあいをテレビでながし、悪事は断罪すべきですが、あの様なみともない罵り合いを子どもたちがみて、いじめはダメと言っても通じますか。ちなみに我が子の原因は教師からの言葉の暴力です。</p>
<p>働いていた子供が家業を継ぐ人もいると思うので、質問の内容がひきこもりの感じですので答えようがない。</p>
<p>ひきこもりだけでなく、若年層の相談窓口、支援体制が機能していない。行政や相談支援センターは本人が希望すれば支援するという受け身のスタンスで、本人や家族の問題が解決していない。特に市の厚生センターや社会福祉施設は全く機能しておらず、自分たちの身の安全、保証しか考えておらず、明らかに業務怠慢であり、解雇が必要な職員が大半です。民間への委託など、大幅な改善が必要です。</p>
<p>ひきこもりが高齢化してきており、それを支えている家族も高齢化していると思われます。今は問題がなくても、介護や生活困窮に困る状態になると、社会からもっと孤立する恐れがあります。そうなる前に、生活設計の支援があれば、今後の生活に対して現実と向き合うチャンスが与えられ、前向きになれるよう同じ悩みを持つ人と話をすると、頑張ってみようと思えるのではないかと思います。生活困窮により生活保護を受ける方が増えると、将来、子供たちの負担が増加するのではないかと心配です。調査対象者については特に不安に思うことはありません。</p>
<p>このようなことを調査している時点で相手の気持ちも理解できない偽善者っているんだと再確認しました。人のことを大切に思うなら、その人ごとに対応策は違っているので、自分たちは待つしかないと思う。このようなアンケートはもうしないほうが良いと思う。</p>
<p>ひきこもりの人の支援も大切だが、働いている人や子供などの必要なところに支援をもっとやってほしい。</p>
<p>現在仏教について学び、きちんとした生活態度（あいさつ、礼儀、整理、整頓）ができるようになり、生き生きと活動しています。良い方とご縁があればと思っています。</p>

今のところ不安なし。
居住地の近くにフリースクールや不登校支援の窓口が少ないように思います。住んでいる近くに支援窓口があると、心に問題を抱えた子供への対応の仕方に悩んでいる親、本人にとっても相談しやすいと思います。
夫の父母、祖母と結婚した時から19年間同居している。子供は2人。昔ながらの家で農業。私は保育士。働きにでて15年目であるが働き出してから毎月、私と夫の給料から、義母に渡している。土日の休みは一年中ほぼ農家の手伝いをさせられ、自分の自由な休みはなく子供たちも小さい頃からどこにも連れて行ってやれず、ほほほったらかしの状態であった。私自身、保育士の仕事を持ち帰り土日の休みにしたくても思うようにできず、徹夜するなど一週間働き詰めの毎日という状態でストレスがたまる。給与から義母に10万渡し、食事の買い物、ガソリン代、携帯、子どものものなどを買うと毎月赤字なので、ボーナスのお金から引き出してくる。貯金は一切できない。義父母は、年金はもらっているものの使うことはなく、農業で儲けたお金も実際いくらか知らないが使っていないと思う。自分だけが朝から晩まで一生懸命働いているのに毎月お金がない。ストレスがたまる一方です。食べ物も贅沢なものは買わず、化粧品も安いものを使っているが義母たちには贅沢なものばかり食べて化粧品も高いものを使っている。人が稼いだお金なのでどれだけ使っても何も思わないと思うが私はとても腹立しい。お金も足りないときには実家の母に借りている。夫にお金がないと言ってカード会社や実家から借りるといって、そうすればと言われ夫に対する愛情もなく、この19年間幸せと感じたことがない。ただ子供に会えたことだけ。自由もない。義父母や夫にとって私は都合のいい嫁でしかなく、早く子供が一人前になってほしい。そしたらこの家を出て自由になろうと思っている。義父母は私には冷たく挨拶しても顔も見ず挨拶してくる。私は一体なんなんだろうという思う。農家の手伝いをしてお金をたくさん入れてただそれだけの存在。だから私は出ていきたい。小姑も毎週、金曜の夜に子ども二人を連れて夕食を食べにくる。その時だけお金をかけてご馳走をつくる。死にたいとまでは思わないが、毎日がいつも楽しく幸せだとは思えない。こんな悩みを抱えている嫁は私ぐらいだろう。
ひきこもりに今までなったことはないですが、誰にでも起こり得ることだと思います。仕事ができるだけ行きたいと思いますが病気になるので働きたくても働けなくなったとき、うつうつとしてしまいそうです。
健常者にしろ、障害者にしろ、行政の手厚い支援は不可欠だと思う。安心して生活が送れるように対策されることを望む。
ひきこもりは恥ずかしいので隠している方が多いと感じます。確かに、私も子どもがなったら外の目を気にするかもしれません。まずは、そのような考えがいけないと思うので、同じことになっている人がいるはず。その方からのアドバイスなどを教えてもらう機会があればよいと思います。
やれることは何でもやってください。こういう人を救うには地域のコミュニティが必要。
今現在一人で生活していただくだけの収入はありませんが、少しずつでも、一人で生活していけるだけの仕事を見つけてくれる事、自分から進んでいってくれる事を望んでいます。ひきこもりという言葉を見て、自分（親）がなさけなくなりました。少なからず頭にあった言葉です。正社員ではありませんが、バイトも続いています。祖父母の病院などにも付き添っています。世間から見たら、その枠に入るのか。やはり私のせいなのか。自分が情けない。質問にひとつだけ答えてとありましたが、ひとつに決めるにはムリがありました。
小中での早期気付きが大切だと思う。集団への適応力、発達障害と思われる児童・生徒への、心の成長・自立へ向けての対応がなされにくい現状であると思う。そのため、高校卒業時、後の就職につまずきが生じ、初めて今まで自立と向き合ってきた「つけ」がひきこもりとして表れていると思う。小中には予備軍がたくさんいるので、自立に向けて親の関わり方への支援が重要だと思う。学力・学歴重視による見栄。発達障害を受け入れることができない親。先生・指導者より、児童・生徒・親の立場が上。我が子しか見えていない親。保・小・中と他人（先生）任せの子育て。「うまくいかないのは他人のせい」の考えでどうにか居場所があるのは高校まで。それでは遅いと思う。SOSが見えていない親への「つけ」がひきこもりにつながっていることもある。子の自立に向けての親育てが重要だと思う。

## 生活状況に関する調査（同居されている方用）

この調査は、県民の皆様の生活状況を把握する大切な調査ですので、必ずお答えください。

すべての方にご回答いただく設問は、3問（Q1、Q2、Q11）です。

それ以外の設問は、該当の方のみお答えください。

※ここでいう「調査対象者」とは、アンケートをお送りさせていただいた方（宛名）になります。ご記入いただく方は、アンケートをお送りさせていただいた方（宛名）のことをお答えください。

調査対象者の方の性別	1 男	2 女	調査対象者の方の年齢	( ) 歳		
調査対象者の方のお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)						
1 富山市	2 高岡市	3 魚津市	4 氷見市	5 滑川市	6 黒部市	
7 砺波市	8 小矢部市	9 南砺市	10 射水市	11 舟橋村	12 上市町	
13 立山町	14 入善町	15 朝日町	16 その他	( )		
調査対象者の方と同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)						
1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母	5 配偶者	6 子	7 その他の人

【Q1～Q2はすべての方がお答えください。】

Q1 調査対象者の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 勤めている（正社員）
- 2 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- 3 自営業・自由業
- 4 学生（予備校生を含む）
- 5 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- 6 専業主婦・主夫
- 7 家事手伝い
- 8 無職
- 9 その他(具体的に: )

Q2 調査対象者の方は、ふだんのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにとときどき外出する
- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

【Q2で「1～4」にまるをつけた方は、Q7にお進みください。「5～8」に○をつけた方は、Q3～Q6にお答えください。】

Q3 調査対象者の方が、現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月未満
- 2 6ヶ月～1年未満
- 3 1年～2年未満
- 4 2年～3年未満
- 5 3年～5年未満
- 6 5年～7年未満
- 7 7年～10年未満
- 8 10年～15年未満
- 9 15年～20年未満
- 10 20年～25年未満
- 11 25年～30年未満
- 12 30年以上

Q4 初めて現在の状態になったのは、調査対象者の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_ 歳

## B

- Q5 調査対象者の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)
- 1 小学生時の不登校    2 中学生時の不登校    3 高校生時の不登校
  - 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校
  - 5 受験に失敗したこと(高校・大学等)    6 就職活動がうまくいかなかったこと
  - 7 職場になじめなかったこと    8 人間関係がうまくいかなかったこと
  - 9 病気(病名: \_\_\_\_\_)    10 妊娠したこと    11 退職したこと
  - 12 介護・看護を担うことになったこと    13 特にない    14 分からない
  - 15 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

- Q6 現在の状態になってから、調査対象者の方は死にたいと発言されることがありますか。
- 1 現在も言っている    2 過去に言っていたことがある    3 一度も聞いたことがない

※Q11にお進みください。

### 【Q2で「1～4」に〇をつけた方のみ】

- Q7 調査対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(〇はひとつだけ)
- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
  - 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける    3 自室からは出るが、家からは出ない
  - 4 自室からほとんど出ない    5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない

【Q7で「1～4」に〇をつけた方は、Q9～Q11にお答えください。「5」に〇をつけた方は、Q11にお進みください。】

- Q8 その状態はどれくらい続きましたか。(〇はひとつだけ)
- 1 6ヶ月～1年未満    2 1年～2年未満    3 2年～3年未満    4 3年～5年未満
  - 5 5年～7年未満    6 7年～10年未満    7 10年～15年未満    8 15年～20年未満
  - 9 20年～25年未満    10 25年～30年未満    11 30年以上

- Q9 初めてその状態になったのは、調査対象者の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)
- \_\_\_\_\_歳

- Q10 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)
- 1 小学生時の不登校    2 中学生時の不登校    3 高校生時の不登校
  - 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校    5 受験に失敗したこと(高校・大学等)
  - 6 就職活動がうまくいかなかったこと    7 職場になじめなかったこと
  - 8 人間関係がうまくいかなかったこと    9 病気(病名: \_\_\_\_\_)
  - 10 妊娠したこと    11 退職したこと    12 介護・看護を担うことになったこと
  - 13 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

**【Q11 はすべての方がお答えください。】**

Q11 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 ひきこもりに関する相談窓口の強化
- 2 各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化
- 3 同じ悩みを持つ人が集まる居場所
- 4 自宅等への訪問支援
- 5 就労に向けたトレーニング
- 6 自助グループ家族向け互助会等の紹介
- 7 医療機関の紹介
- 8 生活困窮時の一時的な生活資金支援
- 9 ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援
- 10 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

ご自由にお書きください。(調査対象者の方に関して、現在や将来のことについて不安に思うことなど)


【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。】

【集計表】（当事者等支援ニーズ調査 同居者票）

調査対象者の方の性別

	総数	男性	女性	無回答
総数	132	69.7	26.5	3.8
〔年齢別〕				
15歳～19歳	5	60.0	20.0	20.0
20歳～24歳	16	75.0	25.0	-
25歳～29歳	15	60.0	40.0	-
30歳～34歳	22	95.5	4.5	-
35歳～39歳	17	82.4	17.6	-
40歳～44歳	26	76.9	23.1	-
45歳～50歳	7	85.7	14.3	-
50歳～54歳	2	100.0	-	-
55歳～59歳	7	14.3	85.7	-
60歳～64歳	4	-	100.0	-
無回答	11	36.4	27.3	36.4

調査対象者の方の年齢

	総数	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 50歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳
総数	132	3.8	12.1	11.4	16.7	12.9	19.7	5.3	1.5	5.3
[年齢別]										
15歳～19歳	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	16	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	15	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	22	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	17	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳～44歳	26	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
45歳～50歳	7	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
60歳～64歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	60歳～ 64歳	無回答
総数	132	3.0	8.3
[年齢別]			
15歳～19歳	5	-	-
20歳～24歳	16	-	-
25歳～29歳	15	-	-
30歳～34歳	22	-	-
35歳～39歳	17	-	-
40歳～44歳	26	-	-
45歳～50歳	7	-	-
50歳～54歳	2	-	-
55歳～59歳	7	-	-
60歳～64歳	4	100.0	-
無回答	11	-	100.0

調査対象者の方のお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)

	総数	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市
総数	132	33.3	18.9	1.5	3.0	1.5	3.0	6.8	1.5	9.8
[年齢別]										
15歳～19歳	5	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-
20歳～24歳	16	43.8	6.3	-	-	-	-	18.8	-	-
25歳～29歳	15	26.7	13.3	-	-	-	6.7	20.0	-	13.3
30歳～34歳	22	22.7	13.6	-	9.1	4.5	4.5	9.1	-	-
35歳～39歳	17	47.1	17.6	5.9	-	5.9	5.9	-	5.9	5.9
40歳～44歳	26	46.2	30.8	-	3.8	-	-	-	-	19.2
45歳～50歳	7	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3
50歳～54歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
55歳～59歳	7	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3
60歳～64歳	4	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-
無回答	11	9.1	36.4	-	-	-	-	9.1	-	18.2

	総数	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	その他	無回答
総数	132	8.3	-	4.5	-	3.0	0.8	1.5	2.3
[年齢別]									
15歳～19歳	5	-	-	-	-	-	-	20.0	-
20歳～24歳	16	6.3	-	18.8	-	-	-	-	6.3
25歳～29歳	15	20.0	-	-	-	-	-	-	-
30歳～34歳	22	18.2	-	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5
35歳～39歳	17	-	-	-	-	-	5.9	-	-
40歳～44歳	26	-	-	-	-	-	-	-	-
45歳～50歳	7	-	-	14.3	-	14.3	-	-	-
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	7	14.3	-	-	-	28.6	-	-	-
60歳～64歳	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	-	9.1	-	-	-	-	9.1

調査対象者の方と同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

	総数	父	母	きょうだい	祖父母	配偶者	子	その他の人	無回答	回答計
総数	132	72.7	87.9	26.5	22.0	1.5	6.1	2.3	3.0	222.0
[年齢別]										
15歳～19歳	5	100.0	100.0	20.0	40.0	-	-	-	-	260.0
20歳～24歳	16	75.0	87.5	31.3	56.3	-	12.5	12.5	-	275.0
25歳～29歳	15	86.7	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	286.7
30歳～34歳	22	81.8	90.9	40.9	27.3	-	-	-	4.5	245.5
35歳～39歳	17	82.4	100.0	17.6	17.6	-	-	-	-	217.6
40歳～44歳	26	61.5	96.2	15.4	-	-	-	-	3.8	176.9
45歳～50歳	7	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	200.0
50歳～54歳	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	100.0
55歳～59歳	7	57.1	85.7	28.6	28.6	14.3	14.3	-	-	228.6
60歳～64歳	4	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	150.0
無回答	11	45.5	36.4	9.1	18.2	9.1	27.3	-	18.2	163.6

Q1 調査対象者の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(〇はひとつだけ)

	総数	勤めている (正社員)	勤めている (契約社員等)	自営業・ 自由業	学生(予 備校生を 含む)	登録して いるが、 働いてい ない	専業主 婦・主夫	家事手伝 い
総数	132	3.0	9.1	-	4.5	0.8	2.3	6.8
[年齢別]								
15歳～19歳	5	-	-	-	40.0	-	-	-
20歳～24歳	16	6.3	6.3	-	6.3	-	-	12.5
25歳～29歳	15	-	13.3	-	6.7	-	-	-
30歳～34歳	22	9.1	13.6	-	-	4.5	-	4.5
35歳～39歳	17	-	5.9	-	5.9	-	-	5.9
40歳～44歳	26	-	11.5	-	-	-	3.8	15.4
45歳～50歳	7	-	14.3	-	-	-	-	-
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	7	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3
60歳～64歳	4	-	25.0	-	-	-	-	-
無回答	11	-	-	-	9.1	-	9.1	-

	総数	無職	その他	無回答
総数	132	65.2	6.1	2.3
[年齢別]				
15歳～19歳	5	40.0	20.0	-
20歳～24歳	16	62.5	6.3	-
25歳～29歳	15	80.0	-	-
30歳～34歳	22	59.1	9.1	-
35歳～39歳	17	70.6	11.8	-
40歳～44歳	26	65.4	-	3.8
45歳～50歳	7	85.7	-	-
50歳～54歳	2	100.0	-	-
55歳～59歳	7	42.9	14.3	-
60歳～64歳	4	50.0	25.0	-
無回答	11	63.6	-	18.2

【Q2はすべての方がお答えください。】

Q2 調査対象者の方は、ふだんのくらい外出しますか。(〇はひとつだけ)

	総数	仕事や学 校で平日 は毎日外 出する	仕事や学 校で週に 3～4日 外出する	遊び等で 頻繁に外 出する	人づきあ いのため ときどき 外出する	趣味の用 事するとき だけ外出 する	近所のコ ンビにな どには出 かける	自室から は出るが 、家から は出ない	自室から ほとんど 出ない	無回答
総数	132	7.6	5.3	-	4.5	32.6	27.3	20.5	1.5	0.8
[年齢別]										
15歳～19歳	5	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-
20歳～24歳	16	6.3	-	-	-	37.5	25.0	25.0	-	6.3
25歳～29歳	15	6.7	6.7	-	6.7	40.0	6.7	33.3	-	-
30歳～34歳	22	13.6	9.1	-	4.5	36.4	18.2	18.2	-	-
35歳～39歳	17	5.9	11.8	-	-	29.4	23.5	29.4	-	-
40歳～44歳	26	11.5	-	-	3.8	34.6	34.6	15.4	-	-
45歳～50歳	7	-	14.3	-	-	28.6	42.9	14.3	-	-
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
55歳～59歳	7	-	-	-	-	28.6	57.1	14.3	-	-
60歳～64歳	4	-	-	-	-	25.0	75.0	-	-	-
無回答	11	-	-	-	18.2	27.3	27.3	9.1	18.2	-

【Q2で「1～4」に○をつけた方は、Q12～Q15、「5～8」に○をつけた方は、Q3～Q11にお答えください。】

Q3 調査対象者の方が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満
総数	108	-	3.7	8.3	6.5	7.4	12.0	13.9	20.4	13.9
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
20歳～24歳	14	-	14.3	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4	-
25歳～29歳	12	-	8.3	8.3	8.3	-	8.3	25.0	41.7	-
30歳～34歳	16	-	-	6.3	6.3	18.8	12.5	18.8	18.8	12.5
35歳～39歳	14	-	-	7.1	-	-	21.4	7.1	28.6	21.4
40歳～44歳	22	-	-	-	4.5	4.5	-	13.6	13.6	40.9
45歳～50歳	6	-	-	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
55歳～59歳	7	-	-	14.3	14.3	28.6	-	28.6	14.3	-
60歳～64歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-
無回答	9	-	-	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	11.1

	該当者	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
総数	108	9.3	1.9	1.9	0.9
[年齢別]					
15歳～19歳	2	-	-	-	-
20歳～24歳	14	-	-	-	7.1
25歳～29歳	12	-	-	-	-
30歳～34歳	16	6.3	-	-	-
35歳～39歳	14	7.1	7.1	-	-
40歳～44歳	22	22.7	-	-	-
45歳～50歳	6	16.7	-	16.7	-
50歳～54歳	2	-	-	50.0	-
55歳～59歳	7	-	-	-	-
60歳～64歳	4	-	-	-	-
無回答	9	22.2	11.1	-	-

Q 4 初めて現在の状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	108	11.1	24.1	24.1	18.5	9.3	1.9	1.9	1.9	-
[年齢別]										
15歳～19歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	14	28.6	50.0	21.4	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	12	16.7	58.3	16.7	8.3	-	-	-	-	-
30歳～34歳	16	6.3	12.5	31.3	43.8	6.3	-	-	-	-
35歳～39歳	14	14.3	21.4	14.3	14.3	21.4	-	-	-	-
40歳～44歳	22	-	9.1	36.4	18.2	22.7	9.1	-	-	-
45歳～50歳	6	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-
50歳～54歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	7	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	-	14.3	-
60歳～64歳	4	-	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-
無回答	9	-	33.3	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	108	1.9	-	5.6
[年齢別]				
15歳～19歳	2	-	-	-
20歳～24歳	14	-	-	-
25歳～29歳	12	-	-	-
30歳～34歳	16	-	-	-
35歳～39歳	14	-	-	14.3
40歳～44歳	22	-	-	4.5
45歳～50歳	6	-	-	-
50歳～54歳	2	50.0	-	-
55歳～59歳	7	14.3	-	-
60歳～64歳	4	-	-	25.0
無回答	9	-	-	22.2

Q 5 調査対象者の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	108	4.6	27.8	23.1	16.7	11.1	26.9	11.1	26.9	14.8
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
20歳～24歳	14	14.3	50.0	21.4	21.4	14.3	7.1	-	21.4	14.3
25歳～29歳	12	-	41.7	66.7	25.0	8.3	8.3	-	16.7	-
30歳～34歳	16	6.3	12.5	18.8	18.8	12.5	43.8	25.0	37.5	6.3
35歳～39歳	14	-	42.9	7.1	7.1	7.1	50.0	7.1	35.7	7.1
40歳～44歳	22	4.5	18.2	18.2	9.1	22.7	36.4	18.2	40.9	27.3
45歳～50歳	6	-	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	33.3
50歳～54歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
55歳～59歳	7	14.3	-	14.3	28.6	-	14.3	14.3	14.3	28.6
60歳～64歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0
無回答	9	-	22.2	33.3	22.2	-	-	-	11.1	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	特にない	分からない	その他	無回答	回答計
総数	108	-	8.3	0.9	-	11.1	10.2	3.7	197.2
[年齢別]									
15歳～19歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-	200.0
20歳～24歳	14	-	-	-	-	7.1	14.3	-	185.7
25歳～29歳	12	-	-	-	-	8.3	16.7	-	191.7
30歳～34歳	16	-	12.5	-	-	6.3	6.3	-	206.3
35歳～39歳	14	-	7.1	-	-	14.3	-	7.1	192.9
40歳～44歳	22	-	13.6	-	-	18.2	9.1	-	236.4
45歳～50歳	6	-	16.7	-	-	-	-	16.7	250.0
50歳～54歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	100.0
55歳～59歳	7	-	14.3	-	-	28.6	28.6	-	200.0
60歳～64歳	4	-	-	-	-	-	-	25.0	125.0
無回答	9	-	11.1	11.1	-	-	11.1	11.1	133.3

Q 6 現在の状態について、調査対象者の方が関係機関に相談したことはありますか。(〇はひとつだけ)

	該当者	ある	ない	無回答
総数	108	61.1	35.2	3.7
[年齢別]				
15歳～19歳	2	50.0	50.0	-
20歳～24歳	14	57.1	42.9	-
25歳～29歳	12	58.3	41.7	-
30歳～34歳	16	68.8	25.0	6.3
35歳～39歳	14	64.3	28.6	7.1
40歳～44歳	22	45.5	50.0	4.5
45歳～50歳	6	83.3	16.7	-
50歳～54歳	2	50.0	50.0	-
55歳～59歳	7	71.4	28.6	-
60歳～64歳	4	75.0	25.0	-
無回答	9	66.7	22.2	11.1

【Q6で「1」に○をつけた方は、Q7～Q8にお答えください。「2」に○をつけた方は、Q11にお進みください。】

Q7 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつまで)

	該当者	教育支援センター(適応指導教室)	教育相談所・相談室などの相談機関	福祉事務所	職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関	保健所・保健センター	精神保健福祉センター
総数	66	6.1	18.2	3.0	19.7	31.8	6.1
[年齢別]							
15歳～19歳	1	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	25.0	37.5	-	12.5	-	-
25歳～29歳	7	14.3	14.3	-	42.9	14.3	-
30歳～34歳	11	-	-	9.1	36.4	36.4	9.1
35歳～39歳	9	11.1	33.3	-	22.2	66.7	-
40歳～44歳	10	-	10.0	-	-	30.0	-
45歳～50歳	5	-	40.0	-	20.0	40.0	40.0
50歳～54歳	1	-	-	-	-	100.0	-
55歳～59歳	5	-	40.0	-	20.0	40.0	-
60歳～64歳	3	-	-	-	33.3	-	-
無回答	6	-	-	16.7	-	33.3	16.7

	該当者	病院・診療所	発達障害者支援センター	ひきこもり地域支援センター	子ども・若者総合相談センター	民間施設(フリースクールなど)	地域包括支援センター	生活困窮者向けの相談窓口	社会福祉協議会	当事者の会・家族会
総数	66	42.4	3.0	36.4	-	7.6	7.6	4.5	6.1	21.2
[年齢別]										
15歳～19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	8	75.0	-	25.0	-	37.5	-	-	-	25.0
25歳～29歳	7	85.7	-	28.6	-	-	-	-	-	14.3
30歳～34歳	11	27.3	-	45.5	-	-	-	-	-	18.2
35歳～39歳	9	22.2	-	33.3	-	22.2	33.3	-	11.1	33.3
40歳～44歳	10	30.0	10.0	40.0	-	-	-	-	-	30.0
45歳～50歳	5	40.0	20.0	60.0	-	-	20.0	-	20.0	20.0
50歳～54歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
55歳～59歳	5	40.0	-	60.0	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0
60歳～64歳	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
無回答	6	33.3	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	16.7

	該当者	上記以外の民間の相談機関・支援機関	その他の施設・機関	無回答	回答計
総数	66	16.7	7.6	3.0	240.9
[年齢別]					
15歳～19歳	1	100.0	-	-	200.0
20歳～24歳	8	12.5	-	-	250.0
25歳～29歳	7	28.6	14.3	-	257.1
30歳～34歳	11	9.1	27.3	-	218.2
35歳～39歳	9	11.1	-	-	300.0
40歳～44歳	10	20.0	-	10.0	180.0
45歳～50歳	5	20.0	-	-	340.0
50歳～54歳	1	-	-	-	200.0
55歳～59歳	5	20.0	20.0	-	320.0
60歳～64歳	3	-	-	-	100.0
無回答	6	16.7	-	16.7	200.0

Q 8 現在の状態について、調査対象の方と同居されている方が  
関係機関に相談したことはありますか。(〇はひとつだけ)

	該当者	ある	ない	無回答
総数	66	98.5	1.5	-
[年齢別]				
15歳～19歳	1	100.0	-	-
20歳～24歳	8	87.5	12.5	-
25歳～29歳	7	100.0	-	-
30歳～34歳	11	100.0	-	-
35歳～39歳	9	100.0	-	-
40歳～44歳	10	100.0	-	-
45歳～50歳	5	100.0	-	-
50歳～54歳	1	100.0	-	-
55歳～59歳	5	100.0	-	-
60歳～64歳	3	100.0	-	-
無回答	6	100.0	-	-

【Q8で「1」に○をつけた方のみ、Q9～Q10にお答えください。】

Q9 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

	該当者	教育支援センター(適応指導教室)	教育相談所・相談室などの相談機関	福祉事務所	職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関	保健所・保健センター	精神保健福祉センター	病院・診療所
総数	65	7.7	16.9	4.6	13.8	38.5	9.2	46.2
〔年齢別〕								
15歳～19歳	1	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0
20歳～24歳	7	14.3	28.6	-	14.3	14.3	-	57.1
25歳～29歳	7	14.3	14.3	-	42.9	42.9	14.3	71.4
30歳～34歳	11	-	-	9.1	18.2	27.3	9.1	27.3
35歳～39歳	9	11.1	33.3	11.1	11.1	55.6	11.1	55.6
40歳～44歳	10	-	10.0	-	-	40.0	-	30.0
45歳～50歳	5	-	20.0	-	-	40.0	40.0	40.0
50歳～54歳	1	-	-	-	-	100.0	-	-
55歳～59歳	5	20.0	40.0	-	20.0	40.0	-	60.0
60歳～64歳	3	-	-	-	33.3	33.3	-	66.7
無回答	6	-	-	16.7	-	50.0	16.7	33.3

	該当者	発達障害者支援センター	ひきこもり地域支援センター	子ども・若者総合相談センター	民間施設(フリースクールなど)	地域包括支援センター	生活困窮者向けの相談窓口	社会福祉協議会	当事者の会・家族会
総数	65	3.1	40.0	-	7.7	7.7	3.1	3.1	20.0
〔年齢別〕									
15歳～19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
20歳～24歳	7	-	28.6	-	57.1	-	-	-	42.9
25歳～29歳	7	-	28.6	-	-	-	-	-	14.3
30歳～34歳	11	-	54.5	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	9	-	44.4	-	11.1	33.3	-	-	22.2
40歳～44歳	10	-	40.0	-	-	-	-	-	20.0
45歳～50歳	5	20.0	60.0	-	-	20.0	-	20.0	40.0
50歳～54歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	5	-	60.0	-	-	20.0	20.0	-	40.0
60歳～64歳	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
無回答	6	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	-

	該当者	上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	その他の施設・機関	無回答	回答計
総数	65	15.4	10.8	-	247.7
〔年齢別〕					
15歳～19歳	1	100.0	-	-	600.0
20歳～24歳	7	14.3	-	-	271.4
25歳～29歳	7	28.6	28.6	-	300.0
30歳～34歳	11	18.2	18.2	-	181.8
35歳～39歳	9	11.1	-	-	311.1
40歳～44歳	10	10.0	10.0	-	160.0
45歳～50歳	5	-	-	-	300.0
50歳～54歳	1	-	-	-	100.0
55歳～59歳	5	-	20.0	-	340.0
60歳～64歳	3	33.3	-	-	200.0
無回答	6	16.7	16.7	-	200.0

Q10 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

相談して良かった。
「心のエネルギーがない今は充電中と考えてください。心のエネルギーが充電するまでは見守りをしてください。必ず出口があります。」と言われ見守り続けています。
本人の相談にのってもらって少し安心した。本人を相談機関につなげるまでが大変。訪問してもらいたい。本人の理解がないと難しいかもしれないが。
悩みを共有できる方がいることを知った。ゆっくりと温かく見守るようにと言われている。毎日そうしていても親の方が焦ってしまう。なんとか少しでも社会に出てほしい。いろいろ考えてしまいこちらの方が精神的に参ってしまう。
参考になった。
親は生涯に渡って子どもを支えていかなければならない。具体的にどうゆう状態にあるか関わり方などおぼろげに受け取った。何事にも限界がありその辛さに耐えて今後もやっていかなければならないと感じている。
精神疾患の有無を判断してもらえたこと、ゆっくり時間をかけて話を聞いてもらえ本人にとっては良かったと思う。本人は現在も継続相談している。
悪くはなかった。
親身になって相談して下さった方には感謝していますが現在、本人が社会に適應できない事には、深い悲しみと将来（親が死んだ後のことや親が介護・病気などの状態になったとき）を考えると、とても心配です。心の問題は難しいので早い段階からの支援が必要だと思います。
中学時代に本人と相談所のアドバイスを受け高校に進学できましたが、短大時代に行けなくなり支援センターに行き親が相談しましたが本人は面会できず困っていました。センターの先生とメールのやりとりをして少しは先生に相談しているのでこのつながりを大事にしていきたい。
辛い状態にある息子をひきこもりと理解でき、回復の道標となる事柄を専門医に相談できて良かった。ひきこもり状態からの回復の過程で必要な居場所が少ない。
良かったと思う。夫婦で悩んでいてもどうにもならず話を聞いていただいて、これまでの対応について相談できたことが良かった。
子どもに対しての今までの考え方を改めさせられた。
病院で診てもらうことができた。
現在、厚生センターより自宅訪問して親以外の人に話を聞いてもらっています。
本人の対応の仕方についての提案をいくつかもらい同居者として助けられた。直接的な解決策は得られないが将来の不安に向かう力が得られた。
家族や相談関係者と連携がとれるから一歩前進したと思う。
少々良い方向に向いてきている。
もっと早くに相談していればここまで長引くことはなかったのではないかと後悔しています。他人に詳しく話すということがこれまでなかったので私の気持ちも少し楽になった気がします。
支援センターに通う前、一年ほど親とも口を利かず自室から出てこない状態が続いていました。本人の希望でひきこもり支援センターに月一回カウンセリングを受けるようになり、少し状態が良くなっています。
長男のことで悩んでいるとき、知人からひきこもり地域支援センターのパンフレットをもらい思い切って電話をかけました。本人が行けなくて母親が相談してもよいと言われたのがありがたく思いました。それから今も継続して面接をしてもらっています。母親一人で抱え込まず一緒に考えてもらうということは大きいと考えています。
相談は二人あり。いろいろな事例が聞けるので声のかけ方、内容は参考になった。心療内科は参考になった。妹は今、東京に帰って会社に行っている。まだ心配である。兄は事前にきちんと送り迎えは行ってくれるようになった。相談は一進一退であり根気強くする必要がある。
相談にはとてもよく対応していただいていると思います。本人が関係機関への運びがないので、なかなか思うように進みません。しかし相談機関との関りは常に取っていることで親・家族が気持ち的に大丈夫と思えることが心の支えになっていると思うので当事者への対応方法などを聞けたり、本人の生活を改善したり、良い方向に持っていける気がします。何事も家族だけで抱え込まず外からの考えや意見を聞くことが少しでも良い風になっていると信じて日々を過ごしています。
何も変わりません。
あまり親切ではない。
一部の相談機関では事務的対応のみで進展なし。
心の支えにはなったが、具体的な解決策は得られなかった。
本人が出向かないとまず何故ひきこもりなのか診断することが困難です。病院、診療所は本人を連れてきてくださいと言われ、本人が行きたがらず困ります。

日常生活できる施設があるといいと思います。そしたらそこで生活します。
ひきこもりから10年後部屋から出てサポステや自動車学校にも行き、就職まで至ったが二年で心が折れたようだった。これで大丈夫ということはなく常に生き辛さを感じていると思う。
簡単には解決できないものだと思います。
本人との対話が重要で外の人と会いたくない場合など、外出が難しい場合が多いので自宅に訪問して本人と話していただけたらと思います。
家族からひきこもっている人は相談に行きません。この人を助けてもらいたいです。
有効な対応策はなかなかなく、家族の会や医師の話も参考にしながら、自分たちで試行錯誤しながら改善を目指していくしかないと考えている。
相談によってかえって心無いことを言われたり、面倒がられたりしたこともあり、本人は相談することに不信感を持っている。とにかく医療をとというのではなく本人に何か伝わるような相談をしてほしい。
一人ひとり違うので何とも言えないが、あまりどこへ行っても満足できない。ひきこもりの知識を持った人を養成してパソコンで仕事をしたり、同じ人と対人関係をつくれるといいと思います。
相談にはのってくれるが病院に通っていることを話すとそちらで対応してもらってくださいと言われて相談をやめた。また、薬をやめられないかと言われここに相談し続けられないと思った。
気休めにしかならない。プロフェッショナルと言える人がいない。官には期待していない。
最初にサポステに相談したが就労支援はあったが子どもが暴言を吐くようになったりしたときに相談したら、もう少し様子をみてくださいと一言で終わった。その後、サポステからの連絡はなく、突き放された思いがしてサポステは就労さえさせればよしという考えなのかと私も辛くなり自殺を考えるようになりました。母である私も精神を病み病院へ入院し息子との距離をとり今は落ち着いてきました。厚生センターでのひきこもり支援の会は時々参加しますが、先生がアドバイスしてくださるので助かっています。
家族相談会に参加していましたが、家族環境の違いや親子関係のひきこもりの状況が異なるので、あまり参考になりませんでした。話をすることで気持ちが落ち着く。今年2回精神科に本人が診察してもらいました。精神異常はなく気持ちを楽にして意欲を高める、不安や緊張を取り除く薬をもらいましたが本人は飲みませんでした。病院から訪問に来てもらっています。結果、親が変わらないとダメみたいです。普通に話すこと等が息子にできない。
相談しても本人を見て注意していただかないと解決しません。水道代の毎月支払いが大変です。遺族年金が7,000円しか支給されず生活が大変です。
何種類かの薬を投与することで良いとき、そうではないときがあり、あまり効果が出ていない。精神的に悩んでいる人には、細かい話はあまり聞いていない気がします。
ひきこもり不登校についての認識や知識の違いが多くみられた。相談することでさらに悩むことが多かった。
保健センターでは適切なアドバイスはなかった。親だけ病院の先生の言葉に迷わされ私自身が病気になりそうだった。家族会は心の支えになった。
家に何度か来ていただいたが息子が就職させようとしていると怒りだし部屋で皿を投げつけて壊した。断ると言ったら少し落ち着き、以来口をほとんどきかなくなった。どう対応していけばよいか困っている。
私が無理に息子をヤングジョブに連れて行った感じだったので就職面接を受ける段階まで進めなかった。
継続して通う気持ちにはなれなかった。ひきこもりに対する支援体制が整っていないように感じた。面談者も慣れていないようで相談相手に対して信頼感を与えるスキルが低いように思えた。現在はひきこもり地域支援センターに通っているが信頼感があり今後も継続して通うつもりでいる。

Q11 現在の状態になってから、調査対象者の方は死にたいと言っていたことがありますか。

	該当者	現在も 言ってい る	過去に 言ってい たことが ある	一度も聞 いたこと がない	無回答
総数	108	12.0	27.8	44.4	15.7
[年齢別]					
15歳～19歳	2	-	50.0	-	50.0
20歳～24歳	14	14.3	28.6	28.6	28.6
25歳～29歳	12	33.3	41.7	25.0	-
30歳～34歳	16	-	18.8	68.8	12.5
35歳～39歳	14	7.1	21.4	57.1	14.3
40歳～44歳	22	22.7	22.7	40.9	13.6
45歳～50歳	6	-	50.0	50.0	-
50歳～54歳	2	-	50.0	50.0	-
55歳～59歳	7	14.3	42.9	28.6	14.3
60歳～64歳	4	-	50.0	50.0	-
無回答	9	-	-	55.6	44.4

【Q2で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q12 調査対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

(○はひとつだけ)

	該当者	自分の趣味 に関する用 事の時だけ 外出する	近所のコ ンビなど には出か ける	自室から は出るが、 家からは 出ない	自室から ほとんど 出ない	1～4のよ うな状 態に6ヶ 月以上 連続し てなっ たこと はない	無回答
総数	23	47.8	17.4	8.7	4.35	17.4	4.3
[年齢別]							
15歳～19歳	3	66.7	-	-	-	33.3	-
20歳～24歳	1	-	-	100.0	-	-	-
25歳～29歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-
30歳～34歳	6	33.3	-	16.7	16.7	33.3	-
35歳～39歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-
40歳～44歳	4	50.0	50.0	-	-	-	-
45歳～50歳	1	-	-	-	-	-	100.0
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-

【Q12で「1～4」に○をつけた方のみ、Q13～Q15にお答えください。】

Q13 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

	該当者	6ヶ月～ 1年未満	1年～2 年未満	2年～3 年未満	3年～5 年未満	5年～7 年未満	7年～1 0年未満	10年～ 15年未 満	15年～ 20年未 満	20年～ 25年未 満
総数	18	11.1	11.1	11.1	16.67	-	11.1	16.7	-	11.1
〔年齢別〕										
15歳～19歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-
30歳～34歳	4	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-
35歳～39歳	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-
40歳～44歳	4	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	25.0
45歳～50歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

	該当者	25年～ 30年未 満	30年以 上	無回答
総数	18	-	-	11.1
〔年齢別〕				
15歳～19歳	2	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	-
30歳～34歳	4	-	-	25.0
35歳～39歳	3	-	-	33.3
40歳～44歳	4	-	-	-
45歳～50歳	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-

Q14 初めて現在の状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

	該当者	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～50歳	50歳～54歳
総数	18	11.1	33.3	16.7	33.3	-	5.6	-	-	-
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	3	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-
30歳～34歳	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-
40歳～44歳	4	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-
45歳～50歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

	該当者	55歳～59歳	60歳～64歳	無回答
総数	18	-	-	-
[年齢別]				
15歳～19歳	2	-	-	-
20歳～24歳	1	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	-
30歳～34歳	4	-	-	-
35歳～39歳	3	-	-	-
40歳～44歳	4	-	-	-
45歳～50歳	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-

Q15 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

	該当者	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生時等の不登校	受験に失敗した(高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかった	病気
総数	18	-	16.7	33.3	11.1	5.6	11.1	33.3	38.9	11.1
[年齢別]										
15歳～19歳	2	-	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-
20歳～24歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	3	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-
30歳～34歳	4	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-
35歳～39歳	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.7	33.3
40歳～44歳	4	-	25.0	-	25.0	-	-	50.0	50.0	25.0
45歳～50歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	-

	該当者	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになった	その他	無回答	回答計
総数	18	-	11.1	-	22.2	-	194.4
[年齢別]							
15歳～19歳	2	-	-	-	-	-	150.0
20歳～24歳	1	-	-	-	-	-	100.0
25歳～29歳	3	-	-	-	-	-	100.0
30歳～34歳	4	-	25.0	-	75.0	-	200.0
35歳～39歳	3	-	33.3	-	33.3	-	300.0
40歳～44歳	4	-	-	-	-	-	175.0
45歳～50歳	-	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-
60歳～64歳	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	400.0

【Q16～Q21 はすべての方がお答えください。】

Q16 調査対象者の方は障害者手帳をお持ちですか。(〇はいくつでも)

	総数	持っていない	精神障害者保健福祉手帳を持っている	療育手帳を持っている	身体障害者手帳を持っている	無回答	回答計
総数	132	84.8	11.4	2.3	1.5	1.5	101.5
[年齢別]							
15歳～19歳	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0
20歳～24歳	16	87.5	-	6.3	-	6.3	100.0
25歳～29歳	15	80.0	20.0	-	6.7	-	106.7
30歳～34歳	22	81.8	13.6	4.5	-	-	100.0
35歳～39歳	17	88.2	11.8	-	-	-	100.0
40歳～44歳	26	88.5	11.5	-	-	-	100.0
45歳～50歳	7	71.4	28.6	-	-	-	100.0
50歳～54歳	2	100.0	-	-	-	-	100.0
55歳～59歳	7	100.0	-	14.3	-	-	114.3
60歳～64歳	4	100.0	-	-	-	-	100.0
無回答	11	72.7	9.1	-	9.1	9.1	100.0

Q17 今後、あなたはどのような支援を望まれますか。(〇はいくつでも)

	総数	自宅から通 える範囲の 相談窓口の 充実	専門相談 窓口の充 実	電話相談 の充実	メール相 談の充実	チャット (LINE等のア プリ含む) 相 談の対応	フリース ペースな どの居場 所の充実	メンタルフレ ンド(友達 のような話し相 手)の充実	自宅等へ の訪問支 援	就労支援
総数	132	35.6	37.9	15.9	7.6	6.1	22.0	34.8	25.0	47.0
[年齢別]										
15歳～19歳	5	40.0	20.0	-	-	-	40.0	40.0	40.0	60.0
20歳～24歳	16	31.3	18.8	12.5	18.8	18.8	31.3	25.0	25.0	43.8
25歳～29歳	15	60.0	20.0	6.7	20.0	6.7	6.7	53.3	20.0	46.7
30歳～34歳	22	36.4	63.6	13.6	-	-	27.3	31.8	22.7	50.0
35歳～39歳	17	23.5	47.1	5.9	-	-	17.6	17.6	17.6	70.6
40歳～44歳	26	38.5	42.3	15.4	3.8	3.8	19.2	26.9	19.2	34.6
45歳～50歳	7	42.9	71.4	28.6	-	-	42.9	71.4	57.1	28.6
50歳～54歳	2	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-
55歳～59歳	7	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	57.1	28.6	57.1
60歳～64歳	4	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0
無回答	11	18.2	9.1	27.3	-	-	9.1	36.4	27.3	45.5

	総数	当事者の会 (自助グ ループ)の 紹介	医療機関 の紹介	一時的な 生活資金 支援	ファイナンシ ャ ルプランナー などによる 生活設 計支援	福祉サービ ス や生活保護 など行政サー ビスの申請 支援	復学・再 入学支援	その他	無回答	回答計
総数	132	18.9	7.6	7.6	14.4	29.5	7.6	6.8	5.3	329.5
[年齢別]										
15歳～19歳	5	-	-	-	-	40.0	20.0	-	-	300.0
20歳～24歳	16	25.0	6.3	6.3	-	18.8	18.8	-	6.3	306.3
25歳～29歳	15	13.3	-	20.0	26.7	40.0	20.0	-	-	360.0
30歳～34歳	22	13.6	4.5	13.6	9.1	27.3	4.5	-	9.1	327.3
35歳～39歳	17	41.2	5.9	-	29.4	41.2	-	23.5	5.9	347.1
40歳～44歳	26	15.4	7.7	3.8	7.7	26.9	-	7.7	-	273.1
45歳～50歳	7	42.9	28.6	-	14.3	28.6	-	-	-	457.1
50歳～54歳	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	400.0
55歳～59歳	7	28.6	28.6	28.6	42.9	57.1	14.3	28.6	-	585.7
60歳～64歳	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	200.0
無回答	11	-	-	-	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	236.4

Q18 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介
総数	132	43.9	31.1	41.7	33.3	42.4	18.9	9.8
[年齢別]								
15歳～19歳	5	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	-	-
20歳～24歳	16	37.5	12.5	56.3	25.0	43.8	31.3	6.3
25歳～29歳	15	40.0	20.0	53.3	20.0	46.7	20.0	-
30歳～34歳	22	72.7	45.5	27.3	31.8	54.5	22.7	4.5
35歳～39歳	17	41.2	17.6	35.3	35.3	41.2	23.5	5.9
40歳～44歳	26	34.6	34.6	50.0	26.9	23.1	7.7	11.5
45歳～50歳	7	57.1	71.4	71.4	57.1	42.9	42.9	42.9
50歳～54歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
55歳～59歳	7	71.4	71.4	57.1	14.3	14.3	42.9	42.9
60歳～64歳	4	50.0	-	25.0	50.0	50.0	-	-
無回答	11	-	9.1	-	54.5	72.7	-	9.1

	総数	生活困窮時の一時的な生活資金支援	ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	その他	無回答	回答計
総数	132	15.2	14.4	23.5	5.3	9.1	288.6
[年齢別]							
15歳～19歳	5	-	40.0	20.0	-	-	300.0
20歳～24歳	16	12.5	6.3	25.0	-	12.5	268.8
25歳～29歳	15	13.3	13.3	26.7	6.7	6.7	266.7
30歳～34歳	22	13.6	22.7	31.8	9.1	4.5	340.9
35歳～39歳	17	23.5	29.4	29.4	5.9	5.9	294.1
40歳～44歳	26	19.2	3.8	15.4	-	15.4	242.3
45歳～50歳	7	14.3	28.6	42.9	-	-	471.4
50歳～54歳	2	-	-	50.0	-	-	250.0
55歳～59歳	7	28.6	14.3	28.6	28.6	-	414.3
60歳～64歳	4	25.0	-	-	-	25.0	225.0
無回答	11	-	-	-	9.1	18.2	172.7

Q19 あなたは自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。  
該当する数字に○をつけてください。(○はいくつでも)

a 富山県こころの電話

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	132	18.9	41.7	32.6	6.8
[年齢別]					
15歳～19歳	5	20.0	40.0	40.0	-
20歳～24歳	16	-	56.3	18.8	25.0
25歳～29歳	15	20.0	46.7	33.3	-
30歳～34歳	22	31.8	22.7	45.5	-
35歳～39歳	17	29.4	41.2	23.5	5.9
40歳～44歳	26	7.7	38.5	46.2	7.7
45歳～50歳	7	14.3	85.7	-	-
50歳～54歳	2	50.0	-	50.0	-
55歳～59歳	7	42.9	42.9	14.3	-
60歳～64歳	4	50.0	50.0	-	-
無回答	11	-	36.4	45.5	18.2

b よりそいホットライン

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	132	6.8	23.5	57.6	12.1
[年齢別]					
15歳～19歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0
20歳～24歳	16	-	12.5	56.3	31.3
25歳～29歳	15	6.7	13.3	80.0	-
30歳～34歳	22	9.1	22.7	68.2	-
35歳～39歳	17	11.8	29.4	41.2	17.6
40歳～44歳	26	3.8	19.2	61.5	15.4
45歳～50歳	7	-	71.4	14.3	14.3
50歳～54歳	2	-	-	100.0	-
55歳～59歳	7	14.3	42.9	42.9	-
60歳～64歳	4	25.0	-	75.0	-
無回答	11	-	27.3	54.5	18.2

c 自殺予防週間/自殺強化月間

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	132	11.4	41.7	36.4	10.6
[年齢別]					
15歳～19歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0
20歳～24歳	16	6.3	37.5	25.0	31.3
25歳～29歳	15	-	60.0	40.0	-
30歳～34歳	22	9.1	45.5	40.9	4.5
35歳～39歳	17	11.8	52.9	23.5	11.8
40歳～44歳	26	7.7	34.6	46.2	11.5
45歳～50歳	7	42.9	57.1	-	-
50歳～54歳	2	-	-	100.0	-
55歳～59歳	7	28.6	42.9	28.6	-
60歳～64歳	4	50.0	50.0	-	-
無回答	11	-	9.1	72.7	18.2

d ゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	132	8.3	19.7	60.6	11.4
[年齢別]					
15歳～19歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0
20歳～24歳	16	-	18.8	50.0	31.3
25歳～29歳	15	-	26.7	73.3	-
30歳～34歳	22	9.1	9.1	77.3	4.5
35歳～39歳	17	-	23.5	64.7	11.8
40歳～44歳	26	11.5	23.1	53.8	11.5
45歳～50歳	7	28.6	28.6	28.6	14.3
50歳～54歳	2	-	-	100.0	-
55歳～59歳	7	28.6	14.3	57.1	-
60歳～64歳	4	25.0	50.0	25.0	-
無回答	11	-	9.1	72.7	18.2

e 「タッチハートつながろう心と心。（富山県HP）」

	総数	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。	無回答
総数	132	3.0	17.4	66.7	12.9
[年齢別]					
15歳～19歳	5	-	20.0	60.0	20.0
20歳～24歳	16	-	6.3	62.5	31.3
25歳～29歳	15	-	20.0	80.0	-
30歳～34歳	22	4.5	13.6	77.3	4.5
35歳～39歳	17	-	17.6	64.7	17.6
40歳～44歳	26	-	11.5	73.1	15.4
45歳～50歳	7	14.3	42.9	42.9	-
50歳～54歳	2	-	-	50.0	50.0
55歳～59歳	7	14.3	42.9	42.9	-
60歳～64歳	4	25.0	25.0	50.0	-
無回答	11	-	18.2	63.6	18.2

Q20 あなたは今後どのような自殺対策（支援）が必要になると思われますか。（〇はいくつでも）

	総数	ひきこもりに関する相談窓口の強化	各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化	同じ悩みを持つ人が集まる居場所	自宅等への訪問支援	就労に向けたトレーニング	自助グループ家族向け互助会等の紹介	医療機関の紹介
総数	132	15.9	27.3	35.6	59.1	9.1	18.2	13.6
[年齢別]								
15歳～19歳	5	-	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	-
20歳～24歳	16	18.8	6.3	-	56.3	6.3	18.8	18.8
25歳～29歳	15	13.3	46.7	53.3	73.3	-	-	-
30歳～34歳	22	13.6	40.9	36.4	77.3	9.1	31.8	22.7
35歳～39歳	17	17.6	41.2	23.5	47.1	5.9	11.8	11.8
40歳～44歳	26	15.4	15.4	34.6	53.8	7.7	15.4	15.4
45歳～50歳	7	28.6	42.9	71.4	100.0	-	28.6	28.6
50歳～54歳	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
55歳～59歳	7	28.6	42.9	57.1	71.4	14.3	42.9	14.3
60歳～64歳	4	-	-	75.0	50.0	50.0	25.0	-
無回答	11	18.2	-	36.4	9.1	18.2	-	-

	総数	生活困窮時の一時的な生活資金支援	ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援	福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援	無回答	回答計
総数	132	26.5	21.2	13.6	14.4	254.5
[年齢別]						
15歳～19歳	5	60.0	20.0	20.0	20.0	320.0
20歳～24歳	16	12.5	18.8	25.0	18.8	200.0
25歳～29歳	15	33.3	20.0	-	-	240.0
30歳～34歳	22	45.5	27.3	13.6	4.5	322.7
35歳～39歳	17	5.9	17.6	11.8	29.4	223.5
40歳～44歳	26	30.8	19.2	11.5	11.5	230.8
45歳～50歳	7	14.3	14.3	14.3	-	342.9
50歳～54歳	2	-	-	50.0	-	150.0
55歳～59歳	7	42.9	42.9	42.9	14.3	414.3
60歳～64歳	4	25.0	75.0	-	-	300.0
無回答	11	9.1	-	-	45.5	136.4

【調査対象者の方に関して、現在や将来のことについて不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。】

【不安に思うこと】

親亡き後、嫁の行く末。ひとりでどうするか。
親の高齢化に伴い本人の生活のこと。近所付き合い。病気などの身体のこと。金銭的なこと。本人の将来。
生活費のことや将来一人になったとき暴れても止める人がいない。
自活が困難な息子が現在も含め将来的、どう支えればいいのか不安です。
親なき後のことが心配です。日常生活全般に渡って自立できる状態には程遠い状態です。援助者との関わり、居場所の確保、人との関係づくりなど少しでも進めていきたいと思っています。
両親が高齢で生きている間にどうにかしたい。精神的に良い悪いがあり、安定しないので家族でも付き合うのが大変です。
8050 問題、ひきこもりの方の人数が増加し、減少が難しいこと。
親である自分自身が年老いたときの姉との関係と生活費について年金支給時期・支給額。
学校やフリースクールといった学業を主にする場所以外で本人が受け入れられていると感じられる居場所となる施設が少ないということで、本人に情報として伝えられるものが少ない。ひきこもる方の心理背景を考慮した相談窓口、就労支援、施設が少ないことで外にでる機会が少ない。現在は未成年ということもあり、本人の中での葛藤だけで済んでいる様などころもあるので心配はないが、上記の様なことで外にでる機会が少ないことで長期化し将来的には社会的地位のことを含めて自分を追い詰めていくのではないだろうか不安である。心理面において心配である。それに伴って金銭的な問題もあるだろうが心配。
就労できるか不安です。
現在がづらいので、そんな先のことなどわからない。
私たちがいなくなってから。家族との会話がどうすればできるようになるのか。このアンケートで外に出ない子がメールで相談していることを知って驚いています。
親亡き後の生活不安、近所の理解が得られるか。病気になった際の対応はどうなるのか。
親亡き後が心配。
将来の生活基盤が不安定で金銭面等、相談者がいなくなり居場所がなくなること。犯罪など他人に迷惑をかけないか。
8050 問題 将来が不安です（私の死後）本人はたぶん仕事に出れないと思います。
体調や眠れない事、将来、大学や就職、辛くなる時があると思いますがその時、一人で抱え込んで死にたい状況にならないでほしい。
将来の就職や親が亡くなった時の生活基盤。現在、夜型の生活を送っているので食事等も不規則で健康についても心配している。
親なき後の心配。
親の高齢化により残された子はどうにして生きていくのだろうか。一人で生活していけるのだろうか。誰か相談にのってくれる人が出てくるのだろうか。一人になったとき、寂しさや色んな不安に打ち勝つことができず生きていくことを失ってしまうのではないだろうか。もしもの時、本人が自分で助けてのサインを出してくれるのだろうか。親亡き後、本人が一人になってしまうため心配です。
親子関係が良くなること、自立して生活できるようになること。
親の高齢化に伴う子どもの将来に不安及び経済的破綻への不安。
ひきこもりに加えて 24 年前より乾癬を患い十数年前より関節症性乾癬へとなり指の骨も変形、足も変形し医療機関へ幾度進めても行かず、兄弟の中も徐々に悪くなり、お父さんはどうにもならんと言っぱかり。私は昨年ストレスでうつ状態になり、それを長男に伝えると少しずつ話しかけてくれるようになりました。少しずつでも今より寄り添いたいと思っています。行政に関わってれば親亡き後もなにか対応してくれるのではないかと考えていますが、甘い考えでしょうか。年金生活なのでこずかいも欲しいと数万円やり、もっと食生活を減らすようにお父さんに言われますが情けないことに泣きそうな私です。
一人になった時、生活できなくなること、一日でも早く自立できるようになってくれたら安心。
親が 70 代、子供が 40 代。だんだん高齢になっていく。両方いるから経済面と家のことはなんとかしているが、片方になるといろいろ（家事のこと、家周りのことなど）どうなっていくのか。家も修理が出てくるだろうし経済も楽ではないだろうし、考えると負のことしか出てきません。兄弟に迷惑をかけないようにしてもらいたいし、不安でいっぱいです。
父母がいなくなったら一人で生活できるのか心配。
親の死後が一人になるので心配です。
両親が亡くなった後の経済支援。
社会人として 4 年間ブランクがあるのですが今はいきいきと仕事をしております。ほっとしているところではあります。まだ 30 歳なので再婚して幸せな家庭を築いてもらいたいと思うのですが、内面の成長が伴わないままに進むと前と同じことの繰り返しにならないかと不安はあります。
自分が親として見届けられないのが不備。

やはり将来のことを考えると不安になります。対象者の保護者がいなくなった場合はいったいどうなるのかと心配は募るばかりです。精神的病気であるにしても本人が動かないと治療することも法的支援を受けるにも難しい状況であると思う。
買い物に出ることができないので心配。通院の支援が欲しい。歩いていくことや公共交通機関でいくことができない。
生活していけるのが心配。
子どもの将来、先行きが不安。自立してやっていくことができるように。
今の状態はひきこもりよりもニートといった状態です。出かけるし人との対応もしっかりしていると思う。今後、本当のひきこもりにならないか心配。
将来一人でも生きていけるだろうか。何気ない言葉にも切れてしまうところが直るか。いつか犯罪を犯すのではないかという不安。
同居者が更に高齢になって本人の世話が困難になったとき。経済的な自立が保持できるか。社会から完全に孤立してしまわないか。精神的安定が保てるか。
私ももうすぐ70歳になります。仕事や運転できる間は良いのですが、その後本人のことが心配です。
一日一日が悲しく家族のものが段々と年を取りますので、私たちの体の衰えも気になりとても不安です。
すごく不安、親が先に行くのは必至。今まで生活面で全面養ってきたのだから自分が死ぬ時は一緒に連れていきたいと思っている。
私が居なくなった後、どのように生活していくのか心配。買い物・料理・洗濯等はするが近所付き合いが全くないので人との関りをもてないこと。姉が一人いるが姉とはごく普通に話している。小さい頃から私と妹の子どもとは仲良く遊んでいたのですが今でもたまに遊びに行く嬉しそうにしている。
親が居なくなってからの不安。
私ども夫婦は高齢者なので亡くなったあとどのように生活していくのかと心配している。
この先どうしたら自立していけるか？自立できるか。
家族の高齢化。死亡に備え本人が安心して生活できるように準備していかなければならないと考えています。
就労に全く自信がなくなっているので就労に向けて訓練できる場所や体験就労などの支援がないと本人も将来に希望が持てず不安で死にたくなると思う。
親亡き後、地域と上手くやっていけるか。経済はどうなるのか。古家はいつまでもつのか。
将来自活する能力が全くないから生活できない。
子どもが学生の頃はいろいろ相談できる場所がありましたが、年齢を重ねると、どこで相談していいのか誰に聞いたらいいのか困っています。有料ならありますが無料のところはありません。サポステにも伺いましたが一度就労してまた無職になり本人自身ではなく家族の方が将来不安で、本人がお困りの様ではないのと言われ今は相談していない状態です。
自立のきっかけ。仕事へのチャンスが個人では限界がある。
面倒を見るものが親だと子どもより先に体力も気力も落ちてくるのでもしものことがあったとき、残された者の生活が心配。本人は自分が病気だと認めておらず、よっぽどのことがないと治そうとしていないし、昼夜逆だと治療も難しい。
ゴミ出しや金融機関で貯金の出し入れ、家の周りの草むしり樹木の手入れ等、挙げればきりがありません。買い物も行けずインターネットで必要なものを買えますがどうしたらよいか不安だらけです。これを解決する方法として少しでも外に出れたらいいなと思います。働くことは2の次、とても現状では無理だと思います。家の中では平常心でおります。ただ時々死にたいという。主人は80歳を前にして車を手放し、私も子供も免許がありません。近い将来どこにもいけなくなります。
親が働いているうちはいいが、収入がなくなる。あるいは親が死んだ後の子どもの支援。金銭的経済的なことが心配。今も社会から孤立しつつある子どもがどのようにして生きていけばいいのが心配。
何とかして自分で働いて少しでも収入を得るまでになってほしいと思っているのですが、それがいつのことになるのか不安で心配です。私はどうしたらいいのかと思っています。後悔することばかりです。
親である自分たちが居なくなる前に自分で生きていく力をつけて欲しい。以前、アルバイトをしていたドラッグストアで客から酷い扱いを受けたことで人に対する怖さが生まれたようです。現在相談員の方に根気強く心を解きほぐしていただいたおかげで、少しずつ以前の状態に戻りつつありますがやはり将来のことが心配です。
今は母がいるので多様な話ができて、金銭的にも援助もあり心の余裕があるが、義母が居なくなった以降、誰にも話せる人もなく不安。
息子と二人暮らしですが、何が気に入らないことがあれば暴力をふるいます。息子とここ数ヶ月会話もなく、全く接触していない状況です。一階に降りてきたときに私が顔を出すと怒るような様子なので、あえて私も顔を合わせないようにになりました。息子は息子、私は私、もう30代の息子ですから自分の責任で行動していると思うようになりました。私も定年になり冷たいようですが息子のことばかりを考えて残りの人生を生きるのは辛いです。私の考えはやはり冷たいのでしょうか。少しでも息子が立ち直ってくれたらよいと思いますが状況はかなり厳しいと思います。そして経済的な不安がのしかかってきます。ただ息子が自殺未遂を二回したこともあり、それが一番怖いです。
歩くことができないので不安。
親が働けなくなったとき、本人に生活能力がないこと。なかなか話さないで本人の意志がわからない。

一緒に暮らしていないのととても不安です。遠方ですがどなたか様子を見に行ってくれる人がいればよいと毎日思っています。もし、本人が立ち直ったとしてもブランクがあるのでちゃんと仕事ができるの友達ができるのか不安です。
今はごくたまにしか外出しない状況である。本人は20代。両親は50代である。カウンセラーの方には長い目で温かく見守ってほしいと言われていた。焦らないようにしたいがいつまでこの状態が続くのか不安に思うことはある。一日中、パソコンやタブレットを見ているようで心や体の健康面も心配である。学校への復学を願ったため母親は今、一番、拒絶されている状況である。普通の会話ができる日がきてほしいと願うばかりである。
まさに8050の問題と思う。親として会話がなく出口が見いだされない。ただ情けない親として果たしてどうしてやればいいのか。本人は見向きもしません。
本人、家族それぞれ年齢を重ね、生活への不安、体調・健康面の不安。いろいろなことが考えられます。しかしそれは健常者も同じだと思います。しかし私としては社会の流れにあった、そして自分一人でも生きていける人間として社会生活を送って欲しいと願っています。淡々と日々を送っていることがいいと思っていますが、やはり自分の将来想像する気持ち考えが起こりうる人間であれば今の自分はどうかあるべきか、どうしなければならぬが考えることができるはずなのにそれができないそんなもどかしさが親にあります。本人の成長を幼い日から思い起こしてみるといろいろなことがあり、一方的に本人だけを責めたり心なく思ったりできないところもあります。人生の半分を生きてきた本人が何を思いどうしたいか考えているとは思いますが。生きづらい社会の辛い思い込みを持って日々送っていると思うと親としてとても辛いです。どうにかどうかして働いて生活できる姿をみたいものだと大きな望みを持つばかりです。
いつかは自分から外出することができると願っています。家族が食事を部屋に運ぶ等の状況ですが長引くと本人も家族も疲れる。健康状態が気になります。

## 【要望・ご意見など】

親なき後の支援はどうなるのか？経済的や本人が相談できるところが身近にみえません。ひきこもりというワードは現在社会的に特別視される傾向があります。一つのワードですが対象は広く、誰でも困ったときに立ち寄れる窓口が必要だと思います。傷ついている人、孤立している人は大勢いると思うので広く相談できることが大事。恥だと思って抱え込んでいる家族も大勢いると思うので地域での呼びかけや誰の身にも起こりうる状況だということの理解を広めて欲しい。
父母亡き後の生活が心配。メンタル面をサポートして欲しい。
自立できる力をつけてもらいたい。社会とつながって欲しい。
親の年齢が高くなり当事者も年をとっていくため就労が上手くいかなかったら諦めてしまうことがある。貯えが減っていくので生活が苦しくなっていく。当事者が一人になっても就労しなかった場合、相談するところなどがあればよいと思う。
万が一自立ができないとなると親が死んだあと、どういった支援があるのかをもっとしりたい。
考えるときりがないが、自ら動いてくれるようになって欲しい。
本人は生きづらさがあると思う。不登校、ひきこもりも自分には必要だったと思えるよう親は寄り添っていききたい。いつか立場が反対になると思うが・・・短時間の仕事だが周りの理解と支援があって私は感謝している。
親は息子の対応に疲れてしまい体調もよくありません。どうすれば今の状態から前進できるのかわかりません。生活支援、就労支援等詳しく知りたいと思います。
親が働けなくなったときどうなるか不安。センターの方とメール交換できなくなったとき相談できる人がいて欲しい。
ひきこもり状態からの社会の中に入るステップとして家庭以外の心が休まる居場所が必要となります。県内にはNPOや就労支援、カフェ等の何かしらの財源とセットになっているケースしかなく、ただの居場所がありません。私は社会で生きづらさを抱いた人たちのためにそんなただの居場所、心が安らげる場所を作りたい。是非、居場所の維持費を支援していただきたい。行政だけでなく広く企業からの支援をお願いいたします。居場所の提供をしながらひきこもり状態の人たちが社会でも温かく受け入れてもらえるよう努力します。
ひきこもりのゴールとして目指すところは就労ではなく親しい人付き合いができることと聞きました。しかし少しでも自分が社会で役立つ場がありわずかでも報酬があれば元気になると思います。病院で障害と認められれば就労支援につながりますが病院に行く状態ではなかった場合は就労支援につながりにくかったです。ヤングジョブには本人がいけません。うちの子は親戚の家の作業の手伝いなら行くのでシルバー人材センターの若者版があればいいと思います。また秋田県藤里町のような中間就労施設的なところがあれば自信がつく人が増えると思います。地域の人や会社の方にひきこもりの悪いイメージがつかなければ良いと思っています。まず、ひきこもりというネーミングがうちごもりになるとよいと思います。
何も話してくれない。だから何が原因で何に不満があるのかわからない。私から親から優しい言葉がけをしなくてはいけないと思っています。
私ども高齢のため早く自立して欲しい。
現在、私はひきこもり支援センターにお世話になっています。発達障害があるのは徐々にわかってきたのですが本人が支援の場や病院

<p>にも行きたがらずコミュニケーションも取れない状態でしたが、ほんの些細な行動を見逃さず、特別扱いせず家族が普段通り生活していればメールでのやりとりが今ではできます。私自身、気持ちに余裕がないときは理解して下さり話を聞いていただけるだけで助かっております。将来の不安が一番大きいですが支援の場をこれからも利用して本人が相談の窓口と一緒にに行けるようにしたいです。</p>
<p>普通に暮らして欲しいとずっと願ってきました。本人も家族もただただごく普通の生活を望んでいましたが今はまだまだ先のことのように思います。本人もまだどうしたらよいかかわからず、日々過ごしております。ひきこもりになっても不登校になっても普通に暮らすことができた方々のお話を聞くことが出来たら私としてはすごく励みになりますし、希望を持つことができますと思います。悲しい事件ばかりではなく楽しい話をもっともっと広がっていくことを願います。</p>
<p>早く仕事に行って欲しい。</p>
<p>ひきこもりや自殺ということ自体は悩みが解決されない事ではないので、それに対する対策ではなく一件ごとの当事者の悩みを明らかにし、解決していくための対話が重要になっていくと思います。</p>
<p>親が年老いて入院や亡くなった後に兄弟などがしっかり協力、相談にのれるか、本人の健康面、自立など。親が年老いてから定期的に訪問し、言葉がけ健康面でもアドバイスして下さる方がいるといい。</p>
<p>私は毎日目が覚めると孫のことで眠れません。保健センターに相談に行きますが聞いてもらえません。自動車免許も取りましたが運転はしません。お父さんかお母さんに来てもらってくださいと言われ、またおばあちゃんは自分のことで楽しんでくださいと言われ私は納得いきません。外に出す方法を力になって欲しいのです。外に出て友達を作ってもらいたいです。誰に相談すればよいか知恵をください。お願いします。</p>
<p>北日本新聞に掲載されていた不登校新聞・石井志昂さんの記事に合ったように不登校・ひきこもりを問題行動とみなす考え方が世間に根強くある。背景にはみんな同じことができない事への非難があり、そう感じさせる社会の仕組みを変えていく必要がある。誰も問題児にしないユニバーサルデザインの授業・いじめ・スクールカーストを生み出さない学校、多様な社会参加の在り方をもっと考えていくべき。</p>
<p>本人の気持ちを理解した上で、学校や行政や職場への連携支援が必要だと思います。本人に温かく支援して下さる専門の先生方も必要です。時には自宅訪問も必要だと思います。</p>
<p>本人は社会参加の経験が少なく不安や困難を抱えている状態です。本人と一緒に考えて一緒に採ってくれるサポーターとしてのボランティア養成講座の充実や機関のつながりが必要だと思います。</p>
<p>一番は親が亡くなった後の生活。なんとか早く自立して欲しいと願っている。ひきこもりの状況を知っている経営者の発掘に努めて欲しい。</p>
<p>不安がないとは言えませんが、これまで本人は自分の力で猛勉強して大学に進学し、卒業して、趣味も豊富でありどれも極めているので、自立する力は持っていると思っています。本人の気持ちが穏やかに過ごせる環境を作りには私自身が不安を抱え込まないで関わることが第一だと考えます。ひきこもり支援センターの職員の方々や取り組みには本当に助けられ、現在は安定した気持ちに変化し、明るい方向に進んでいると思っています。しかし、まだ自立とまではいかないので今後、相談できる機関の充実とともに、自立まで一貫して支援していただく方策を早急に望みます。よろしく願いいたします。</p>
<p>40代以上の場合、状況は家族、家庭での生活中心が続いている。この時、当人は老いた両親への遠慮があり、同じ境遇の人のつながりがなく、孤立・孤独状態にある。その状態に応じたサポート、病院、知人、居場所、学習研修の場、地域社会への理解、学校関係などの温かい見守りがあって元気に過ごせる。今はそれが少ない。家庭に任されている。支援家族へ家族会などへ参加しやすい支援がなく8050問題で親子を支える側、家族会も高齢化で継続のための支援があればよい。</p>
<p>これからの人生においてこの経験が何かのためになったと言える未来になって欲しい。</p>
<p>先を考えない日はないです。私たち親はもう歳なので仕事に就けることを願っています。</p>
<p>一歩でも前に進むことを考えるのみ不安に思う暇はない。</p>
<p>不安を感じることはありません。今できることから一つ一つ始めて積み重ねていくつもりです。</p>

## 生活状況に関する調査（同居されている方用）

※ ここでいう「調査対象者」とは、「ひきこもりで悩むご本人」の方です。質問文に「調査対象者の方」とあるものは、「ひきこもりで悩むご本人」の方のことに、お答えください。

調査対象者の方の性別	1 男	2 女	調査対象者の方の年齢	( ) 歳	
調査対象者の方のお住まいに○をつけてください。(○はひとつだけ)					
1 富山市	2 高岡市	3 魚津市	4 氷見市	5 滑川市	6 黒部市
7 砺波市	8 小矢部市	9 南砺市	10 射水市	11 舟橋村	12 上市町
13 立山町	14 入善町	15 朝日町	16 その他	( )	
調査対象者の方と同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)					
1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母	5 配偶者	
6 子	7 その他の人				

Q1 調査対象者の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 勤めている（正社員）
- 2 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- 3 自営業・自由業      4 学生（予備校生を含む）
- 5 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない      6 専業主婦・主夫
- 7 家事手伝い      8 無職      9 その他（具体的に： )

## 【Q2はすべての方がお答えください。】

Q2 調査対象者の方は、ふだんのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する      2 仕事や学校で週に3~4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する      4 人づきあいのためにとどき外出する
- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない      8 自室からほとんど出ない

【Q2で「1~4」に○をつけた方は、Q12~Q15、「5~8」に○をつけた方は、Q3~Q11にお答えください。】

Q3 調査対象者の方が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月未満      2 6ヶ月~1年未満      3 1年~2年未満      4 2年~3年未満
- 5 3年~5年未満      6 5年~7年未満      7 7年~10年未満      8 10年~15年未満
- 9 15年~20年未満      10 20年~25年未満      11 25年~30年未満      12 30年以上

Q4 初めて現在の状態になったのは、調査対象者の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_ 歳

Q5 調査対象者の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校      2 中学生時の不登校      3 高校生時の不登校
- 4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校
- 5 受験に失敗したこと（高校・大学等）      6 就職活動がうまくいかなかったこと



- Q11 現在の状態になってから、調査対象者の方は死にたいと言っていたことがありますか。
- 1 現在も言っている    2 過去に言っていたことがある    3 一度も聞いたことがない

※Q16にお進みください。

【Q2で「1～4」に○をつけた方のみ】

Q12 調査対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)

- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する  
 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける    3 自室からは出るが、家からは出ない  
 4 自室からほとんど出ない    5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない

【Q12で「1～4」に○をつけた方のみ、Q13～Q16にお答えください。】

Q13 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

- 1 6ヶ月～1年未満    2 1年～2年未満    3 2年～3年未満    4 3年～5年未満  
 5 5年～7年未満    6 7年～10年未満    7 10年～15年未満    8 15年～20年未満  
 9 20年～25年未満    10 25年～30年未満    11 30年以上

Q14 初めてその状態になったのは、調査対象者の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

\_\_\_\_\_ 歳

Q15 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校    2 中学生時の不登校    3 高校生時の不登校  
 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校    5 受験に失敗したこと(高校・大学等)  
 6 就職活動がうまくいかなかったこと    7 職場になじめなかったこと  
 8 人間関係がうまくいかなかったこと    9 病気(病名: \_\_\_\_\_ )  
 10 妊娠したこと    11 退職したこと    12 介護・看護を担うことになったこと  
 13 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

【Q16～Q21はすべての方がお答えください。】

Q16 調査対象者の方は障害者手帳をお持ちですか。(○はいくつでも)

- 1 持っていない    2 精神障害者保健福祉手帳を持っている  
 3 療育手帳を持っている    4 身体障害者手帳を持っている

Q17 今後、あなたはどのような支援を望まれますか。(○はいくつでも)

- 1 自宅から通える範囲の相談窓口の充実    2 専門相談窓口の充実    3 電話相談の充実  
 4 メール相談の充実    5 チャット(LINE等のアプリ含む)相談の対応  
 6 フリースペースなどの居場所の充実    7 メンタルフレンド(友達のような話し相手)の充実  
 8 自宅等への訪問支援    9 就労支援    10 当事者の会(自助グループ)の紹介  
 11 医療機関の紹介    12 一時的な生活資金支援    13 ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援  
 14 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援    15 復学・再入学支援  
 16 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

## D

Q18 ひきこもりで悩む方々に対して、どのような支援策があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 ひきこもりに関する相談窓口の強化
- 2 各種相談窓口・支援機関の周知・PRの強化
- 3 同じ悩みを持つ人が集まる居場所
- 4 自宅等への訪問支援
- 5 就労に向けたトレーニング
- 6 自助グループ家族向け互助会等の紹介
- 7 医療機関の紹介
- 8 生活困窮時の一時的な生活資金支援
- 9 ファイナンシャルプランナーなどによる生活設計支援
- 10 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援
- 11 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q19 あなたは自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。該当する数字に〇をつけてください。

	内容まで知っていた。	内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある。	知らなかった。
a 富山県こころの電話	1	2	3
b よりそいホットライン	1	2	3
c 自殺予防週間/自殺強化月間	1	2	3
d ゲートキーパー(自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人)	1	2	3
e 「タッチハートつながろう心と心。(富山県HP)」	1	2	3

Q20 あなたは今後どのような自殺対策(支援)が必要になるとお考えですか。(〇はいくつでも)

- 1 自殺の実態を明らかにする調査・分析
- 2 様々な分野におけるゲートキーパーの養成
- 3 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い
- 4 様々な悩みに対応した相談窓口の設置
- 5 危険な場所、薬品等の規制等
- 6 自殺未遂者の支援
- 7 自殺対策に関わる民間団体の支援・自殺に関する広報・啓発
- 8 職場におけるメンタルヘルス対策の推進
- 9 子供の自殺予防・インターネットにおける自殺関連情報の対策
- 10 自死遺族等の支援

調査対象者の方に関して、現在や将来のことについて不安に思うことはありますか。

ご自由にお書きください。


【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。】